

令和元年度第2回 栄区セーフコミュニティ 傷害サーベイランス分科会

日時:令和2年3月23日(月)10時00分から11時30分まで
場所:栄区役所本館4階1号会議室

議題

- 1 令和元年度事業報告について（報告）
- 2 令和元年度栄区民意識調査結果について（報告）
- 3 令和2年度事業計画及び再々認証取得までのスケジュールについて（案）
- 4 各分科会の令和元年度活動報告及び2年度の事業計画と各分科会の連携及び指標の見直しについて（案）

次回分科会は令和2年6月頃開催予定です

令和元年度事業報告について

1 概要

今年度の栄区セーフコミュニティ活動については以下の通り実施しました。

内容	時期
推進協議会の開催	4月
傷害サーベイランス分科会の開催	8月・3月
さかえセーフコミュニティフォーラムの開催（参加者 220名）	10月
区民まつりでの啓発活動	11月
各分科会へのヒアリング	11～12月
他認証都市での審査等参加（さいたま市、秩父市、十和田市、鹿児島市、厚木市）	随時
セーフコミュニティ推進自治体ネットワーク研修・定例会への参加	7月・2月
各分科会の開催	随時

2 プロモーションについて

(1) 現役世代と居住歴の浅い層への広報

- ア 数字でセーフコミュニティの効果をPRするポスターの作成
(自治会町内会掲示板・公共施設に掲出)
- イ マンションデベロッパーへの新築マンション広告への掲載依頼
- ウ 子どもへの風船配布（区民まつり・セーフコミュニティフォーラム）

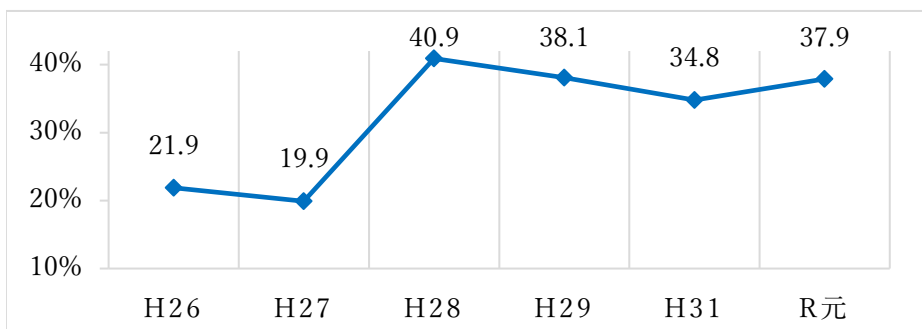
(2) その他広報

- ア 広報よこはまでのコラム掲載（隔月）及び特集（9月号）
- イ 区内幹線道路の歩道橋に横断幕を掲出（笠間交差点、中野町）
- ウ 啓発品配布
- エ 区の媒体を活用した広報（HP、掲示板等）

(3) 区民意識調査におけるセーフコミュニティの認知度

37.9%（平成30年度調査：34.8%（+3.1ポイント））

◆参考：セーフコミュニティの認知度の推移



◆参考



ポスター



区民まつり



セーフコミュニティフォーラム

令和元年度 栄区民意調査 結果概要

【調査概要】

- 調査対象 : 住民基本台帳から無作為抽出した栄区在住の20歳以上の男女3,000人
- 調査期間 : 令和元年11月18日～12月6日
- 調査手法 : 郵送配布、郵送回収
- 設問数 : 27問
- 回収数 : 1,398件 (回収率46.6%)

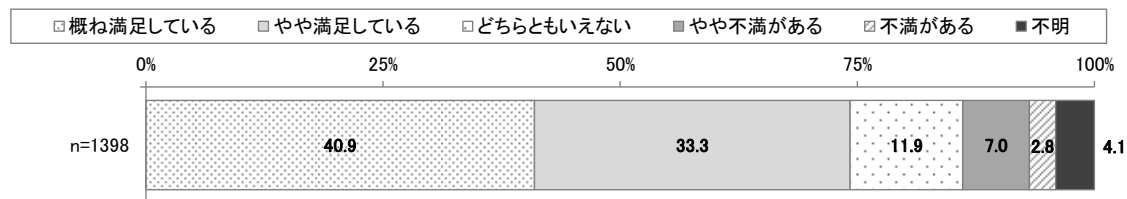
【調査結果】

1. 生活の満足度

① 栄区での満足度 :

- ・ 「概ね満足している」が40.9%を占め、「やや満足している」(33.3%)を合わせると7割以上が『満足』していると回答している。一方、「やや不満がある」、「不満がある」の合計の割合は9.8%である。

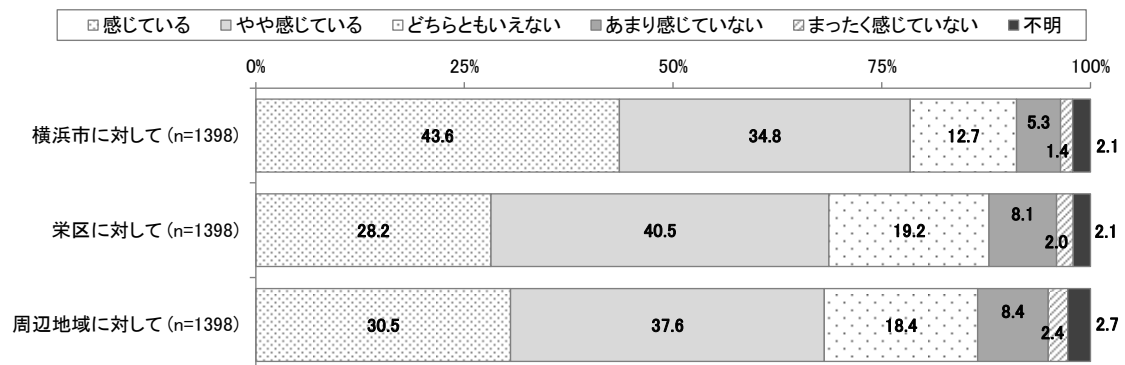
問1 栄区での生活にどの程度満足していますか。



② 横浜市、栄区、周辺地域への愛着や誇り :

- ・ 横浜市に対する愛着や誇りを感じる割合は、「感じている」、「やや感じている」を合わせて78.4%に達する。
- ・ 栄区、周辺地域に対して愛着や誇りを感じる割合は、「感じている」、「やや感じている」を合わせて、それぞれ68.7%、68.1%である。

問2 横浜市に対して、愛着や誇りを感じていますか。

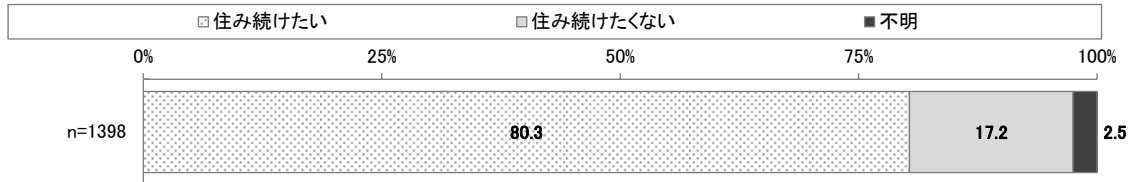


2. 定住意向

① 定住意向

- 現在の居住地に「住み続けたい」と回答した比率は80.3%である。

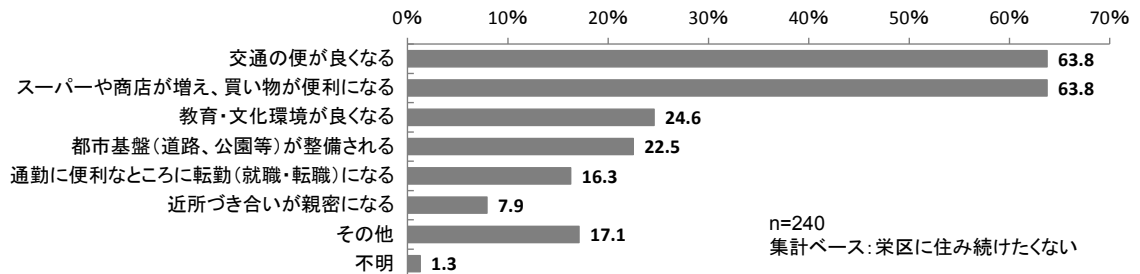
問3 現在お住まいの地域に住み続けたいですか。



② 定住のために必要なこと

- 「交通の便が良くなる」、「スーパーや商店が増え、買い物が便利になる」が6割を超え、他の項目を大きく上回る。

問3-1 住み続けたいと思うようになるには、どのようなことが必要とお考えになりますか。(〇は3つまで)

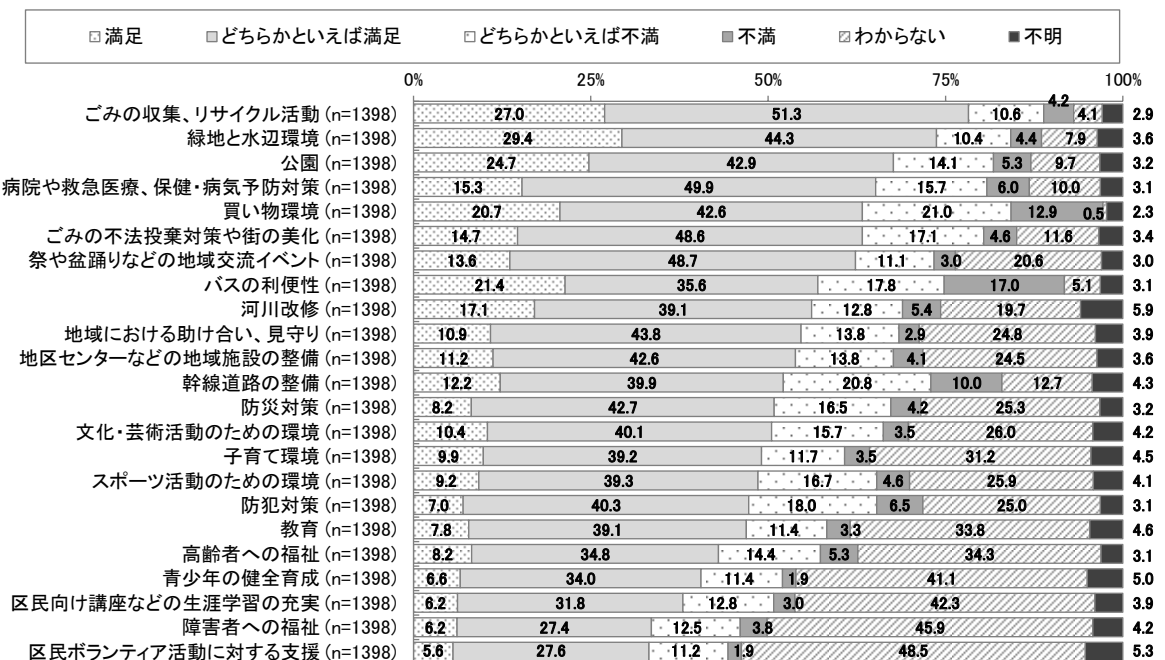


3. 生活意識 :

① 生活環境への満足度 :

- 「満足」、「どちらかといえば満足」の合計が最も高いのは「ごみの収集、リサイクル活動」で、「緑地と水辺環境」、「公園」、「病院や救急医療、保健・病気予防対策」、「買い物環境」、「ごみの不法投棄対策や街の美化」が続く。

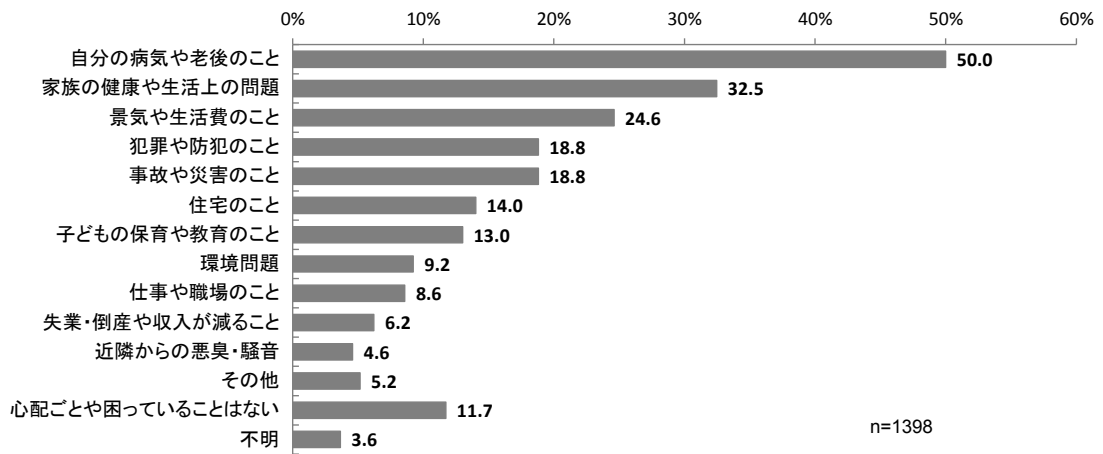
問4 以下の項目について、どの程度満足していますか。



② 心配ごとや困っていること：

- ・ 「自分の病気や老後のこと」が 50.0%で最も多く、次いで「家族の健康や生活上の問題」(32.5%)、「景気や生活費のこと」(24.6%) の順である。

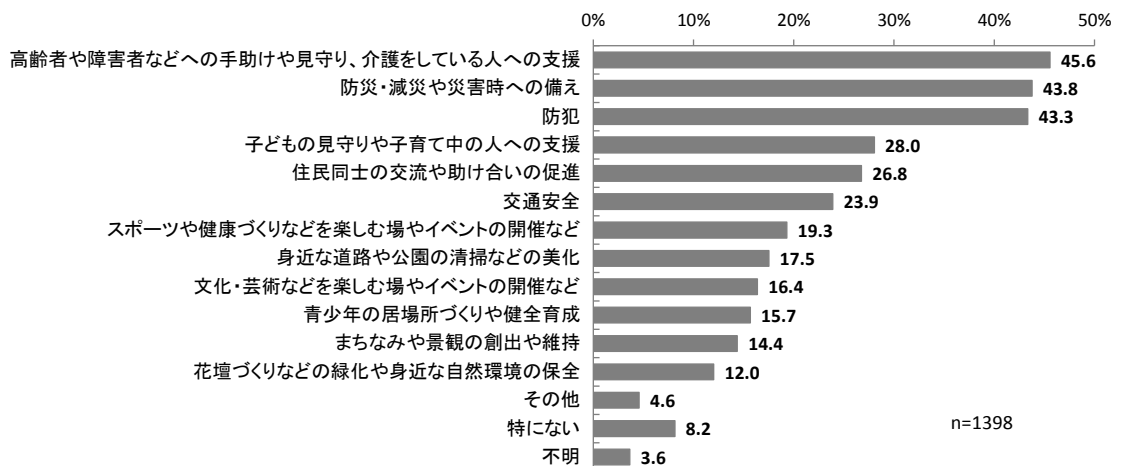
問5 近頃、ご自身やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。(〇は3つまで)



③ 取り組むべき課題：

- ・ 「高齢者や障害者などへの手助けや見守り、介護をしている人への支援」が 45.6%で最も多くあげられている。「防災・減災や災害時への備え」、「防犯」が続き、4 割を超えている。

問6 お住まいの地域で、取り組むべき課題にはどのようなものがあると思いますか。(〇はいくつでも)

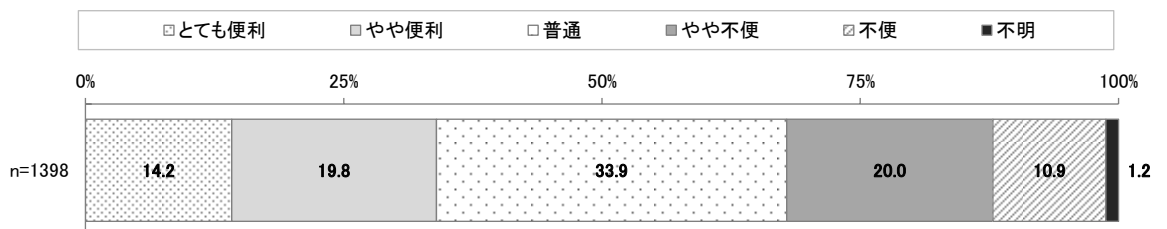


4. 道路・交通について：

① 道路・交通について：

- ・ 34.0%が「とても便利」、「やや便利」と回答している。「やや不便」、「不便」の合計は 30.9%で、『便利』と『不便』がほぼ同じ割合で拮抗している。

問7 お住まいの地域の道路・交通環境や利便性はいかがですか。

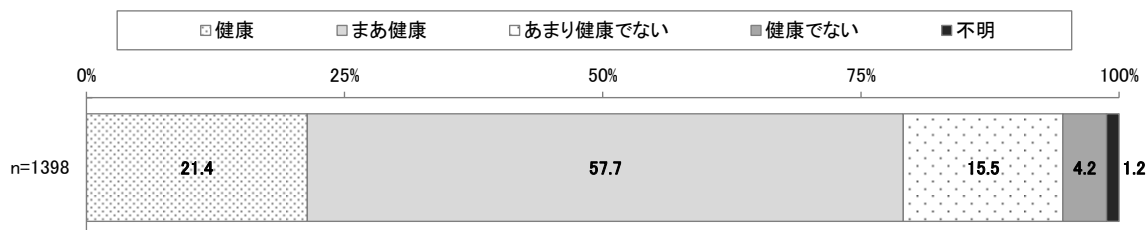


5. 健康福祉について：

① 健康状態：

- ・ 「健康」、「まあ健康」の合計の割合は8割弱に達し、「あまり健康でない」、「健康でない」の合計を大きく上回る。

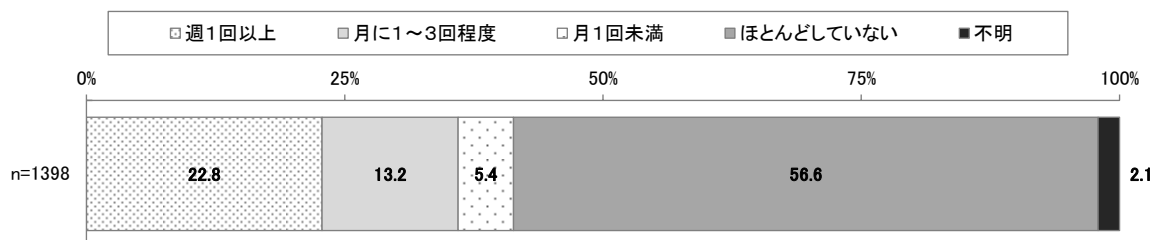
問8 現在のご自身の健康状態について、どのように思いますか。



② スポーツ頻度：

- ・ 「週に1回以上」の割合は22.8%、「ほとんどしていない」は56.6%である。

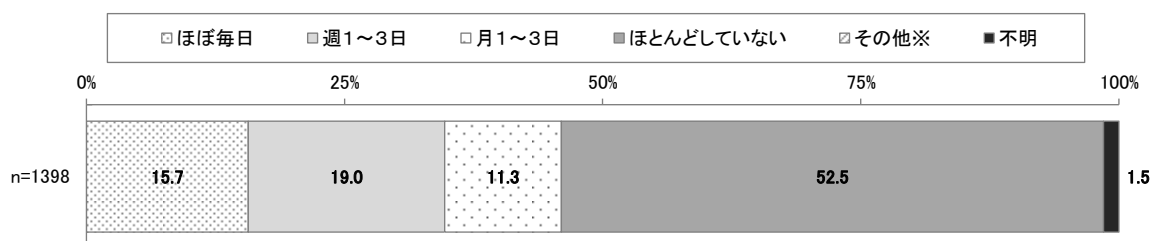
問9 どのくらいの頻度でスポーツをしていますか。



③ ウォーキング頻度：

- ・ 「ほぼ毎日」の割合は15.7%、「週1~3回」を合わせると34.7%である。「ほとんどしていない」は52.5%である。

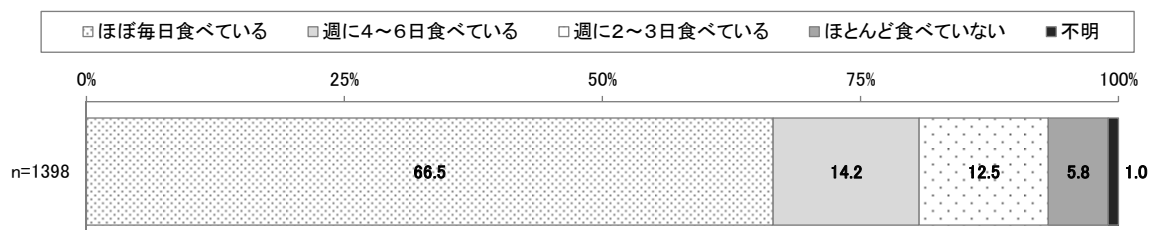
問10 日常の外出以外で、健康のためにどのくらいウォーキングをしていますか。



④ 1日2回以上の食事：

- ・ 「ほぼ毎日食べている」が66.5%で、「ほとんど食べていない」は5.8%である。

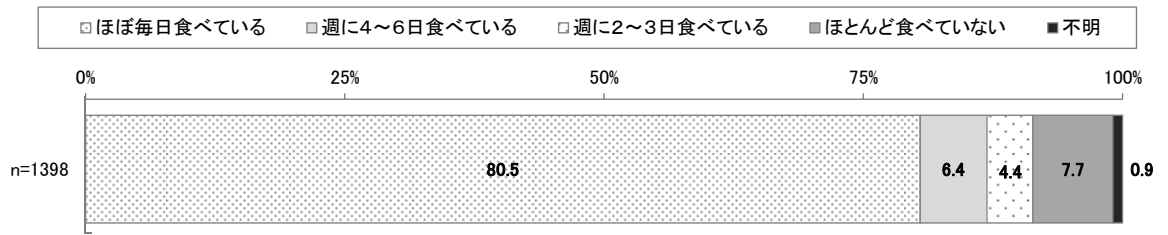
問11 1日2回以上、主食・主菜・副菜すべてを食べるのは週に何回ありますか。



⑤ 朝食：

- ・ 「ほぼ食べている」が80.5%で、「ほとんど食べていない」は7.7%である。

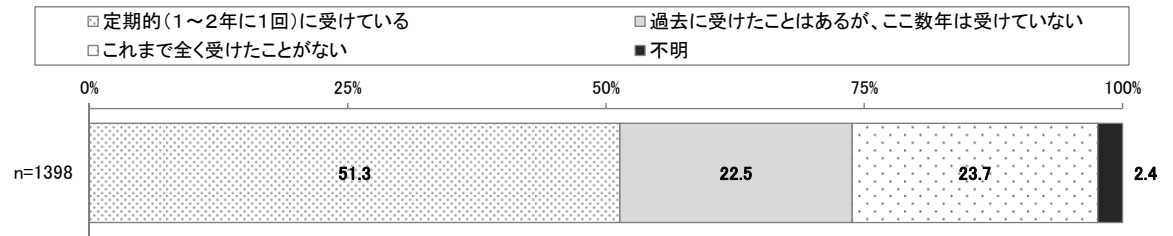
問12 朝食を週にどのくらい食べていますか。



⑥ がん検診：

- ・ 「定期的（1～2年に1回）に受けている」が51.3%で、「これまで全く受けたことがない」は23.7%である。

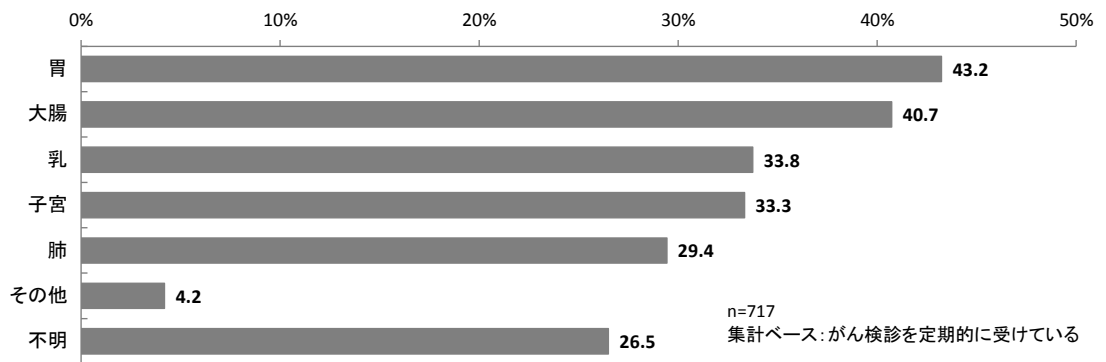
問13 がん検診を受けていますか。



⑦ がん検診部位：

- ・ 全体では「胃」が43.2%で最も多く、「大腸」、「乳」、「子宮」が続く。

問13 がん検診を受けている部位はどこですか。(〇はいくつでも)

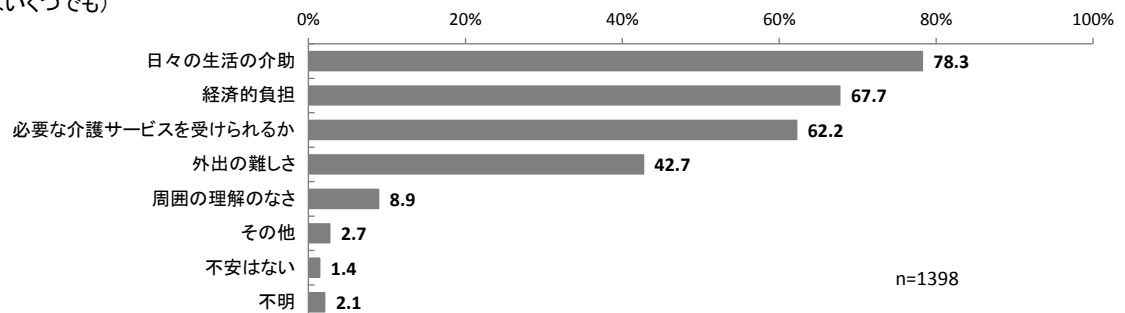


⑧ 介護に対する不安

- ・ 「日々の生活の介助」が78.3%で最も高い。「経済的負担」、「必要な介護サービスを受けられるか」が続く、6割を超えている。

問14 もしご自身やご家族が病気や障害で介護が必要な状況だったとしたら、どんなことが不安だと思いますか。

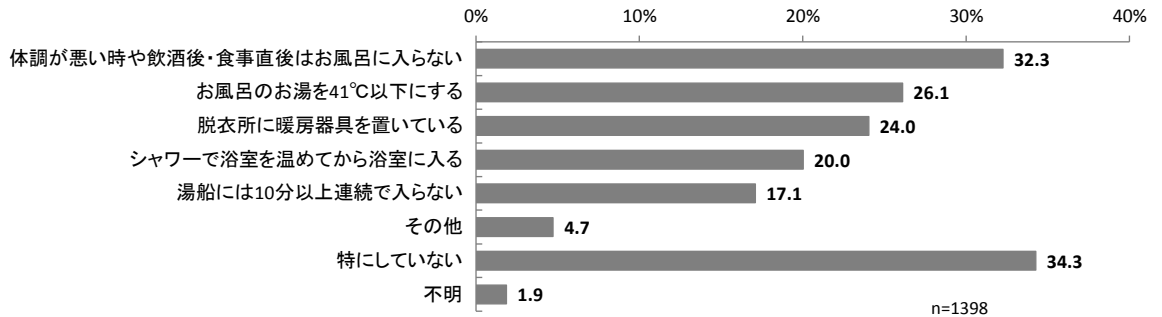
(〇はいくつでも)



⑨ 「ヒートショック」の対策について

- 「体調が悪い時や飲酒后・食事直後はお風呂に入らない」が32.3%で最も高い。「お風呂のお湯を41℃以下にする」、「脱衣所に暖房器具を置いている」、「シャワーで浴室を温めてから浴室に入る」が続き、2割を超えている。

問15 「ヒートショック」の対策をしていますか。(〇はいくつでも)

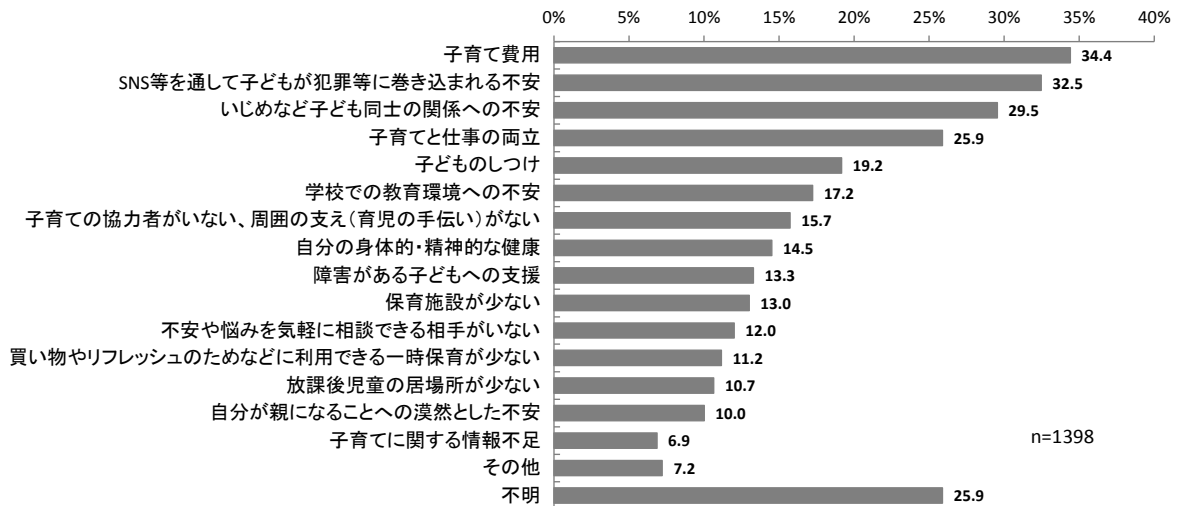


6. 子育てについて：

① 子育てについての課題や不安

- 「子育て費用」が34.4%で最も高い。次いで「SNS等を通して子どもが犯罪等に巻き込まれる不安」(32.5%)、「いじめなど子ども同士の関係への不安」(29.5%)、「子育てと仕事の両立」(25.9%)の順である。

問16 子育てについて、課題や不安となることは何だと思えますか。(〇はいくつでも)

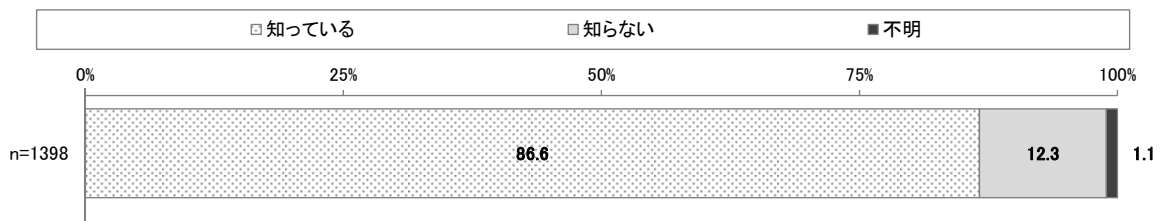


7. 防災について

① 地区の避難所の場所の認知：

- 地区の避難所の場所を「知っている」割合は86.6%である。

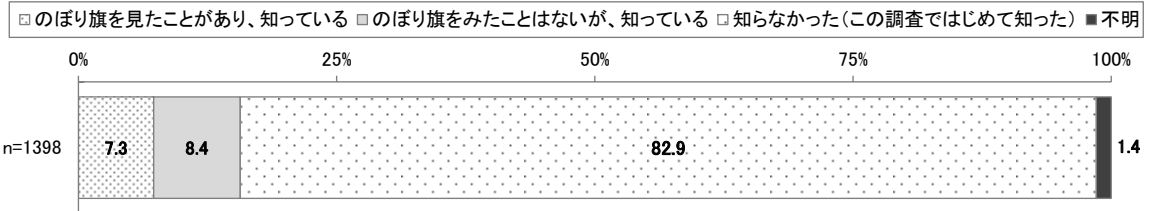
問17 ご自身の住む地区の避難所がどこかを知っていますか。



② のぼり旗を掲出することの認知：

- ・ のぼり旗を掲出することを「知らなかった（この調査ではじめて知った）」割合は 82.9%である。「のぼり旗を見たことがあり、知っている」、「のぼり旗をみたことはないが、知っている」を合わせた『知っている』割合は 15.7%である。

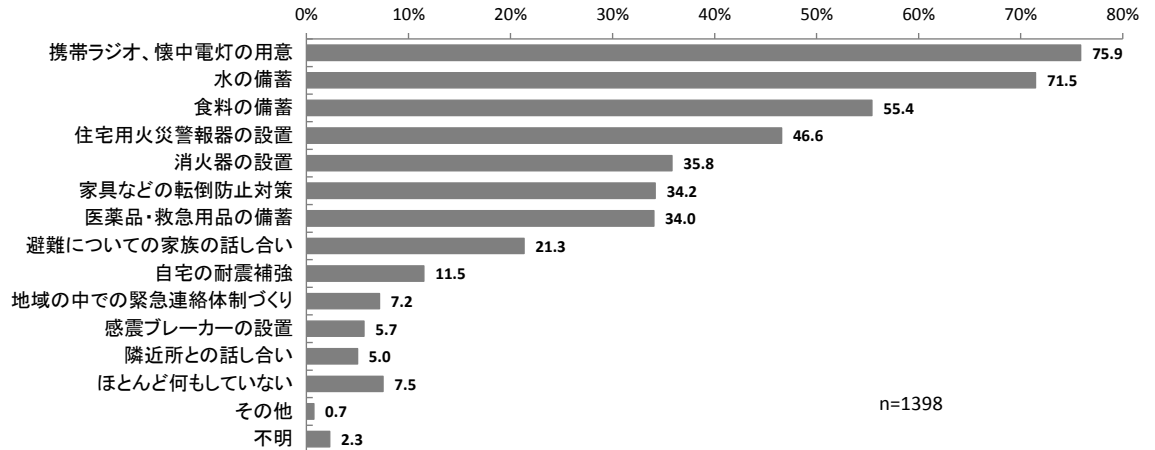
問18 災害時、開設する医療機関は、のぼり旗を掲出することを知っていますか。



③ 災害に対する備え：

- ・ 「携帯ラジオ、懐中電灯の用意」が 75.9%で最も高い。次いで「水の備蓄」(71.5%)、「食料の備蓄」(55.4%) の順である。

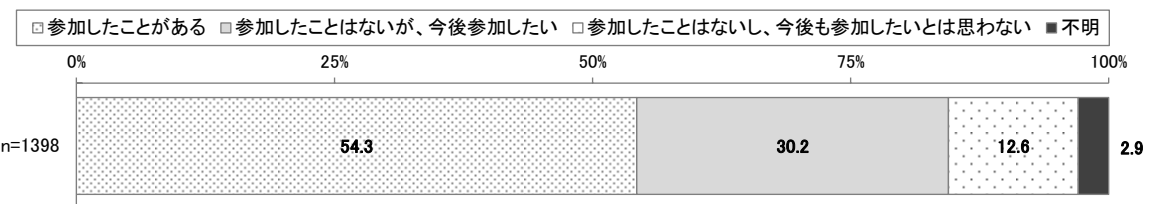
問19 あなたの家では、震災等の災害に対する備えをしていますか。(〇はいくつでも)



④ 防災訓練への参加：

- ・ 「参加したことがある」は 54.3%で、「参加したことはないが、今後参加したい」は 30.2%である。一方、「参加したことはないし、今後も参加したいとは思わない」は 12.6%である。

問20 防災訓練に参加したことがありますか。

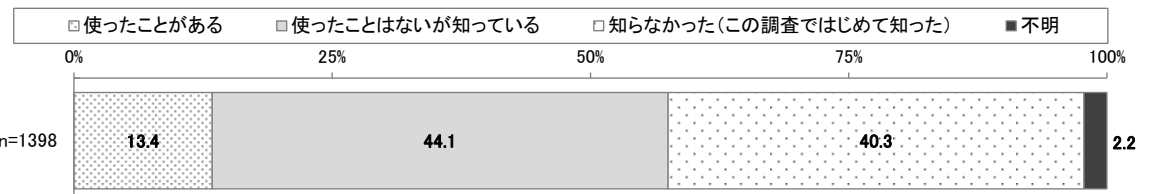


8. 救急について：

① 横浜市救急相談センター認知：

- ・ 「使ったことがある」は 13.4%、「使ったことはないが知っている」は 44.1%で、合計の認知率は 6 割弱である。

問21 救急車を呼ぶか迷ったときの救急相談電話、#7119(横浜市救急相談センター)を知っていますか。

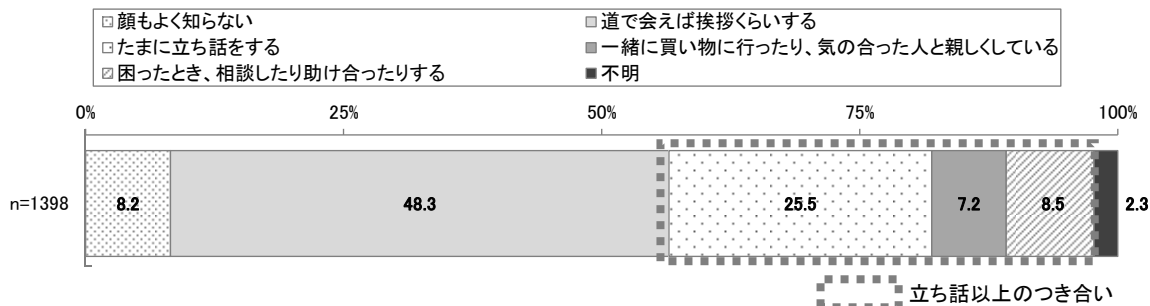


9. 地域のつながりについて：

① 隣近所とのつき合い方：

- ・ 「道で会えば挨拶くらいする」は48.3%、「たまに立ち話をする」は25.5%である。『立ち話以上のつき合い』は41.2%である。

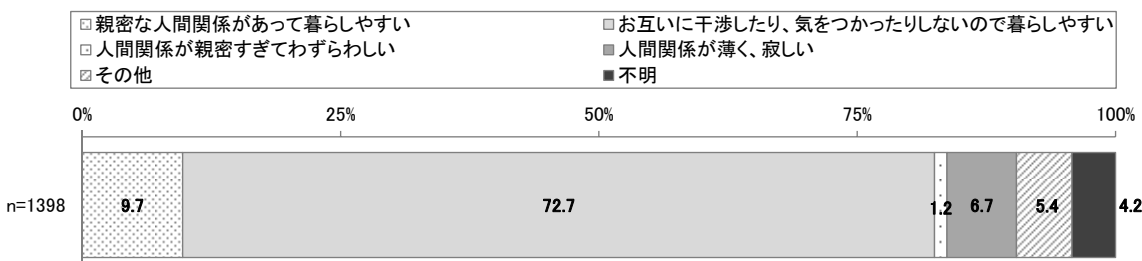
問22 隣近所とどのようなつき合い方をしていますか。



② 隣近所のつき合いについて感じること：

- ・ 「お互いに干渉したり、気をつかたたりしないので暮らしやすい」と感じている割合が72.7%で最も多い。「親密な人間関係があって暮らしやすい」は9.7%である。「人間関係が薄く、寂しい」と感じている人も6.7%いる。

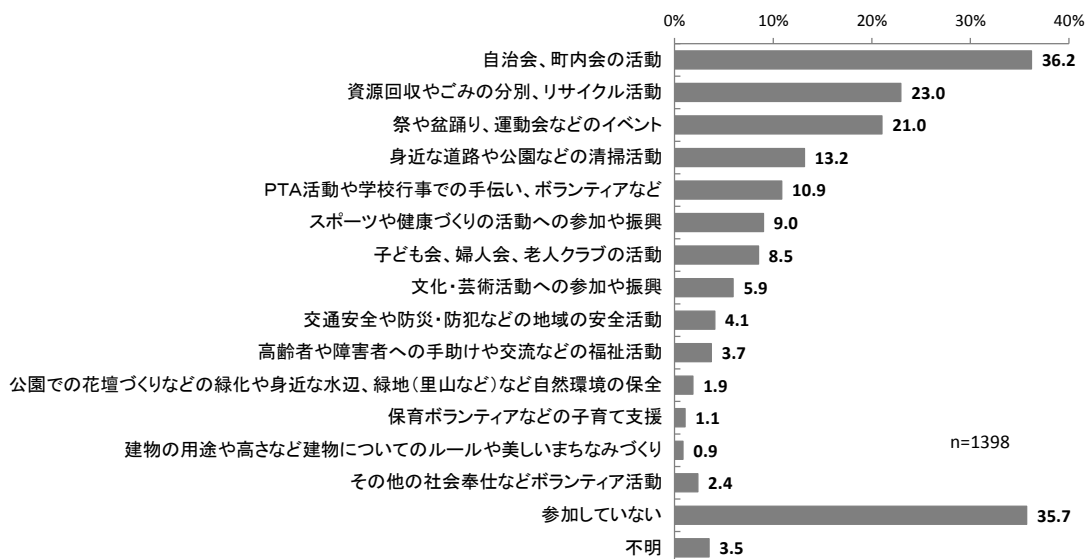
問23 隣近所とのつき合いについてどのように感じていますか。



③ 地域活動への参加

- ・ 「自治会、町内会の活動」が36.2%で最も多く、次いで「資源回収やごみの分別、リサイクル活動」(23.0%)、「祭や盆踊り、運動会などのイベント」(21.0%)と2割を超えている。

問24 あなたはどのような地域活動に参加していますか。(〇はいくつでも)

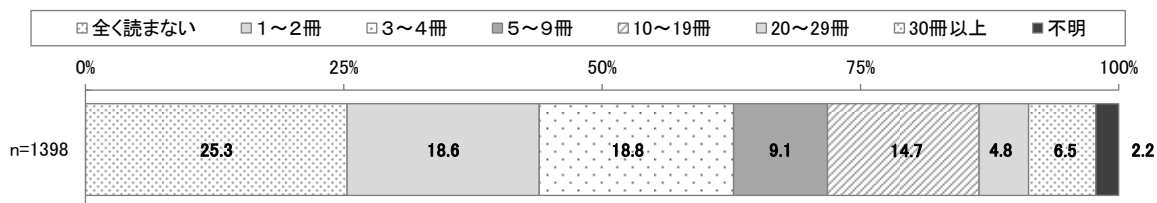


10. 読書

① 1年間に読む本：

- ・ 「全く読まない」が25.3%である。「3～4冊」、「1～2冊」がそれぞれ2割弱で続く。

問25 過去1年間に何冊くらい本(電子書籍を含む)を読みましたか。※雑誌、漫画を除く

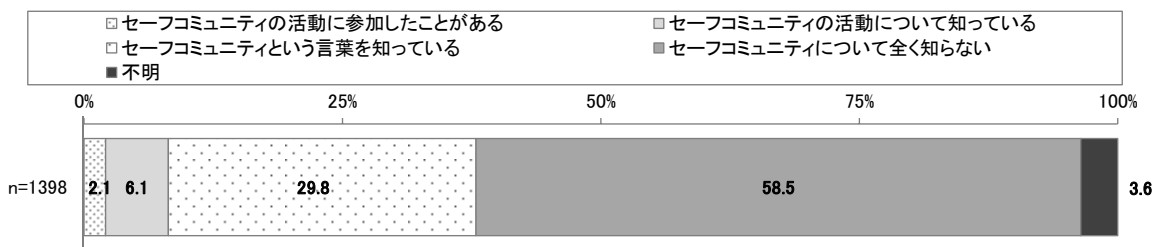


11. セーフコミュニティについて：

① セーフコミュニティの認知：

- ・ 「全く知らない」が58.5%を占めている。「言葉を知っている」は29.8%、「参加したことがある」は2.1%に留まる。

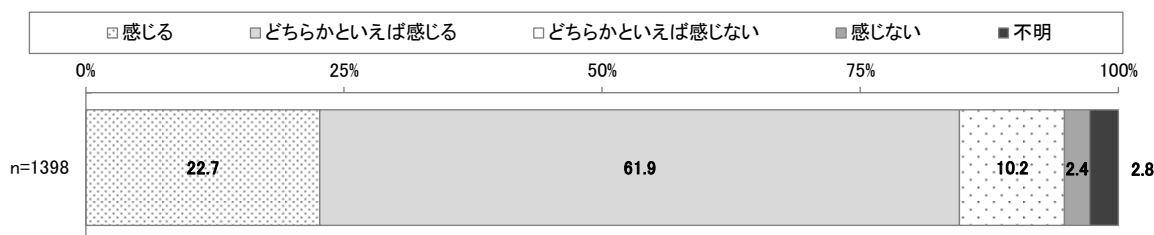
問26 「セーフコミュニティ」について、どの程度知っていますか。



② 安全なまちだと感じるか：

- ・ 安全なまちだと「感じる」割合は22.7%で、「どちらかといえば感じる」を合わせると84.6%が安全だと感じている。

問27 栄区は安全・安心なまちだと感じますか。



令和元年度 栄区民意識調査

結果報告書

(詳細版)

令和2年1月

横浜市栄区役所



目次

1. 調査の概要	P.2
2. 回答者の属性	P.4
3. 集計分析結果	P.9
1. 生活の満足度について	P.10
2. 定住意向について	P.21
3. 生活意識について	P.32
4. 道路・交通について	P.65
5. 健康・福祉について	P.68
6. 子育てについて	P.84
7. 防災について	P.88
8. 救急について	P.99
9. 地域のつながりについて	P.101
10. 読書について	P.112
11. セーフコミュニティについて	P.114
4. 参考資料(調査票)	P.119

1. 調査の概要

調査概要

【調査の目的】

栄区民のみなさんが暮らしの中で感じる満足や不安、生活スタイル、地域のつながりなどの意識を把握し、今後の区政を進める基礎資料として活用する。

【調査対象】

栄区内に居住する20歳以上の男女3,000人

【抽出方法】

住民基本台帳からの無作為抽出

【調査方法】

郵送配布、郵送回収

【調査期間】

令和元年11月18日～12月6日

【回収数】

1,398件（回収率46.6%）

【集計結果の見方】

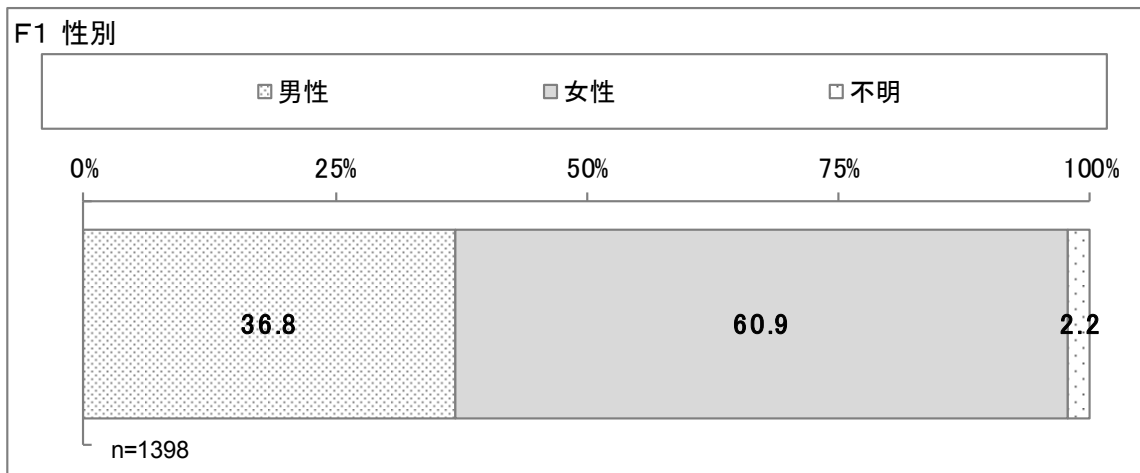
1. 図(グラフ)の中で使用されている「n=〇〇」は、その設問に対する回答者数をあらわす。
2. 回答の比率(すべて百分率(%))で表示)は、その設問の回答者数を基数(件数)として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると100%を超える場合がある。また、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合がある。
3. 項目をまとめてひとつのカテゴリにする場合(例えば問1など)、各回答項目の回答者数の合計を基数として%を算出している。各回答項目は小数点第2位以下を四捨五入しているため、回答項目の%の合計と一致しない場合がある。

2. 回答者の属性

回答者の属性

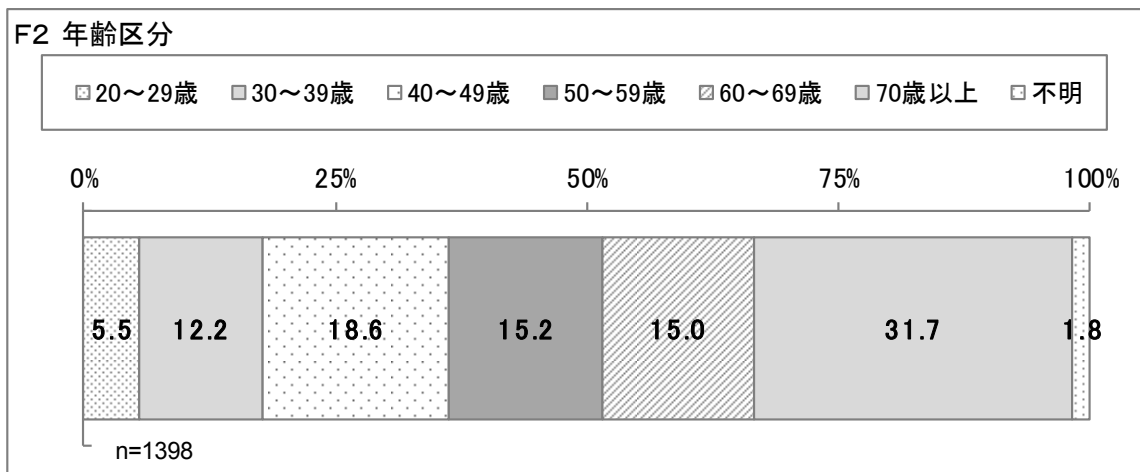
【性別】

- 「女性」が60.9%で、「男性」(36.8%)より24.1ポイント多い。



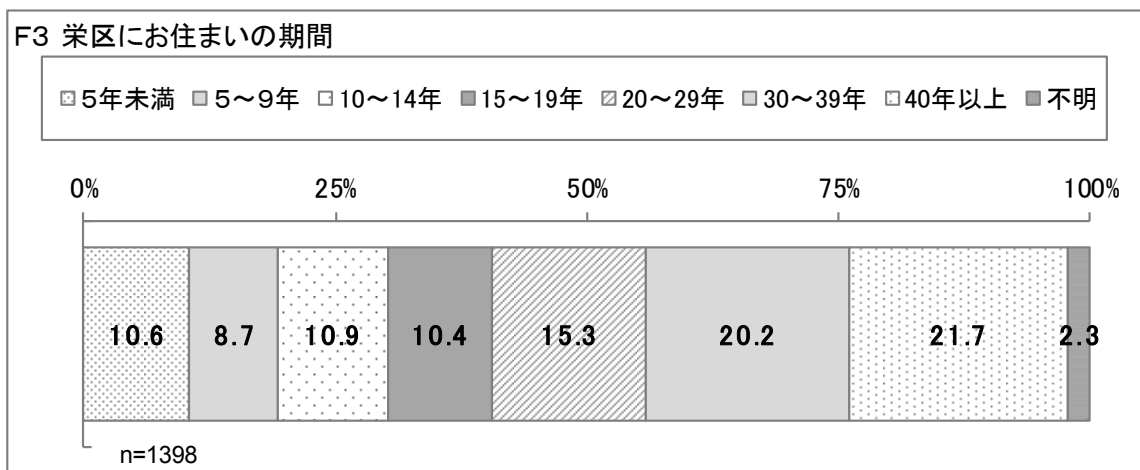
【年齢】

- 「70歳以上」が31.7%で最も多い。「20～29歳」は5.5%で最も少ない。



【居住期間】

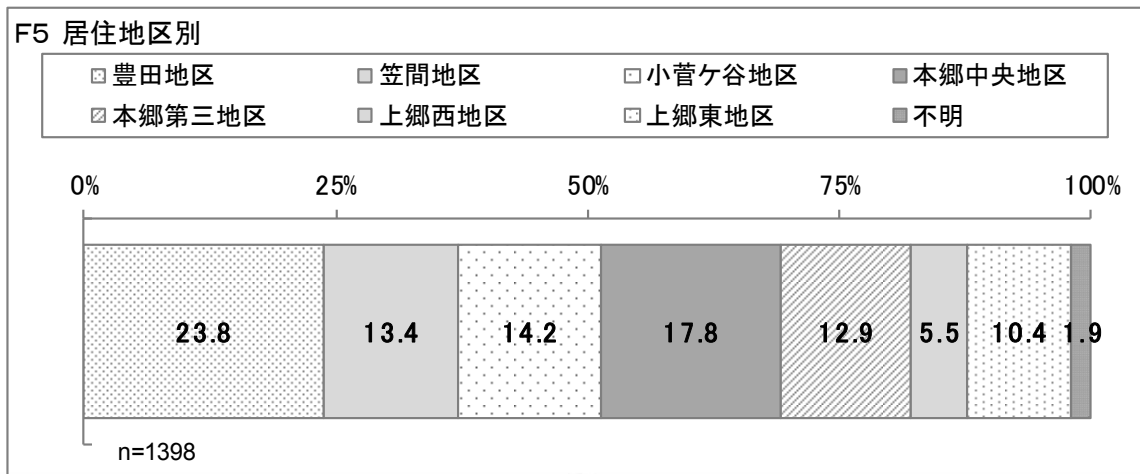
- 「40年以上」が21.7%で最も多く、「30～39年」が20.2%で続く。「20年以上」が全体の6割弱を占める。



回答者の属性

【居住地区】

- 「豊田地区」が23.8%で最も多く、「本郷中央地区」が17.8%で続く。「上郷西地区」が5.5%で最も少ない。

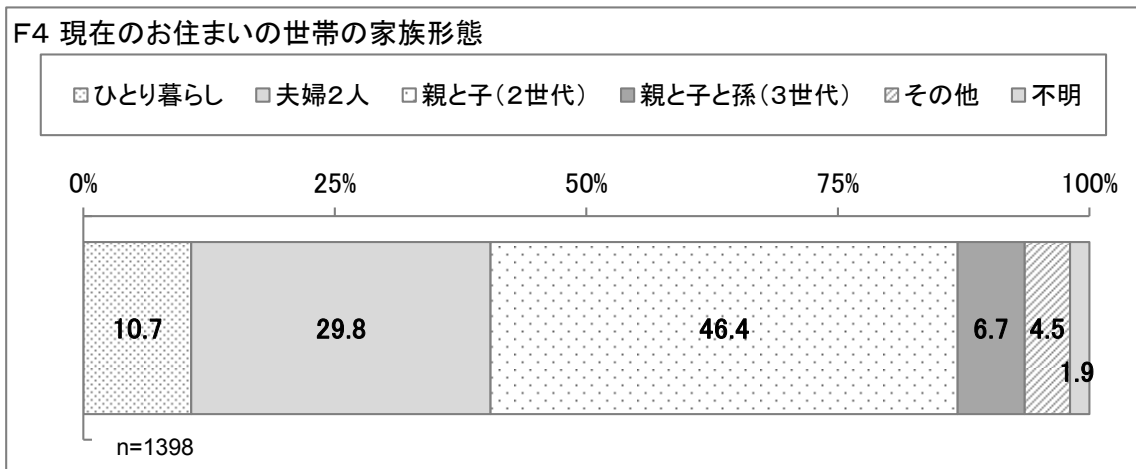


豊田地区: 飯島町、金井町、田谷町、長尾台町、長沼町、本郷台一丁目～五丁目
笠間地区: 笠間町、笠間一丁目～五丁目
小菅ヶ谷地区: 小菅ヶ谷町、小菅ヶ谷一丁目～四丁目、小山台一丁目～二丁目
本郷中央地区: 桂台北、桂台中、桂台西一丁目～二丁目、桂台東、桂台南一丁目～二丁目、桂町、公田町
本郷第三地区: 鍛冶ヶ谷町、鍛冶ヶ谷一丁目～二丁目、中野町、柏陽、元大橋一丁目～二丁目、若竹町
上郷西地区: 犬山町、尾月、上之町、亀井町
上郷東地区: 上郷町、庄戸一丁目～五丁目、長倉町、野七里一丁目～二丁目、東上郷町
 ※町界で区分しているため、連合町内会のエリアとは一部異なっている部分があります。

回答者の属性

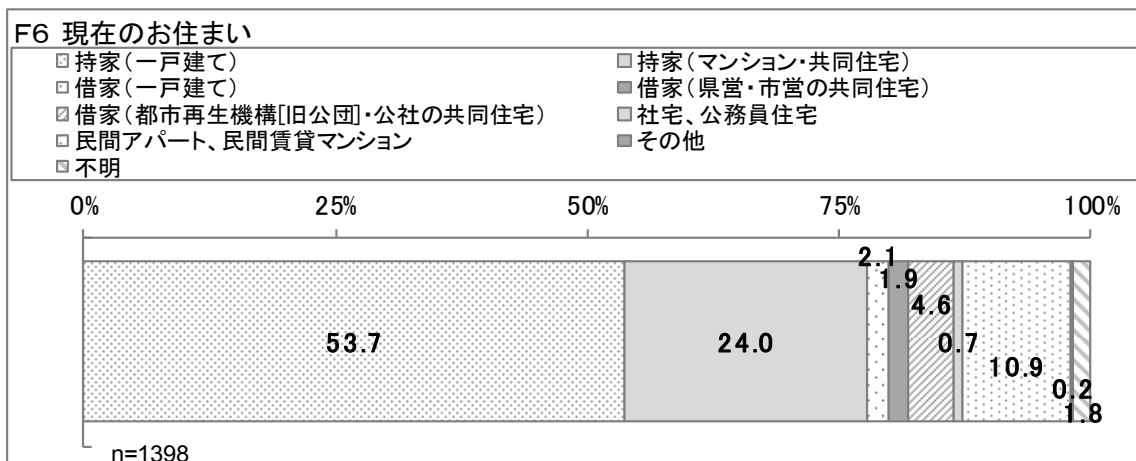
【家族形態】

- 「親と子(2世代)」が46.4%で最も多く、「夫婦2人」が29.8%で続く。「ひとり暮らし」は10.7%。



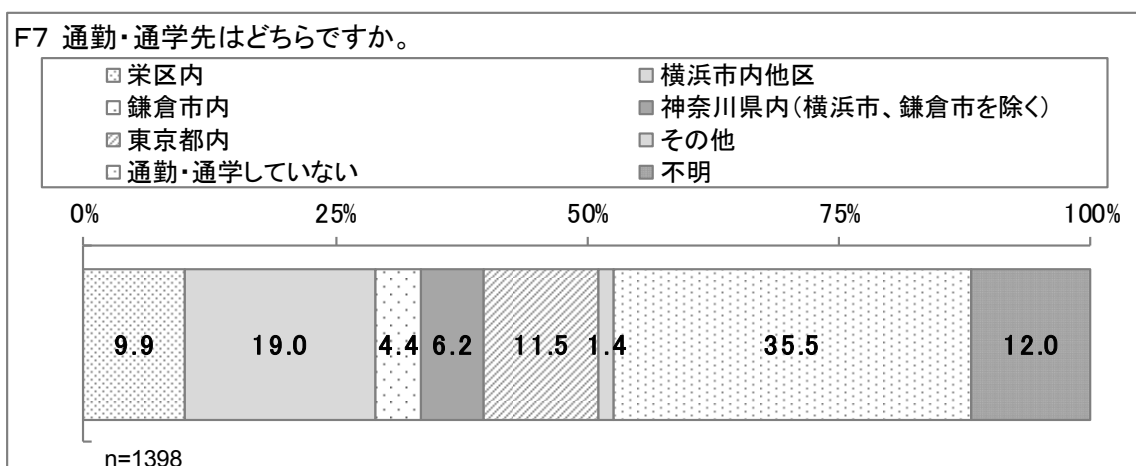
【住居形態】

- 「持家(一戸建て)」が53.7%で最も多い。「持家(マンション・共同住宅)」が24.0%で続き、持家の比率は全体の8割弱を占める。



【主な通勤・通学先】

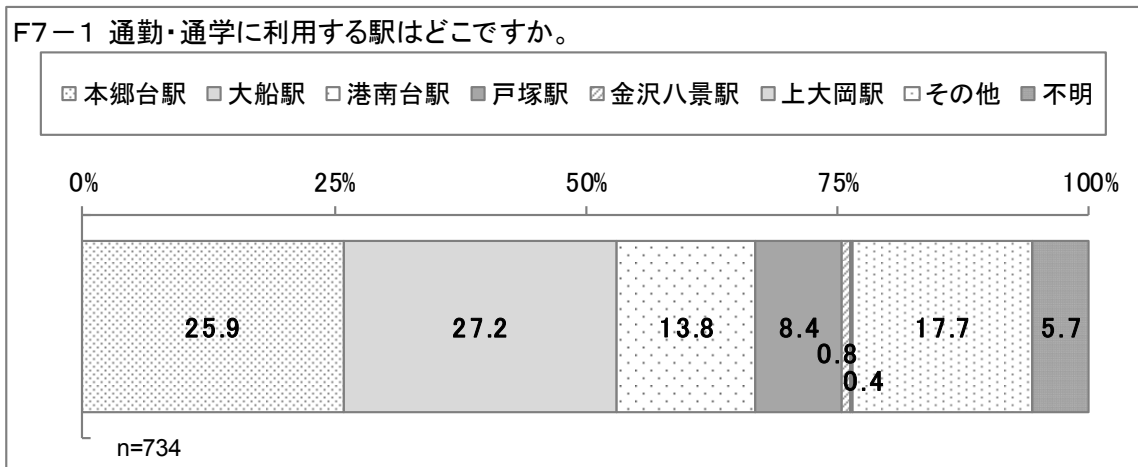
- 「通勤・通学していない」の比率は35.5%。通勤・通学先では「横浜市内他区」が19.0%で、「東京都内」(11.5%)、「栄区内」(9.9%)を上回る。



回答者の属性

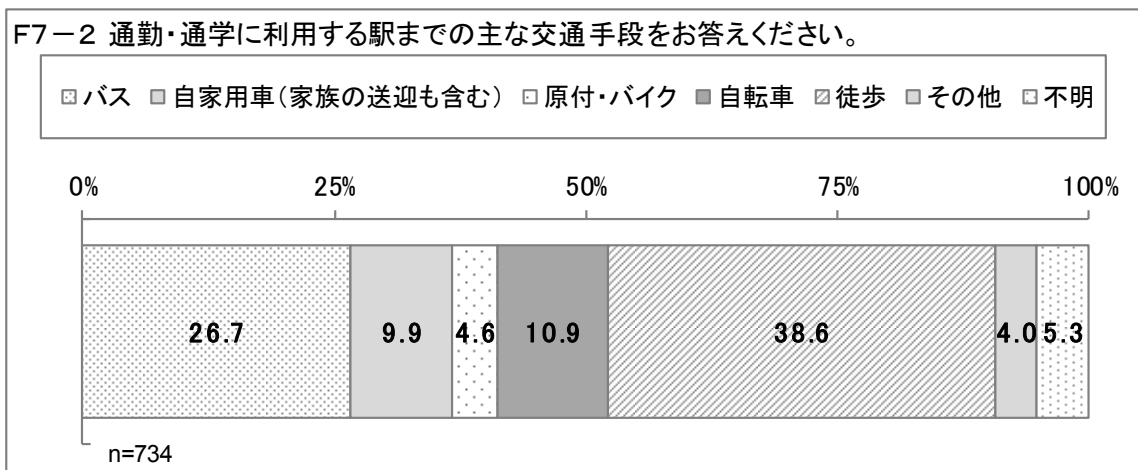
【通勤・通学に利用する駅】

- 「大船駅」が27.2%で最も多く、「本郷台駅」(25.9%)、「港南台駅」(13.8%)が続く。



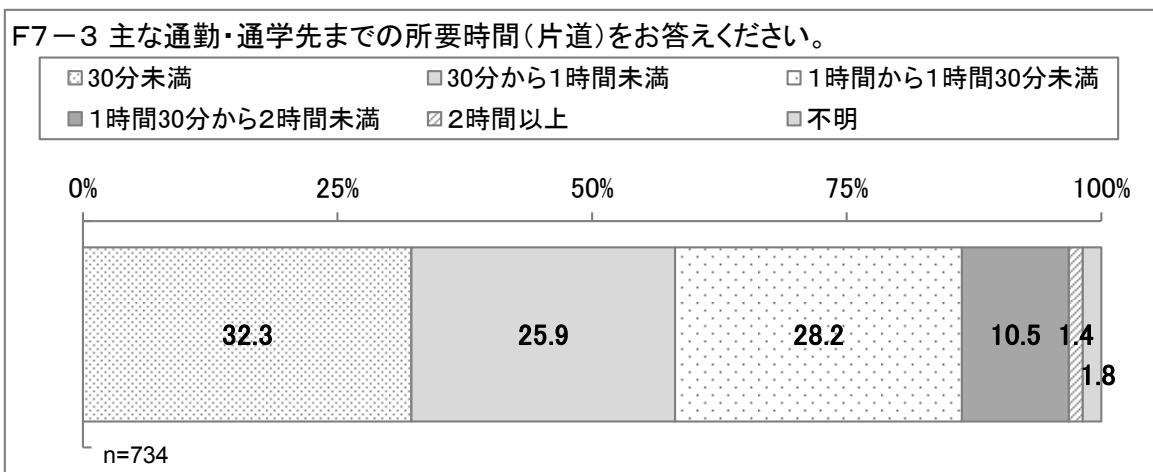
【駅までの交通手段】

- 「徒歩」が38.6%で最も多く、「バス」(26.7%)、「自転車」(10.9%)、「自家用車」(9.9%)が続く。



【通勤・通学の所要時間】

- 「30分未満」が32.3%で最も多い。1時間30分未満の合計で9割弱を占める。

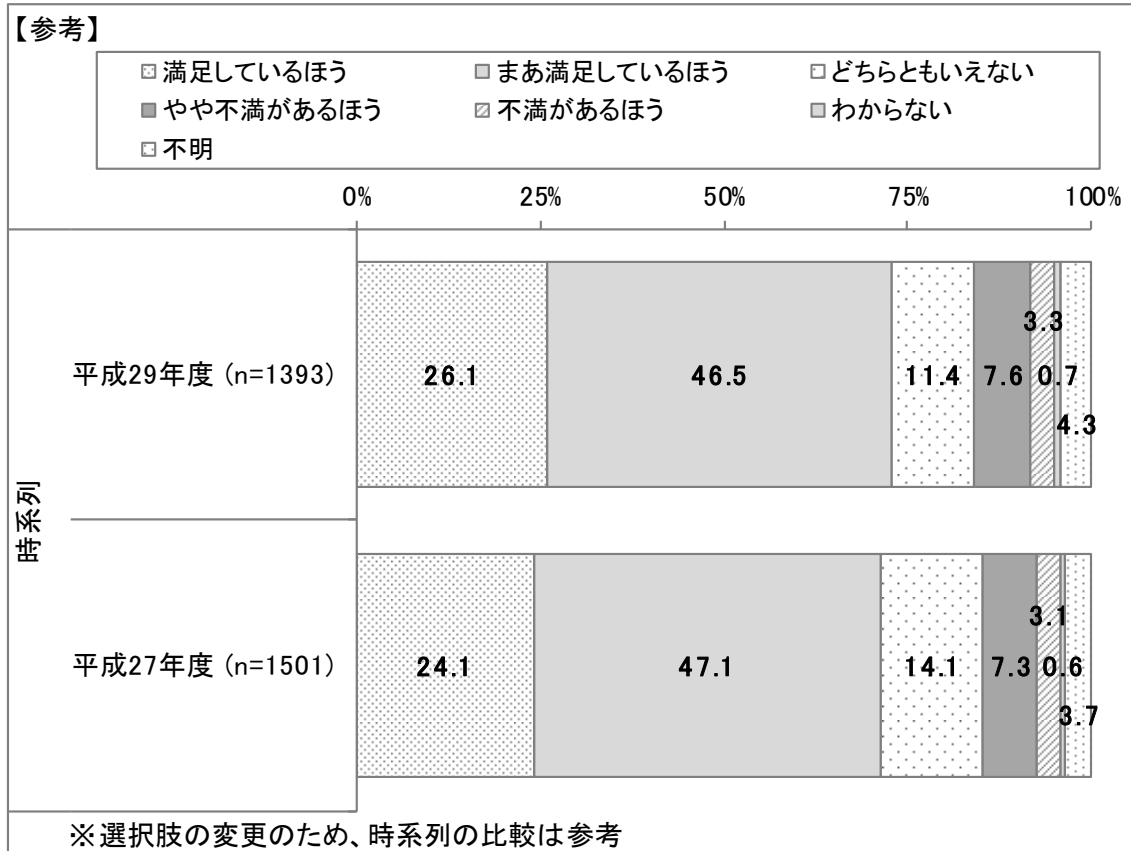
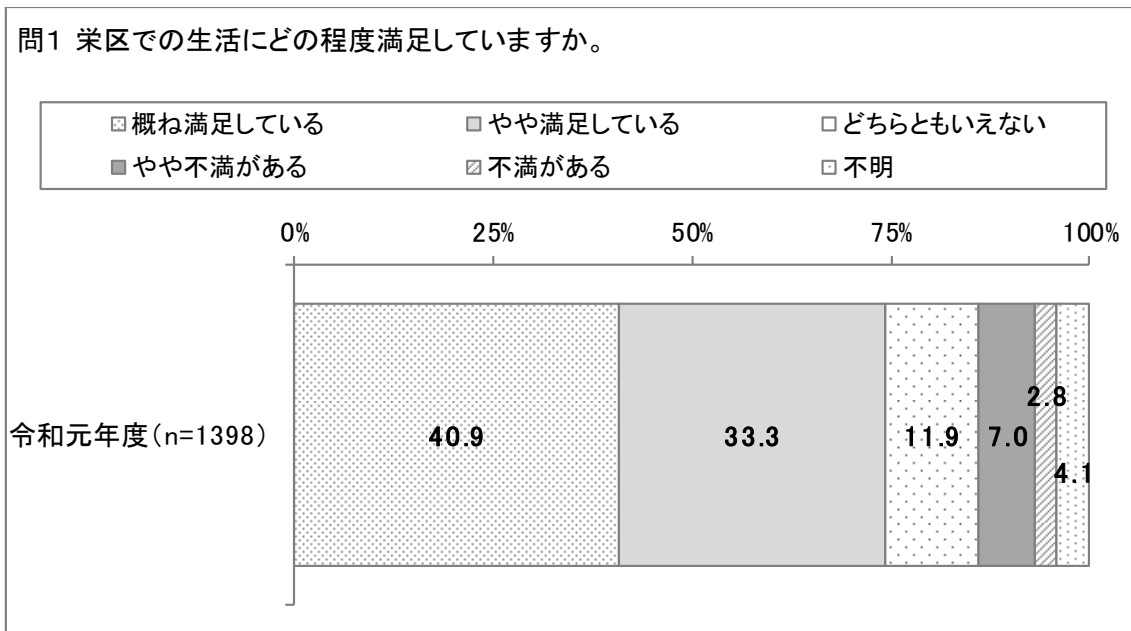


3. 集計分析結果

1. 生活の満足度について

【満足度：全体・時系列】

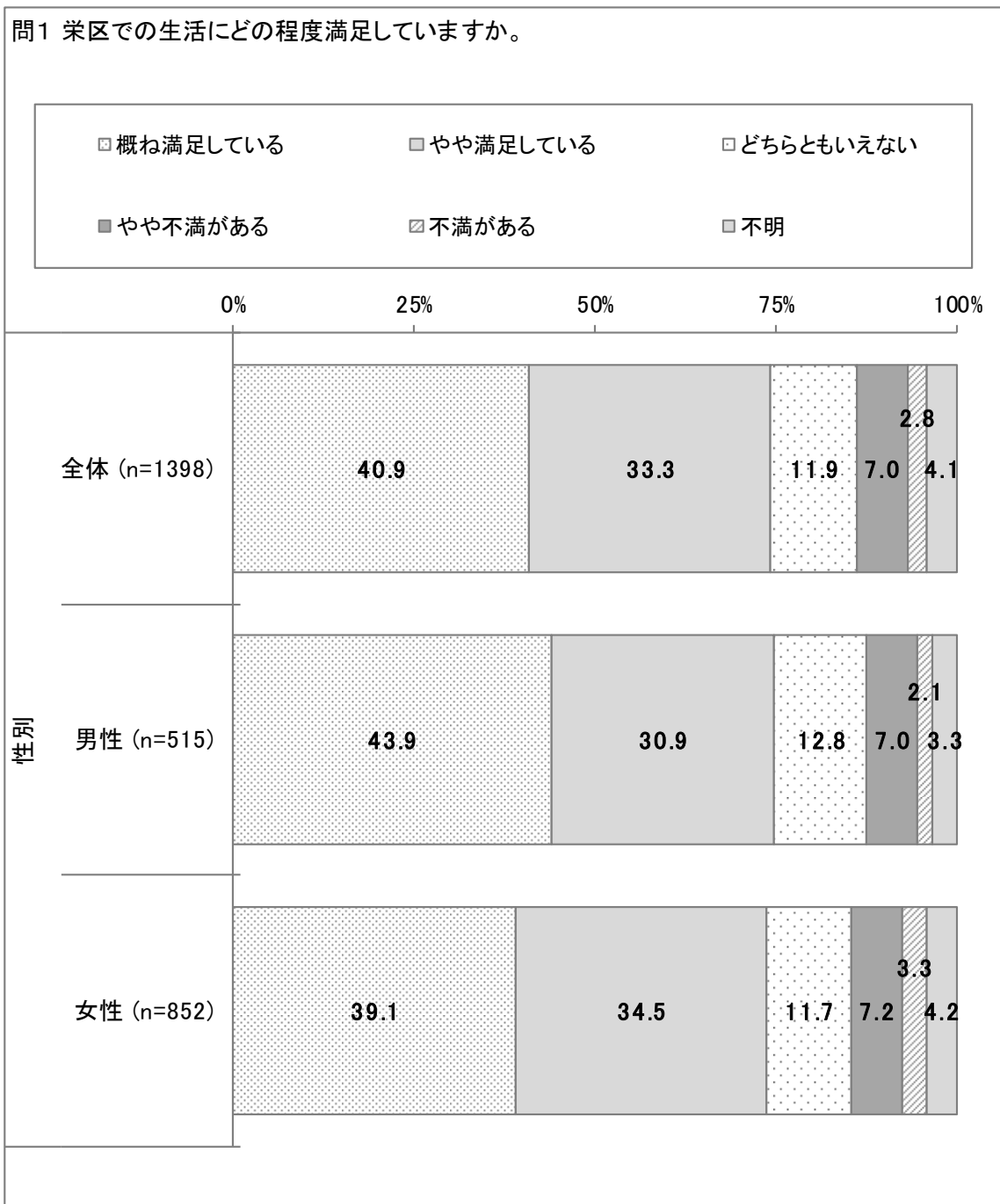
- 「概ね満足している」が40.9%を占め、「やや満足している」(33.3%)を合わせると(以下『満足』) 7割以上が『満足』していると回答している。
 - 一方で「やや不満」、「不満」の合計(以下『不満』)割合は9.8%である。
- ※選択肢の変更のため、時系列の比較は参考。



1. 生活の満足度について

【満足度：性別】

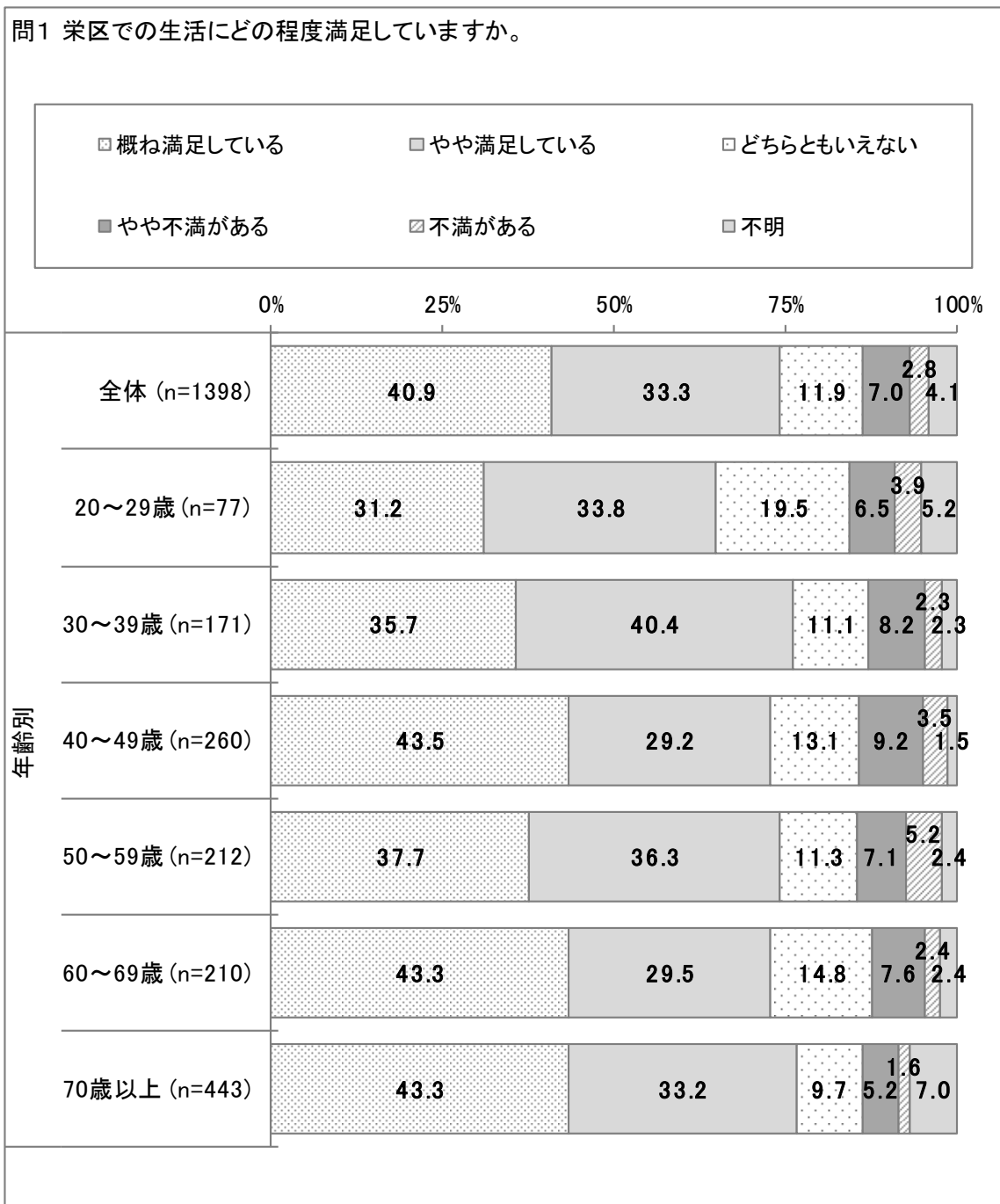
- 「男性」の「概ね満足している」が「女性」に比べてやや高い(4.8ポイント)が、『満足』、『不満』の割合に、男女間で大きな差は見られない。



1. 生活の満足度について

【満足度：年齢別】

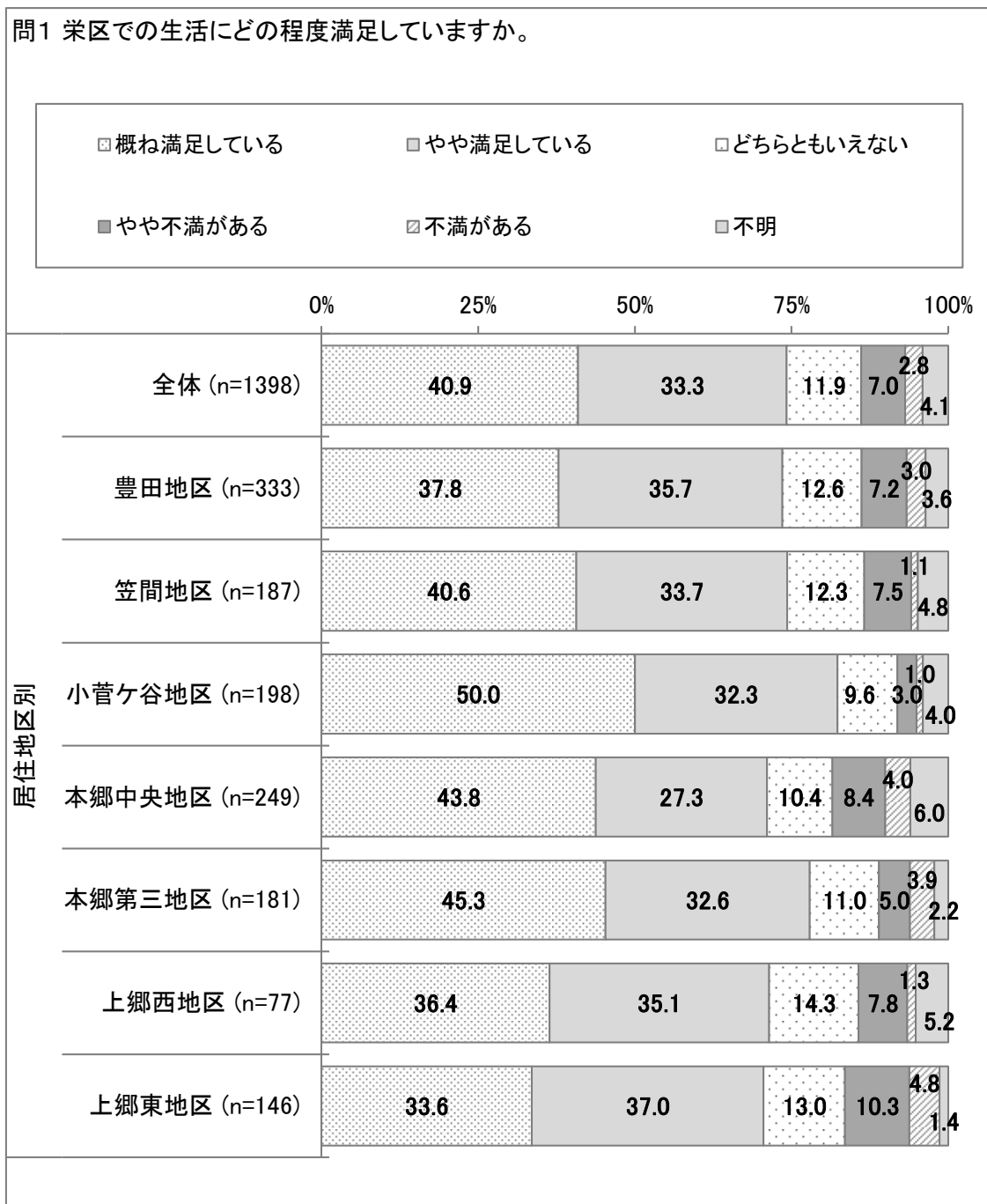
- 「20～29歳」の『満足』が64.9%で、全体より9.3ポイント少ない。



1. 生活の満足度について

【満足度：居住地区別】

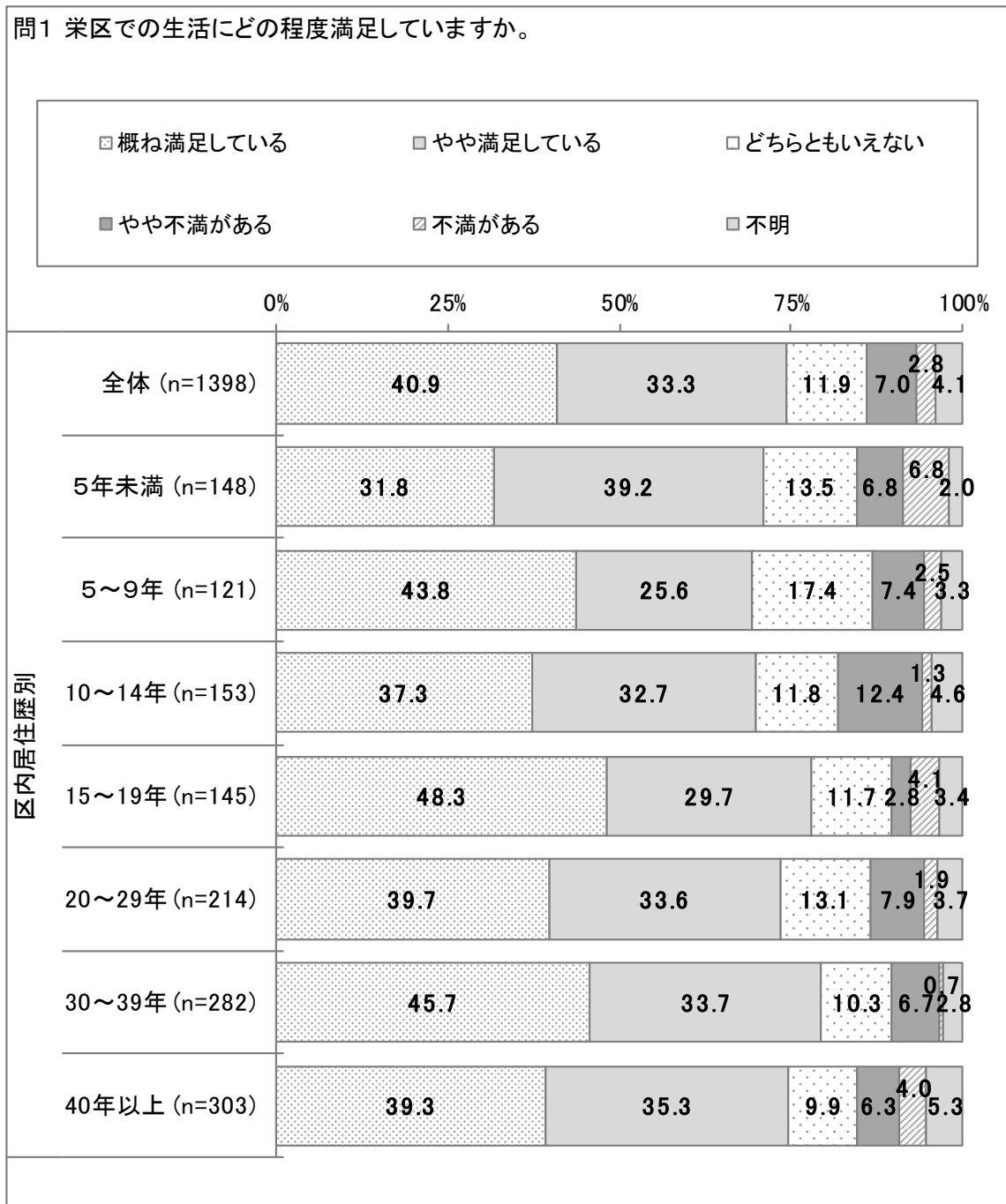
- ・ 「小菅ヶ谷地区」の『満足』の割合が82.3%で全体より8.1ポイント多い。
- ・ 「上郷東地区」は『不満』が15.1%で全体よりも5.3ポイント多い。



1. 生活の満足度について

【満足度：区内居住歴別】

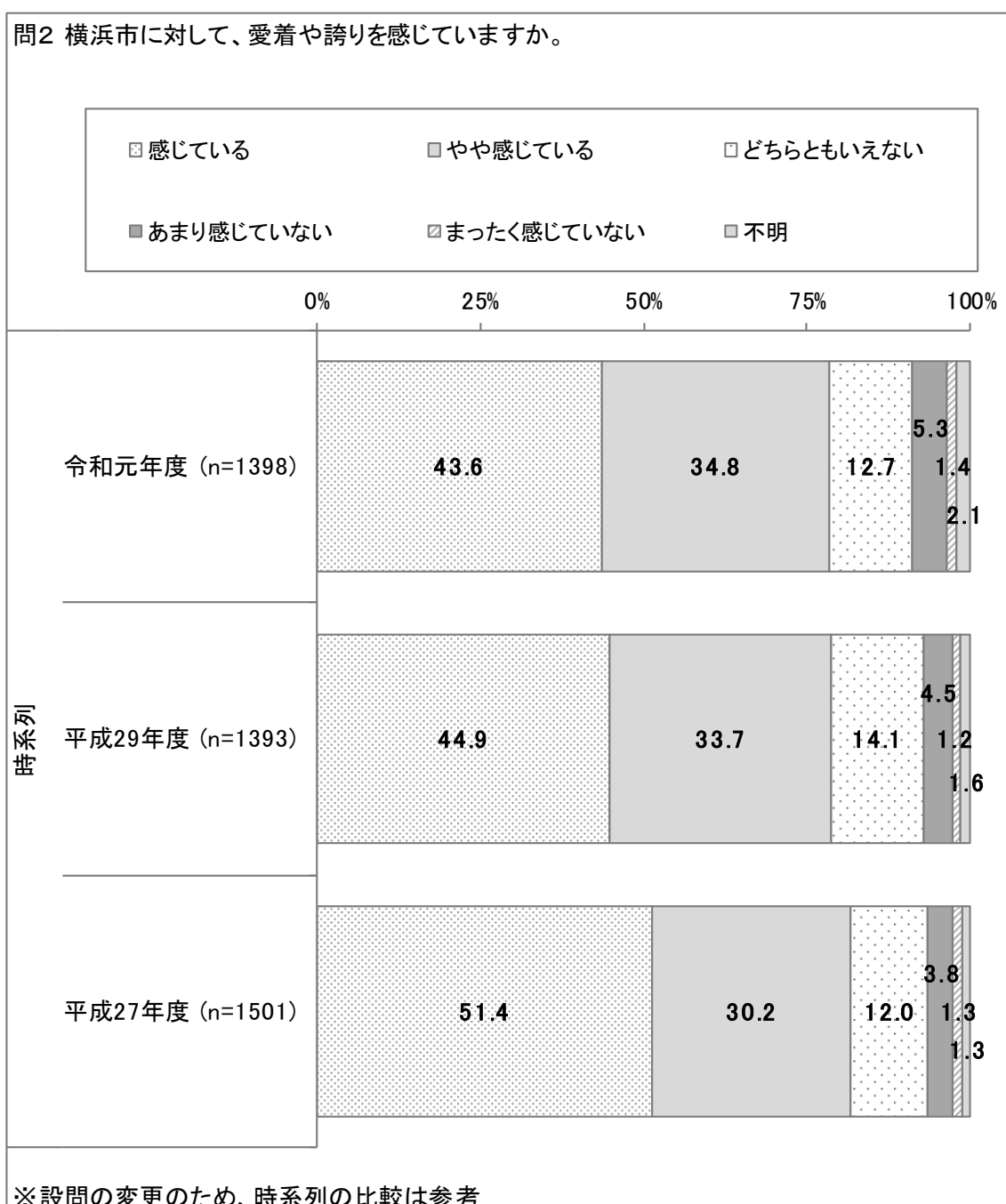
- ・ 「30～39年」の『満足』の割合が79.4%で、全体より5.2ポイント多い。
- ・ 一方、「5年未満」の「概ね満足している」の割合は31.8%で全体より9.1ポイント少ない。



1. 生活の満足度について

【横浜市に対する愛着・誇り：全体・時系列】

- 横浜市に対する愛着や誇りを感じる割合は、「感じている」、「やや感じている」を合わせて(以下『感じている』)78.4%に達する。
- 一方で「あまり感じていない」、「まったく感じていない」の合計(以下『感じていない』)割合は6.7%である。
- 平成27年度、平成29年度と比較すると、「感じている」が微減傾向にある。
 ※設問の変更(「横浜に対して」→「横浜市に対して」)のため、時系列の比較は参考。

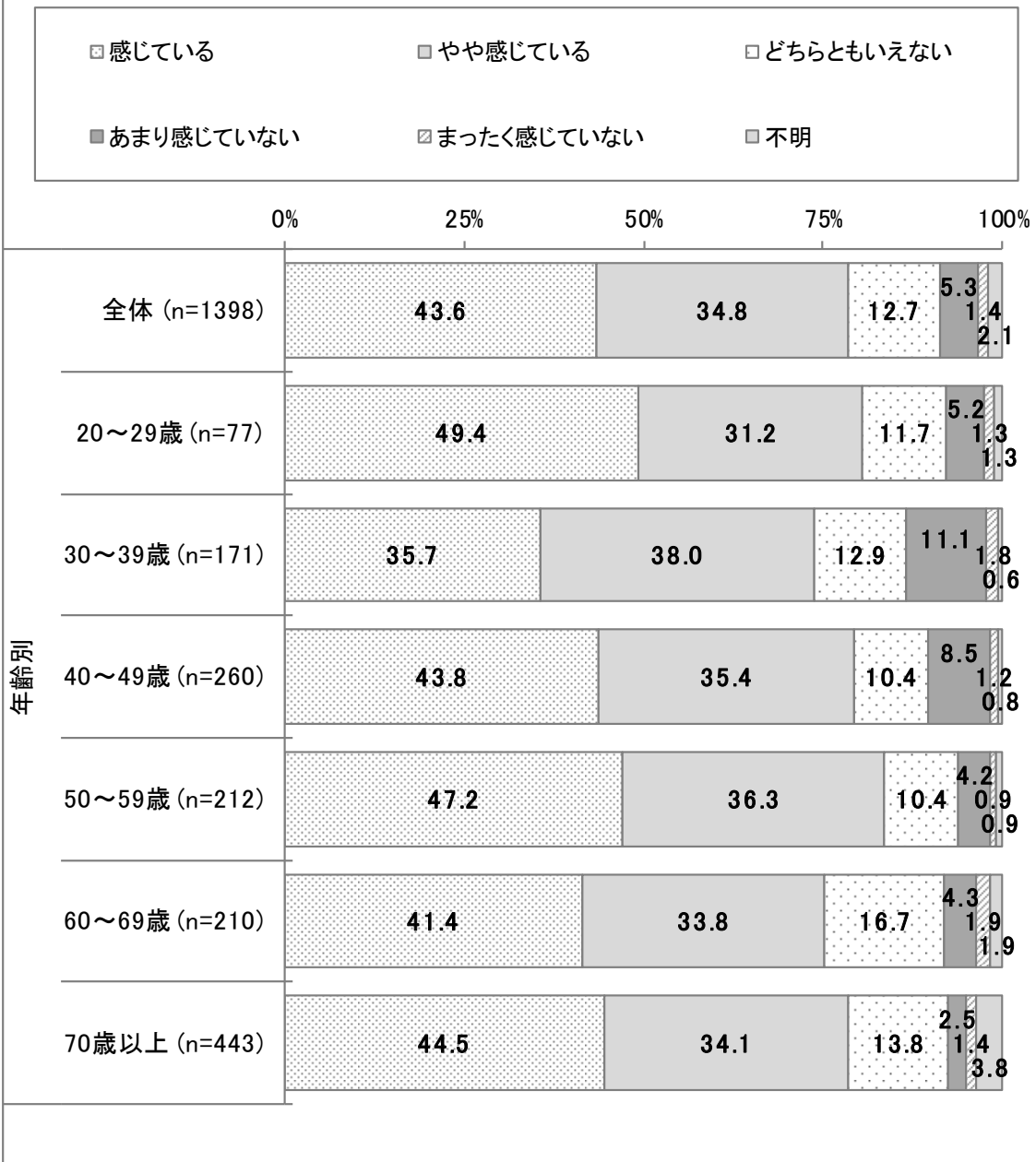


1. 生活の満足度について

【横浜市に対する愛着・誇り：年齢別】

- ・ 年齢別では、「50～59歳」の『感じている』が83.5%で全体より5.1ポイント多い。
- ・ 一方、「30～39歳」の『感じていない』が12.9%で全体より6.2ポイント多い。

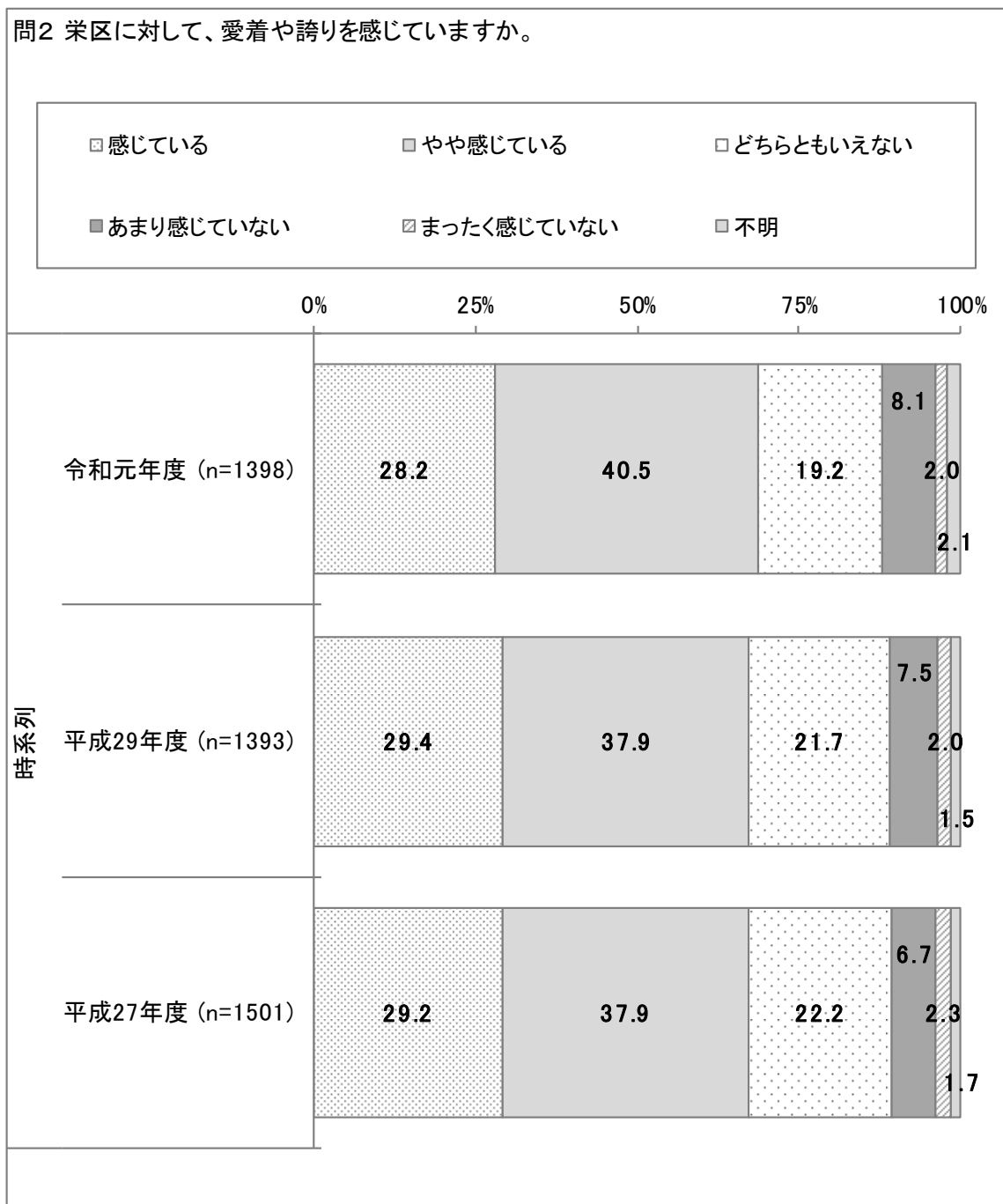
問2 横浜市に対して、愛着や誇りを感じていますか。



1. 生活の満足度について

【栄区に対する愛着・誇り：全体・時系列】

- ・ 栄区に対する愛着や誇りを感じる割合は、「感じている」、「やや感じている」を合わせて(以下『感じている』)全体の約2/3(68.7%)である。
- ・ 平成27年度、平成29年度と比較して大きな変化は見られない。

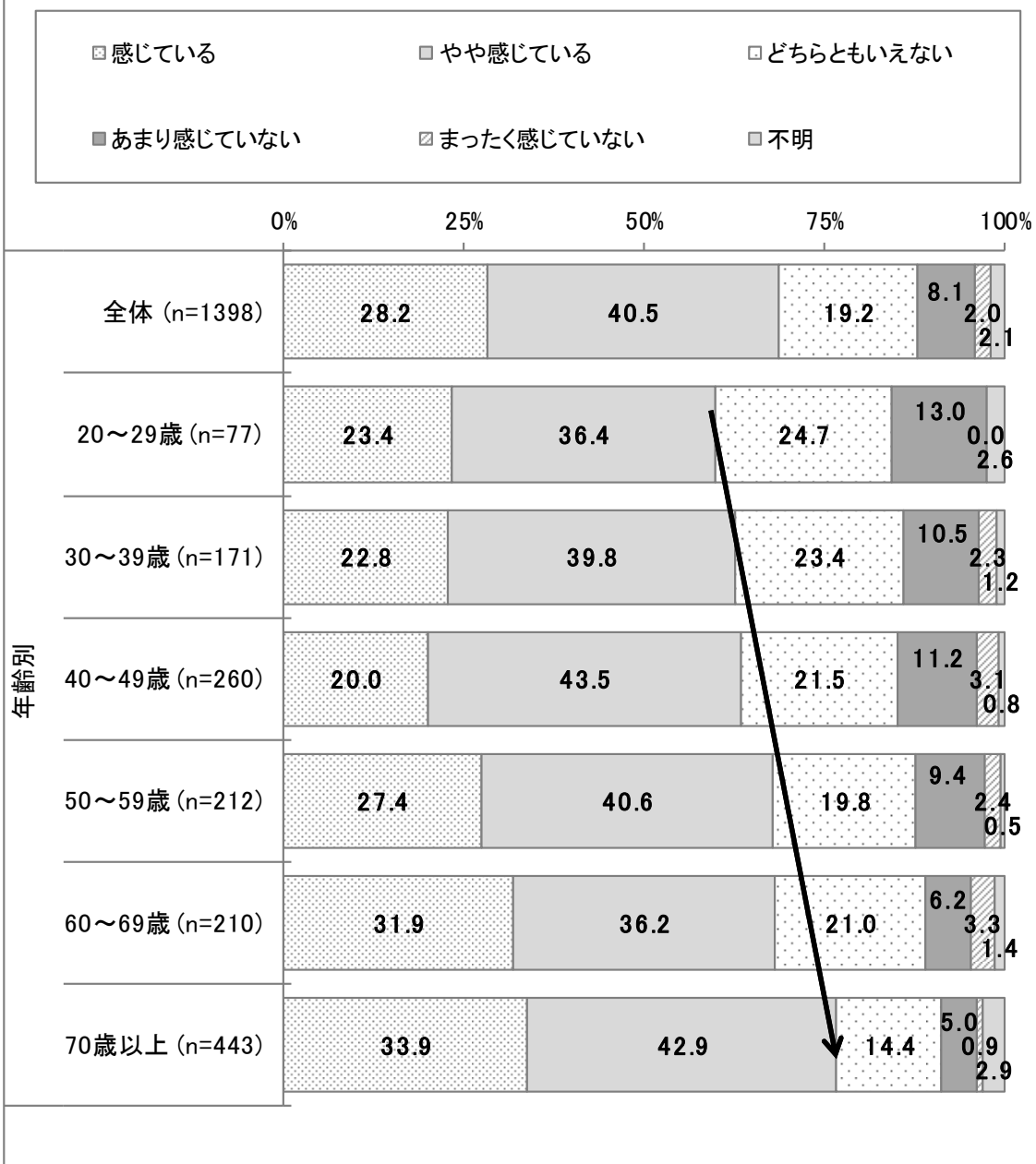


1. 生活の満足度について

【栄区に対する愛着・誇り：年齢別】

- ・ 栄区に対して愛着や誇りを『感じている』割合は年代が高くなるにつれて多くなる傾向がみられる。

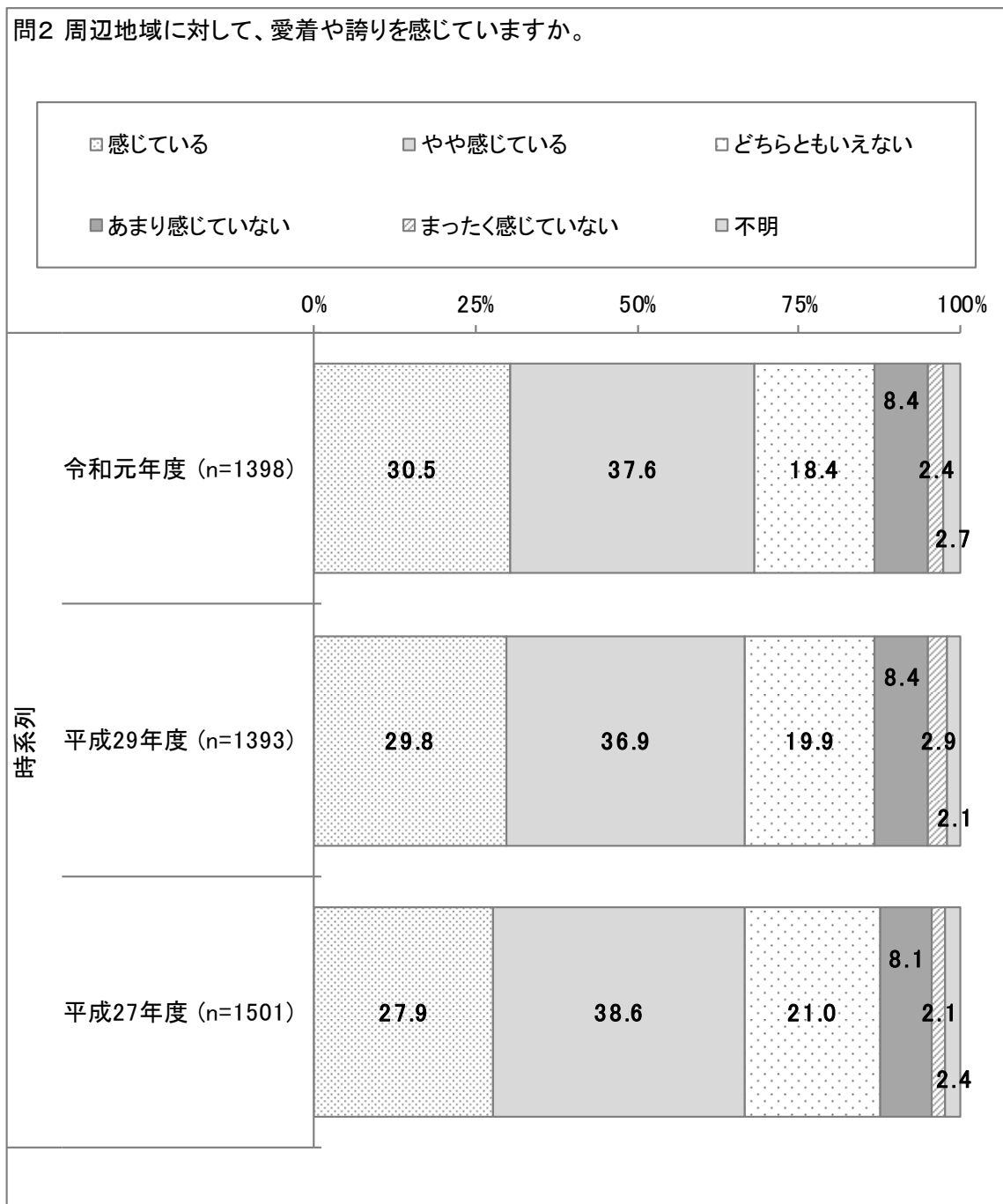
問2 栄区に対して、愛着や誇りを感じていますか。



1. 生活の満足度について

【周辺地域に対する愛着・誇り：全体・時系列】

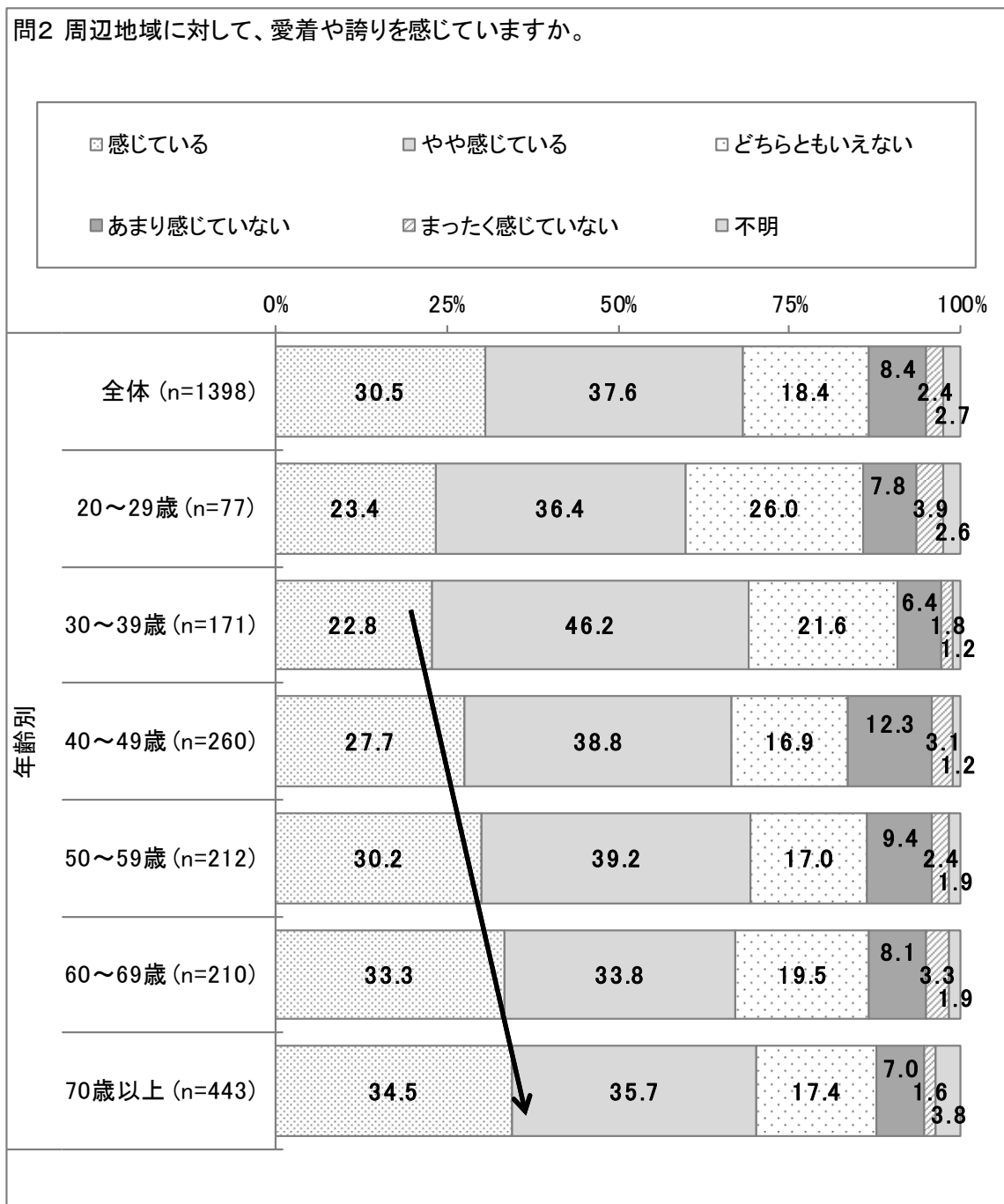
- 周辺地域に対して愛着や誇りを感じる割合は、「感じている」、「やや感じている」を合わせて(以下『感じている』)全体の約2/3(68.1%)である。
- 平成27年度、平成29年度と比較して大きな変化は見られない。



1. 生活の満足度について

【周辺地域に対する愛着・誇り：年齢別】

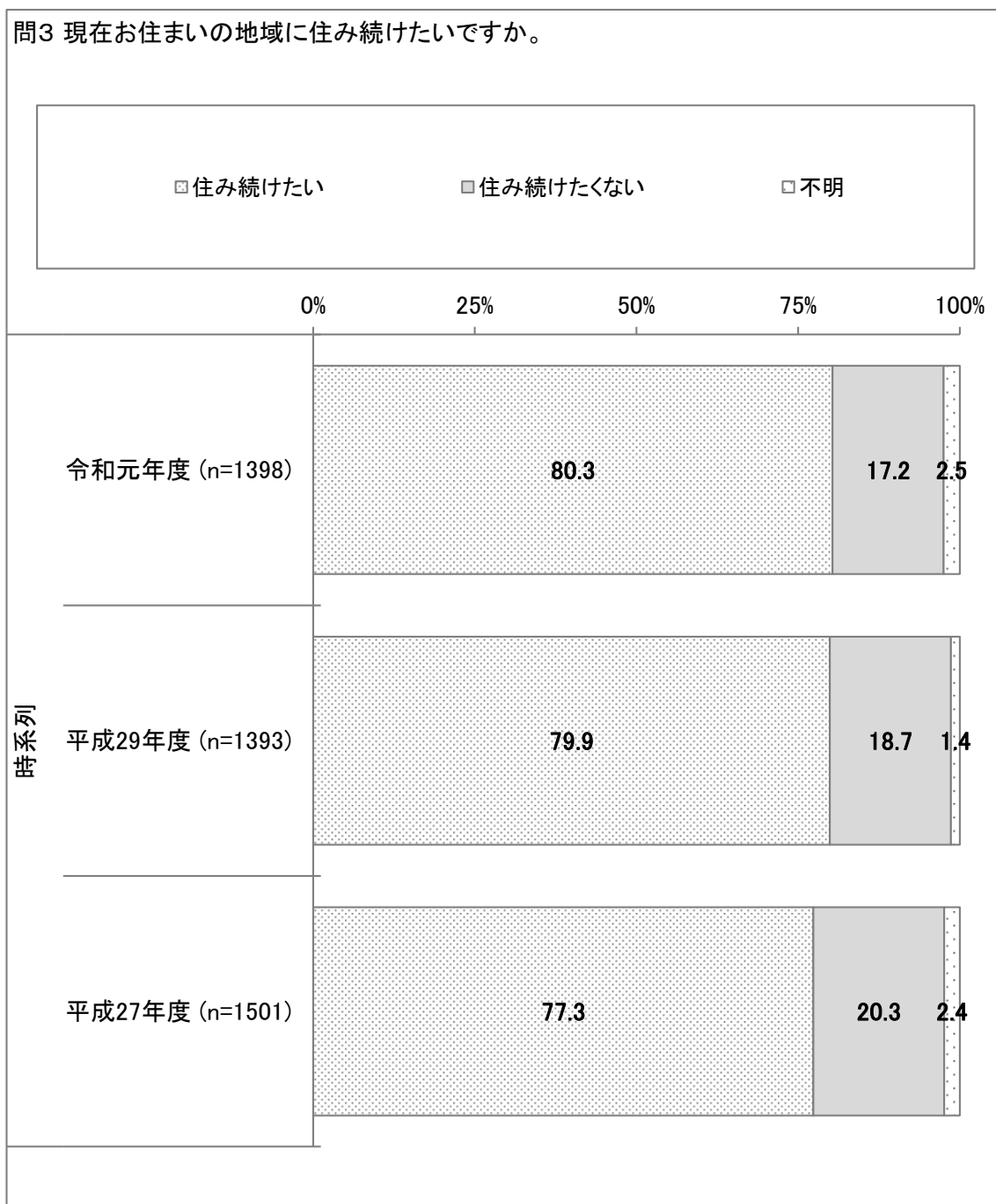
- 周辺地域に対して愛着や誇りを「感じている」割合は、30歳以上で年代が高くなるにつれて多くなる傾向がみられる。
- 「20～29歳」では『感じている』が59.7%で全体より8.4ポイント少なく、「どちらともいえない」が26.0%で全体より7.6ポイント多い。



2. 定住意向について

【全体・時系列】

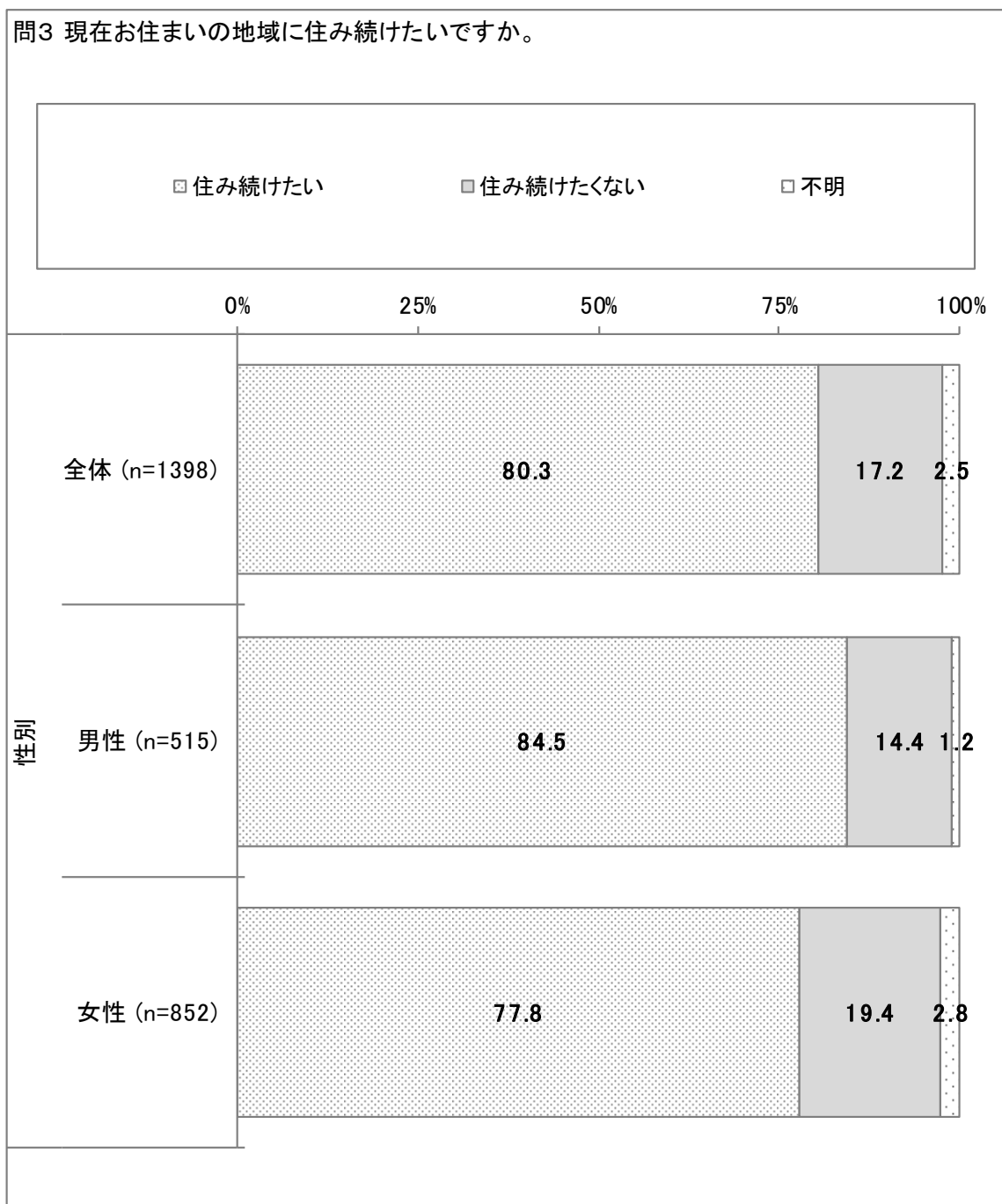
- ・ 現在の居住地に「住み続けたい」と回答した比率は80.3%である。
- ・ 平成27年度から「住み続けたい」は微増傾向、「住み続けたくない」は微減傾向がみられる。



2. 定住意向について

【性別】

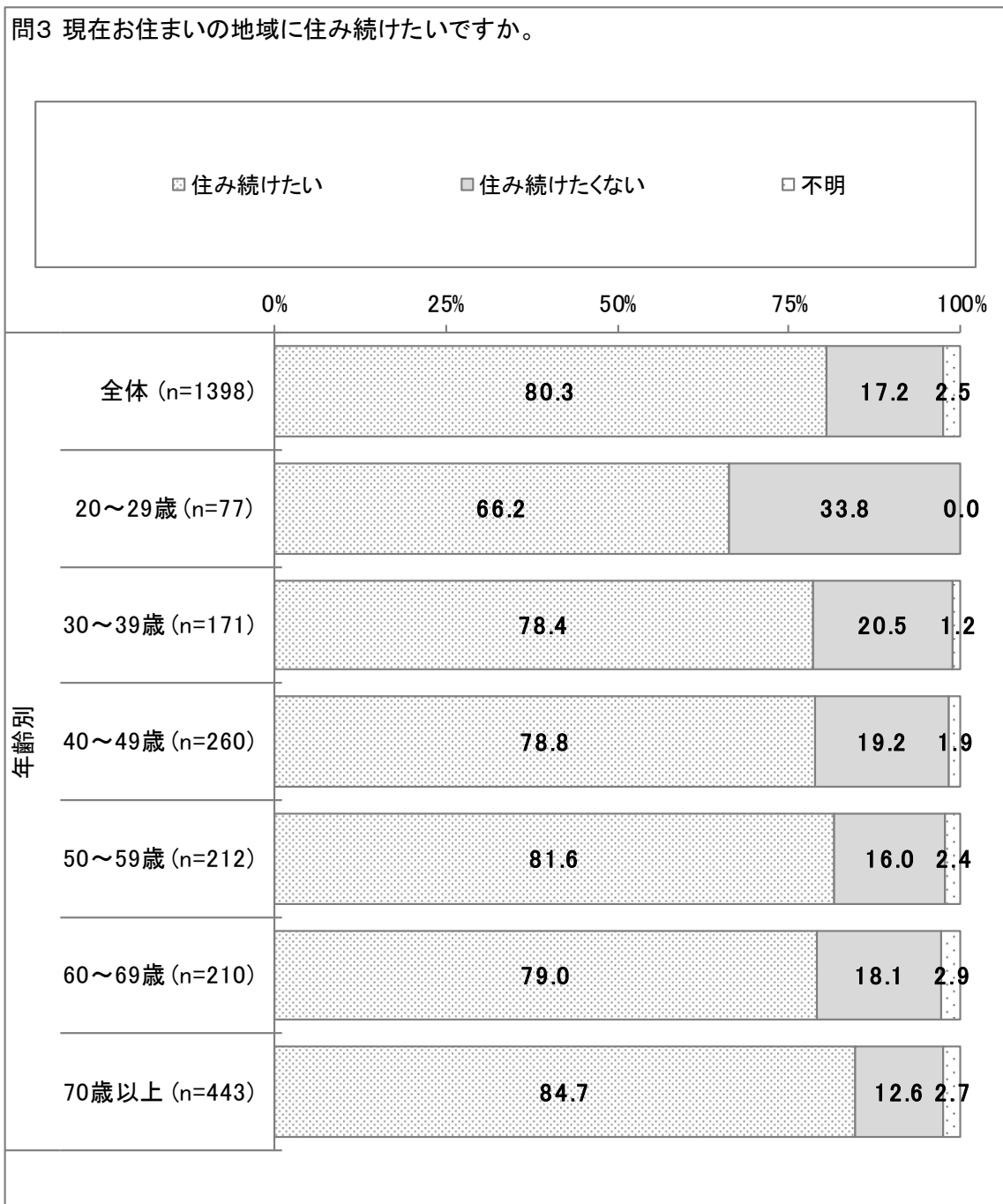
- 「男性」の定住意向が「女性」に比べて6.7ポイント高い。



2. 定住意向について

【年齢別】

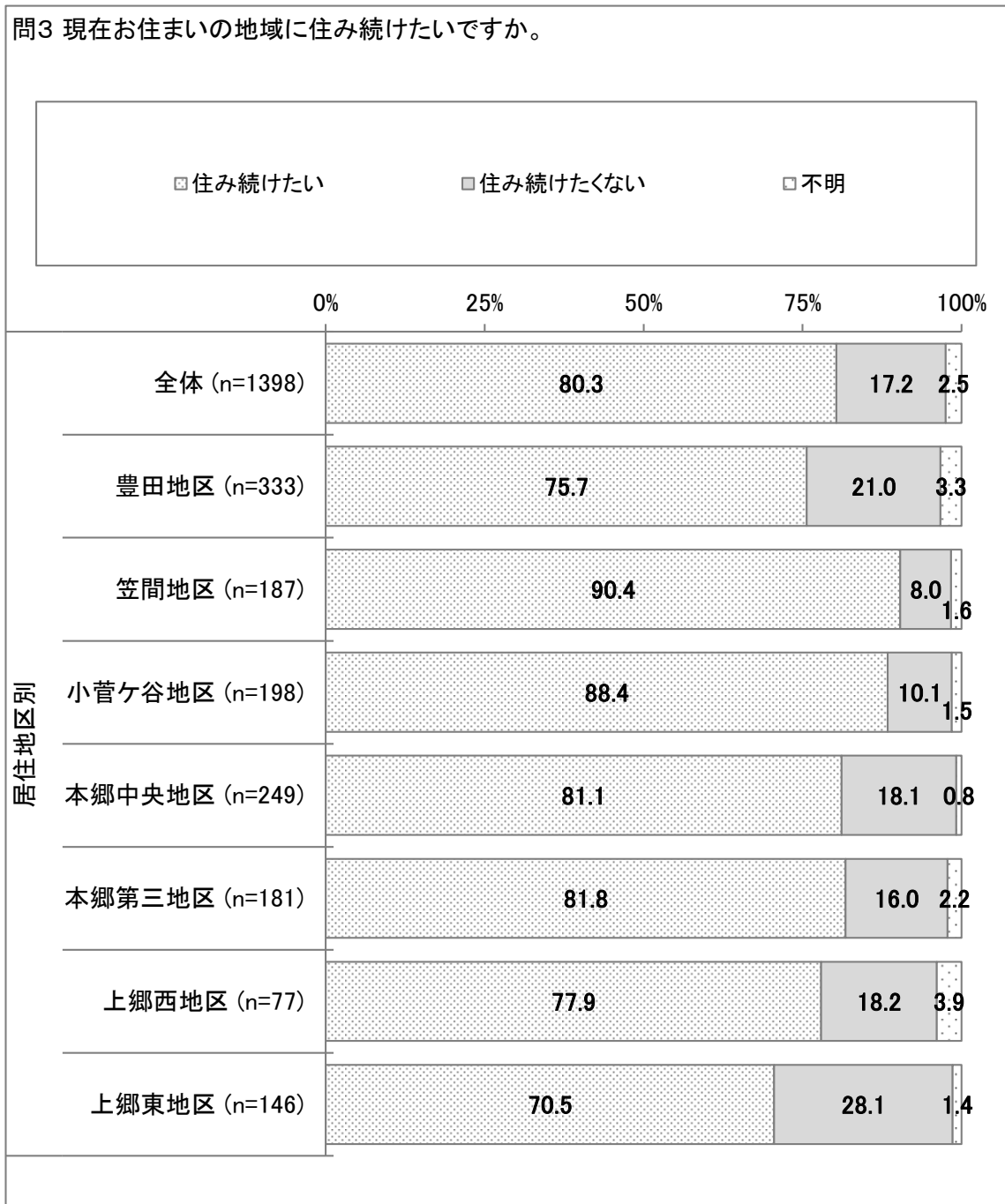
- ・ 年齢が高くなるにつれて定住意向が高くなる傾向がみられる。
- ・ 「20～29歳」の定住意向は66.2%で最も低く、「70歳以上」では84.7%で最も高い。



2. 定住意向について

【居住地区別】

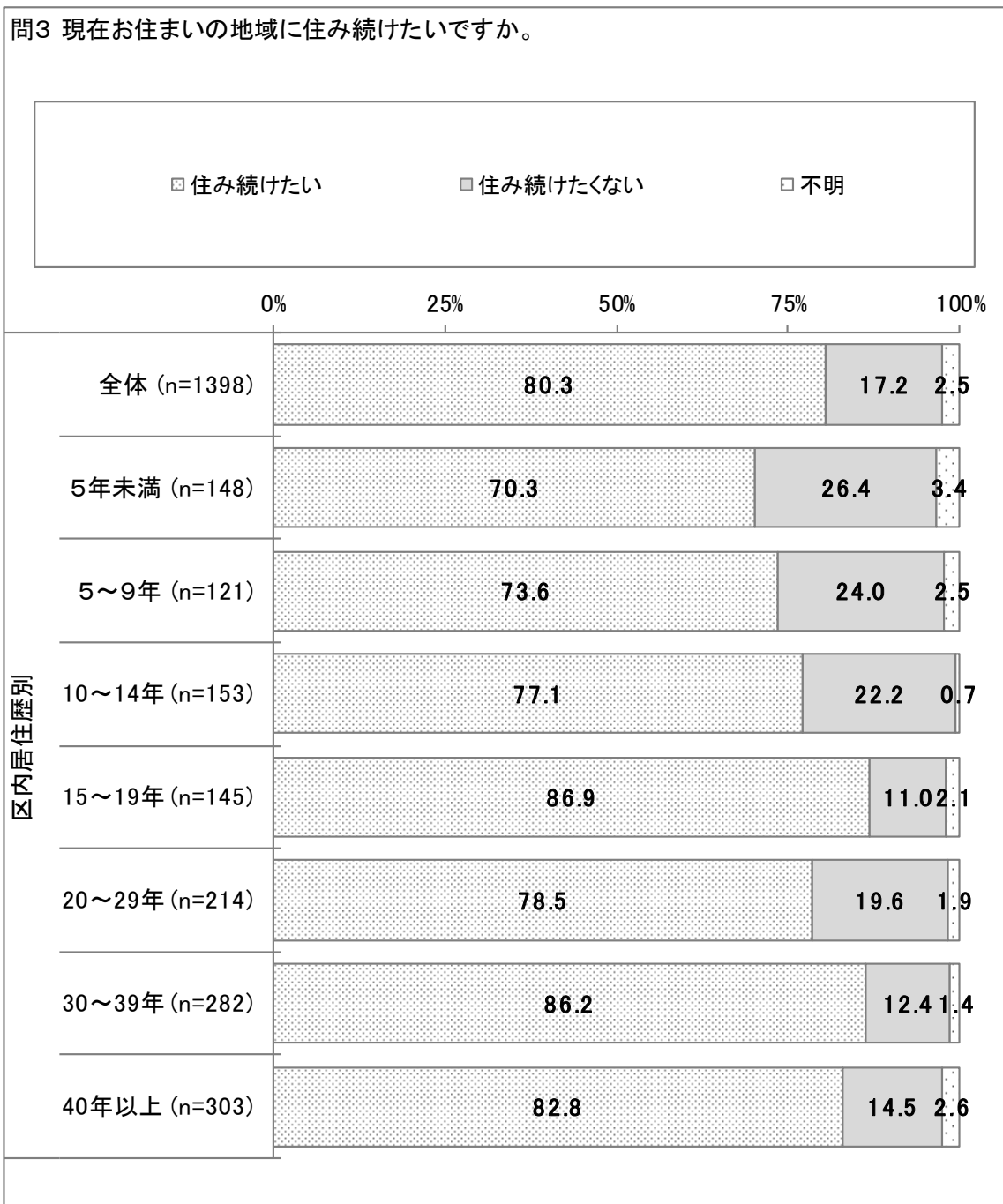
- 居住地区別では、「笠間地区」の定住意向が90.4%で、全体より10.1ポイント多く、「小菅ヶ谷地区」は88.4%で、8.1ポイント多い。
- 一方、「上郷東地区」は70.5%で、全体より9.8ポイント低い。



2. 定住意向について

【区内居住歴別】

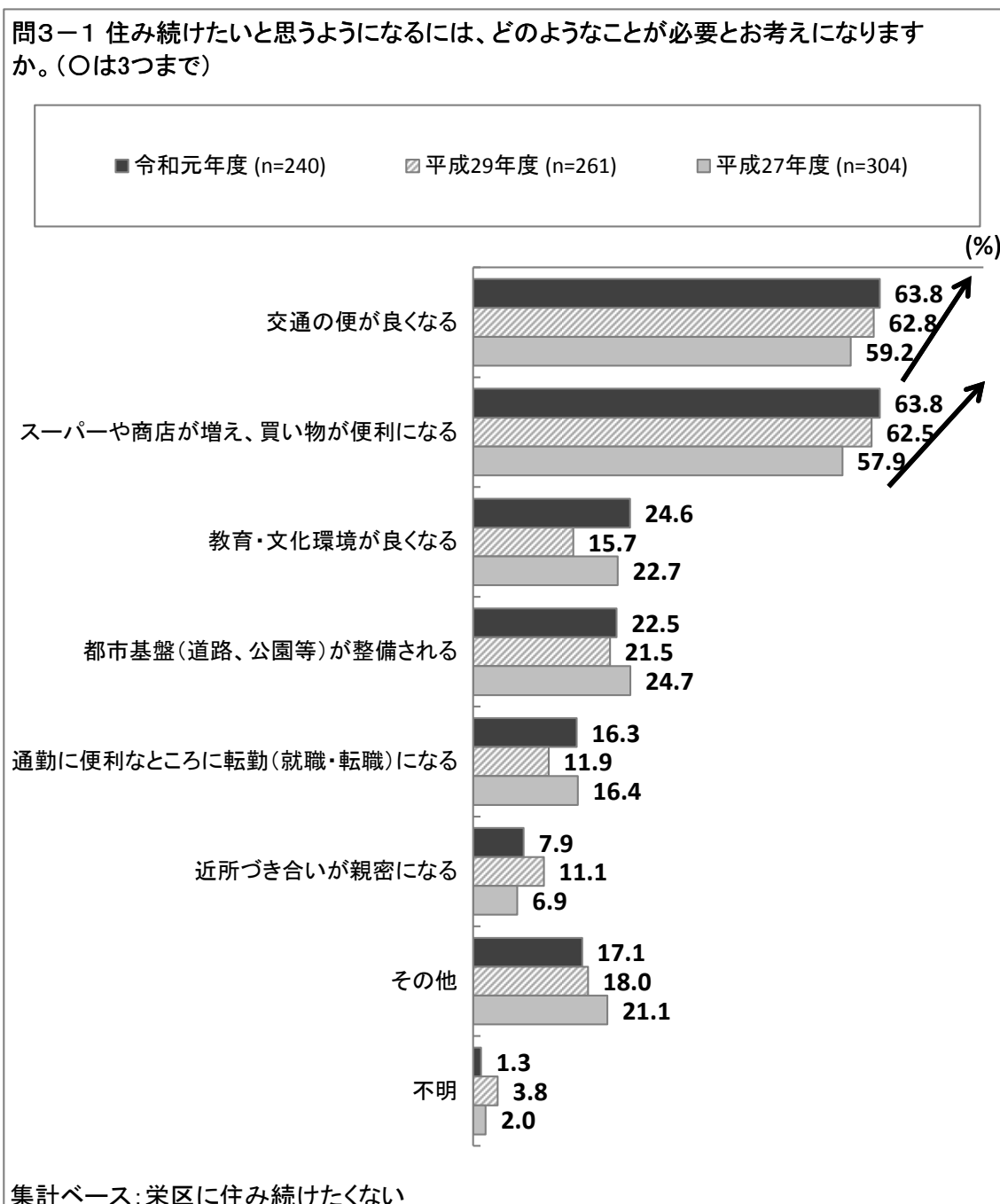
- 区内居住歴別では、「15～19年」が86.9%で、全体より6.6ポイント多く、「30～39年」は86.2%で、5.9ポイント多い。
- 一方、「5年未満」は70.3%で、全体より10.0ポイント低い。



2. 定住意向について

【定住のために必要なこと：全体・時系列】

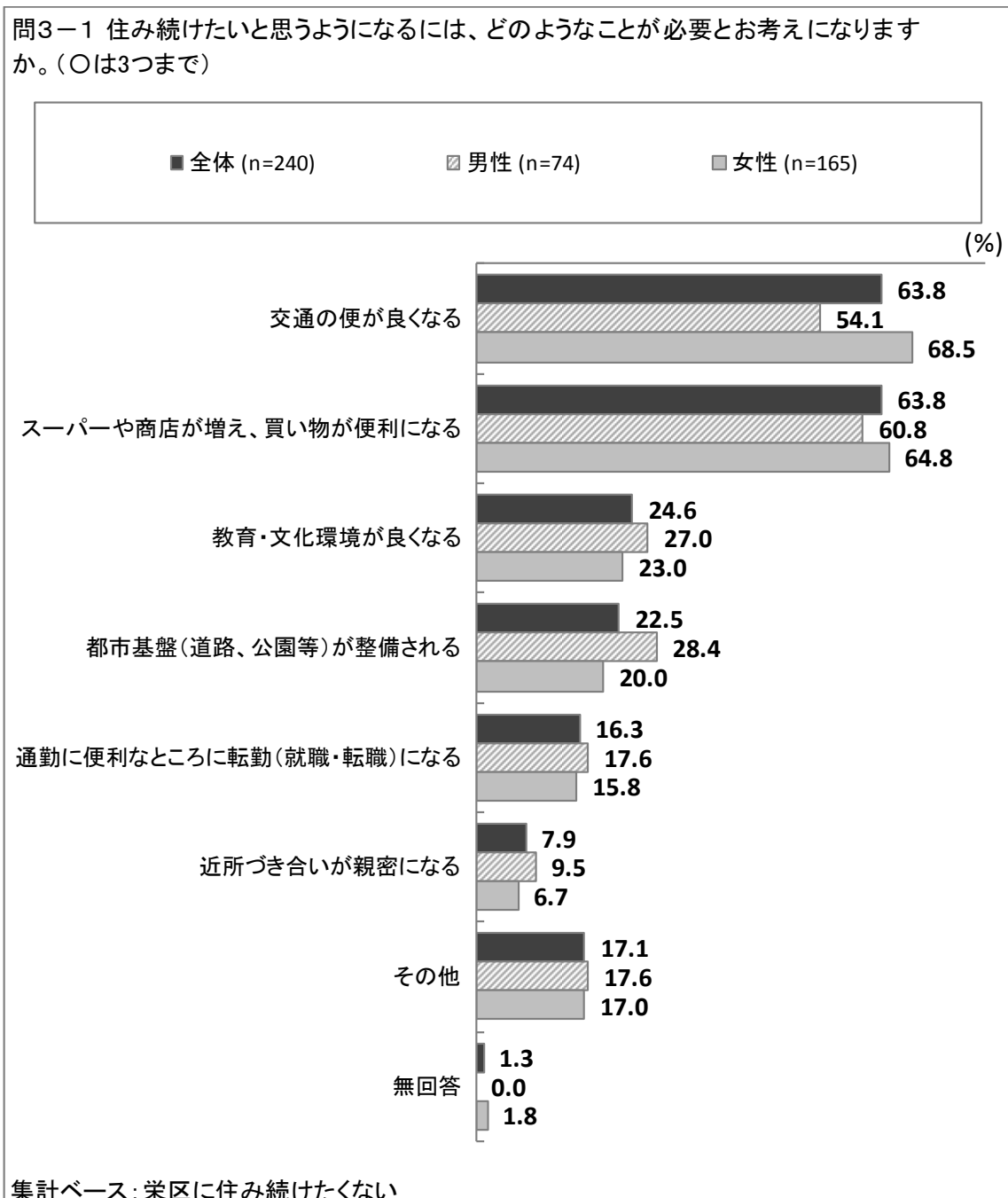
- ・ 「交通の便が良くなる」、「スーパーや商店が増え、買い物が便利になる」が6割を超え、他の項目を大きく上回る。
- ・ この2項目は時系列でも増加傾向にあり、必要性も高くなっている。
- ・ 平成29年度調査と比べると、「教育・文化環境が良くなる」の割合が「都市基盤（道路、公園等）が整備される」の割合より高くなり順位が入れ替わった。



2. 定住意向について

【定住のために必要なこと：性別】

- ・ 「交通の便が良くなる」は「女性」が「男性」より14.4ポイント多い。
- ・ 「都市基盤(道路、公園等)が整備される」は「男性」が「女性」より8.4ポイント多い。
- ・ それ以外の項目については男女間の差は大きくない。

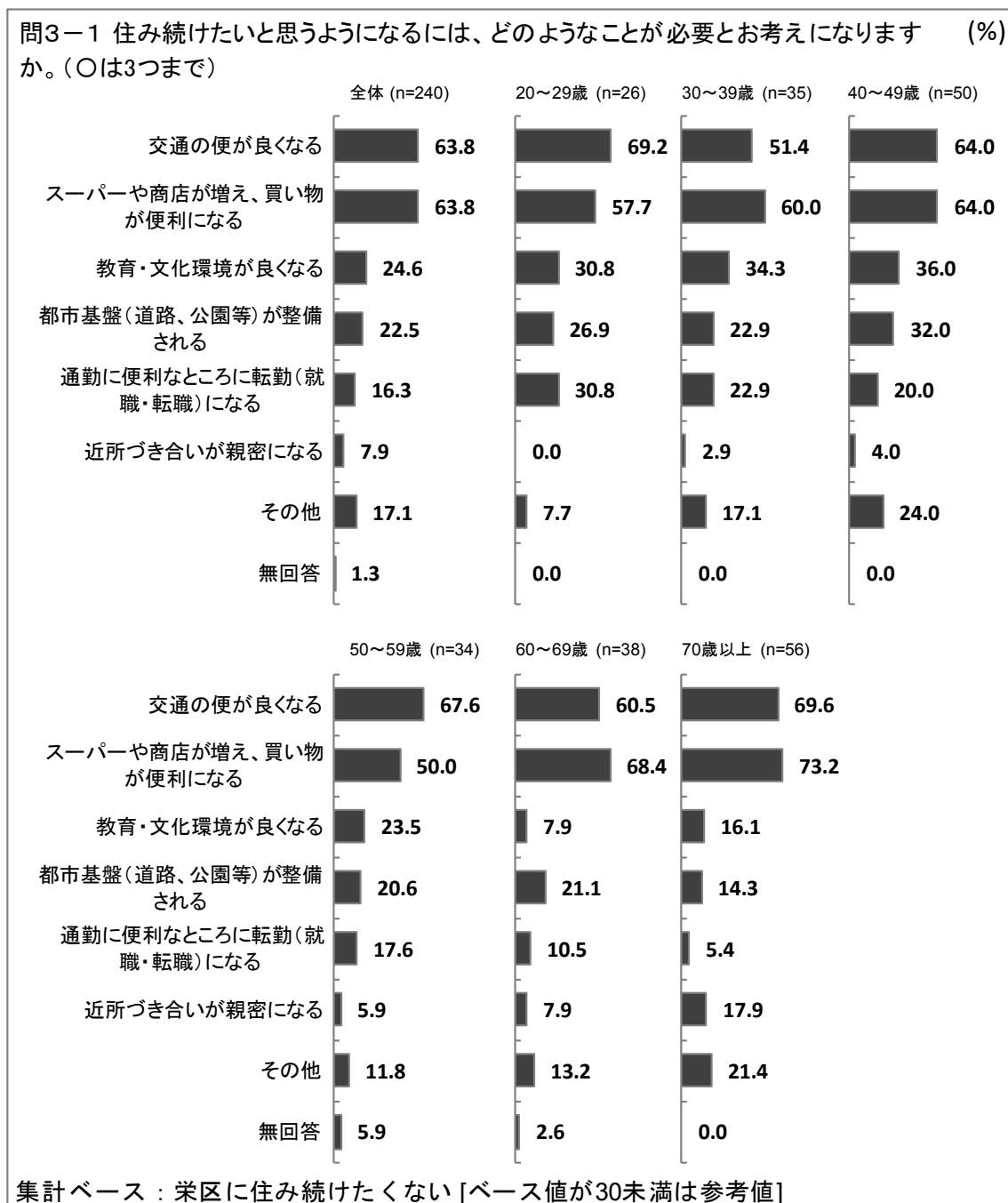


2. 定住意向について

【定住のために必要なこと：年齢別】

- ・ 「70歳以上」では、「スーパーや商店が増え、買い物が便利になる」が全体より9.4ポイント多い。
- ・ 「教育・文化環境が良くなる」は、「40～49歳」で11.4ポイント、「30～39歳」で9.7ポイント全体より多い。
- ・ 「40～49歳」では、「都市基盤(道路、公園等)が整備される」が全体より9.5ポイント多い。
- ・ 「70歳以上」では、「近所づき合いが親密になる」が全体より10.0ポイント多い。

※ 「20～29歳」はベース値が30未満で参考値。

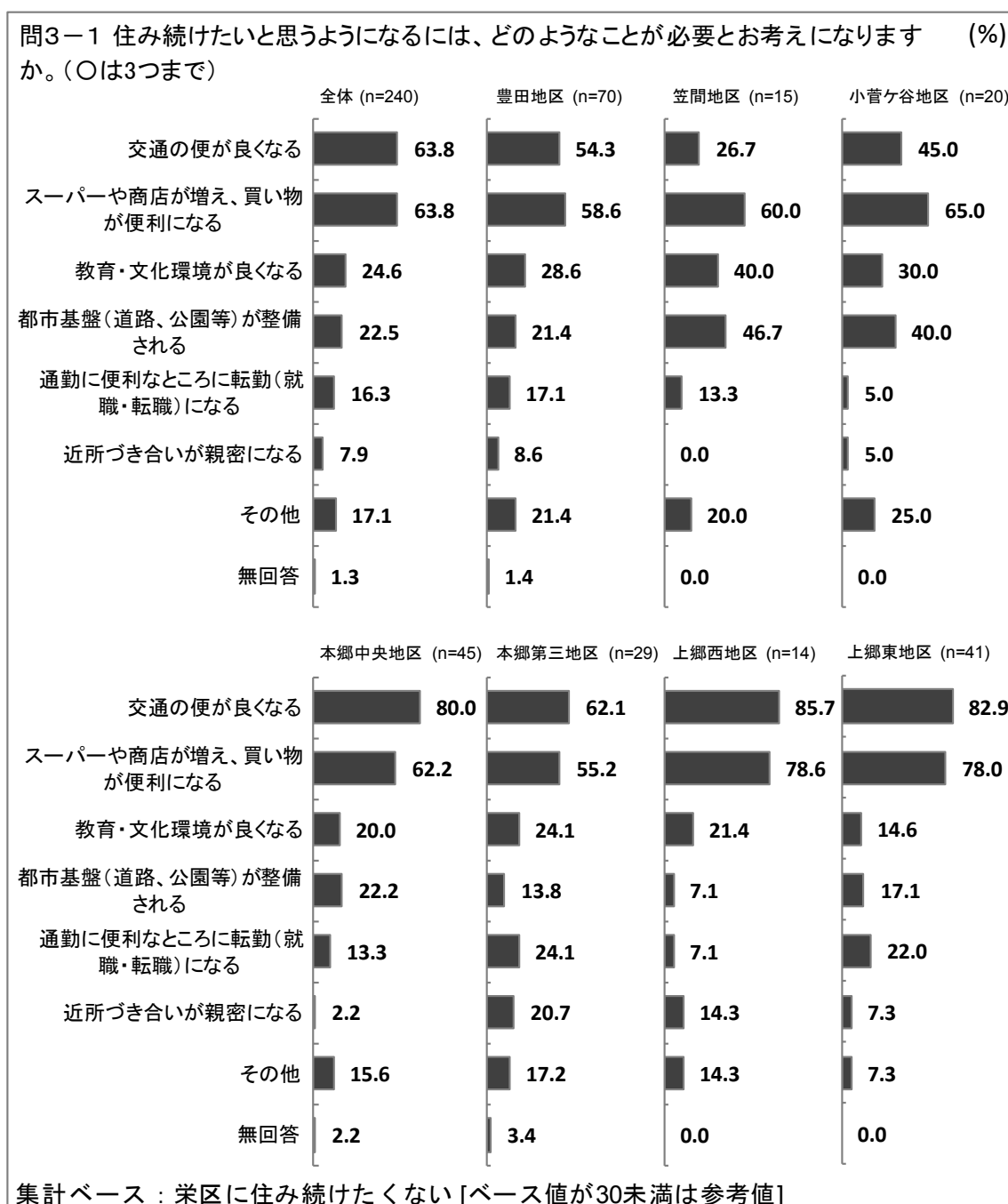


2. 定住意向について

【定住のために必要なこと：居住地区別】

- ・ 「豊田地区」は、「交通の便が良くなる」、「スーパーや商店が増え、買い物が便利になる」が全体より5ポイント以上少ない。
- ・ 「本郷中央地区」は、「交通の便が良くなる」が全体より10ポイント以上多い。
- ・ 「上郷東地区」は、「交通の便が良くなる」、「スーパーや商店が増え、買い物が便利になる」が全体より10ポイント以上多く、「教育・文化環境が良くなる」が全体より10ポイント少ない。

※「笠間地区」、「小菅ヶ谷地区」、「本郷第三地区」、「上郷西地区」はベース値が30未満で参考値。

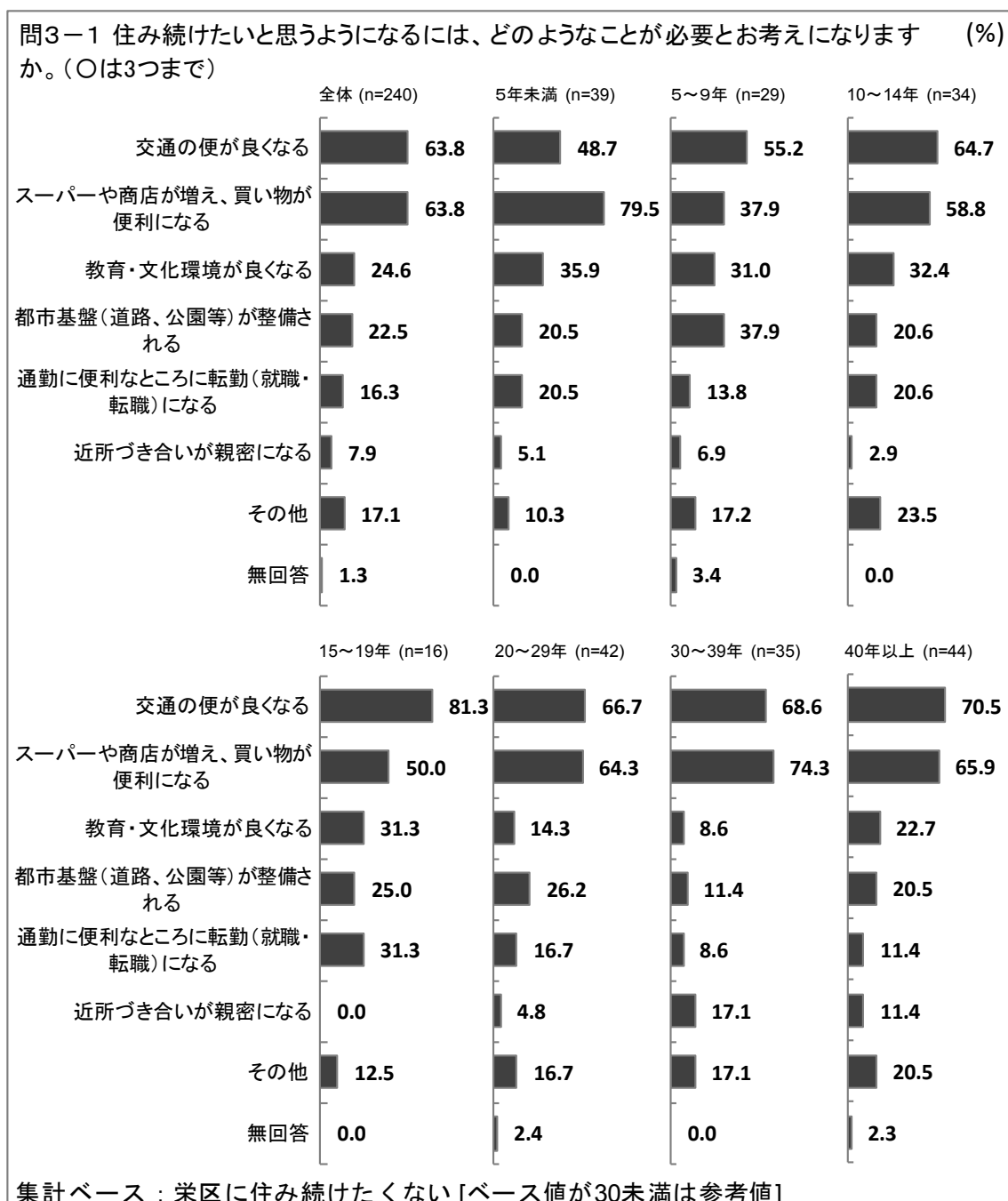


2. 定住意向について

【定住のために必要なこと：居住期間別】

- ・ 「交通の便が良くなる」は、「30年以上」で高く、「5年未満」で低い傾向である。
- ・ 「スーパーや商店が増え、買い物が便利になる」は、「5年未満」と「30～39年」で全体より10ポイント以上多い。
- ・ 「教育・文化環境が良くなる」は、「5年未満」で全体より10ポイント以上多く、「20～29年」、「30～39年」で全体より10ポイント以上少ない。
- ・ 「都市基盤(道路、公園等)が整備される」は、「30～39年」で、全体より10ポイント以上少ない。
- ・ 「近所づき合いが親密になる」は、「30年以上」で高い傾向である。

※「5～9年」、「15～19年」はベース値が30未満で参考値。



2. 定住意向について

【定住のために必要なこと「その他」】

- ・ 自由回答では、40名の方から41件の意見があげられた。
- ・ 「環境改善」に関するものが最も多くあげられている(11件)。
- ・ 次いで、「安全・安心強化」に関するもの(7件)、「道路・交通改善」に関するもの(5件)があげられている。

問3-1 現在お住まいの地域に住み続けたいと思うようになるには、どのようなことが必要とお考えになりますか。

「7. その他」の内容 (件)

環境改善(11件)			
住民のマナー向上	4	商業施設の充実・サービス向上	3
自然環境の保全・整備	3	医療の充実	3
騒音・日当たりの改善	1	自治会・町内会の役割・負担	2
空き家対策	1	若者を増やす施策・活性化	2
単身者に住みやすく	1	スポーツ施設の充実	2
景観の向上	1	子育て支援	1
安全・安心強化(7件)		市・区役所職員の信頼度の向上	1
防犯の強化	4	転居の予定	1
災害対策強化	3	その他	3
道路・交通改善(5件)		横浜市他区からの移住なので愛着はない 収入が増えること 横浜は人が多いからきらい	
交通利便性の向上	3		
坂が多い	1		
歩道の確保・整備	1		

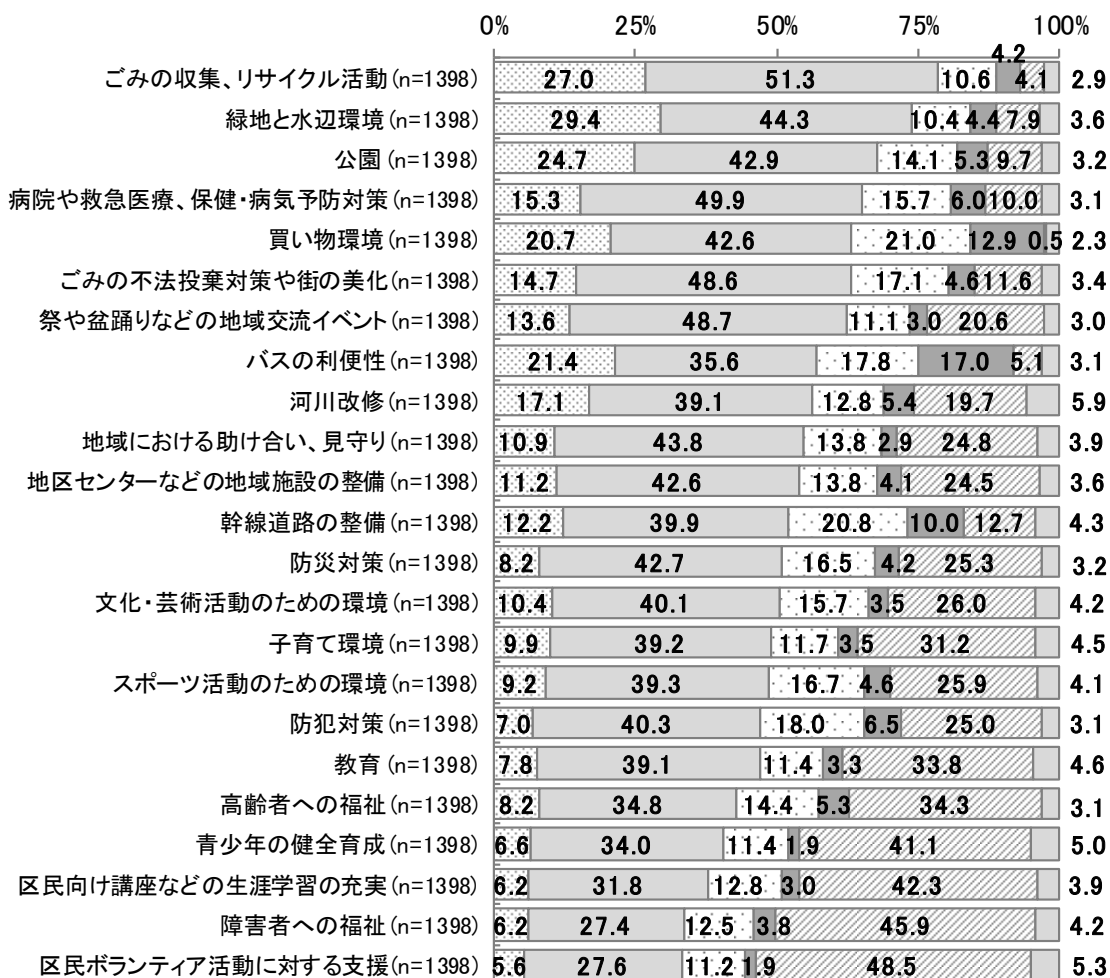
3. 生活意識について

【満足度の高い生活環境：全体】

- 「満足」、「どちらかといえば満足」の合計(以下『満足』)が最も高いのは、「ごみの収集、リサイクル活動」で、「緑地と水辺環境」、「公園」、「病院や救急医療、保健・病気予防対策」、「買い物環境」、「ごみの不法投棄対策や街の美化」が続く。

問4 以下の項目について、どの程度満足していますか。

□ 満足 □ どちらかといえば満足 □ どちらかといえば不満 ■ 不満 ▨ わからない □ 不明



3. 生活意識について

【満足度の低い生活環境：全体】

- 「不満」、「どちらかといえば不満」の合計(以下『不満』)が最も高いのは「バスの利便性」で、「買い物環境」、「幹線道路の整備」、「防犯対策」、「ごみの不法投棄対策や街の美化」、「病院や救急医療、保健・病気予防対策」が続く。

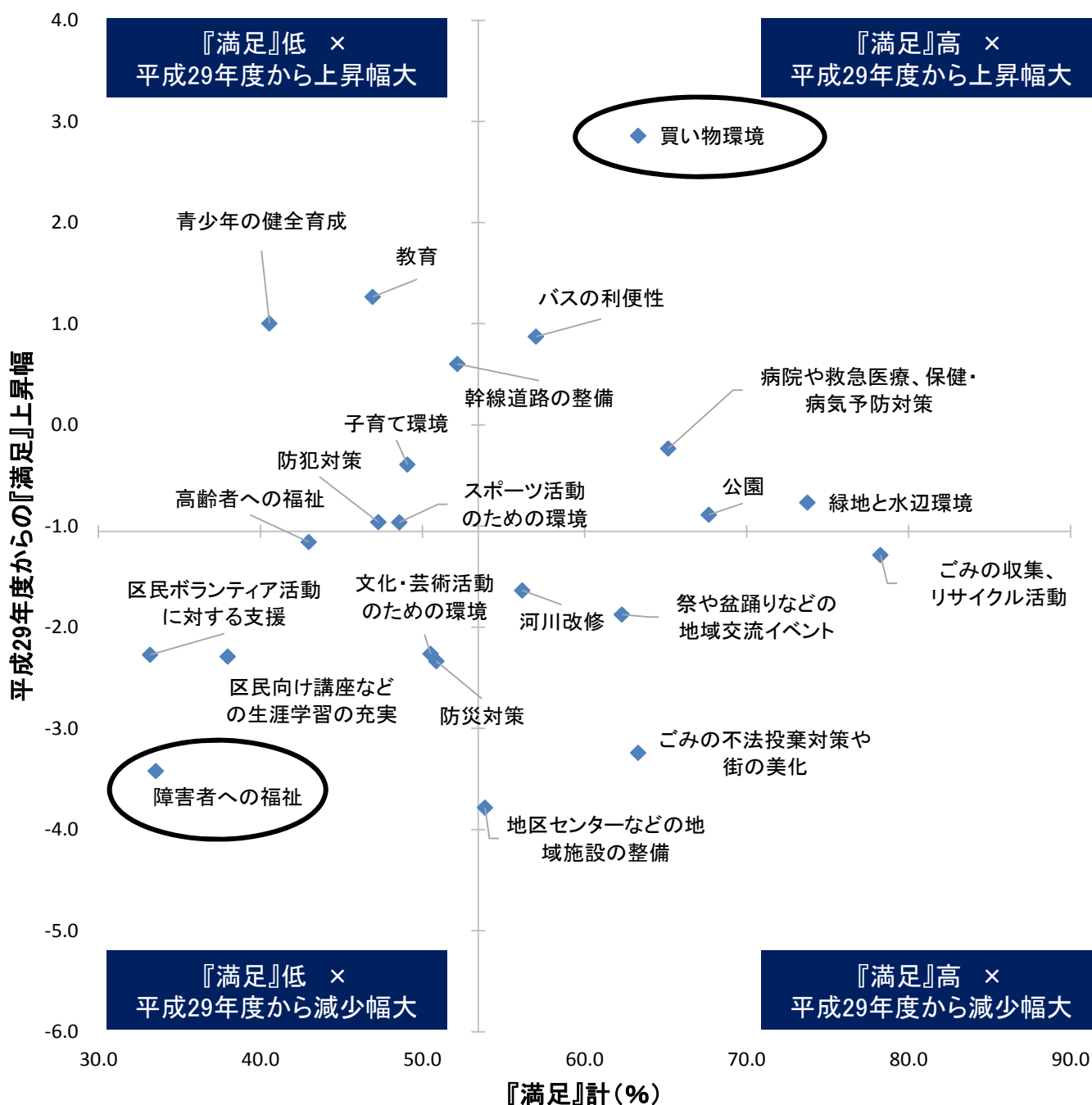
問4 以下の項目について、どの程度満足していますか。



3. 生活意識について

【満足度の時系列変化】

- 『満足』が高く、平成29年度から上昇幅の大きい項目としては、「買い物環境」があげられる。
- 一方で、『満足』が低く、平成29年度からの上昇幅が小さい項目としては、「障害者への福祉」があげられる。

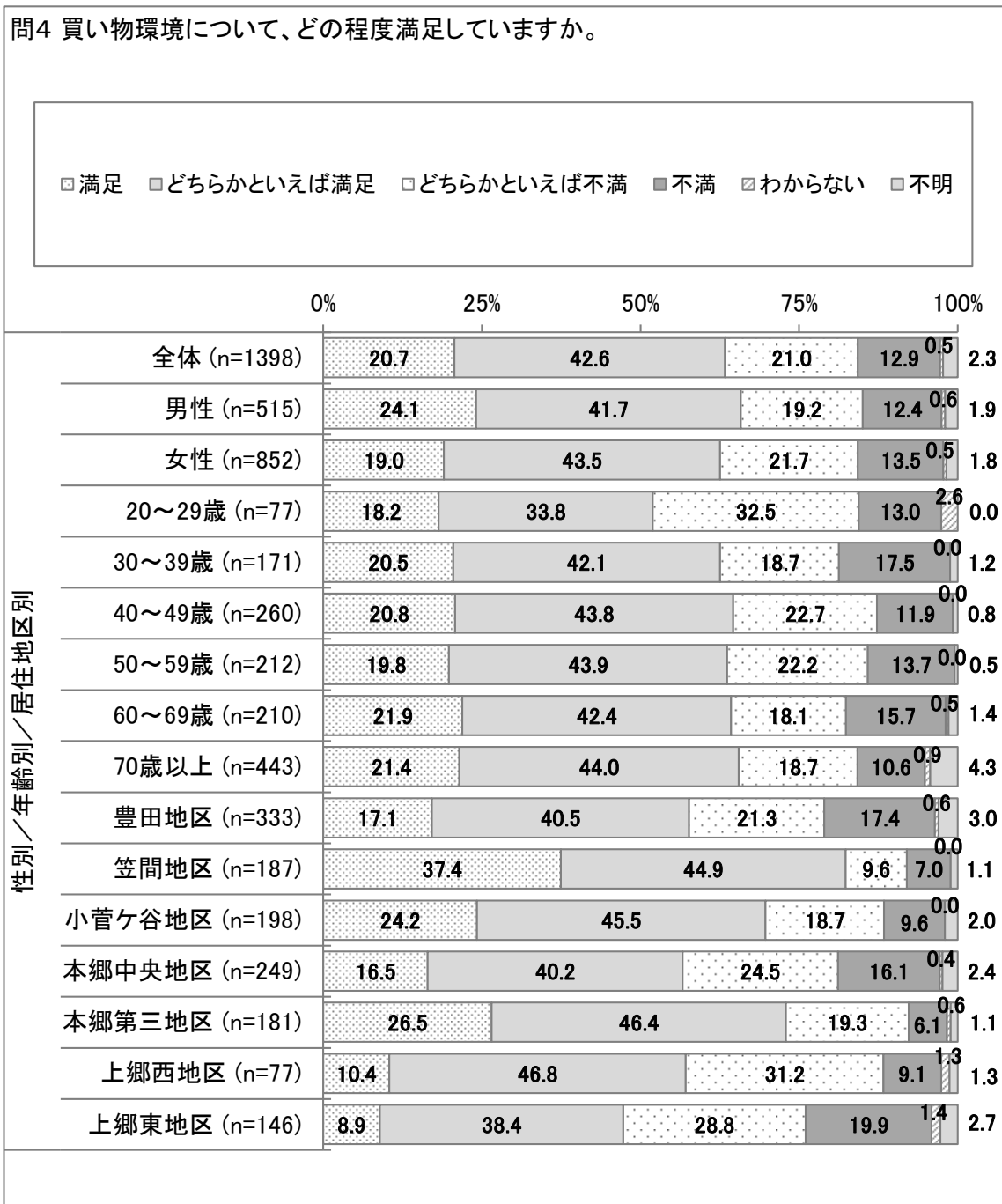


※縦軸、横軸はそれぞれ『満足』、平成29年度からの『満足』上昇幅の単純平均を示す

3. 生活意識について

【買い物環境】

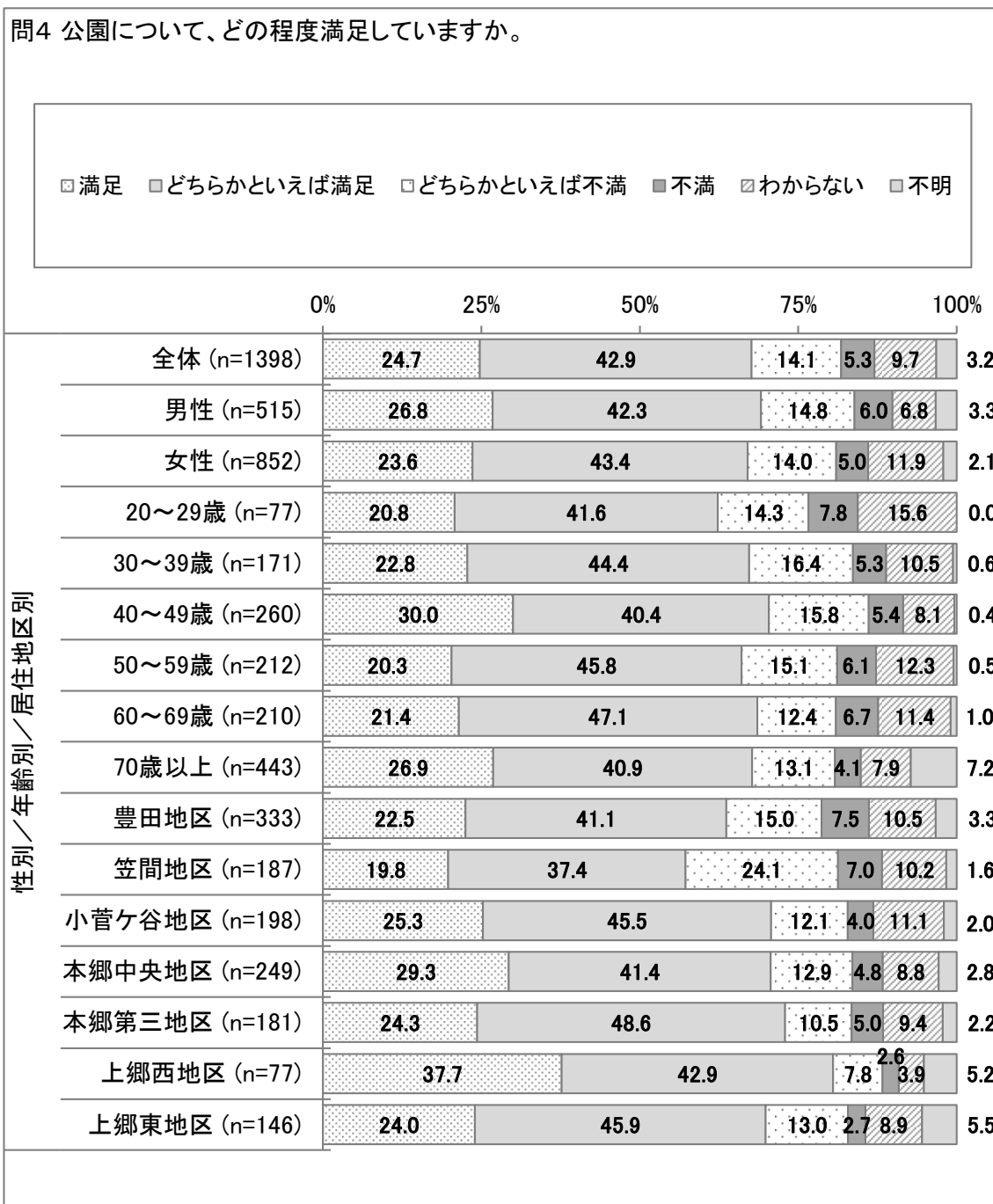
- 全体の『満足』は63.3%である。
- 全体に対して『満足』が10ポイント以上多いのは、「笠間地区」である。
- 全体に対して『満足』が10ポイント以上少ないのは、「20～29歳」、「上郷東地区」である。



3. 生活意識について

【公園】

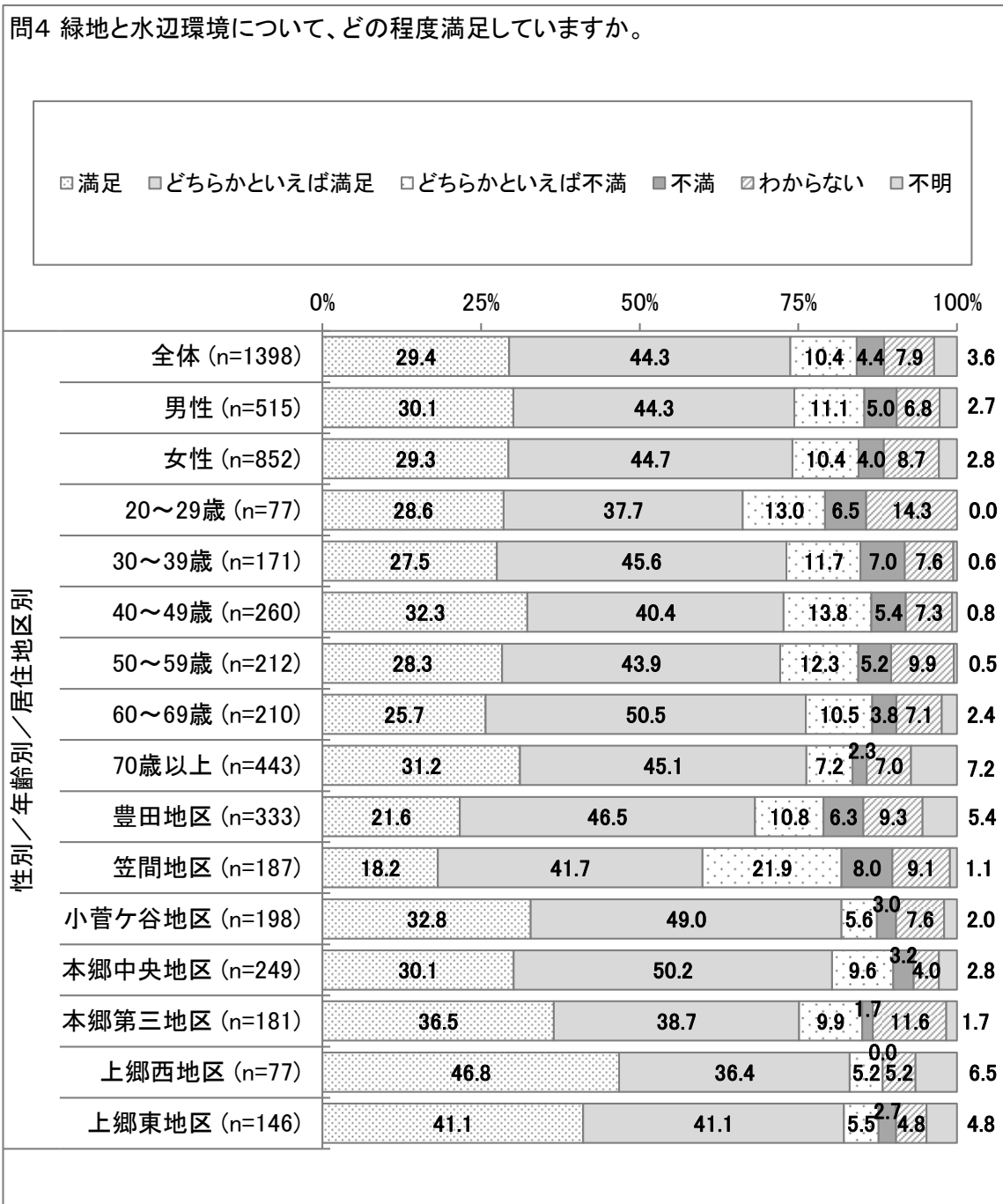
- 全体の『満足』は67.7%である。
- 全体に対して『満足』が10ポイント以上多いのは、「上郷西地区」、10ポイント以上少ないのは、「笠間地区」である。



3. 生活意識について

【緑地と水辺環境】

- 全体の『満足』は73.7である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「上郷西地区」、「上郷東地区」、「小菅ヶ谷地区」、「本郷中央地区」である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「20～29歳」、「笠間地区」、「豊田地区」である。

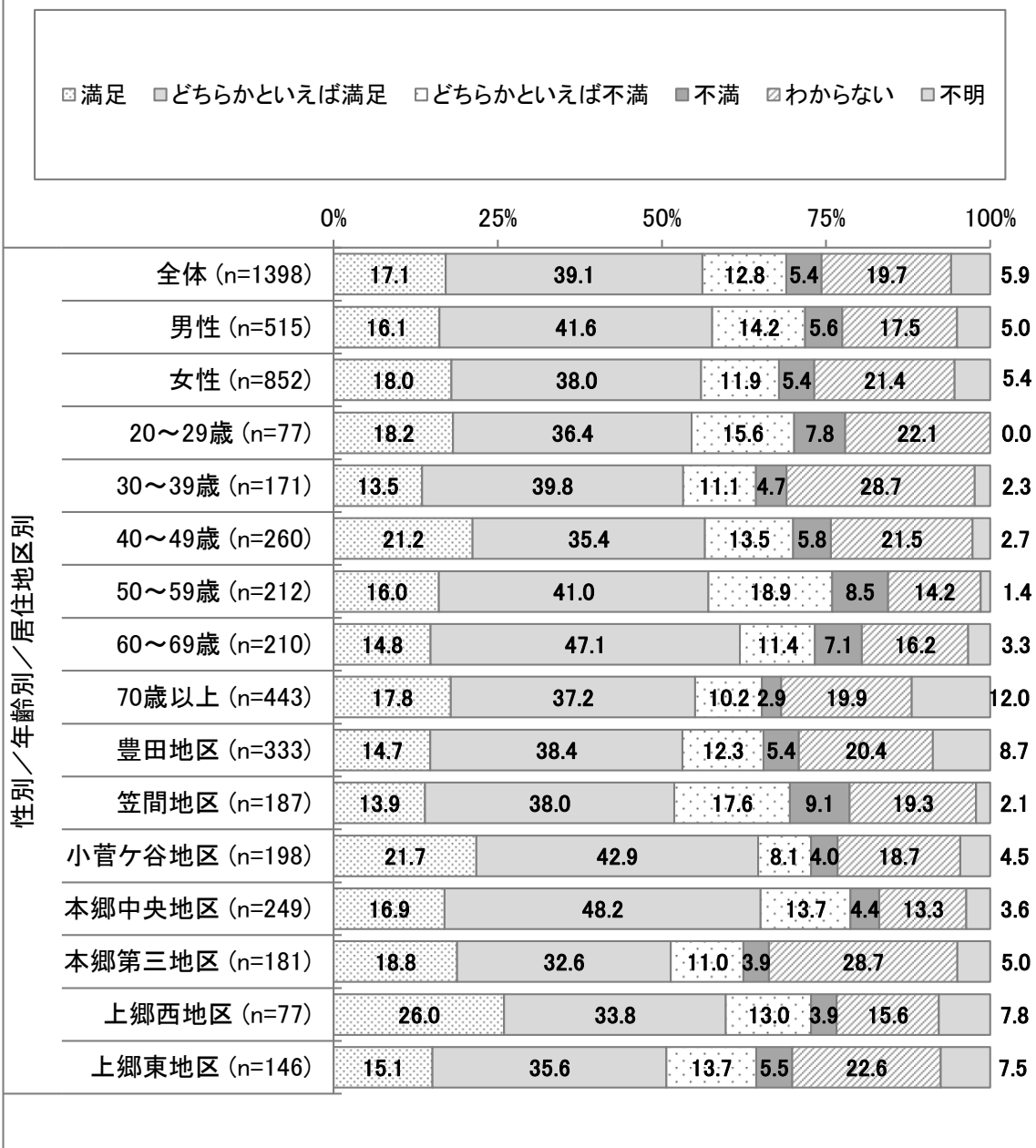


3. 生活意識について

【河川改修】

- 全体の『満足』は56.2%である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「60～69歳」、「本郷中央地区」、「小菅ヶ谷地区」である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「上郷東地区」である。
- 「30～39歳」、「本郷第三地区」では、「わからない」がともに28.7%と全体より5ポイント以上多い。

問4 河川改修について、どの程度満足していますか。

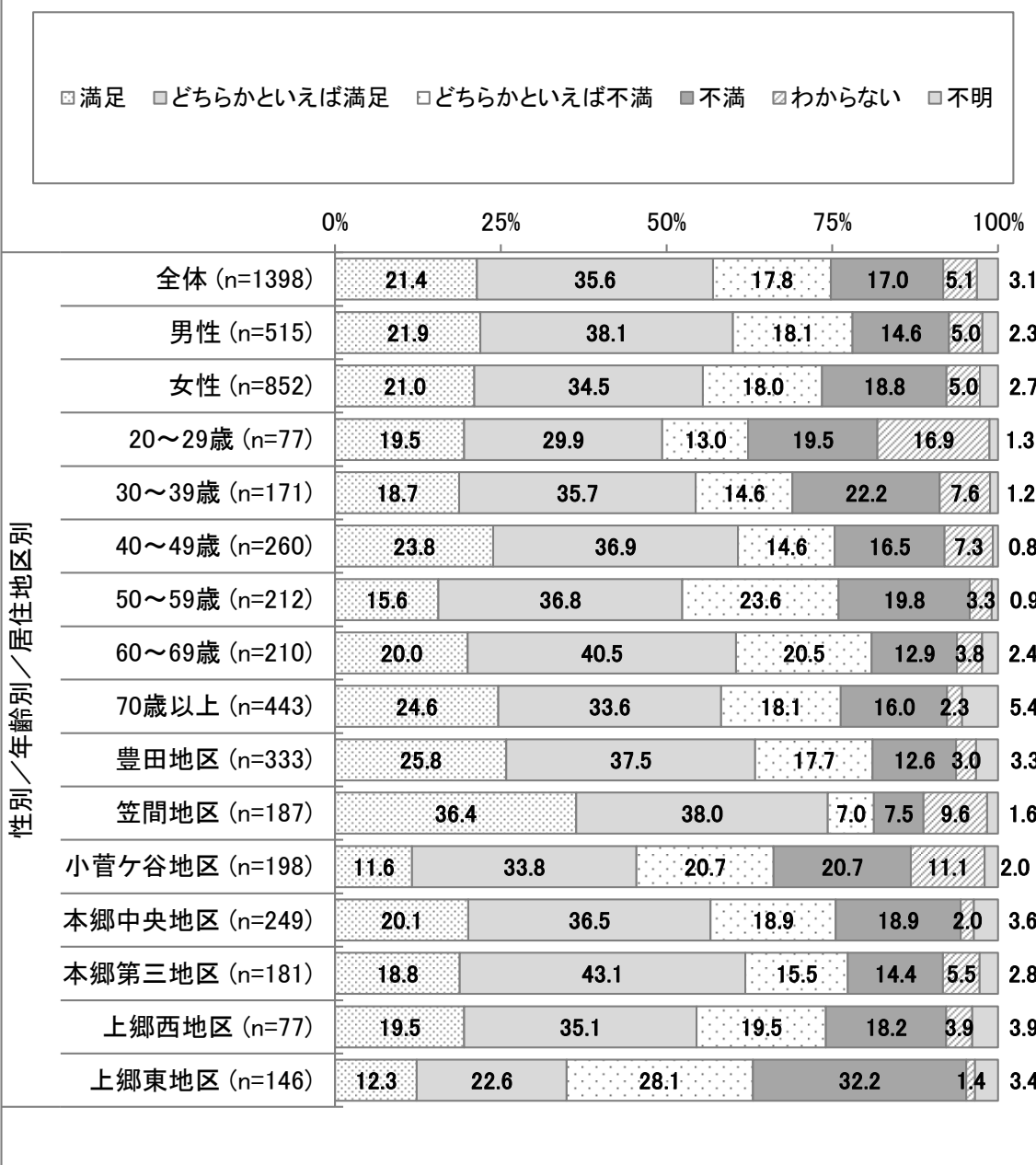


3. 生活意識について

【バスの利便性】

- 全体の『満足』は57.0%である。
- 全体に対して『満足』が10ポイント以上多いのは、「笠間地区」である。
- 全体に対して『満足』が10ポイント以上少ないのは、「上郷東地区」、「小菅ヶ谷地区」である。
- 「20～29歳」では、「わからない」が16.9%と全体より10ポイント以上多い。

問4 バスの利便性について、どの程度満足していますか。

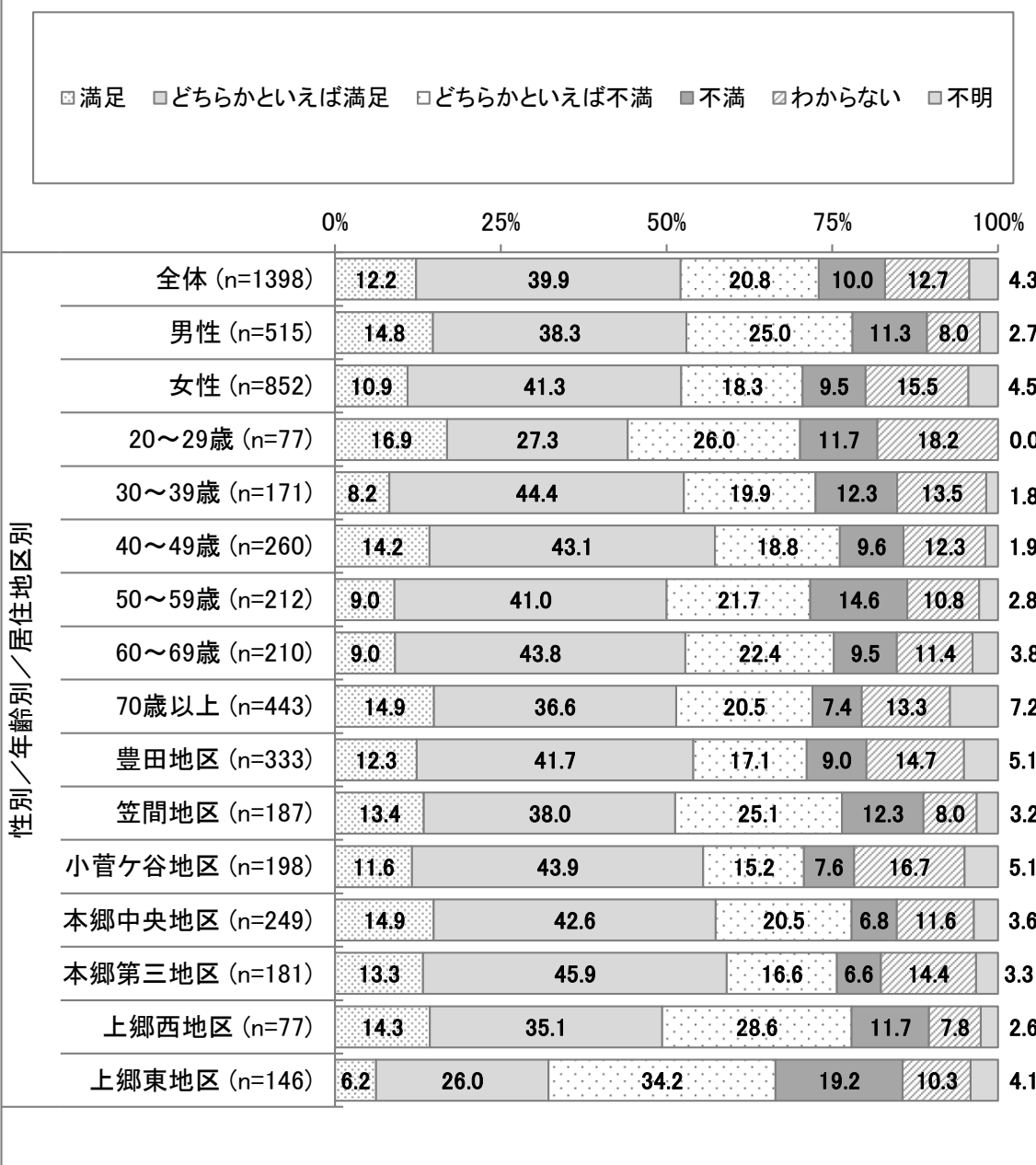


3. 生活意識について

【幹線道路の整備】

- 全体の『満足』は52.1%である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「40～49歳」、「本郷第三地区」、「本郷中央地区」である。
- 全体に対して『満足』が10ポイント以上少ないのは、「上郷東地区」である。「20～29歳」は全体より5ポイント以上少ない。

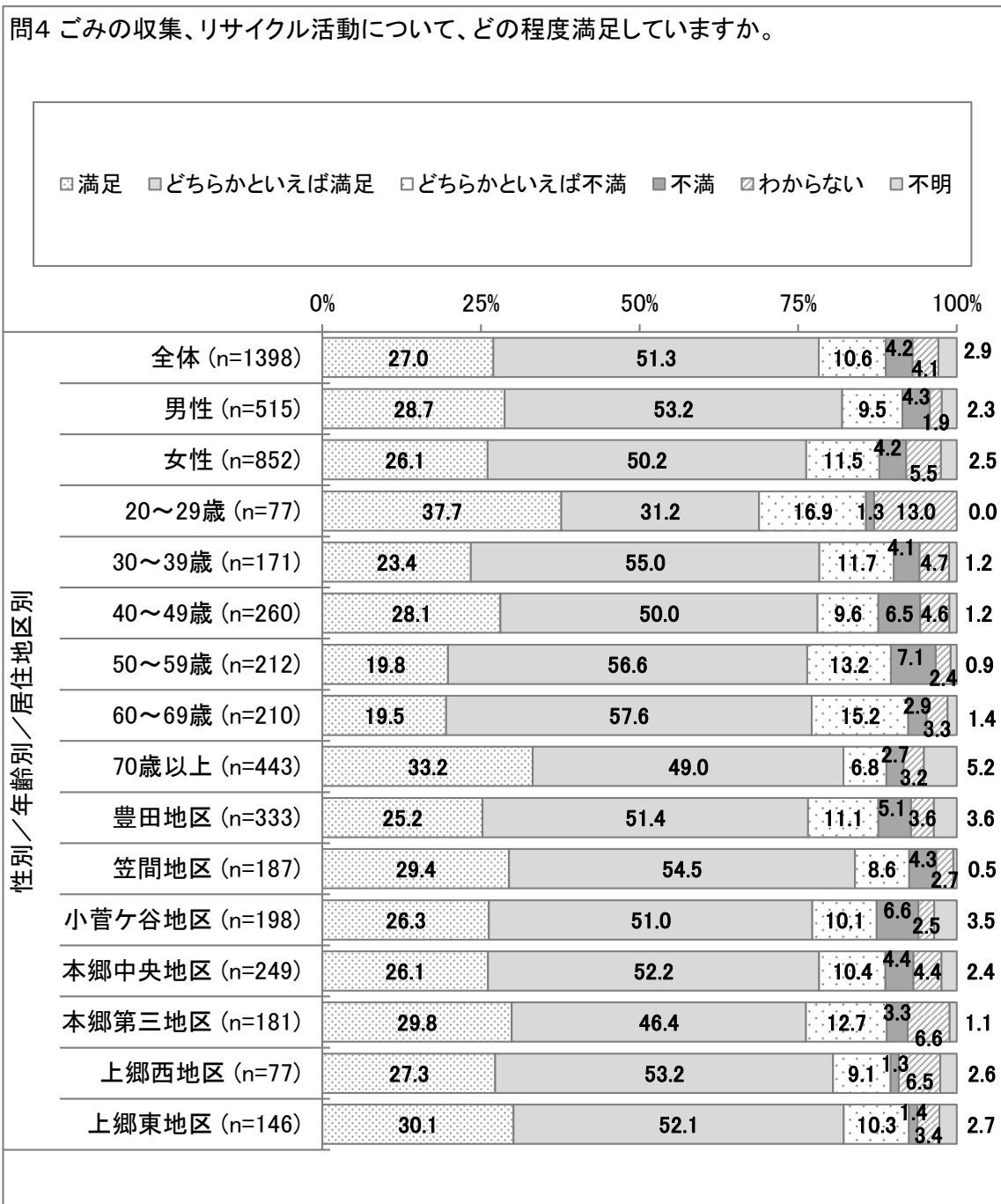
問4 幹線道路の整備について、どの程度満足していますか。



3. 生活意識について

【ごみの収集・リサイクル活動】

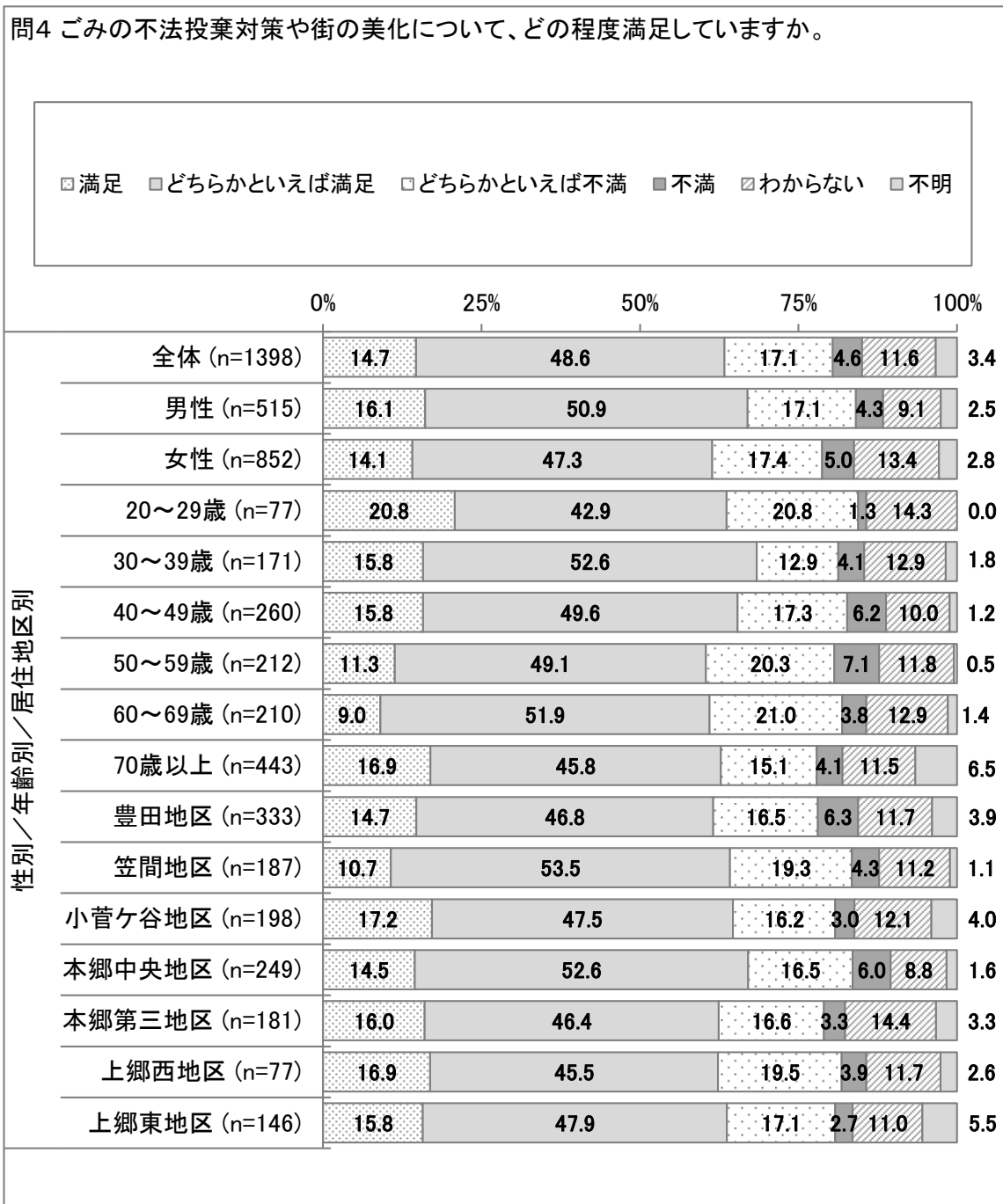
- 全体の『満足』は78.3%である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「笠間地区」である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「20～29歳」である。



3. 生活意識について

【ごみの不法投棄対策や街の美化】

- 全体の『満足』は63.3%である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「30～39歳」である。



3. 生活意識について

【子育て環境】

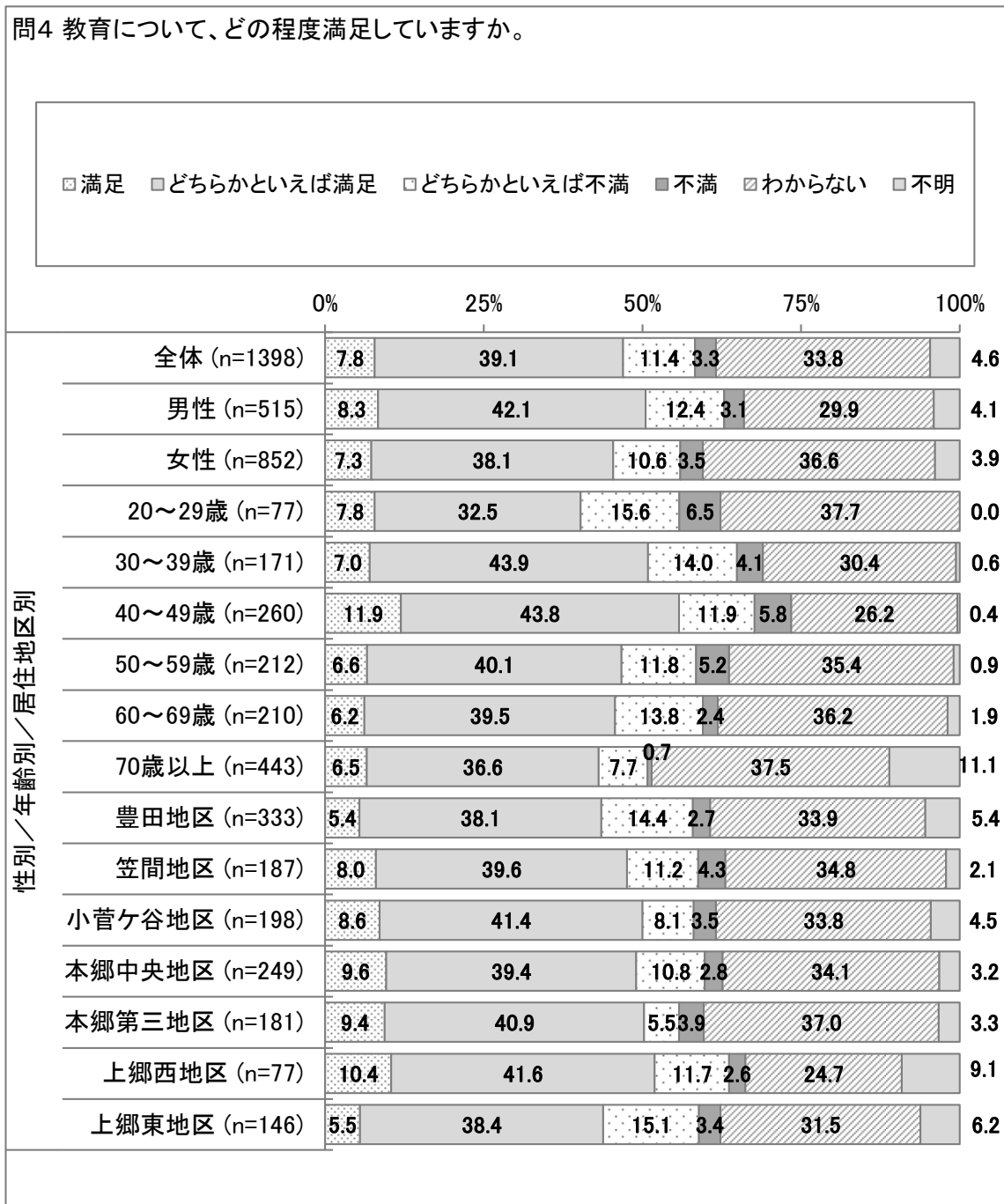
- 全体の『満足』は49.1%である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「40～49歳」、「30～39歳」、「上郷西地区」である。
- 全体に対して『満足』が10ポイント以上少ないのは、「20～29歳」、5ポイント以上少ないのは、「70歳以上」である。
- 「20～29歳」では、「わからない」が48.1%と全体より10ポイント以上多い。



3. 生活意識について

【教育】

- 全体の『満足』は46.9%である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「40～49歳」、「上郷西地区」である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「20～29歳」である。



3. 生活意識について

【青少年の健全育成】

- 全体の『満足』は40.6%である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「男性」、「40～49歳」である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「20～29歳」である。
- 全体の41.1%が「わからない」と回答している。



3. 生活意識について

【文化・芸術活動のための環境】

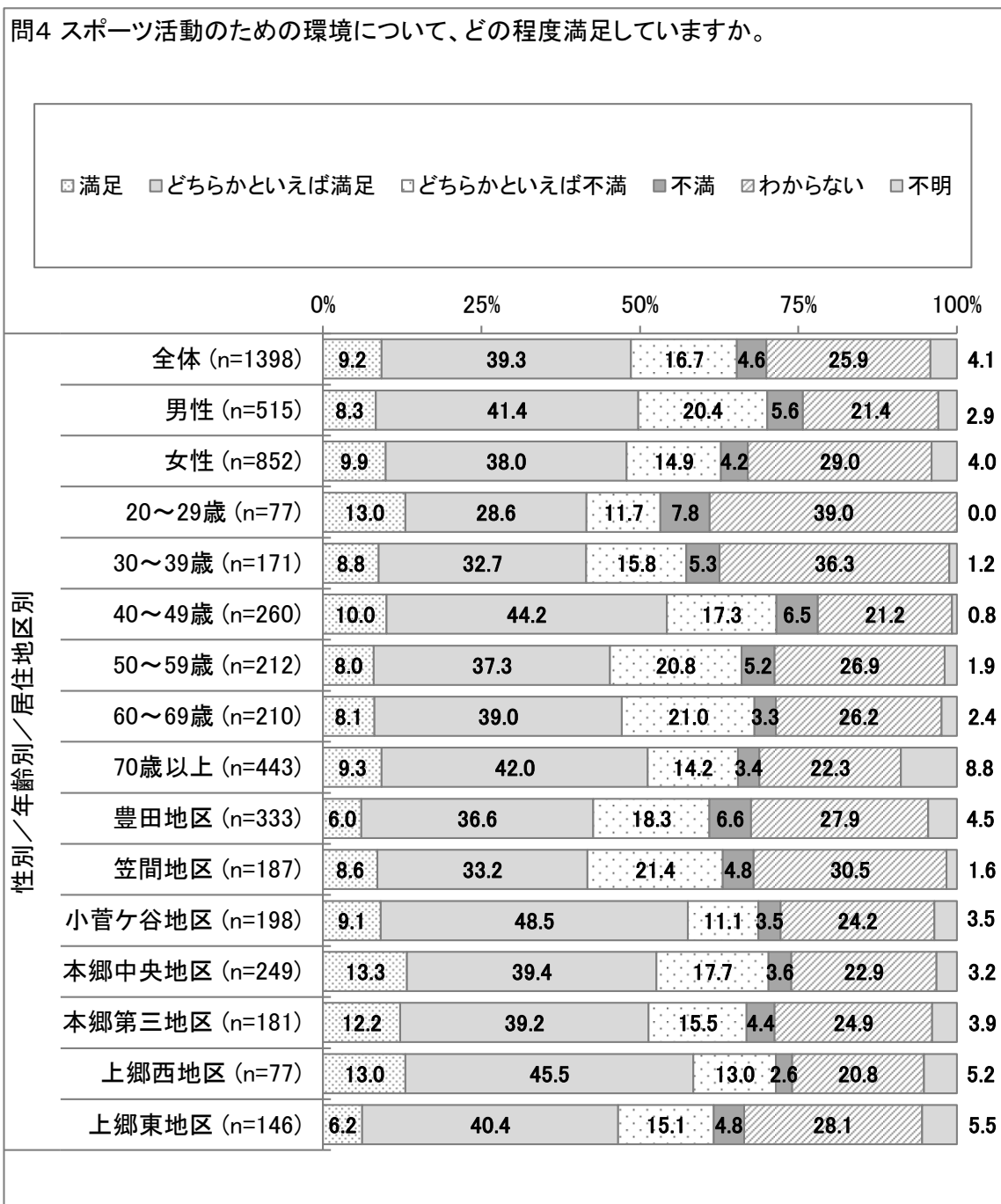
- 全体の『満足』は50.5%である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「小菅ヶ谷地区」、「本郷第三地区」である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「20～29歳」、「豊田地区」である。
- 「20～29歳」では、「わからない」が39.0%と全体より10ポイント以上多い。



3. 生活意識について

【スポーツ活動のための環境】

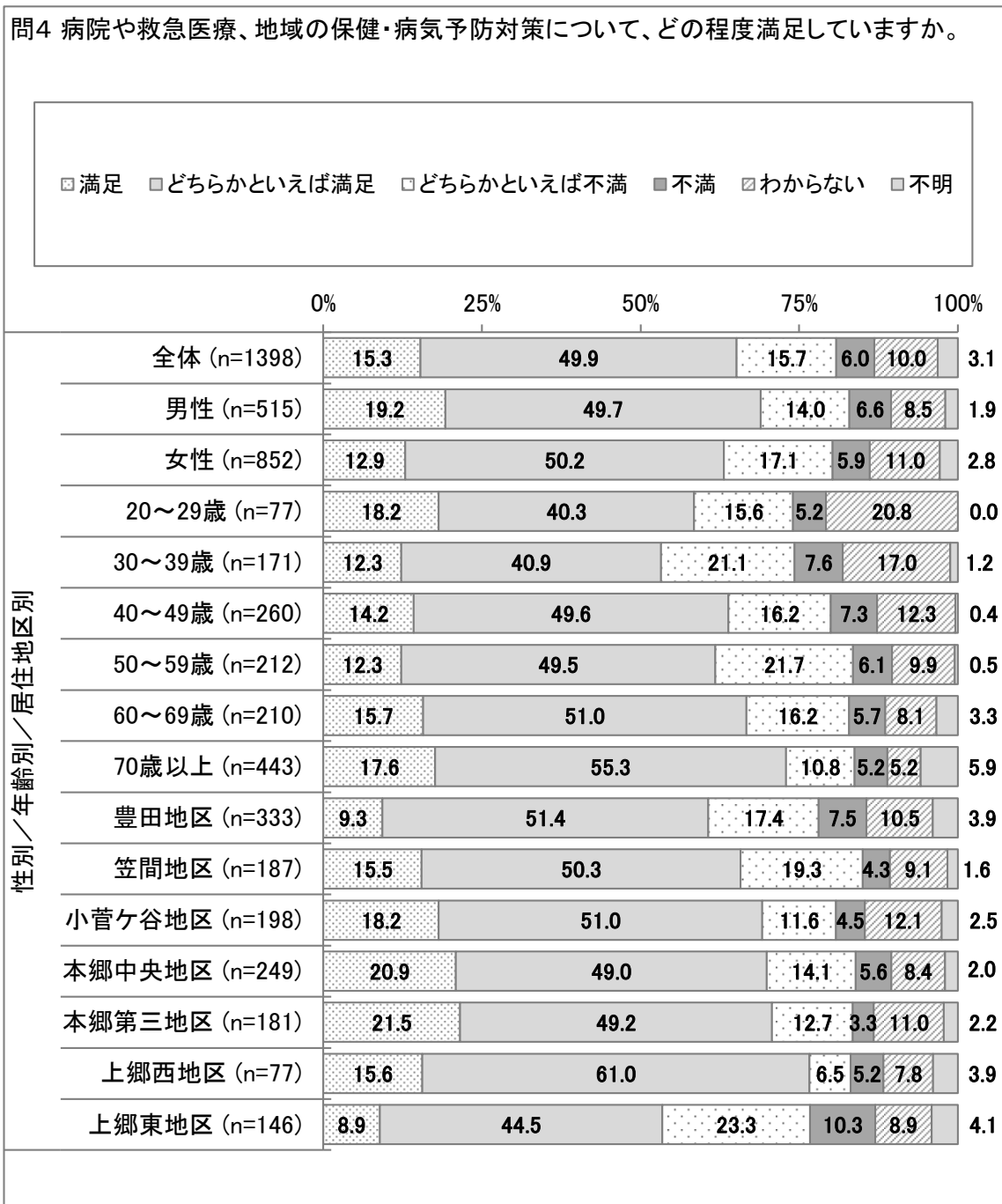
- 全体の『満足』は48.6%である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「40～49歳」、「上郷西地区」、「小菅ヶ谷地区」である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「20～29歳」、「30～39歳」、「豊田地区」、「笠間地区」である。
- 「20～29歳」、「30～39歳」は「わからない」がそれぞれ39.0%、36.3%と全体より10ポイント以上多い。



3. 生活意識について

【病院や救急医療、地域の保険・病気予防対策】

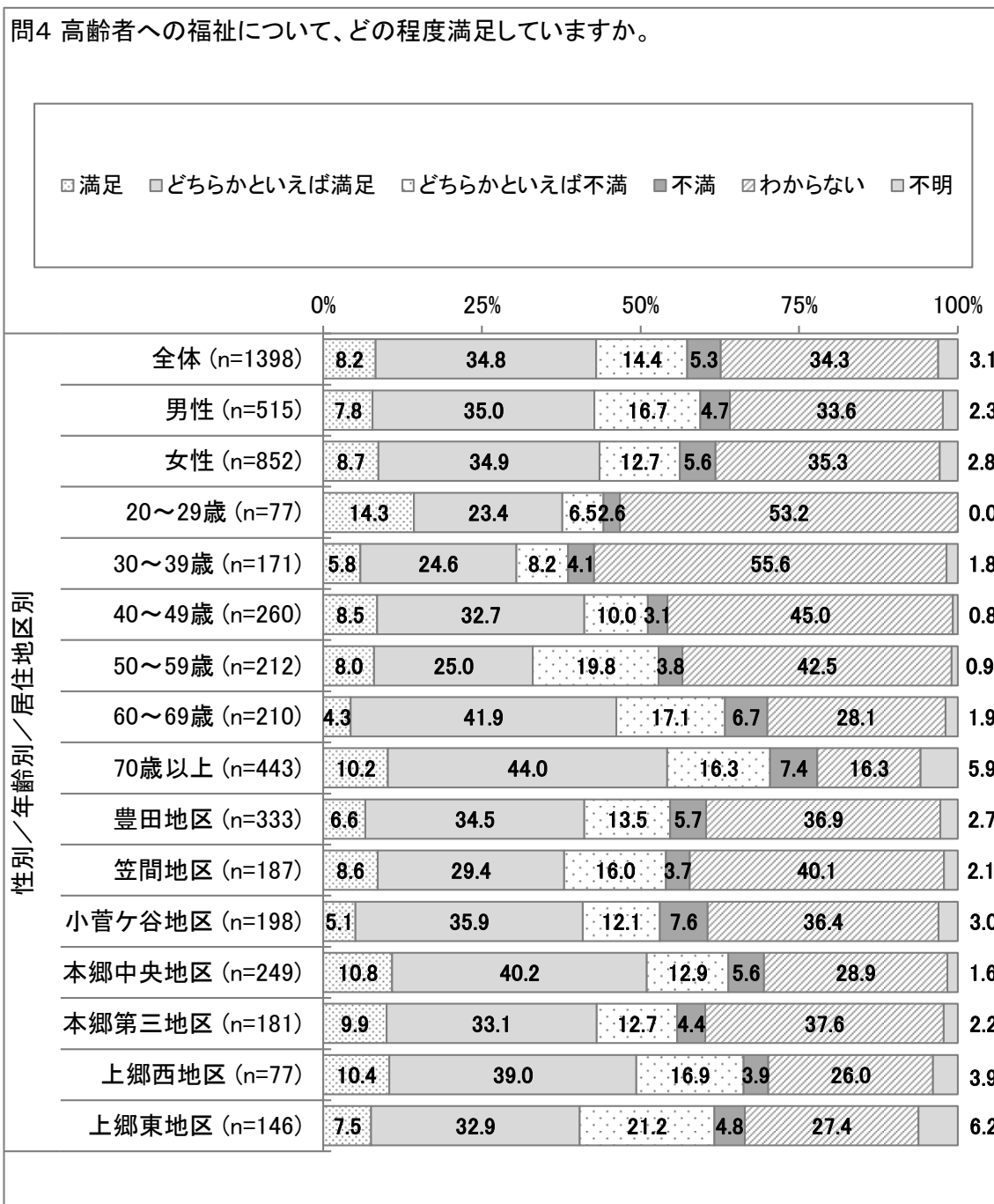
- 全体の『満足』は65.2%である。
- 全体に対して『満足』が10ポイント以上多いのは、「上郷西地区」である。
- 全体に対して『満足』が10ポイント以上少ないのは、「30～39歳」、「上郷東地区」である。
- 「20～29歳」では、「わからない」が20.8%と全体より10ポイント以上多い。



3. 生活意識について

【高齢者への福祉】

- 全体の『満足』は43.0%である。
- 全体に対して『満足』が10ポイント以上多いのは、「70歳以上」である。
- 全体に対して『満足』が10ポイント以上少ないのは、「30～39歳」である。
- 「40～49歳」の5割弱、「20～29歳」、「30～39歳」の半数以上が「わからない」と回答している。

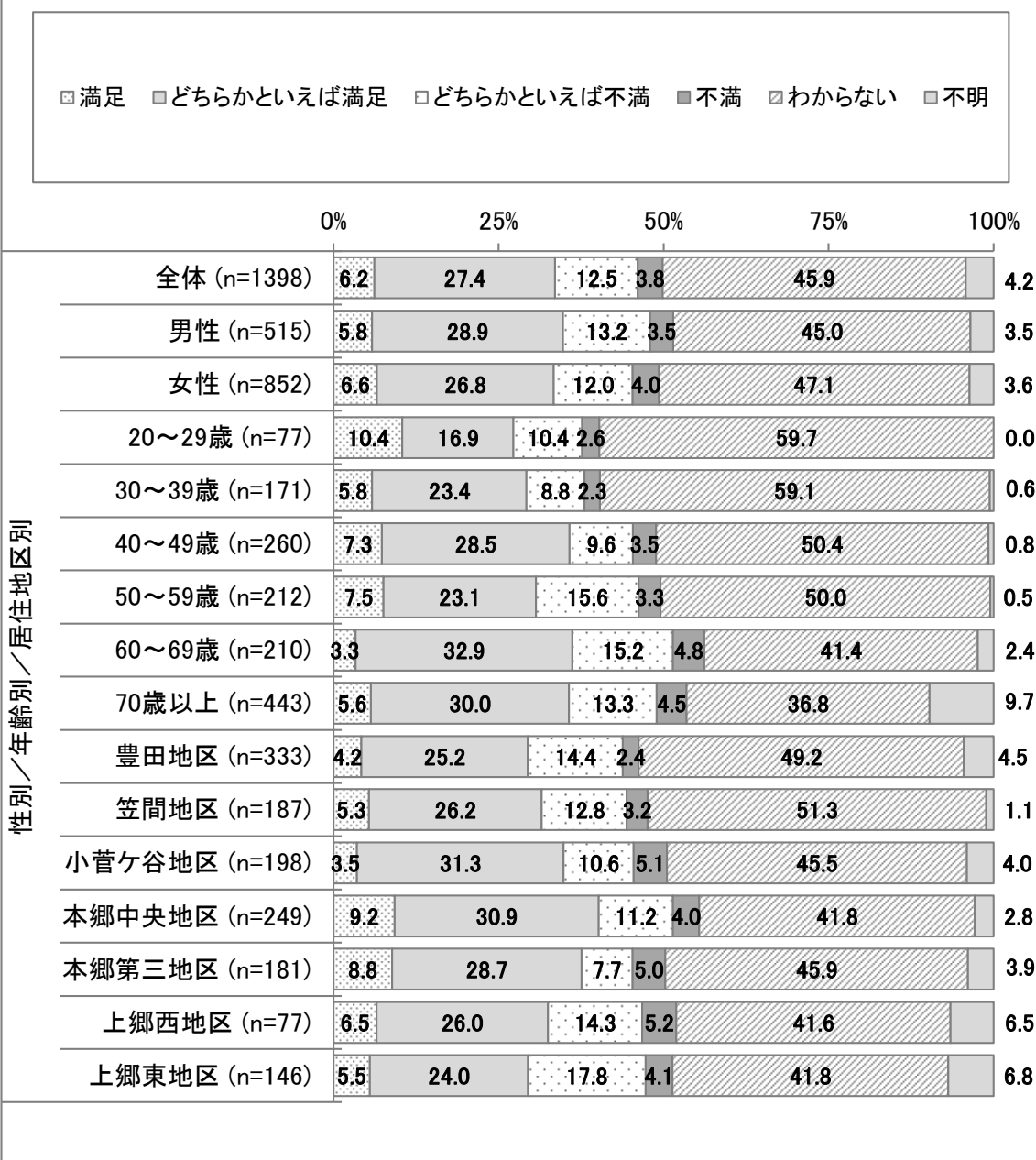


3. 生活意識について

【障害者への福祉】

- 全体の『満足』は33.5%である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「本郷中央地区」である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「20～29歳」である。
- 全体の45.9%が「わからない」との回答している。「20～29歳」、「30～39歳」の6割弱が「わからない」と回答している。

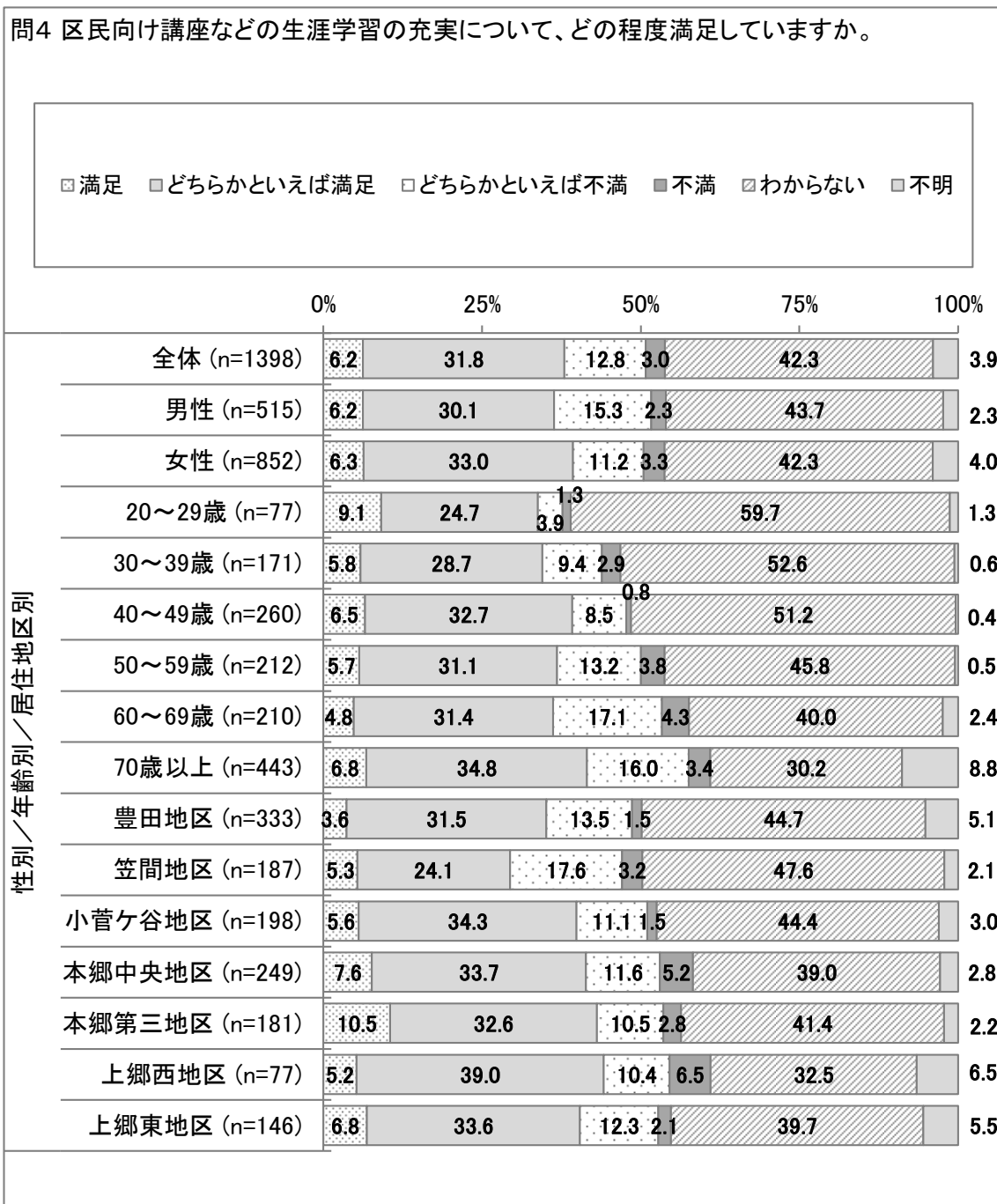
問4 障害者への福祉について、どの程度満足していますか。



3. 生活意識について

【区民向け講座などの生涯学習の充実】

- 全体の『満足』は38.0%である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「上郷西地区」、「本郷第三地区」である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「笠間地区」である。
- 全体の42.3%が「わからない」と回答している。
- 「20～29歳」、「30～39歳」は「わからない」がそれぞれ59.7%、52.6%と全体より10ポイント以上多い。



3. 生活意識について

【区民ボランティア活動に対する支援】

- 全体の『満足』は33.2%である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「本郷第三地区」、「上郷西地区」である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「笠間地区」である。
- 「わからない」は、全体の48.5%である。

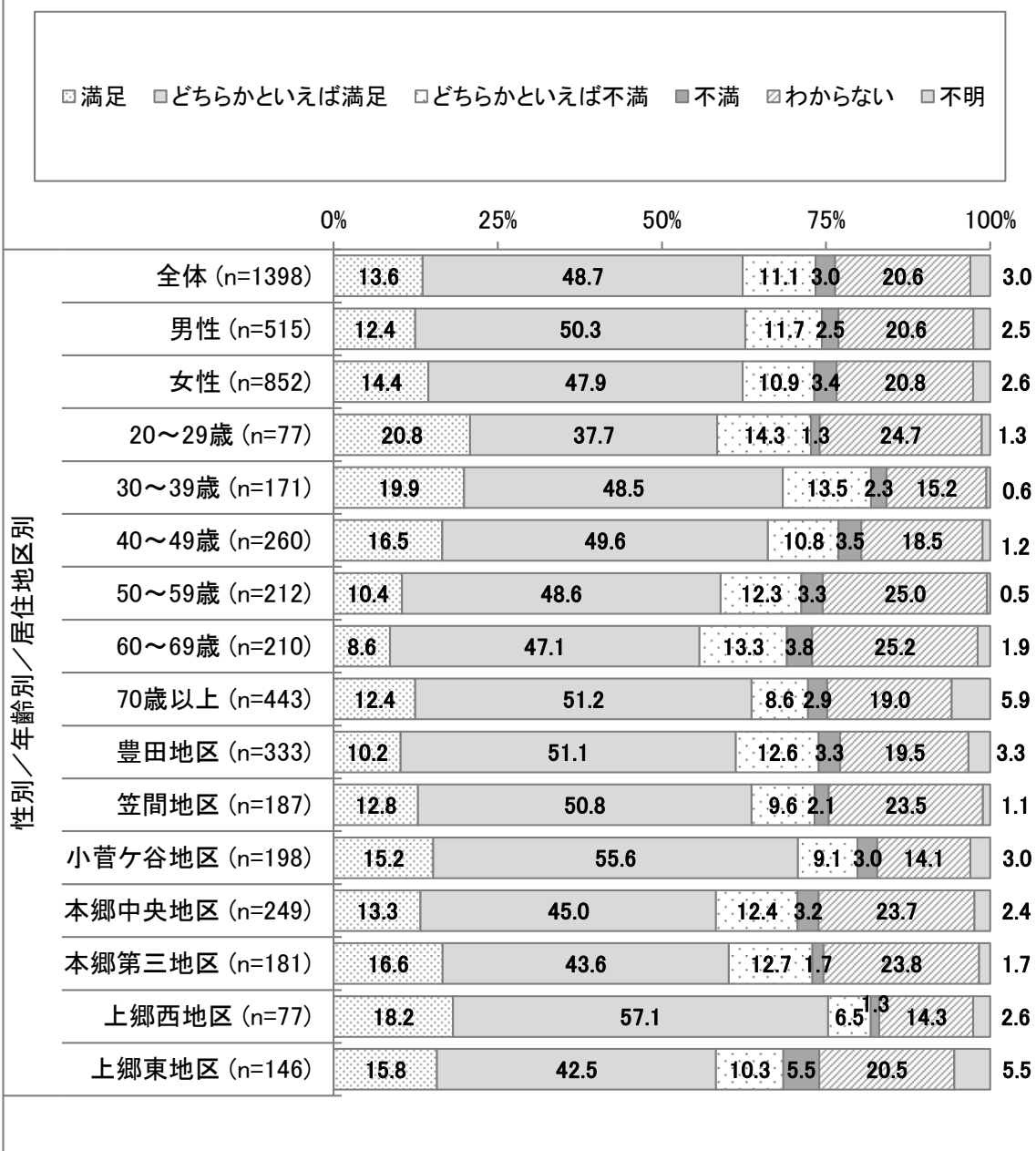


3. 生活意識について

【祭や盆踊りなどの地域交流イベント】

- 全体の『満足』は62.3%である。
- 全体に対して『満足』が10ポイント以上多いのは、「上郷西地区」である。5ポイント以上多いのは、「30～39歳」、「小菅ヶ谷地区」である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「60～69歳」である。

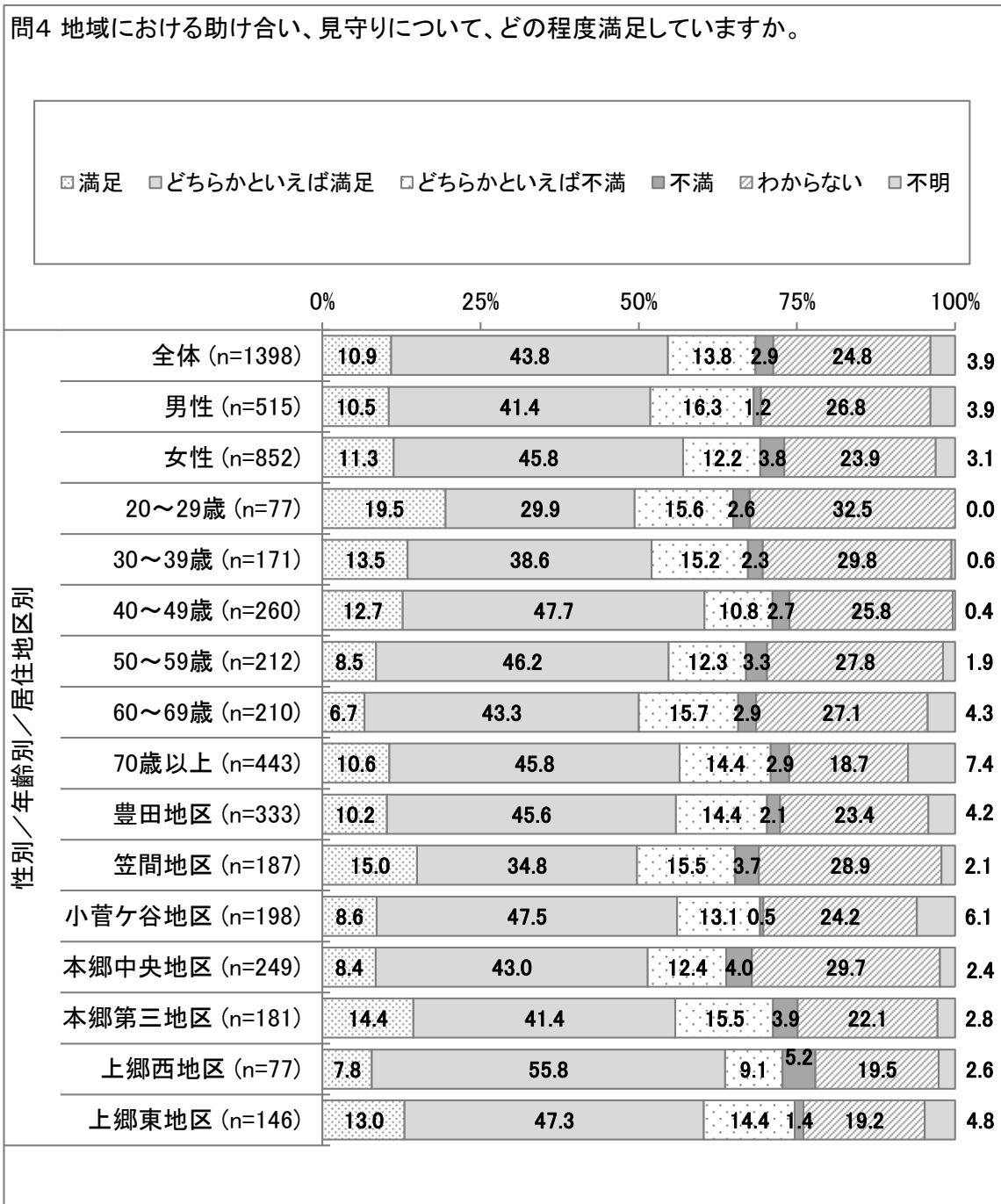
問4 祭や盆踊りなどの地域交流イベントについて、どの程度満足していますか。



3. 生活意識について

【地域における助け合い、見守り】

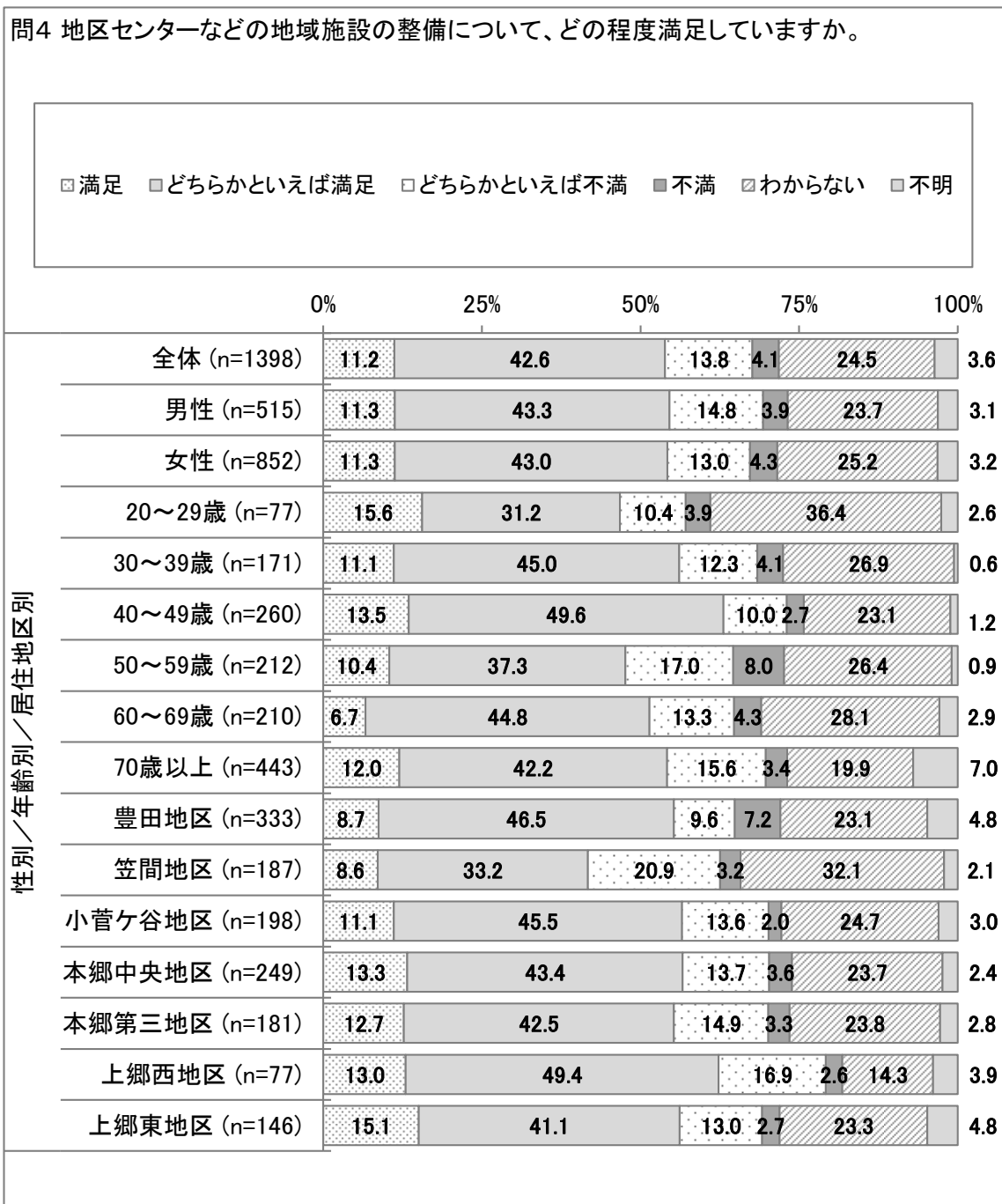
- 全体の『満足』は54.6%である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「40～49歳」、「上郷西地区」、「上郷東地区」である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「20～29歳」である。



3. 生活意識について

【地区センターなどの地域施設の整備】

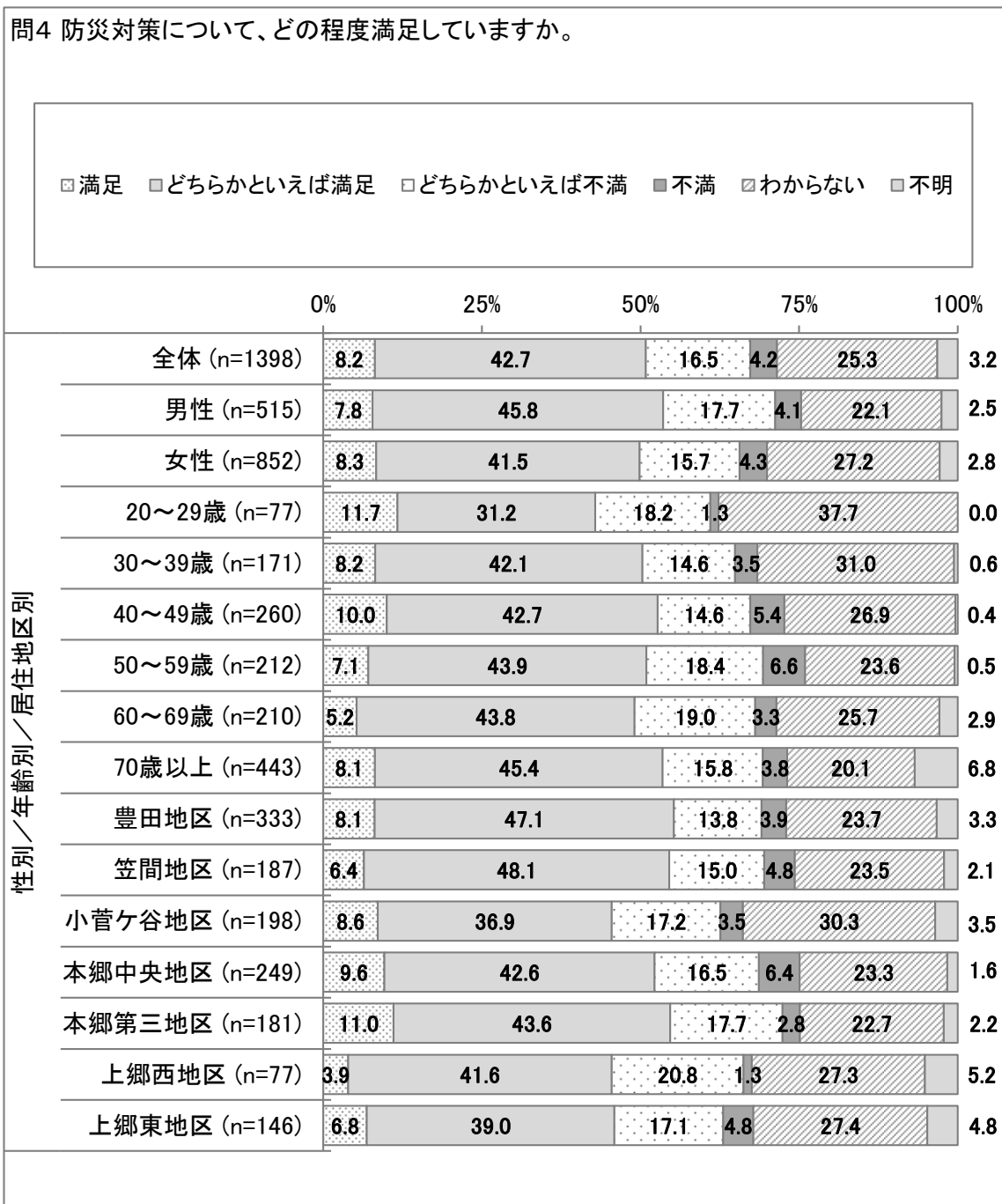
- 全体の『満足』は53.9%である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「40～49歳」、「上郷西地区」である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「20～29歳」、「50～59歳」、「笠間地区」である。
- 「20～29歳」では、「わからない」が36.4%と全体より10ポイント以上多い。



3. 生活意識について

【防災対策】

- 全体の『満足』は50.9%である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「20～29歳」、「上郷西地区」、「小菅ヶ谷地区」である。
- 「20～29歳」では、「わからない」が37.7%と全体より10ポイント以上多い。

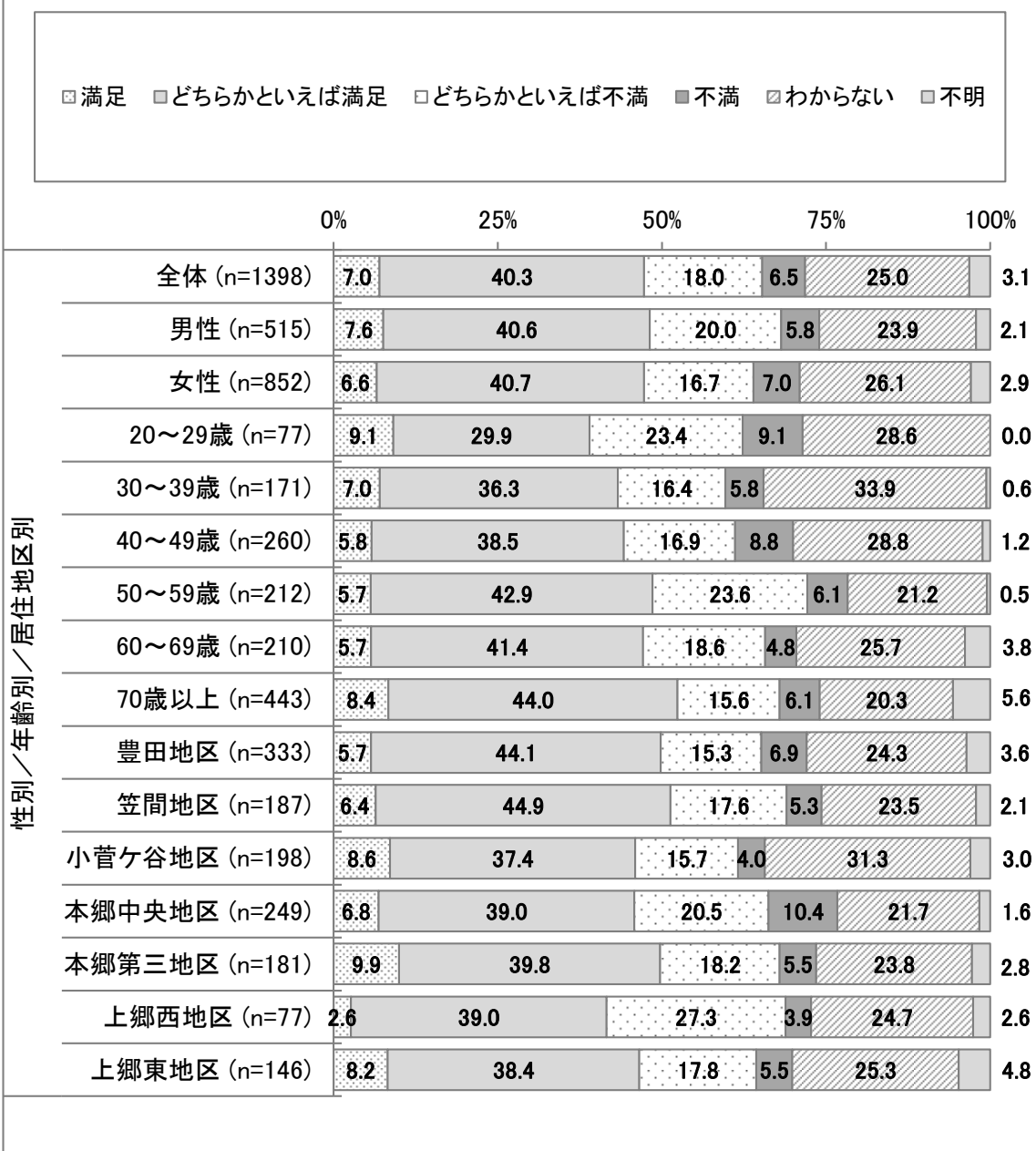


3. 生活意識について

【防犯対策】

- 全体の『満足』は47.3%である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「70歳以上」である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「20～29歳」、「上郷西地区」である。

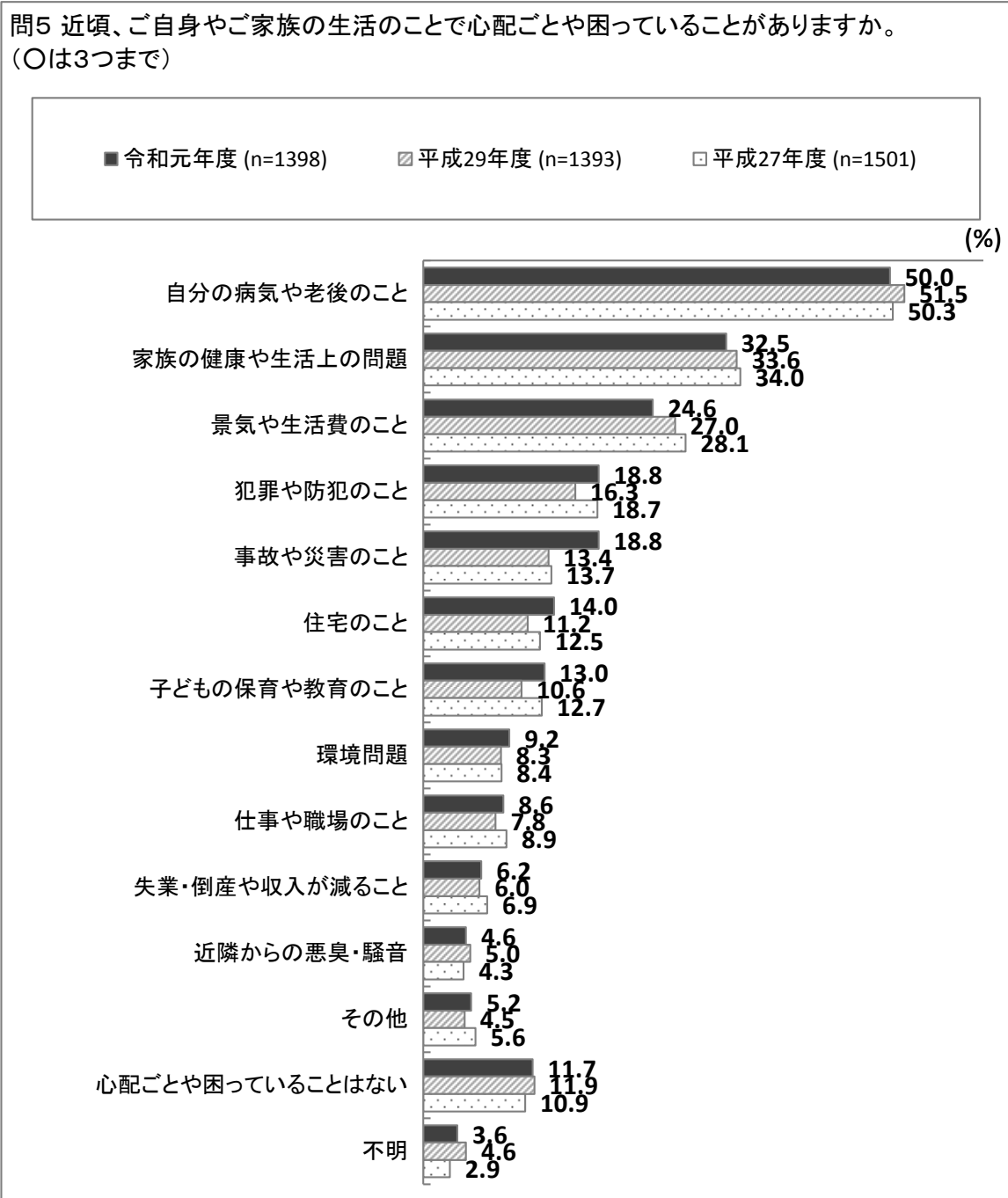
問4 防犯対策について、どの程度満足していますか。



3. 生活意識について

【心配ごとや困っていること：全体・時系列】

- 最も高いのは「自分の病気や老後のこと」で、5割、次いで、「家族の健康や生活上の問題」(32.5%)、「景気や生活費のこと」(24.6%)が続く。
- 平成29年度、平成27年度との比較では大きな変化は見られない。

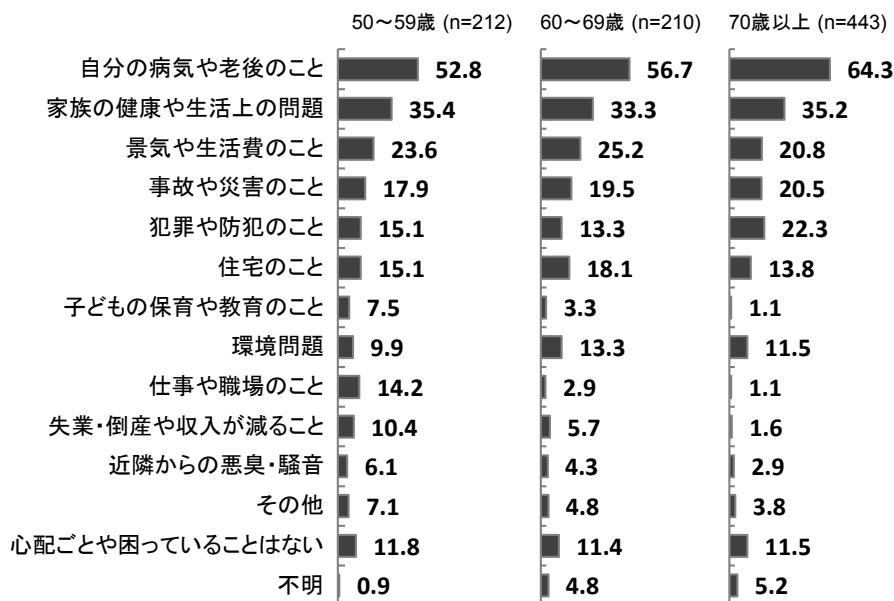
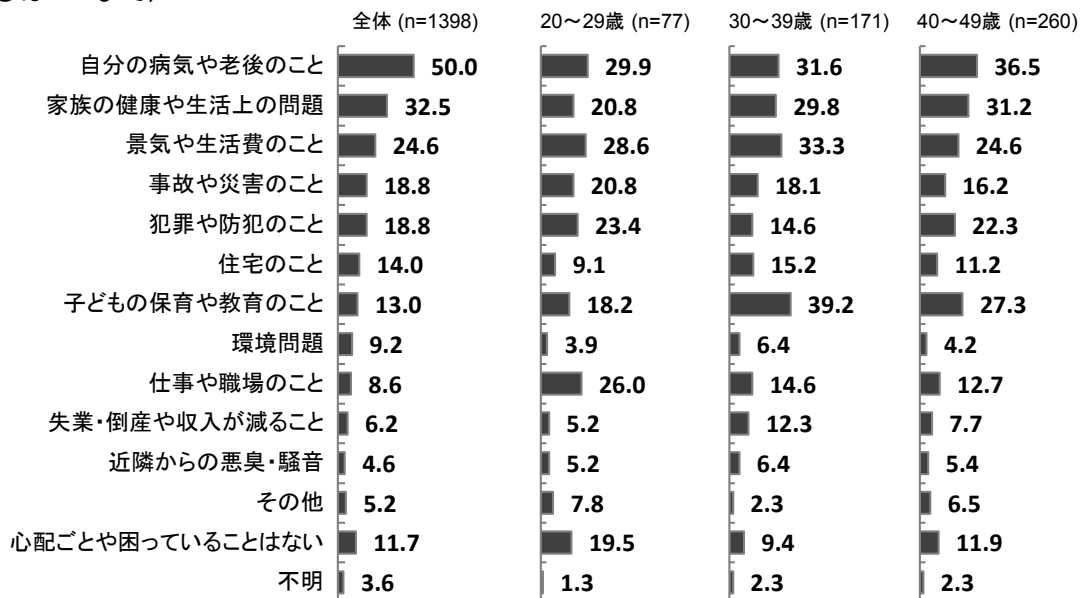


3. 生活意識について

【心配ごとや困っていること：年齢別】

- ・ 「20～29歳」では、全体に比べて「仕事や職場のこと」が多い。
- ・ 「30～39歳」、「40～49歳」では、「子どもの保育や教育のこと」が全体に比べて多い。
- ・ 「70歳以上」では、「自分の病気や老後のこと」が6割を超える。

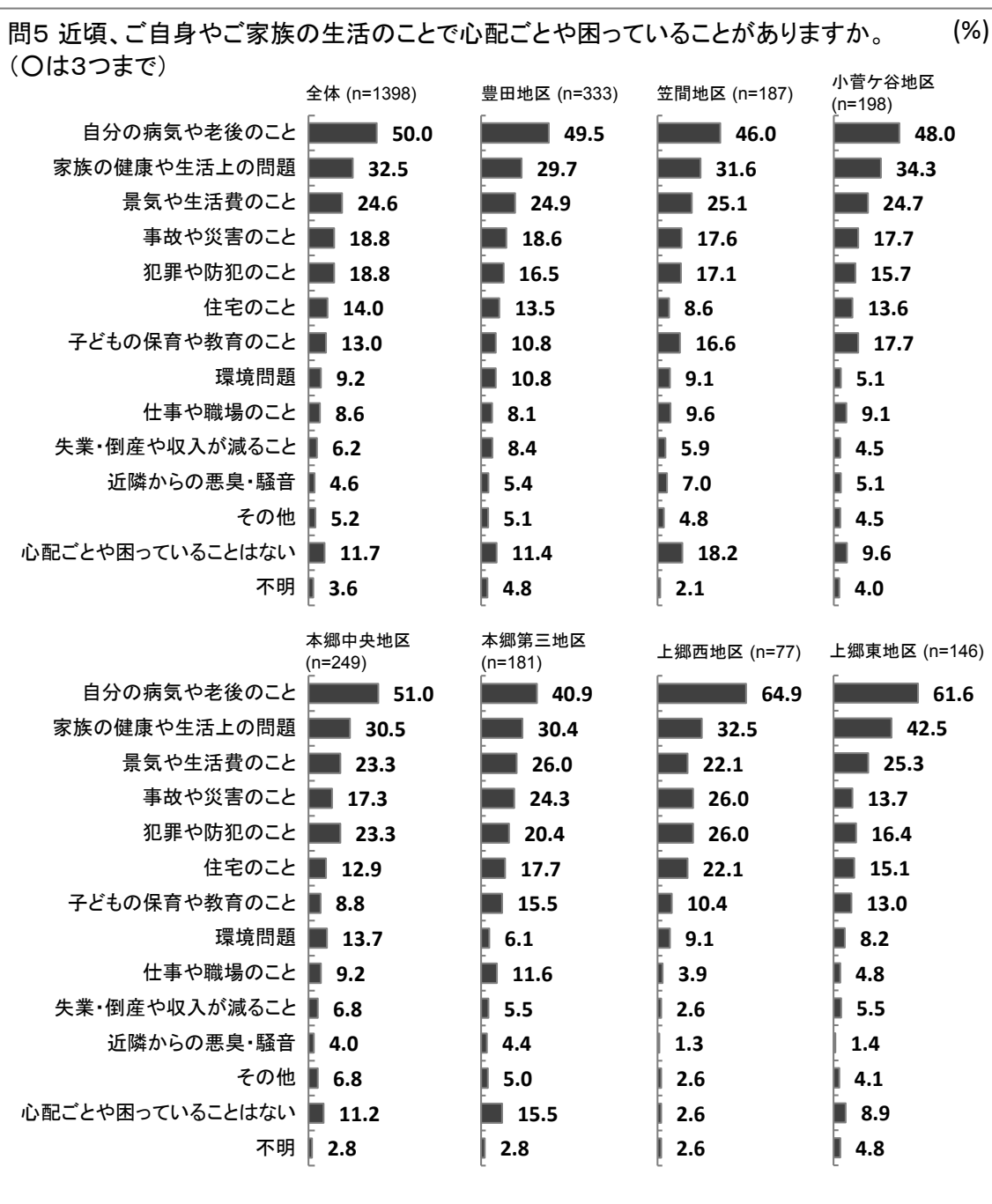
問5 近頃、ご自身やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。 (%)
(○は3つまで)



3. 生活意識について

【心配ごとや困っていること：居住地区別】

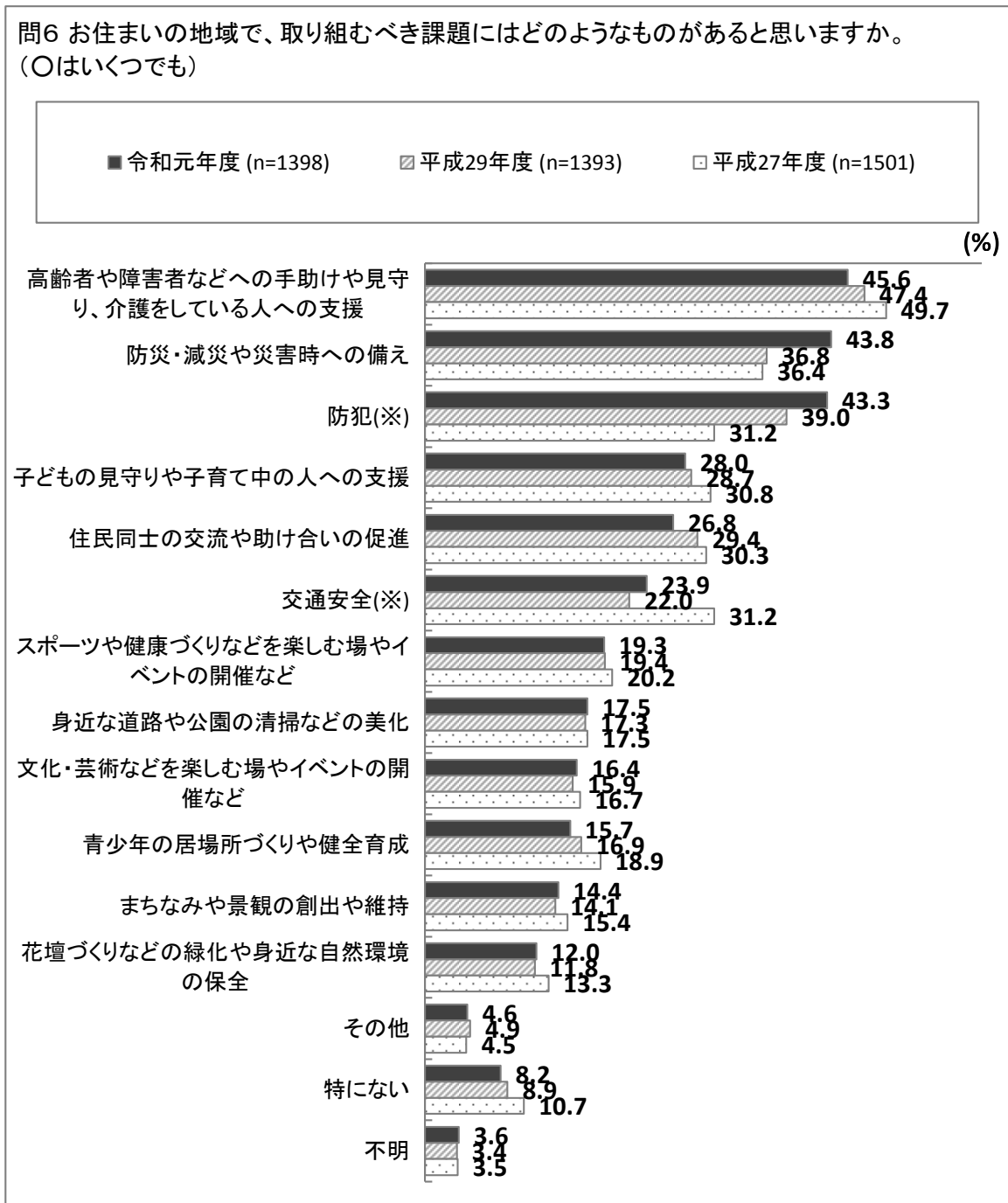
- ・ 「上郷西地区」、「上郷東地区」では、「自分の病気や老後のこと」が全体に比べて10ポイント以上多い。
- ・ 「上郷東地区」では「家族の健康や生活上の問題」、「本郷第三地区」では「事故や災害のこと」、「上郷西地区」では「事故や災害のこと」、「犯罪や防犯のこと」、「住宅のこと」が全体よりも5ポイント以上多い。
- ・ 「笠間地区」では、「心配ごとや困っていることはない」が18.2%と全体より5ポイント以上多い。



3. 生活意識について

【取り組むべき課題：全体・時系列】

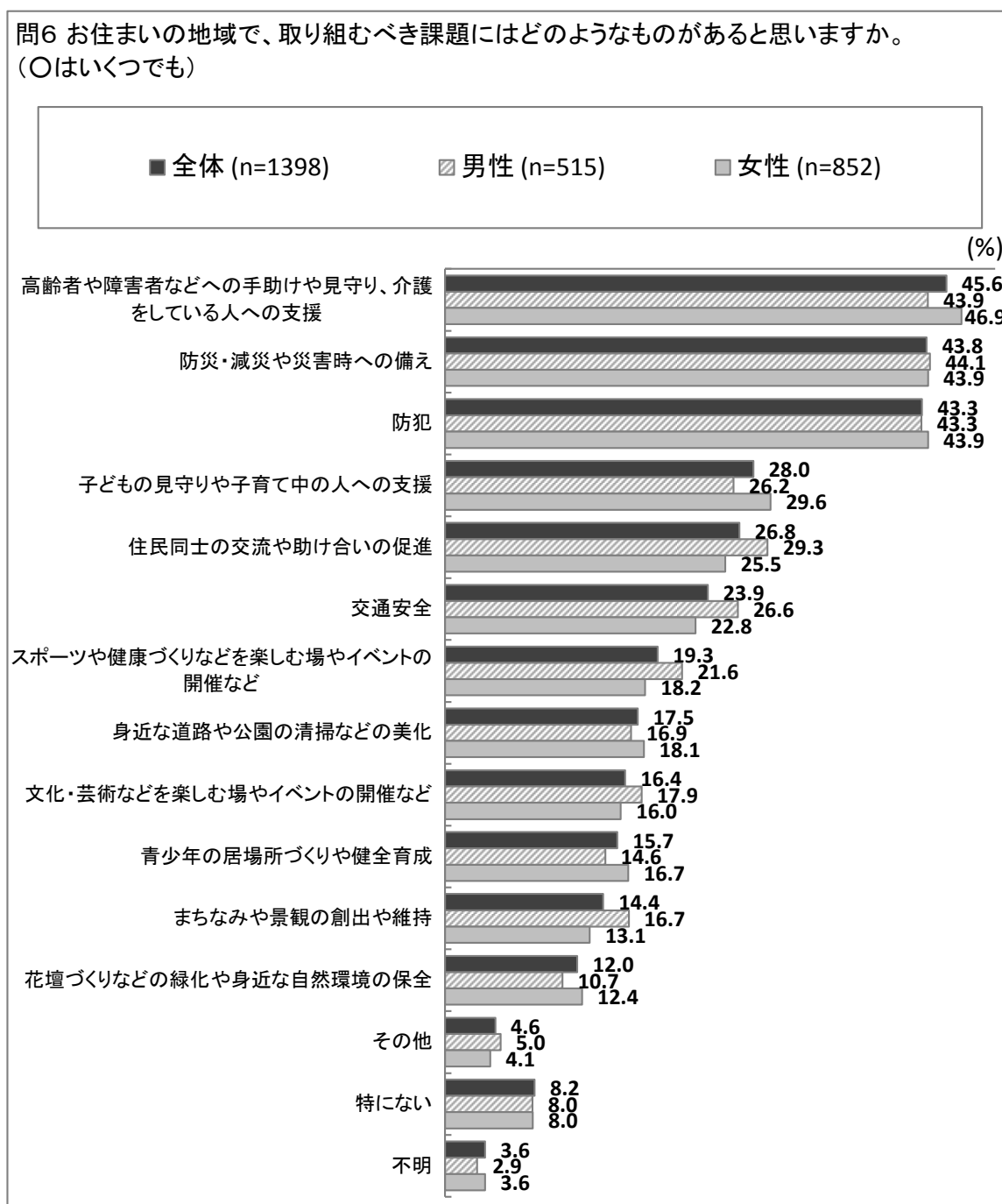
- ・ 「高齢者や障害者などへの手助けや見守り、介護をしている人への支援」が45.6%で最も多くあげられている。次いで、「防災・減災や災害時への備え」、「防犯」が4割を超えて続く。
- ・ 平成29年度との比較では、今回調査で「防災・減災や災害時への備え」が7.0ポイント多くなっている。



3. 生活意識について

【取り組むべき課題：性別】

- 課題としてあげる割合は、「男性」は「女性」よりも「交通安全」、「まちなみや景観の創出や維持」、「スポーツや健康づくりなどを楽しむ場やイベントの開催など」が、「女性」は「男性」よりも「子どもの見守りや子育て中の人への支援」、「高齢者や障害者などへの手助けや見守り、介護をしている人への支援」が3ポイント以上多い。

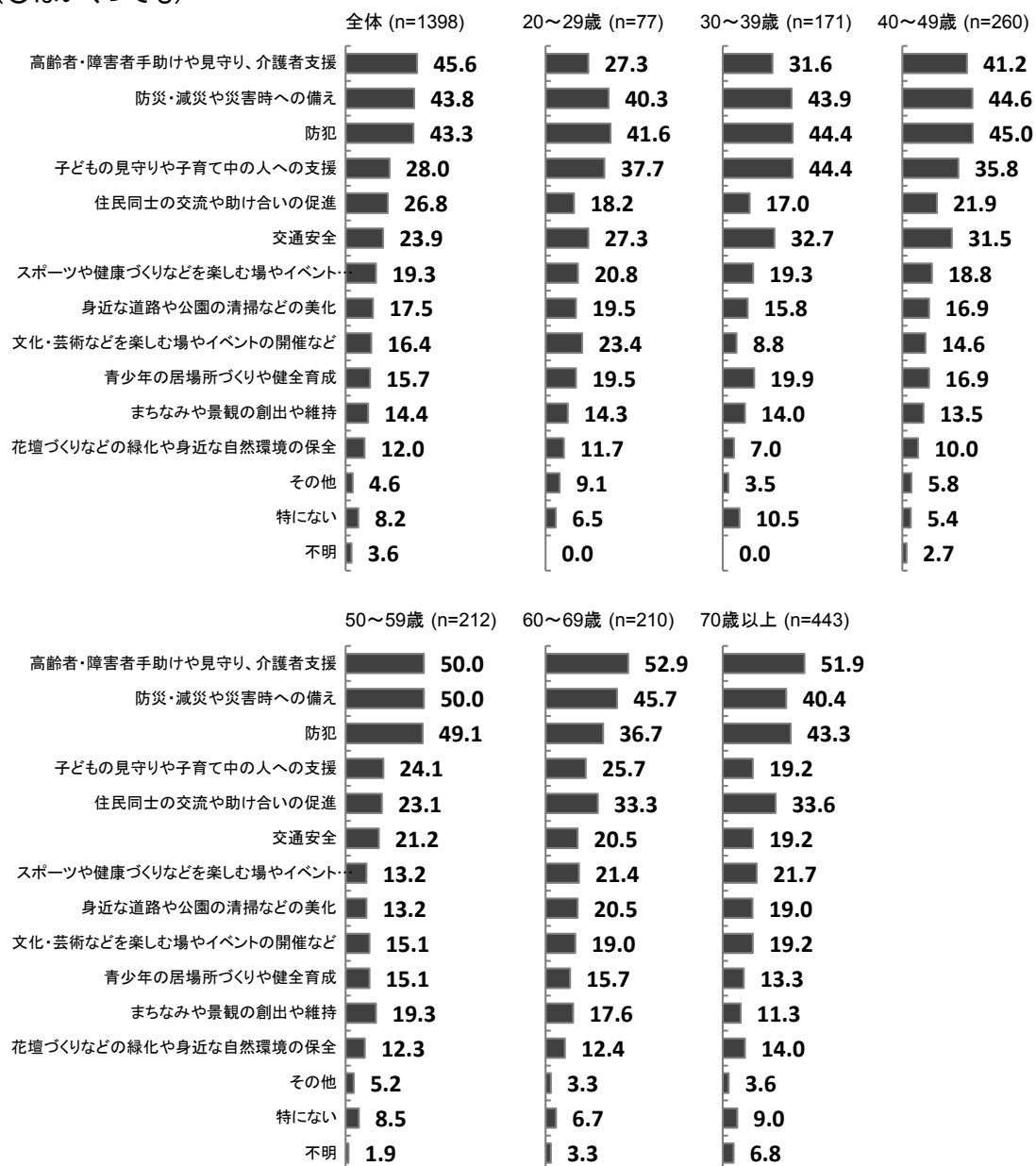


3. 生活意識について

【取り組むべき課題：年齢別】

- ・ 「30～39歳」では、「子どもの見守りや子育て中の人への支援」を課題としてあげる割合が全体より10ポイント以上、「交通安全」は、全体より5ポイント以上高い。
- ・ 「20～29歳」では、「子どもの見守りや子育て中の人への支援」、「文化・芸術などを楽しむ場やイベントの開催など」が全体より5ポイント以上多い。
- ・ 「40～49歳」では、「子どもの見守りや子育て中の人への支援」、「交通安全」が全体より5ポイント以上多い。
- ・ 「50～59歳」では、「防災・減災や災害時への備え」、「防犯」が全体より5ポイント以上多い。
- ・ 「60～69歳」、「70歳以上」では、「高齢者や障害者などへの手助けや見守り、介護をしている人への支援」、「住民同士の交流や助け合いの促進」が全体より5ポイント以上多い。

問6 お住まいの地域で、取り組むべき課題にはどのようなものがあると思いますか。 (%)
(○はいくつでも)

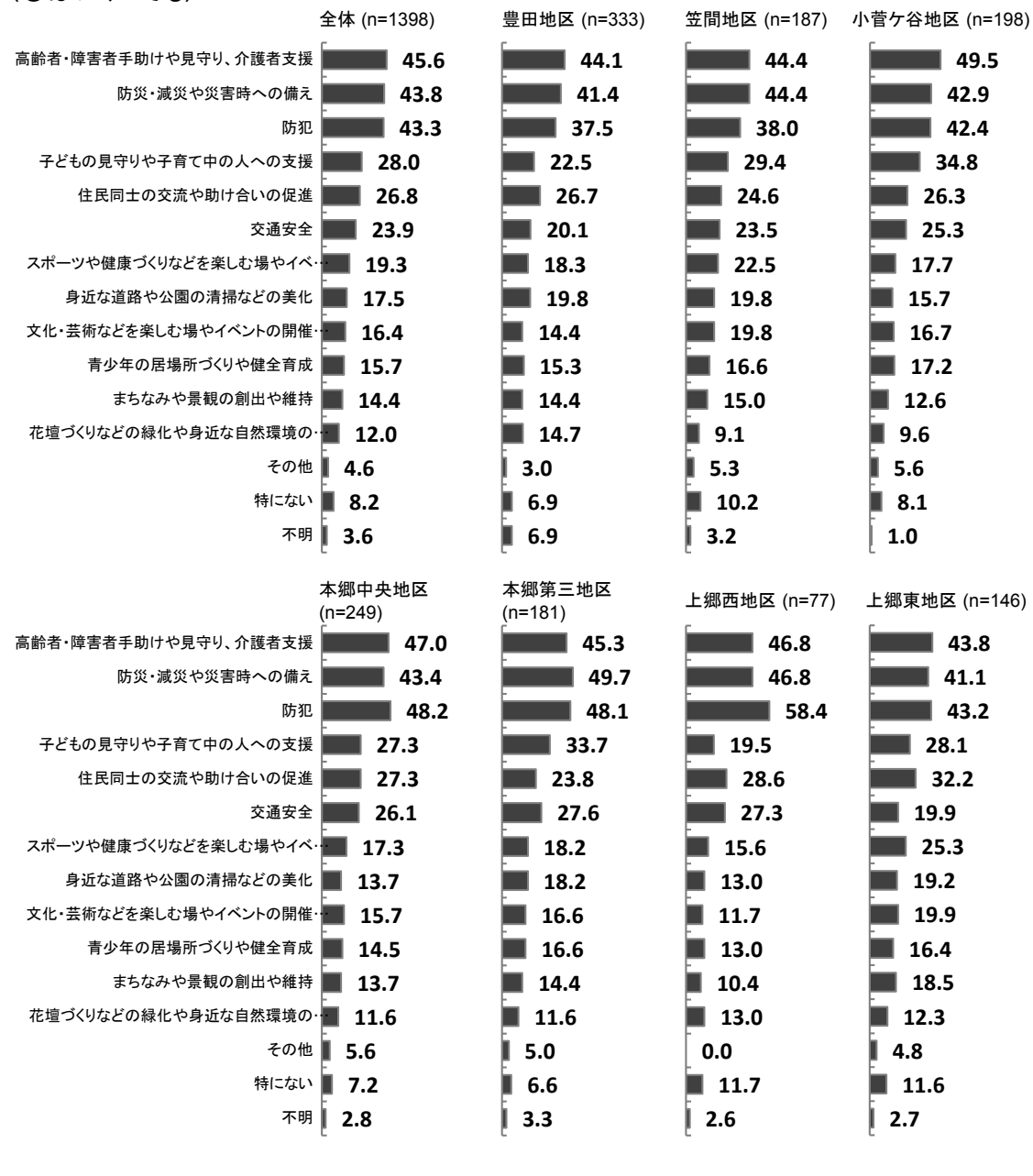


3. 生活意識について

【取り組むべき課題： 居住地区別】

- ・ 「上郷西地区」で「防犯」があげられる割合が全体より10ポイント以上多い。
- ・ 「小菅ヶ谷地区」で「子どもの見守りや子育て中の人への支援」、「本郷第三地区」で「子どもの見守りや子育て中の人への支援」、「防災・減災や災害時への備え」、「上郷東地区」で「住民同士の交流や助け合いの促進」、「スポーツや健康づくりなどを楽しむ場やイベントの開催など」があげられる割合が全体より5ポイント以上多い。

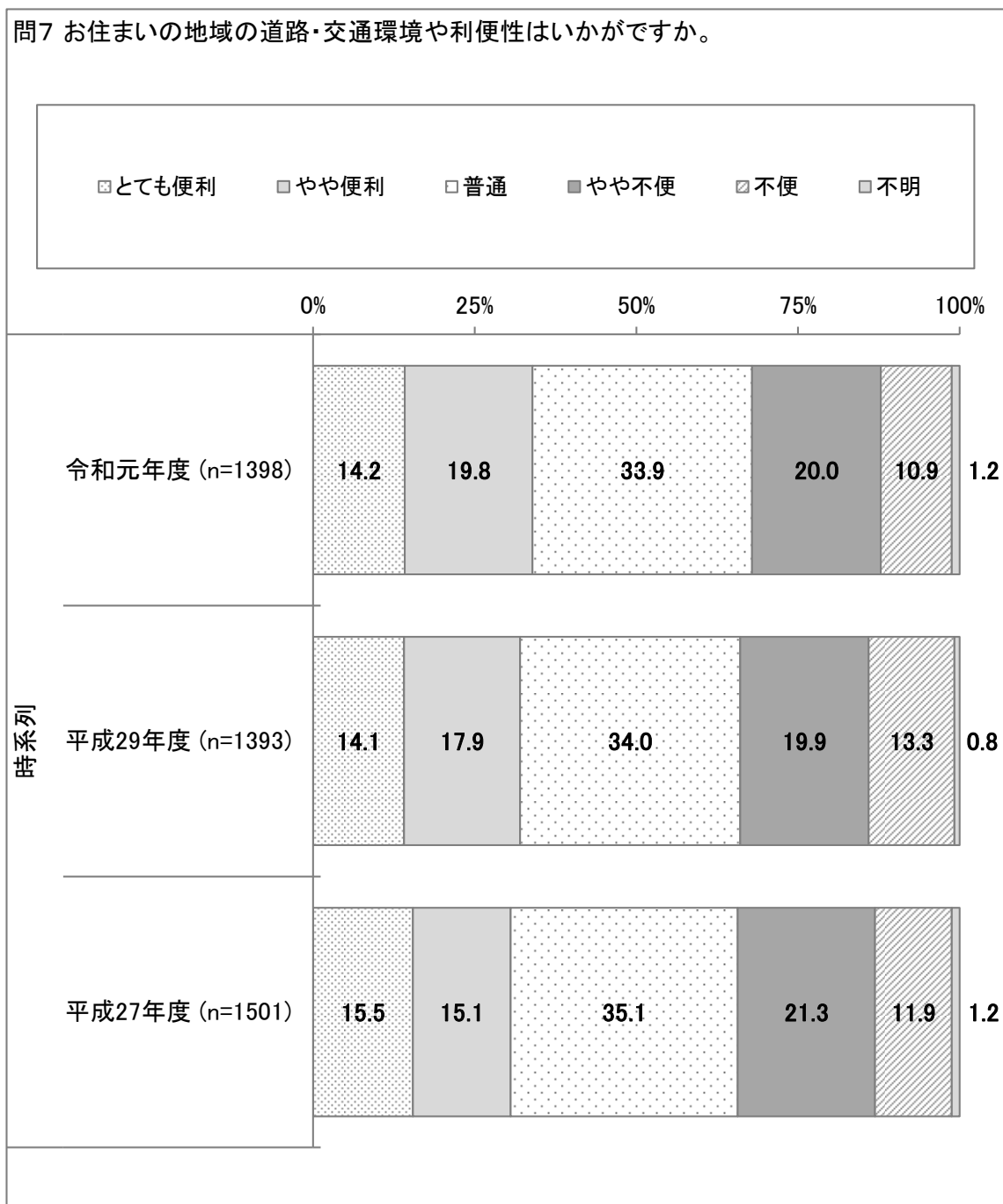
問6 お住まいの地域で、取り組むべき課題にはどのようなものがあると思いますか。 (%)
(〇はいくつでも)



4. 道路・交通について

【全体・時系列】

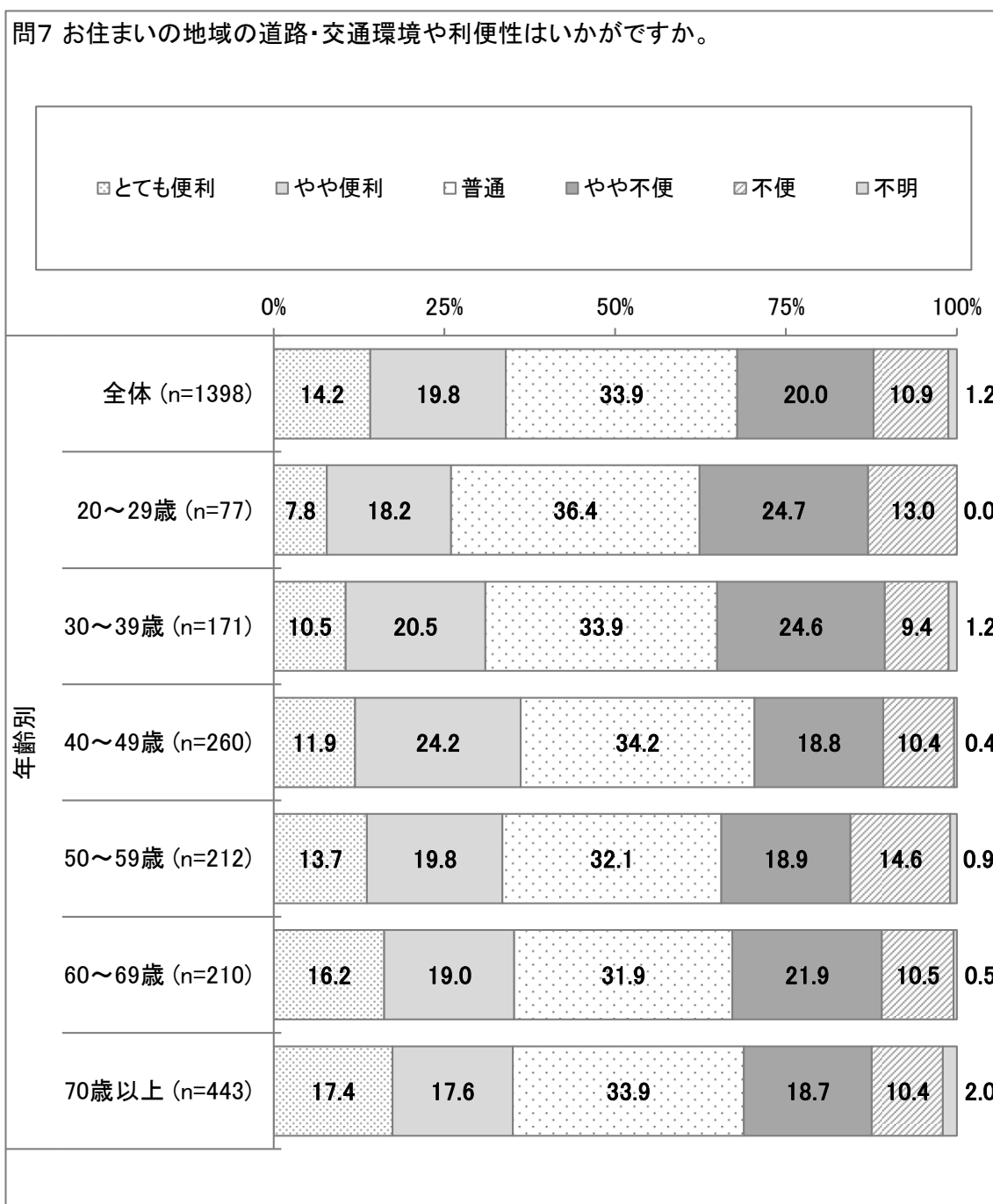
- 全体の34.0%が「とても便利」、「やや便利」(以下『便利』)と回答している。「やや不便」、「不便」の合計(以下『不便』)は30.9%で、『便利』と『不便』がほぼ同じ割合で存在している。
- 平成29年度、平成27年度と比べると、平成27年度から『便利』が微増し、「普通」、「不便」は微減傾向が見られる。



4. 道路・交通について

【年齢別】

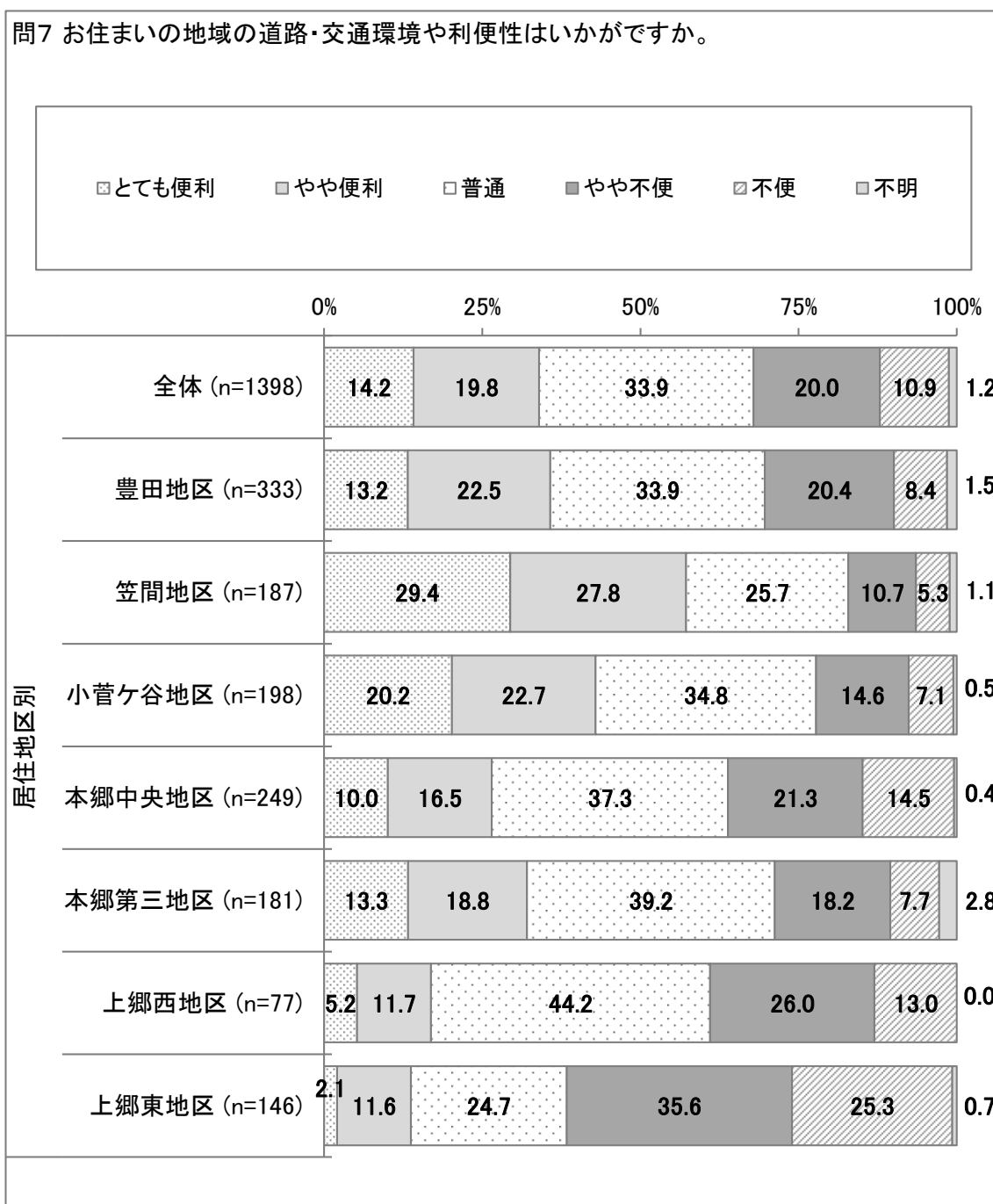
- 「20～29歳」の『不便』の割合が全体を5ポイント以上多い。



4. 道路・交通について

【居住地区別】

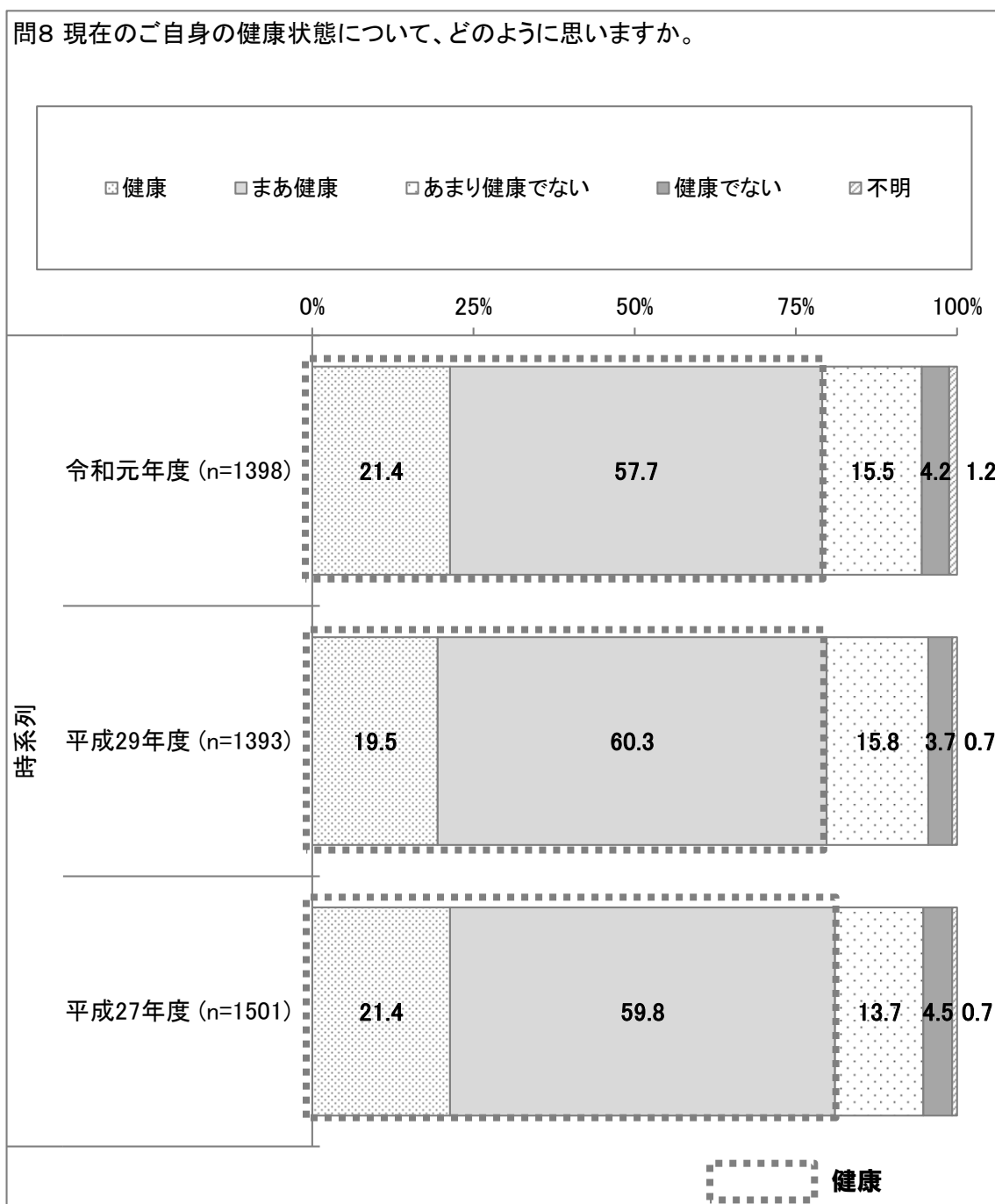
- ・ 「笠間地区」の『便利』の割合は57.2%で全体を23.2ポイント上回る。「小菅ヶ谷地区」は全体を5ポイント以上上回る。
- ・ 「上郷東地区」の『不便』は全体を約30ポイント上回り、61.0%と非常に多い。「上郷西地区」も全体を8.1ポイント、「本郷中央地区」は4.8ポイント上回る。



5. 健康・福祉について

【健康状態：全体・時系列】

- ・ 「健康」、「まあ健康」の合計(以下『健康』)の割合は8割弱に達し、「あまり健康でない」、「健康でない」の合計(以下『健康でない』)を大きく、上回る。
- ・ 平成27年度、平成29年度と比較すると、大きな違いはみられないが、『健康』の割合は微減傾向にある。

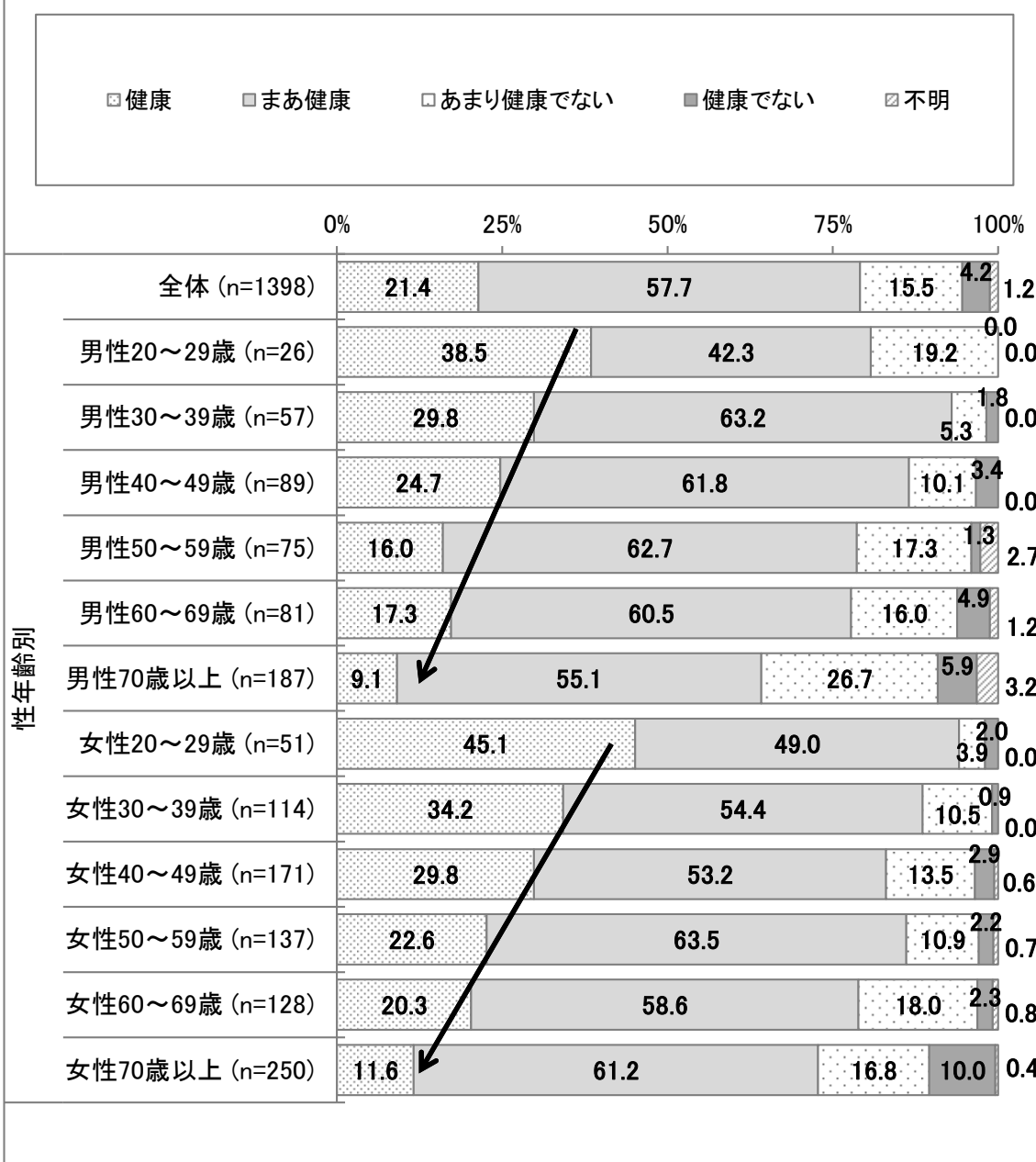


5. 健康・福祉について

【健康状態：性・年齢別】

- ・ 性別に関わらず、年齢が上がるほど「健康」の割合は低下傾向となっている。
- ・ 『健康』の割合は、男性は「30～39歳」で、全体より10ポイント以上高く、「70歳以上」で、全体より10ポイント以上少ない。
- ・ 女性は「20～29歳」で、全体より10ポイント以上多い。

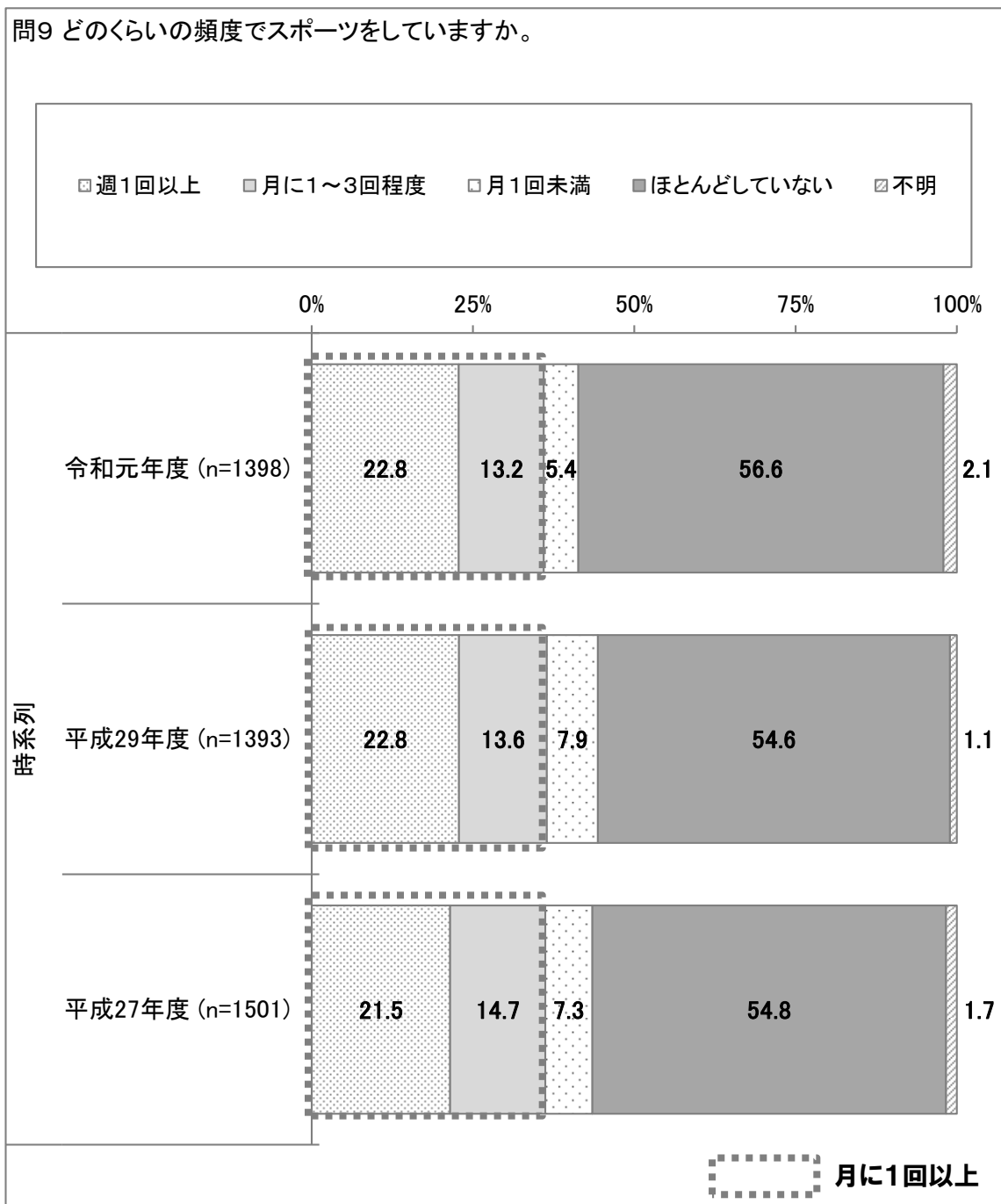
問8 現在のご自身の健康状態について、どのように思いますか。



5. 健康・福祉について

【スポーツ頻度：全体・時系列】

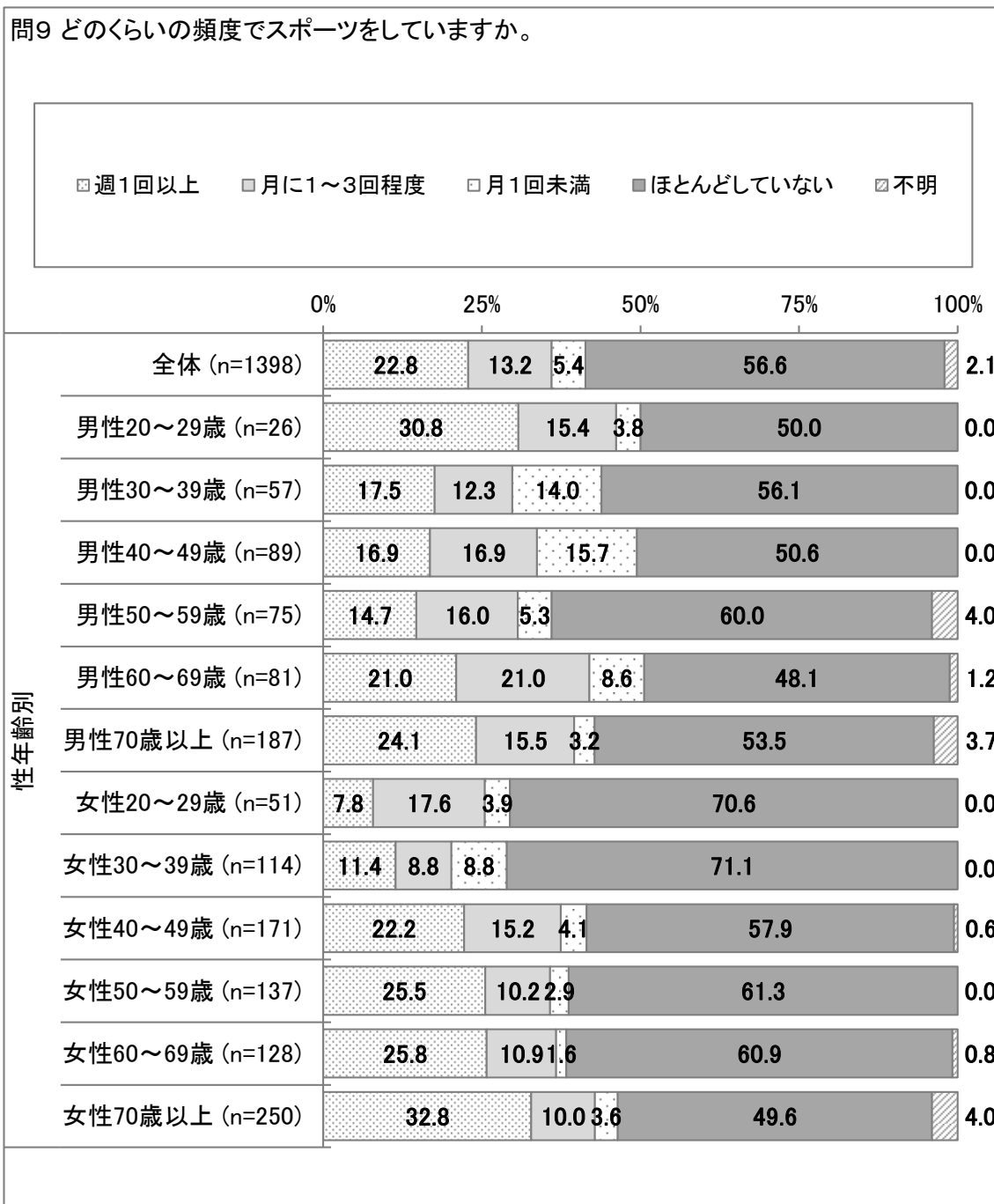
- ・ 全体では「週1回以上」の割合は22.8%、「ほとんどしていない」は56.6%である。
- ・ 平成27年度、平成29年度と比較すると、大きな違いはみられない。



5. 健康・福祉について

【スポーツ頻度：性・年齢別】

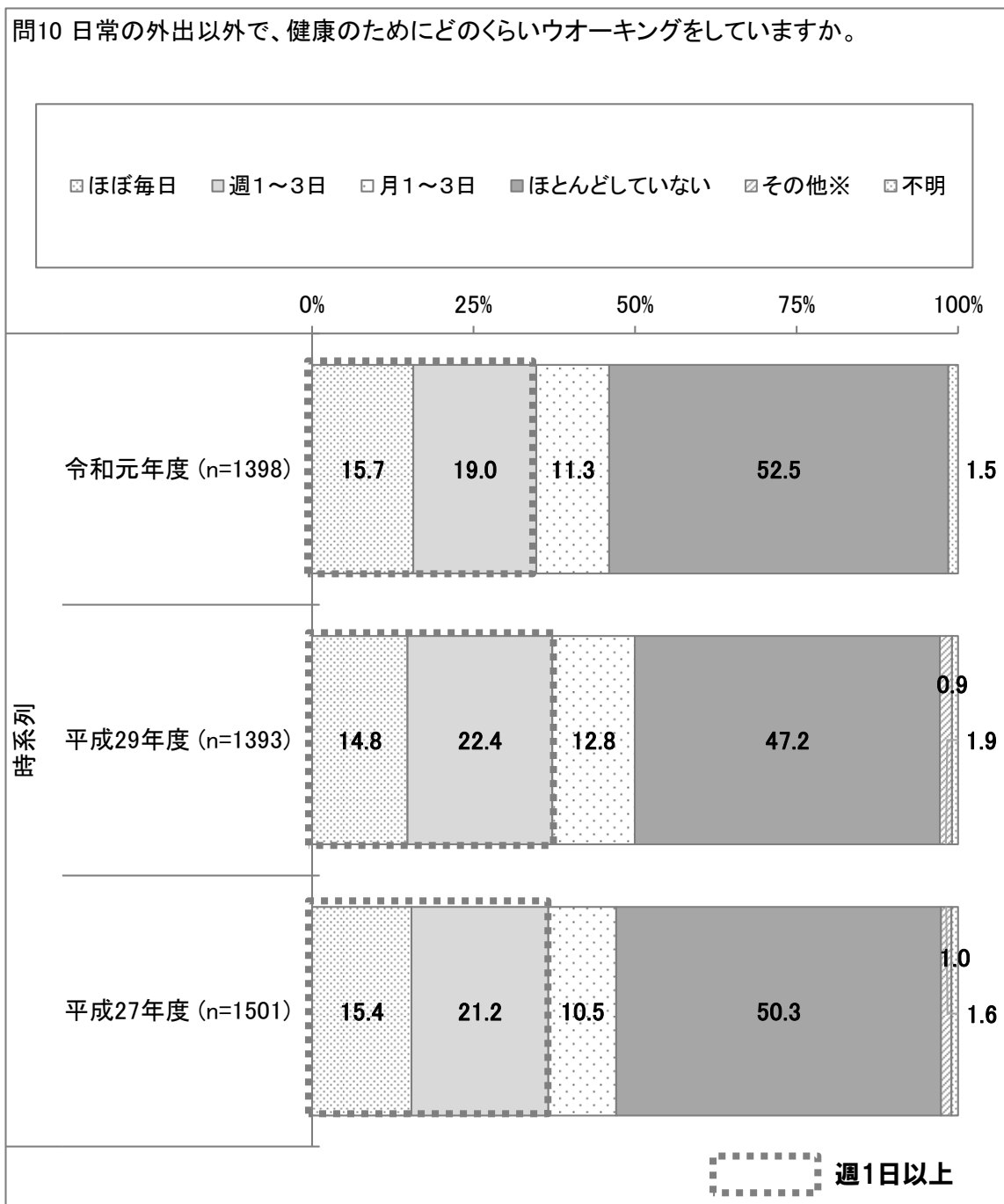
- ・ 「週1回以上」は、「女性70歳以上」で32.8%と全体より10ポイント以上多く、「男性20～29歳」で30.8%と全体より5ポイント以上多い。
- ・ 「ほとんどしていない」は、全体が56.6%で、女性20代・30代では、7割を超え10ポイント以上多い。
- ・ 「女性20～29歳」は、同年代の男性よりも「ほとんどしていない」が20ポイント以上高く、「女性30～39歳」、「女性60～69歳」では10ポイント以上多い。



5. 健康・福祉について

【ウォーキング頻度：全体・時系列】

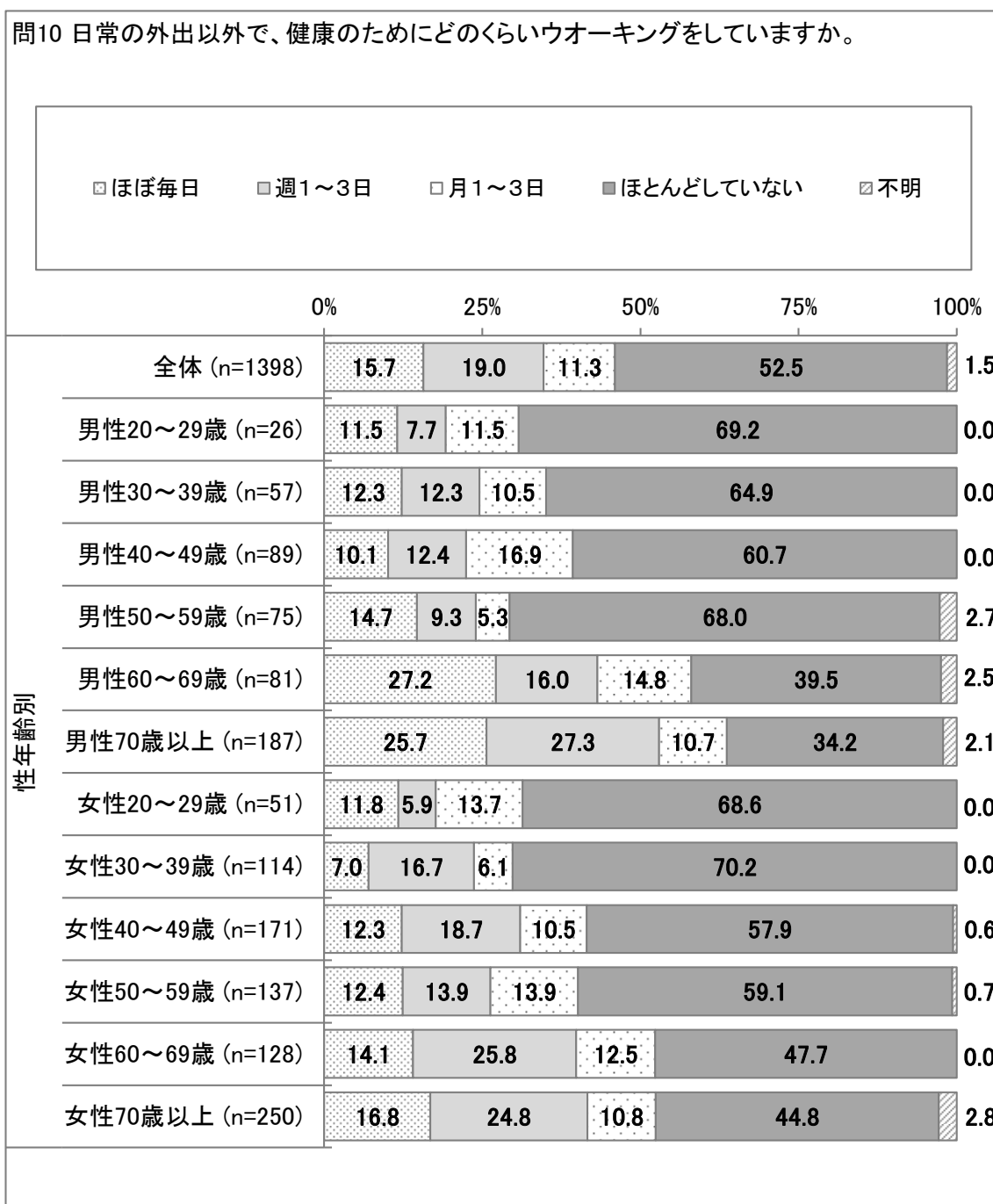
- 全体では、「ほぼ毎日」の割合は15.7%、「週1～3日」を合わせると34.7%である。「ほとんどしていない」は52.5%である。
- 平成27年度、平成29年度と比較すると、大きな違いはみられない。



5. 健康・福祉について

【ウォーキング頻度：性・年齢別】

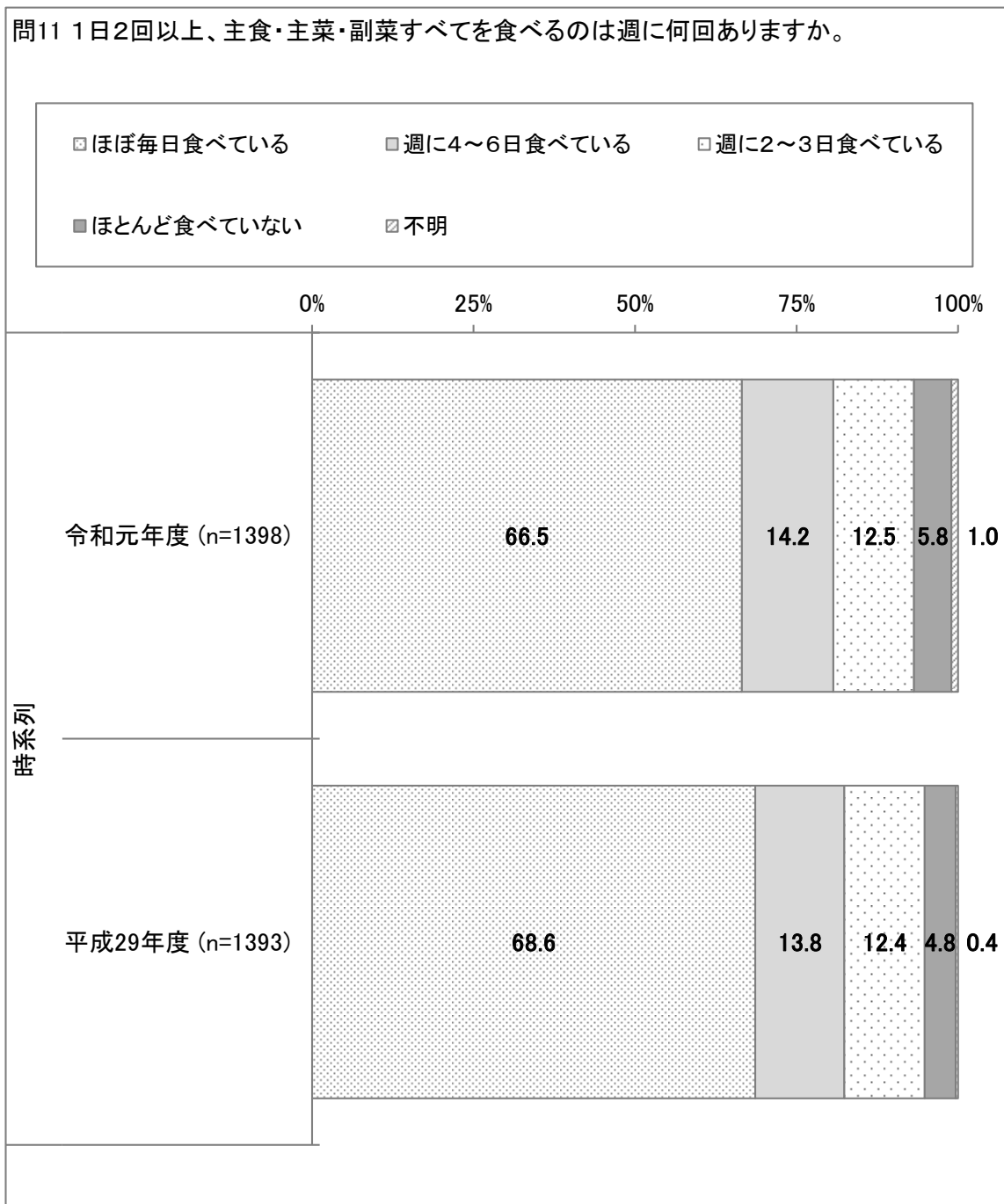
- ・ 週1日以上の割合は、「70歳以上」で男性が女性より10ポイント以上高く、「40～49歳」で女性が男性より5ポイント以上多い。
- ・ 男女ともに「20～29歳」、「30～39歳」と「男性50～59歳」で、「ほとんどしていない」の割合は、全体を10ポイント以上多い。



5. 健康・福祉について

【 1日2回以上の食事： 全体・時系列】

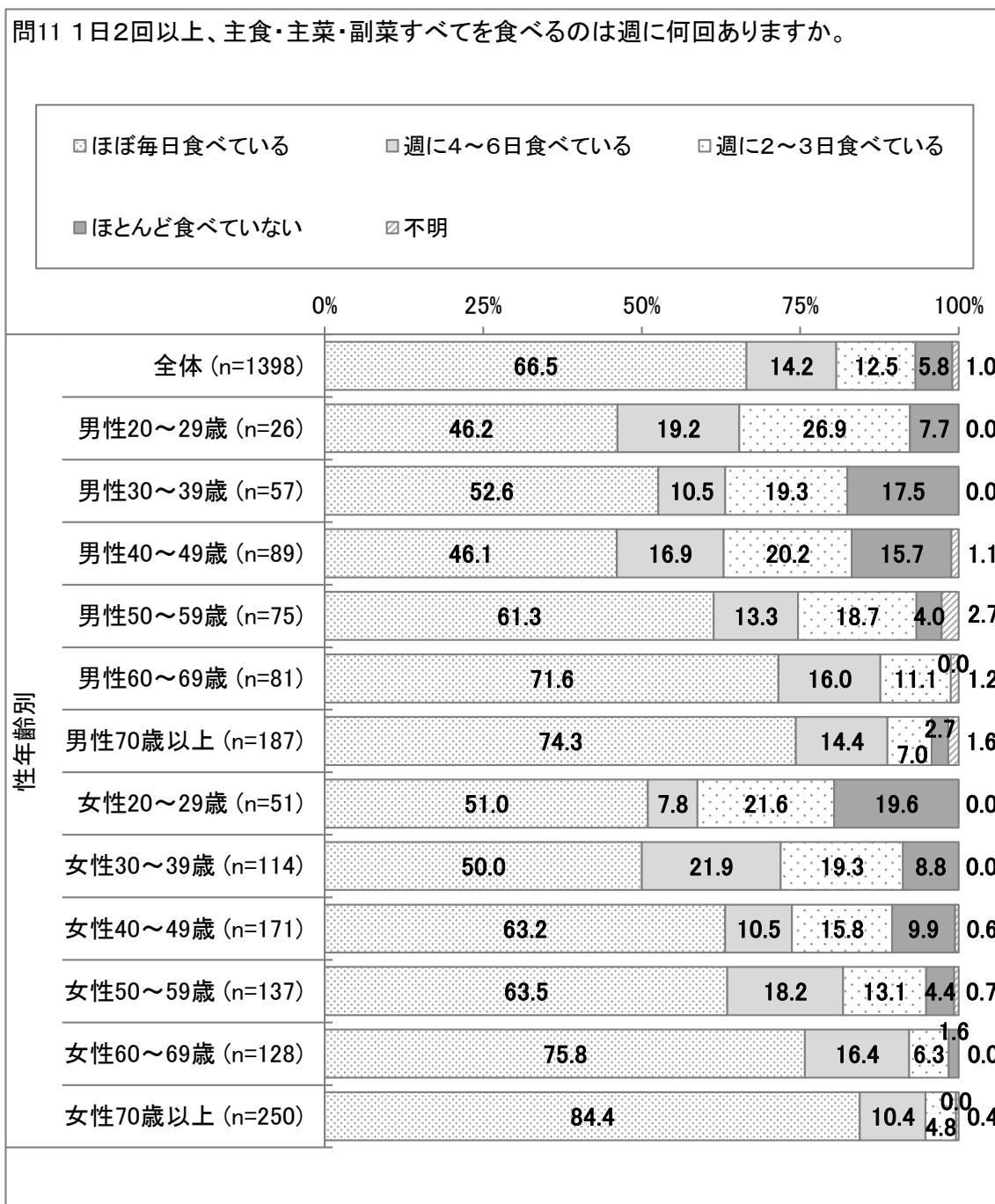
- 全体では「ほぼ毎日食べている」が66.5%で、「ほとんど食べていない」は5.8%である。
- 平成29年度と比較すると、大きな違いはみられない。



5. 健康・福祉について

【1日2回以上の食事：性・年齢別】

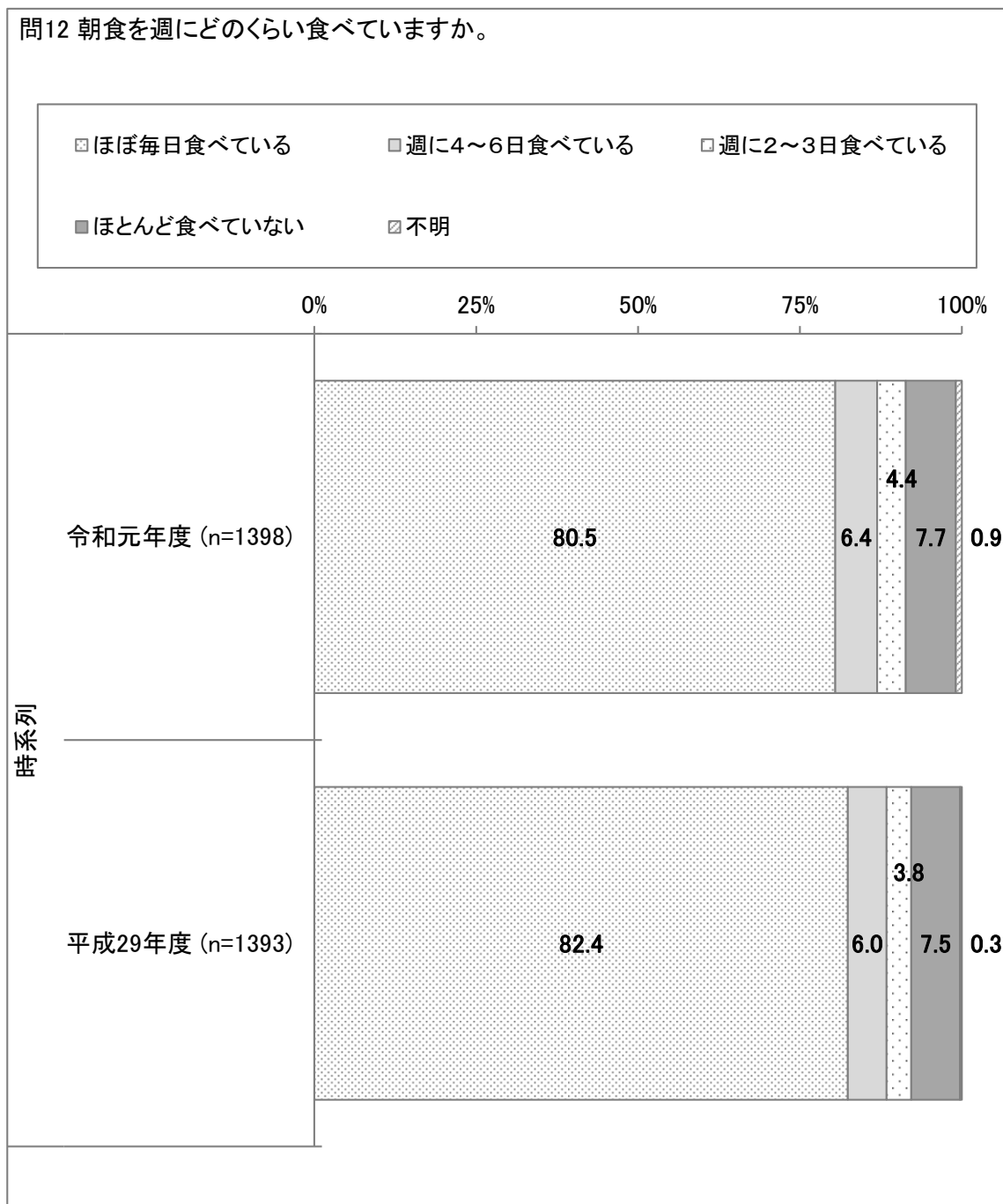
- 男女ともに、若年層ほど「ほぼ毎日食べている」の割合が低い傾向が窺われる。特に「男性20～29歳」、「男性40～49歳」は、全体より20ポイント以上少なく、「女性70歳以上」では、10ポイント以上多い。
- 「ほとんど食べていない」は、「女性20～29歳」、「男性30～39歳」で、全体より10ポイント以上多い。



5. 健康・福祉について

【朝食：全体・時系列】

- 全体では「ほぼ毎日食べている」が80.5%で、「ほとんど食べていない」は7.7%である。
- 平成29年度と比較すると、大きな違いはみられない。

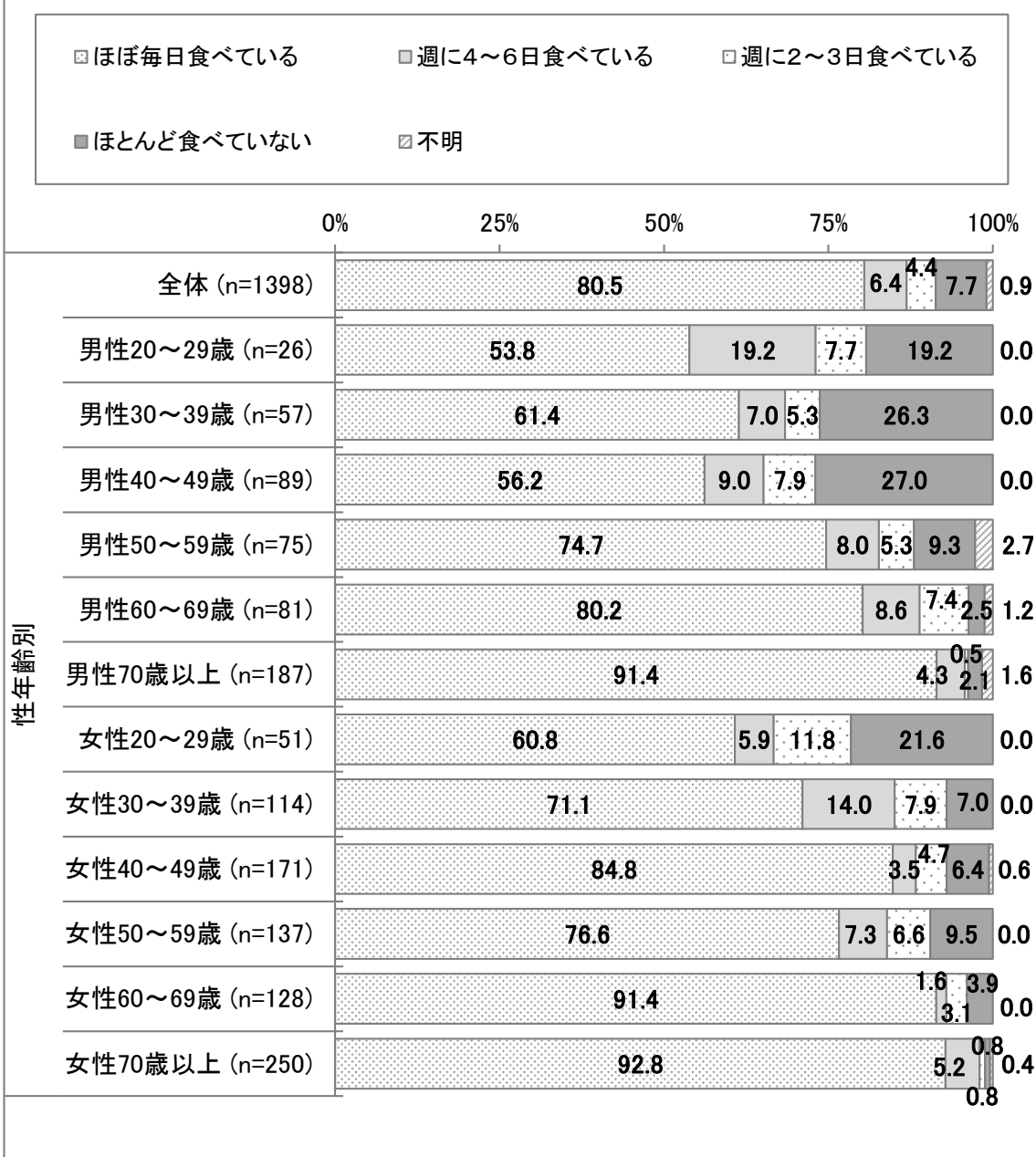


5. 健康・福祉について

【朝食：性・年齢別】

- ・ 「男性70歳以上」と女性60歳以上では、「ほとんど毎日食べている」割合が全体より10ポイント以上多い。
- ・ 男性20代から40代と「女性20～29歳」の「ほとんど食べていない」は、全体より10ポイント以上多い。

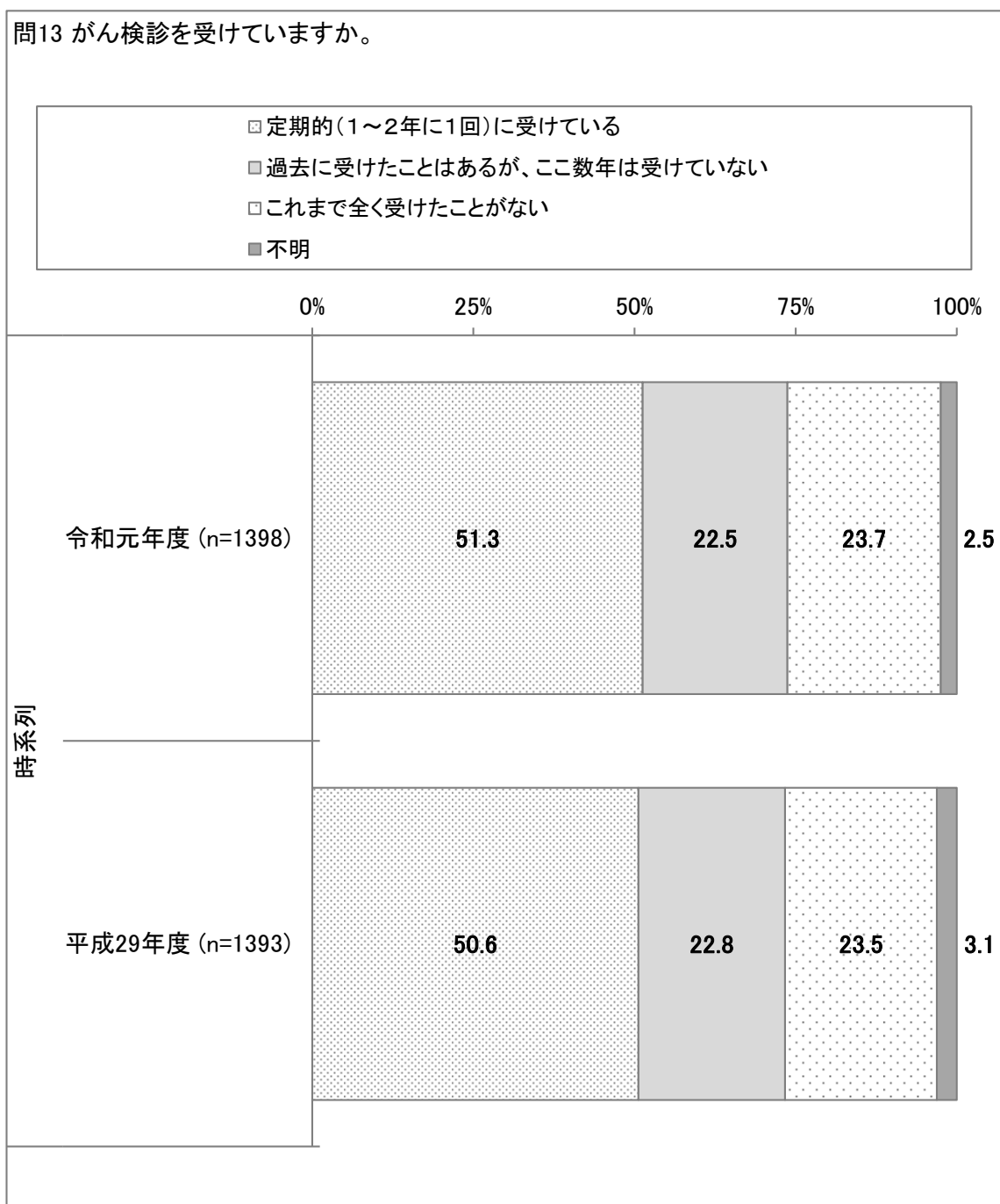
問12 朝食を週にどのくらい食べていますか。



5. 健康・福祉について

【がん検診：全体・時系列】

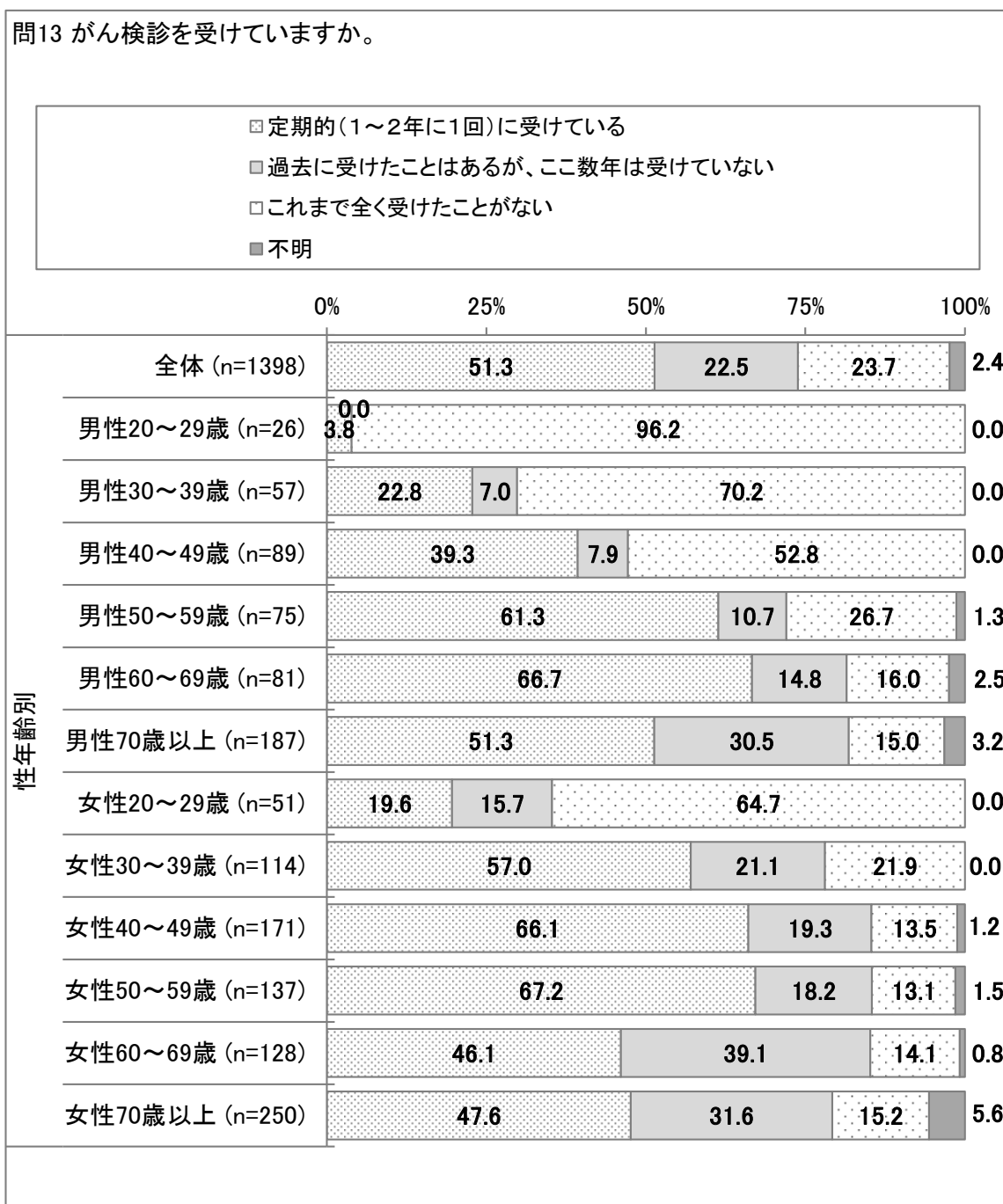
- 全体では「定期的(1～2年に1回)に受けている」が51.3%で、「これまで全く受けたことがない」は23.7%である。
- 平成29年度と比較すると、「定期的(1～2年に1回)に受けている」はわずかではあるが検診を受ける割合は増えている。



5. 健康・福祉について

【がん検診：性・年齢別】

- ・ 「定期的(1～2年に1回)に受けている」の割合は、男性50歳代～60歳代、女性40歳代～50歳代で全体より10ポイント以上多い。一方、男性30歳代以下、女性20代では全体より20ポイント以上少ない。
- ・ 男性は、女性より「これまで全く受けたことがない」が多い傾向があり、50歳代以下では10ポイント以上の差がみられる。



5. 健康・福祉について

【がん検診部位：全体・性・年齢別】

- 全体では「胃」が43.2%で最も高く、「大腸」、「乳」、「子宮」が続く。
- 男性は「胃」、「大腸」、「肺」の割合が高い。
- 女性は40歳代以下では、特に「子宮」、50歳代は「乳」、60歳代は「大腸」と「乳」、70歳代以上は「胃」の割合が高くなっている。

※「男性20～29歳」、「男性30～39歳」、「女性20～29歳」はベース値が30未満で参考値。

問13 がん検診を受けている部位はどこですか。

(%)

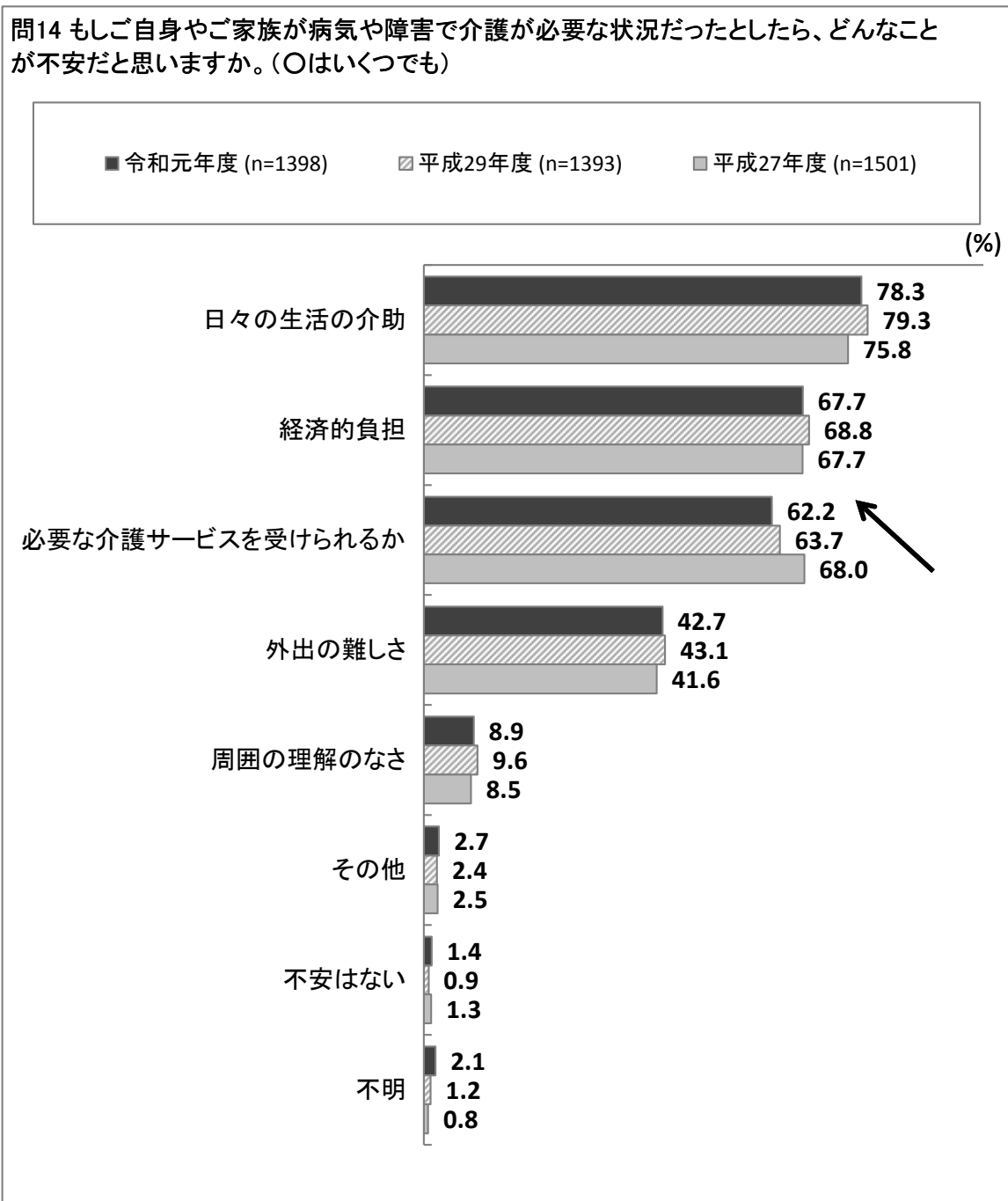
	胃	大腸	乳	子宮	肺	その他	不明
全体 (n=717)	43.2	40.7	33.8	33.3	29.4	4.2	26.5
男性20～29歳 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
男性30～39歳 (n=13)	30.8	30.8	7.7	7.7	0.0	0.0	53.8
男性40～49歳 (n=35)	54.3	37.1	0.0	0.0	40.0	0.0	42.9
男性50～59歳 (n=46)	67.4	56.5	2.2	2.2	47.8	6.5	15.2
男性60～69歳 (n=54)	48.1	35.2	0.0	0.0	38.9	7.4	42.6
男性70歳以上 (n=96)	46.9	42.7	0.0	0.0	36.5	12.5	34.4
女性20～29歳 (n=10)	10.0	10.0	20.0	80.0	0.0	0.0	20.0
女性30～39歳 (n=65)	15.4	13.8	43.1	84.6	9.2	1.5	9.2
女性40～49歳 (n=113)	27.4	28.3	63.7	67.3	21.2	0.0	21.2
女性50～59歳 (n=92)	50.0	46.7	71.7	58.7	32.6	2.2	21.7
女性60～69歳 (n=59)	42.4	55.9	55.9	30.5	30.5	5.1	23.7
女性70歳以上 (n=119)	52.9	51.3	31.1	21.8	29.4	4.2	29.4

集計ベース：がん検診を定期的に受けている [ベース値が30未満は参考値]

5. 健康・福祉について

【介護に対する不安：全体・時系列】

- ・ 「日々の生活の介助」が78.3%で最も高い。「経済的負担」、「必要な介護サービスが受けられるか」が続ぎ、6割を超えている。
- ・ 「必要な介護サービスが受けられるか」は平成27年度から低下している。

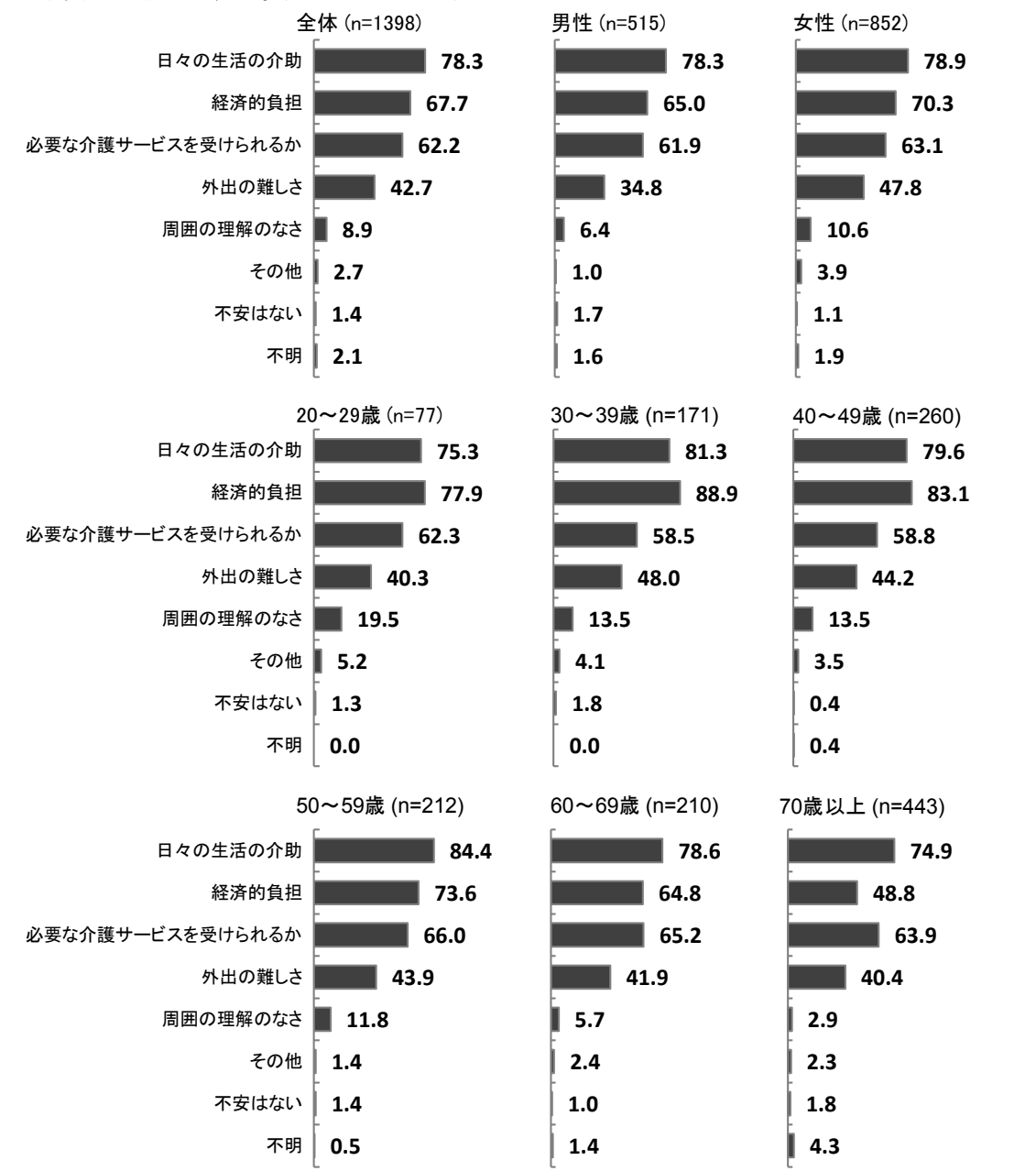


5. 健康・福祉について

【介護に対する不安：性・年齢別】

- ・ 性別では「女性」の「外出の難しさ」が全体に対して5ポイント以上多い。
- ・ 年齢別では、「日々の生活の介助」は「50～59歳」で、「経済的負担」は40歳代以下で、「周囲の理解のなさ」は「20～29歳」で全体より10ポイント以上多く不安が大きくなっている。

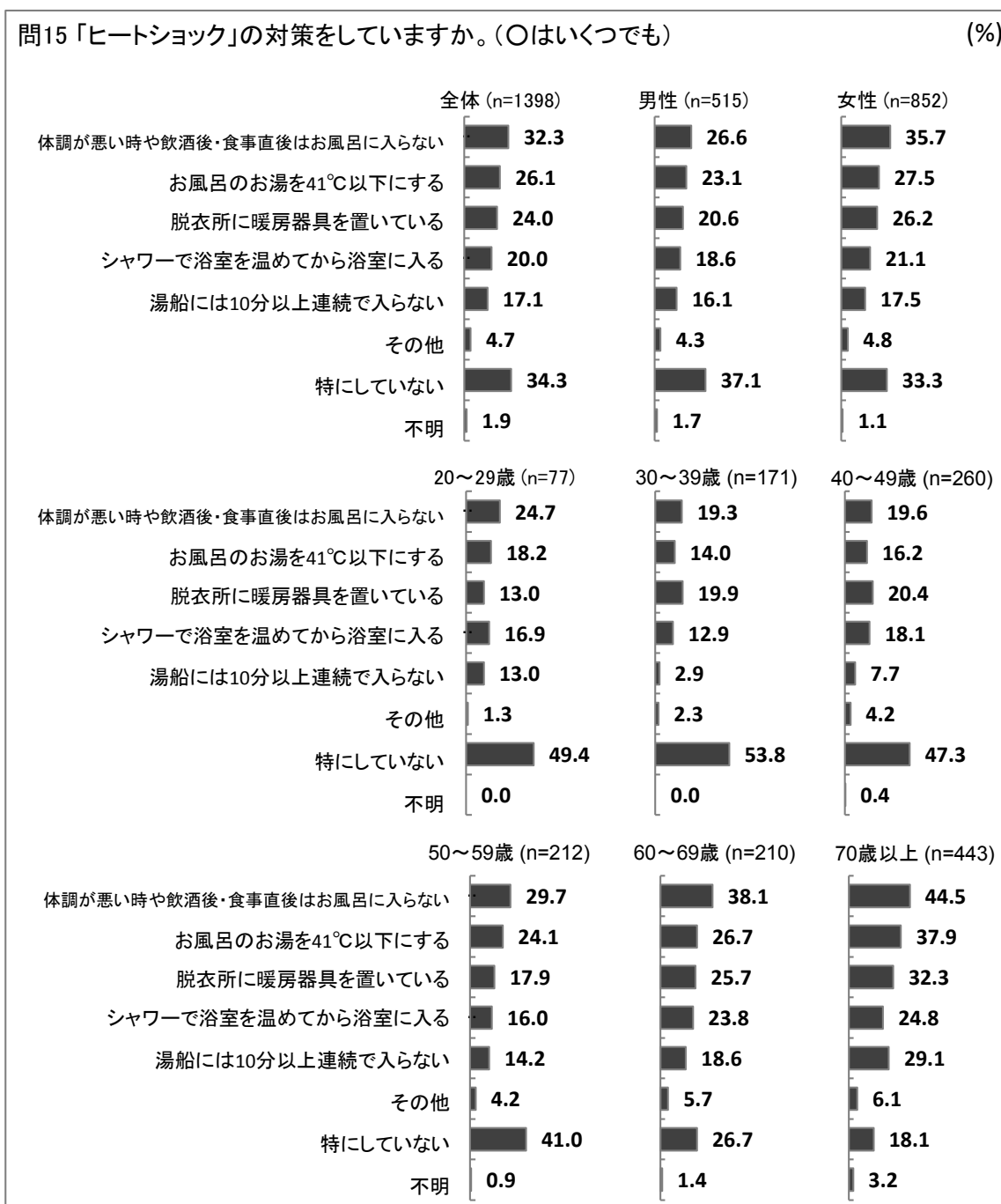
問14 もしご自身やご家族が病気や障害で介護が必要な状況だったとしたら、どんなこと（%）が不安だと思いますか。（〇はいくつでも）



5. 健康・福祉について

【「ヒートショック」対策について：全体・性・年齢別】

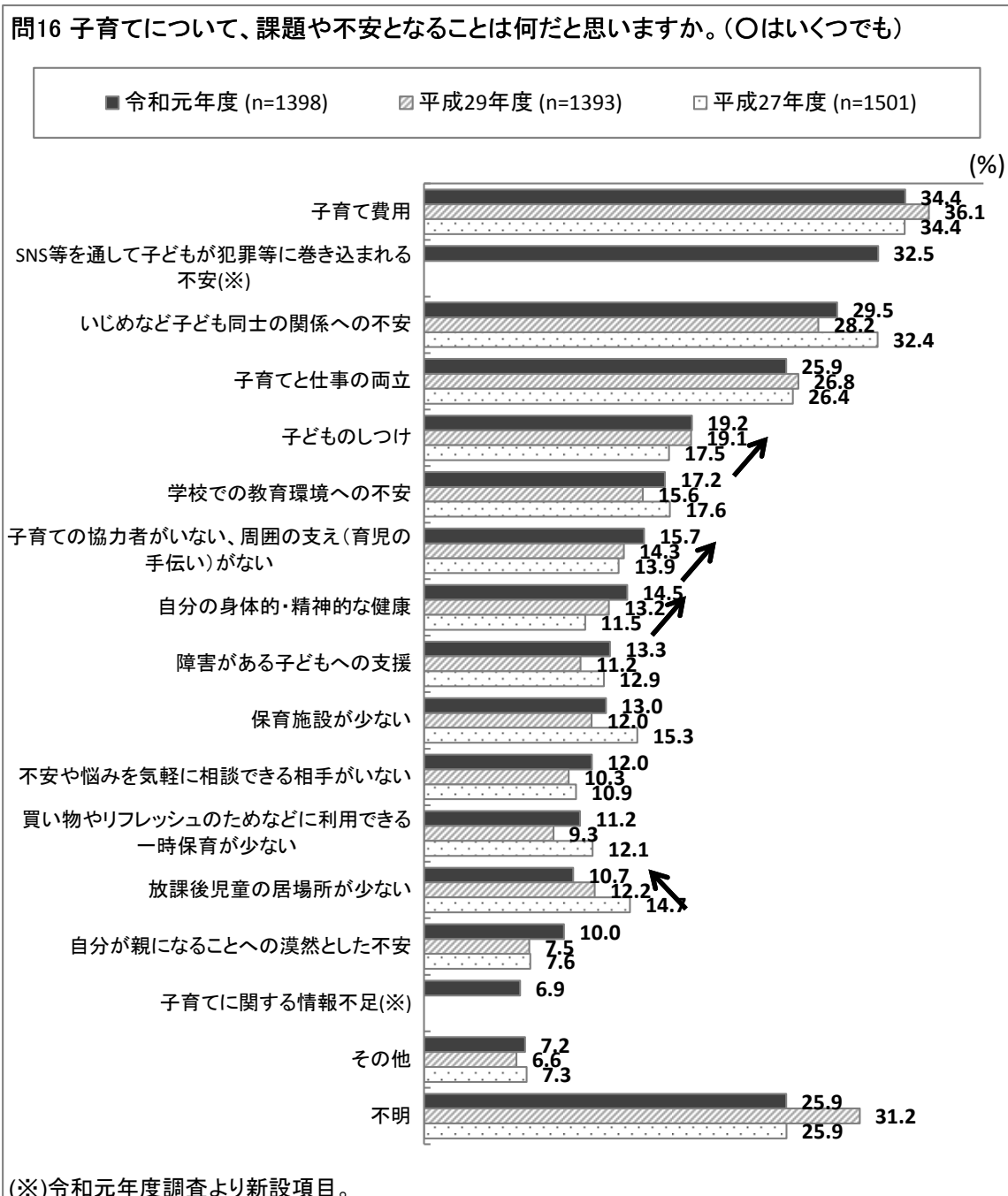
- 全体では「体調が悪い時や飲酒後・食事直後はお風呂に入らない」が32.3%で最も高く、「お風呂のお湯を41℃以下にする」、「脱衣所に暖房器具を置いている」が続く。
- 性別では、「体調が悪い時や飲酒後・食事直後はお風呂に入らない」、「脱衣所に暖房器具を置いている」で、男性より女性の方が5ポイント以上多い。
- 年齢別では、「70歳以上」で、「体調が悪い時や飲酒後・食事直後はお風呂に入らない」、「お風呂のお湯を41℃以下にする」、「湯船には10分以上連続で入らない」が全体より10ポイント以上多く、40歳代以下では、「特にしていない」が全体より10ポイント以上多い。



6. 子育てについて

【子育てについての課題や不安：全体・時系列】

- ・ 「子育て費用」が34.4%で最も高い。次いで「SNS等を通して子どもが犯罪等に巻き込まれる不安」が32.5%、「いじめなど子供同士の関係への不安」、「子育てと仕事の両立」が20%台で続く。
- ・ 平成27年度、平成29年度と比較すると、「子どものしつけ」、「子育ての協力者がいない、周囲の支え(育児の手伝い)がない」、「自分の身体的・精神的な健康」が平成27年度から微増している。一方、「放課後児童の居場所が少ない」は減少している。

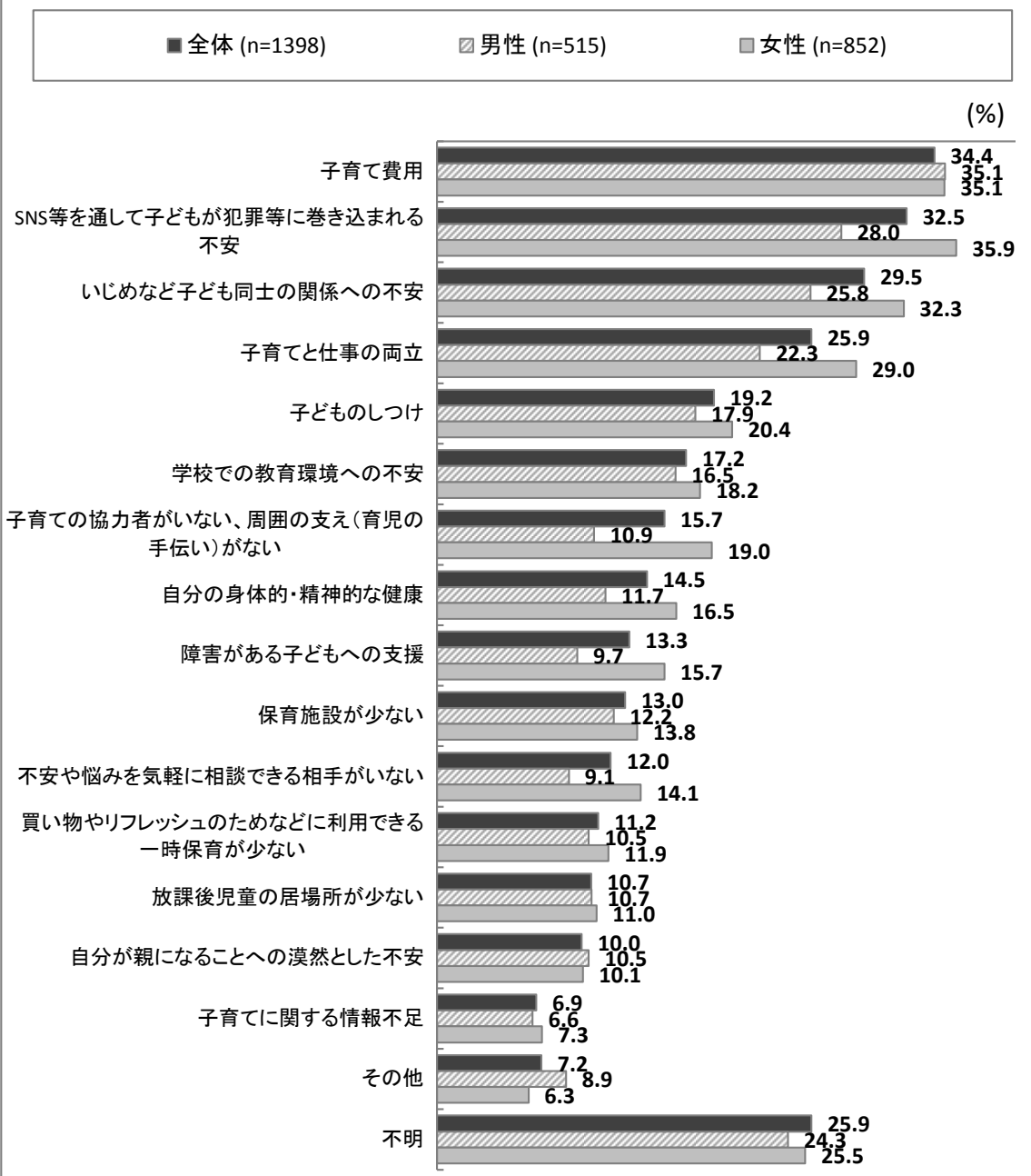


6. 子育てについて

【子育てについての課題や不安：性別】

- 「女性」が「男性」よりも全体的に不安が強い傾向が見られる。中でも「SNS等を通して子どもが犯罪等に巻き込まれる不安」、「いじめなど子ども同士の関係への不安」、「子育てと仕事の両立」、「子育ての協力者がいない、周囲の支え(育児の手伝い)がない」、「自分の身体的・精神的な健康」、「障害がある子どもへの支援」、「不安や悩みを気軽に相談できる相手がない」は「男性」より5ポイント以上多い。

問16 子育てについて、課題や不安となることは何だと思いませんか。(〇はいくつでも)

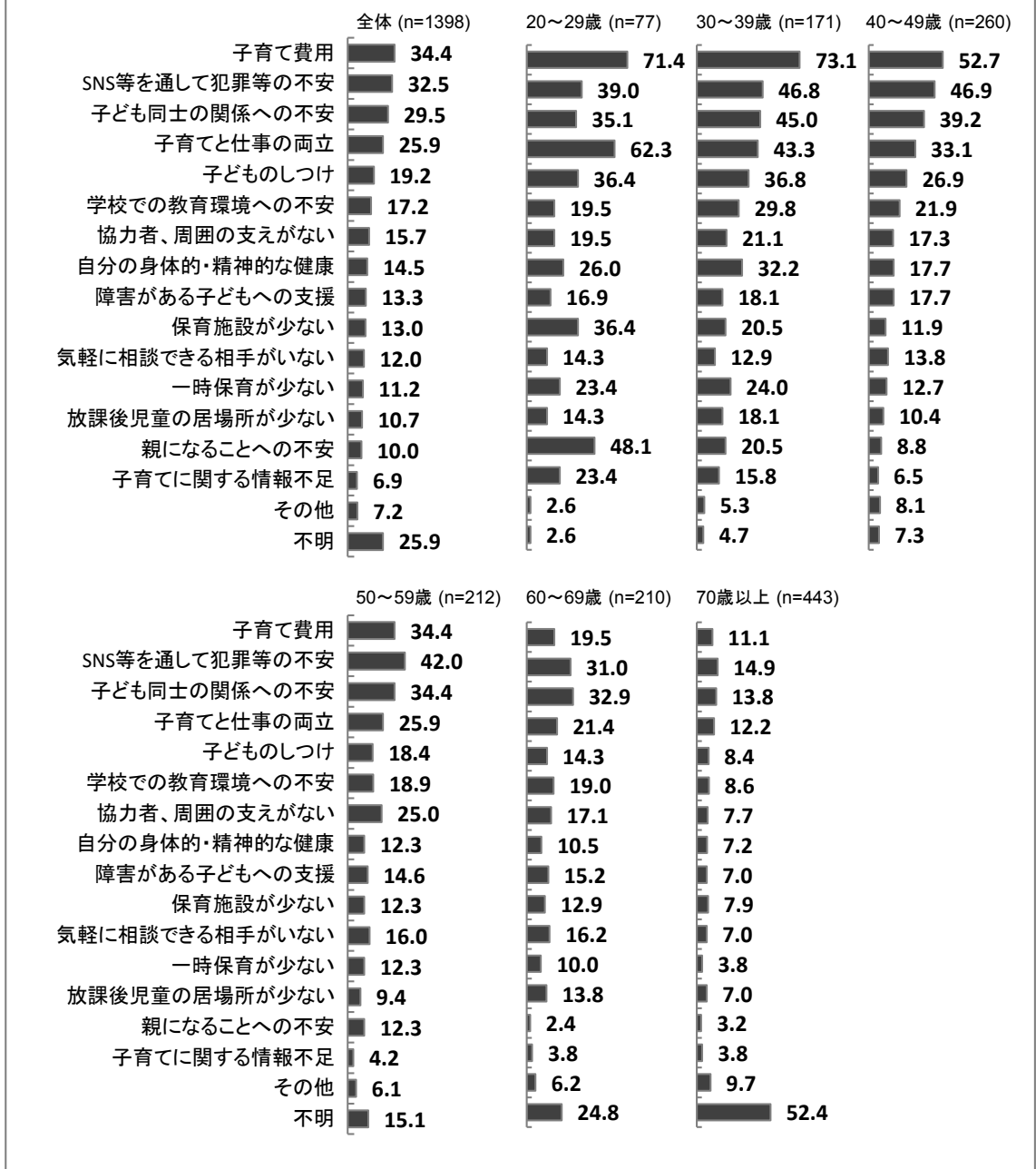


6. 子育てについて

【子育てについての課題や不安：年齢別】

- 「20～29歳」では、「自分が親になることへの漠然とした不安」、「子育て費用」、「子育てと仕事の両立」、「保育施設が少ない」に対する不安が全体よりも20ポイント以上多い。
- 一方で「30～39歳」では、「子育て費用」に対する不安が全体より20ポイント以上多い他、全項目で全体を上回り不安が全体的に大きい様子が窺われる。

問16 子育てについて、課題や不安となることは何だと思えますか。(〇はいくつでも) (%)

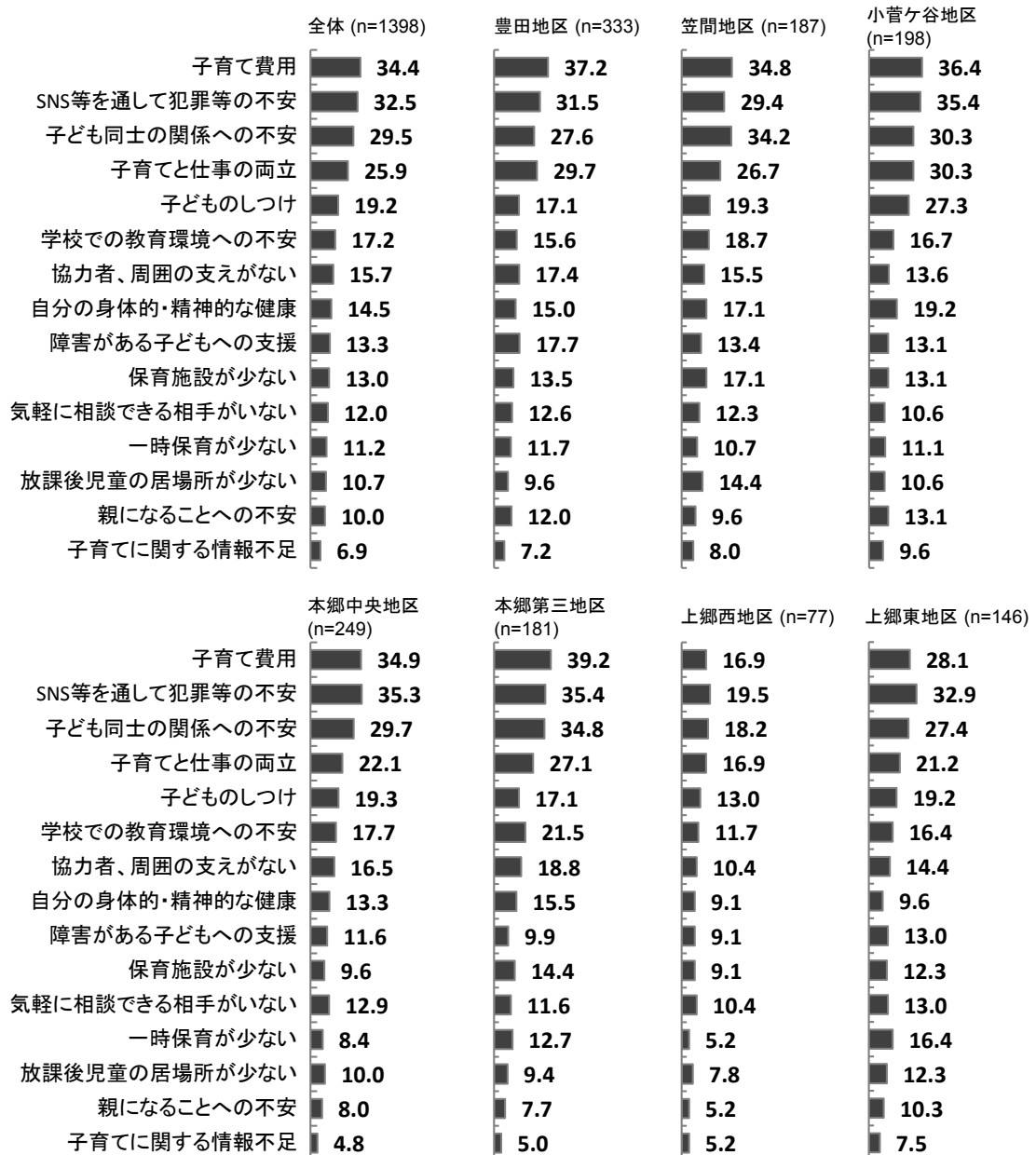


6. 子育てについて

【子育てについての課題や不安：居住地区別】

- ・ 「小菅ヶ谷地区」では、「子どものしつけ」が、「上郷東地区」では「買い物やリフレッシュのためなどに利用できる一時保育が少ない」が、「本郷第三地区」では「いじめなど子ども同士の関係への不安」が全体よりも5ポイント以上多い。
- ・ 一方、「上郷西地区」では、「子育て費用」、「いじめなど子ども同士の関係への不安」、「SNS等を通して子どもが犯罪等に巻き込まれる不安」が全体より10ポイント以上少ない。

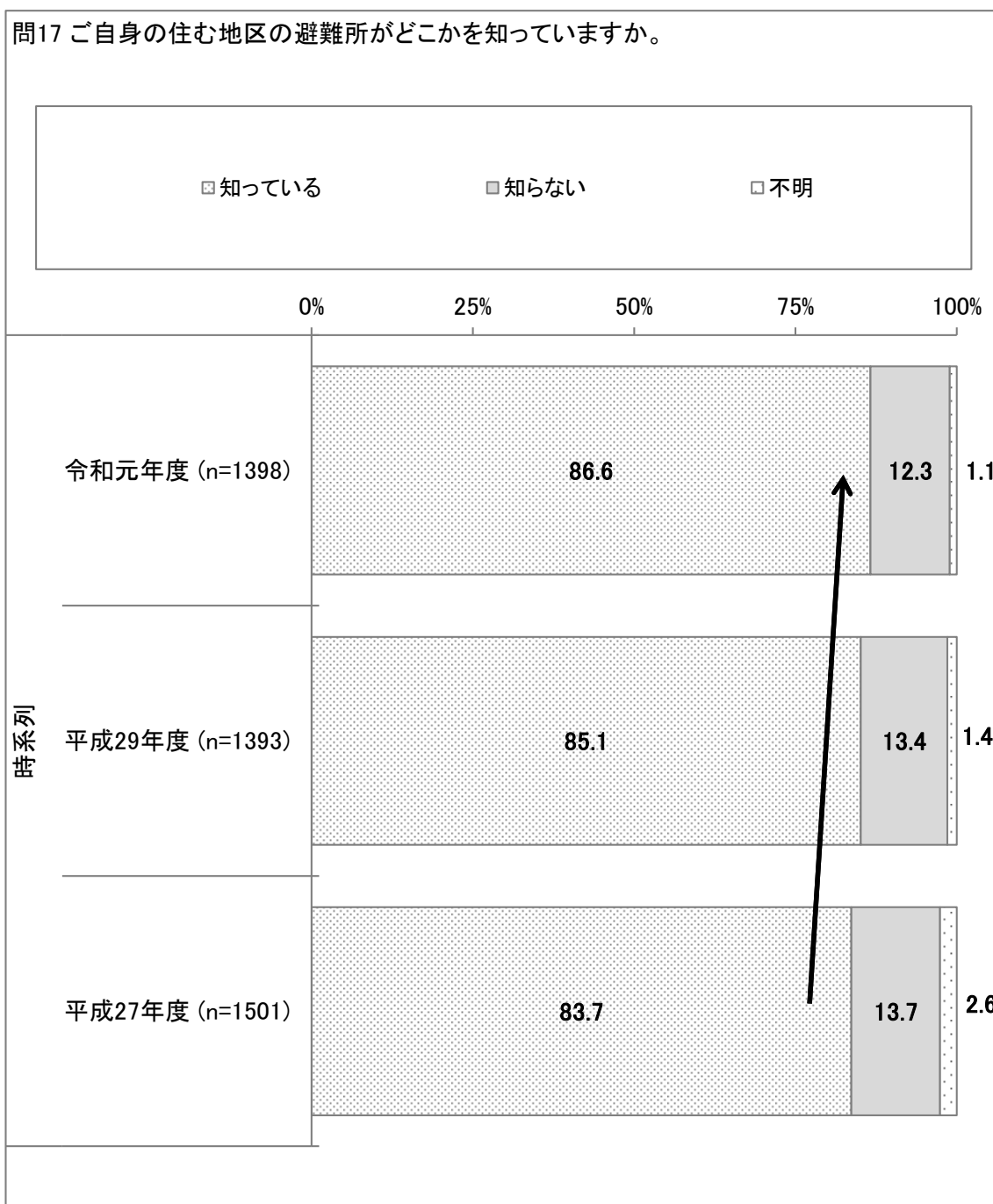
問16 子育てについて、課題や不安となることは何だと思えますか。(〇はいくつでも) (%)



7. 防災について

【地区の避難所の場所の認知： 全体・時系列】

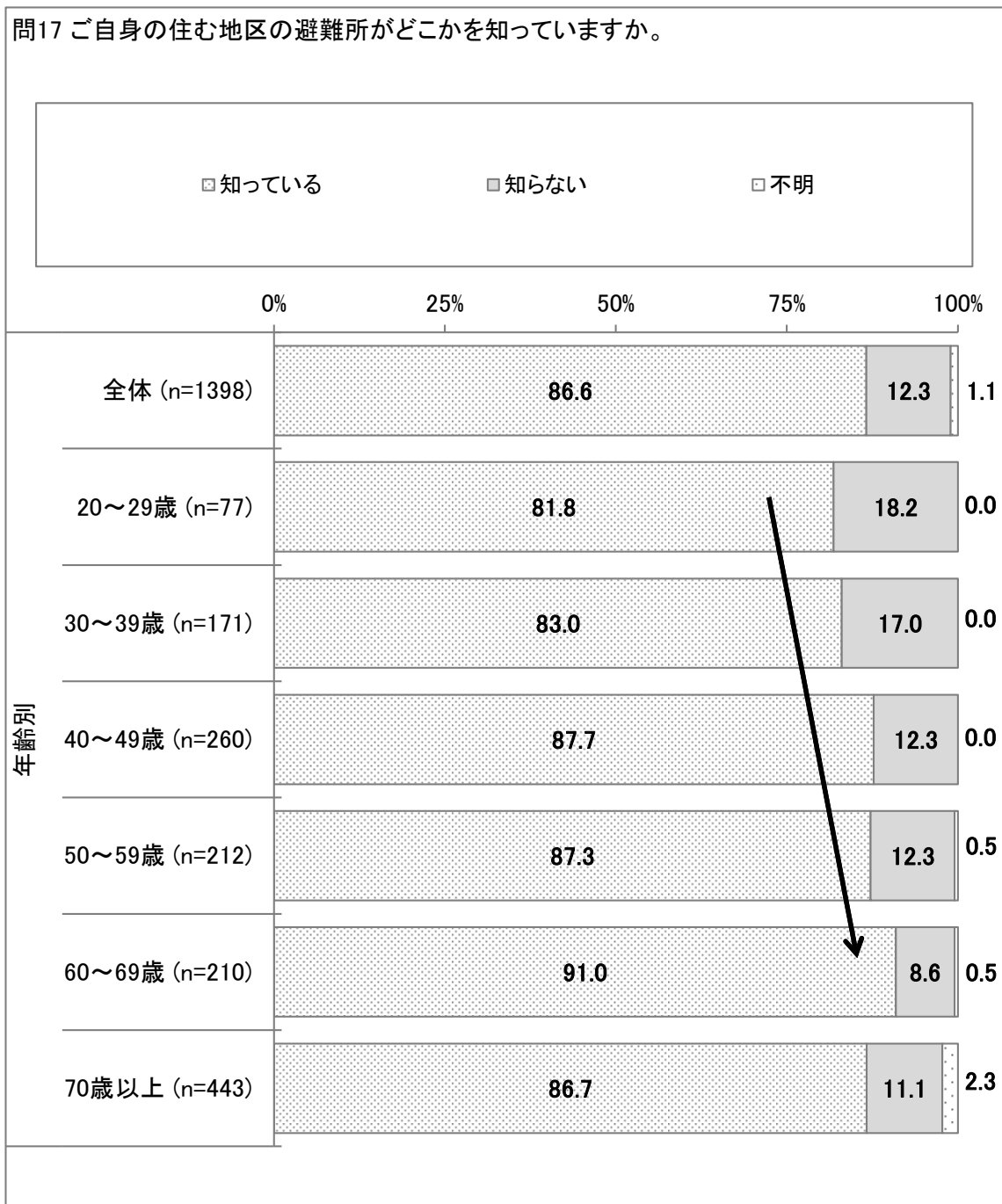
- ・ 「知っている」割合は86.6%である。
- ・ 平成27年度、平成29年度と比べて認知度は上がりつつある。



7. 防災について

【地区の避難所の認知：年齢別】

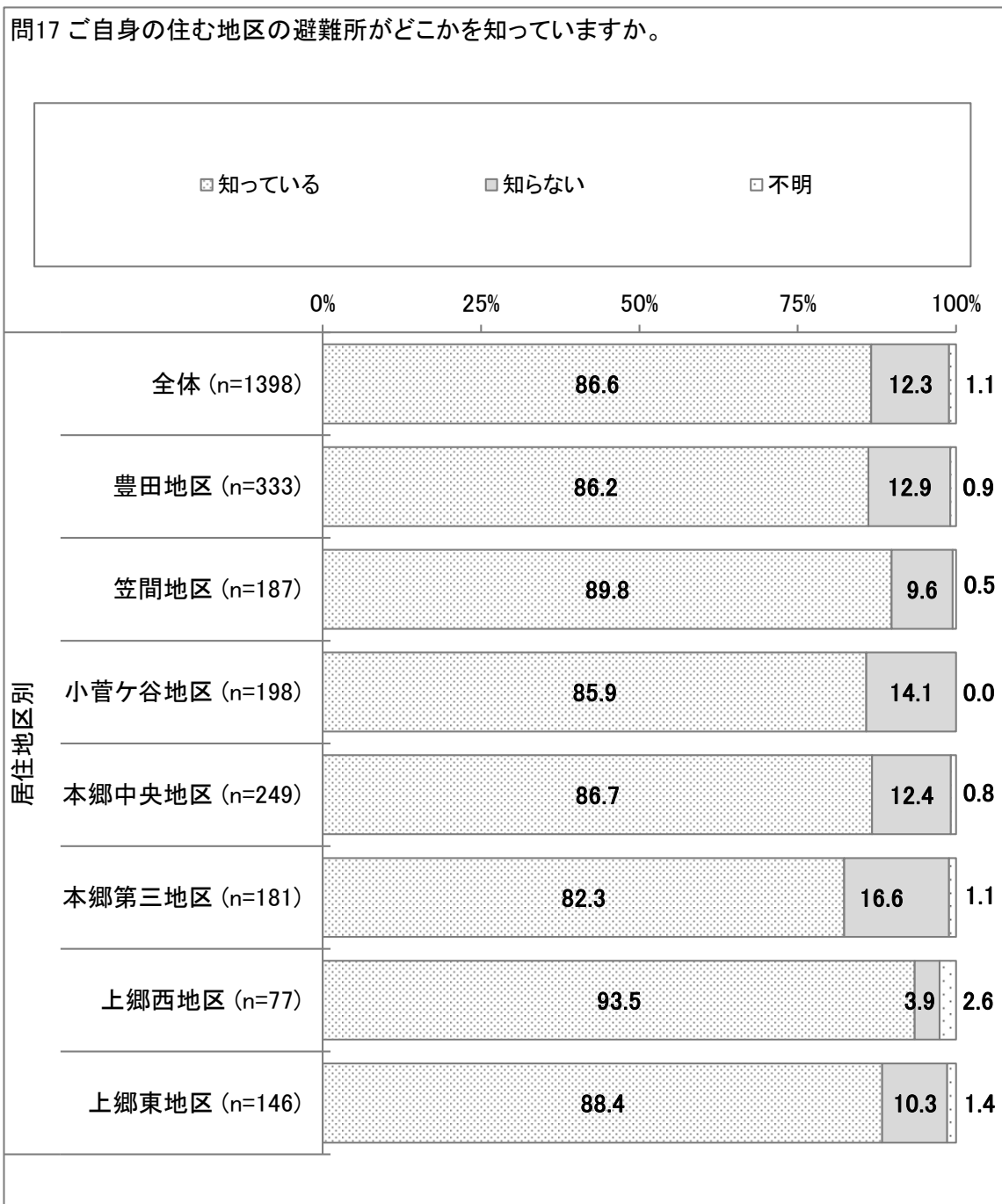
- 全体では、86.6%が「知っている」と答え、認知度は8割を超えている。
- 一方、「20～29歳」では、「知らない」が全体より5ポイント以上多い。年齢が高くなるにつれて「知っている」比率は上昇し、60代で9割を超えている。



7. 防災について

【地区の避難所の認知：居住地区別】

- 「上郷西地区」の「知っている」が全体より5ポイント以上多く、90%を超える。

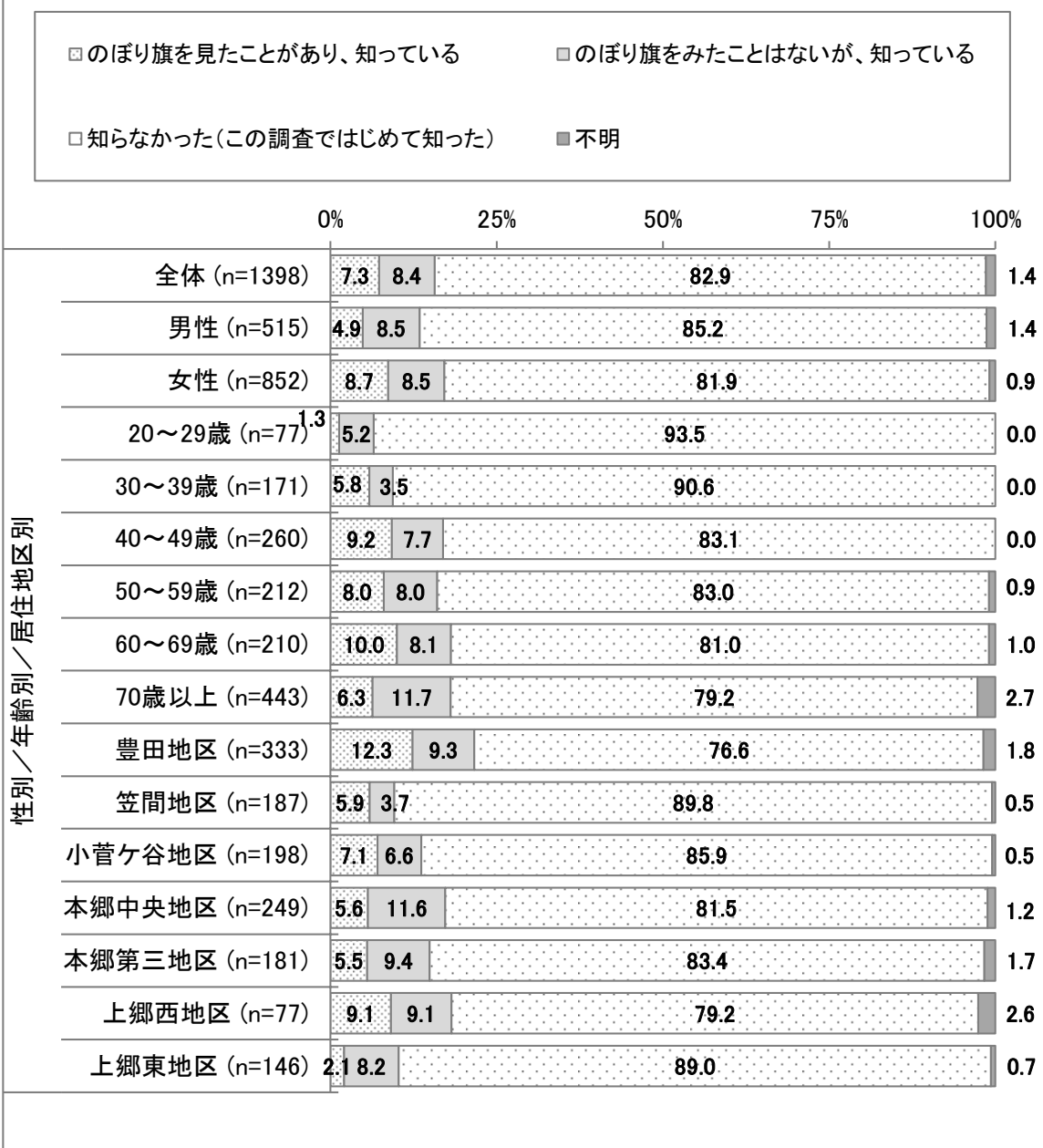


7. 防災について

【災害時、医療機関開設時の「のぼり旗」の認知：全体・性・年齢・居住地別】

- 全体では、「知らなかった(この調査ではじめて知った)」が82.9%で最も高く、「のぼり旗を見たことがあり、知っている」と「のぼり旗をみたことはないが、知っている」は、それぞれ7.3%、8.4%と1割弱である。
- 「豊田地区」の「のぼり旗を見たことがあり、知っている」が全体より5ポイント以上多く、1割以上の認知度があった。

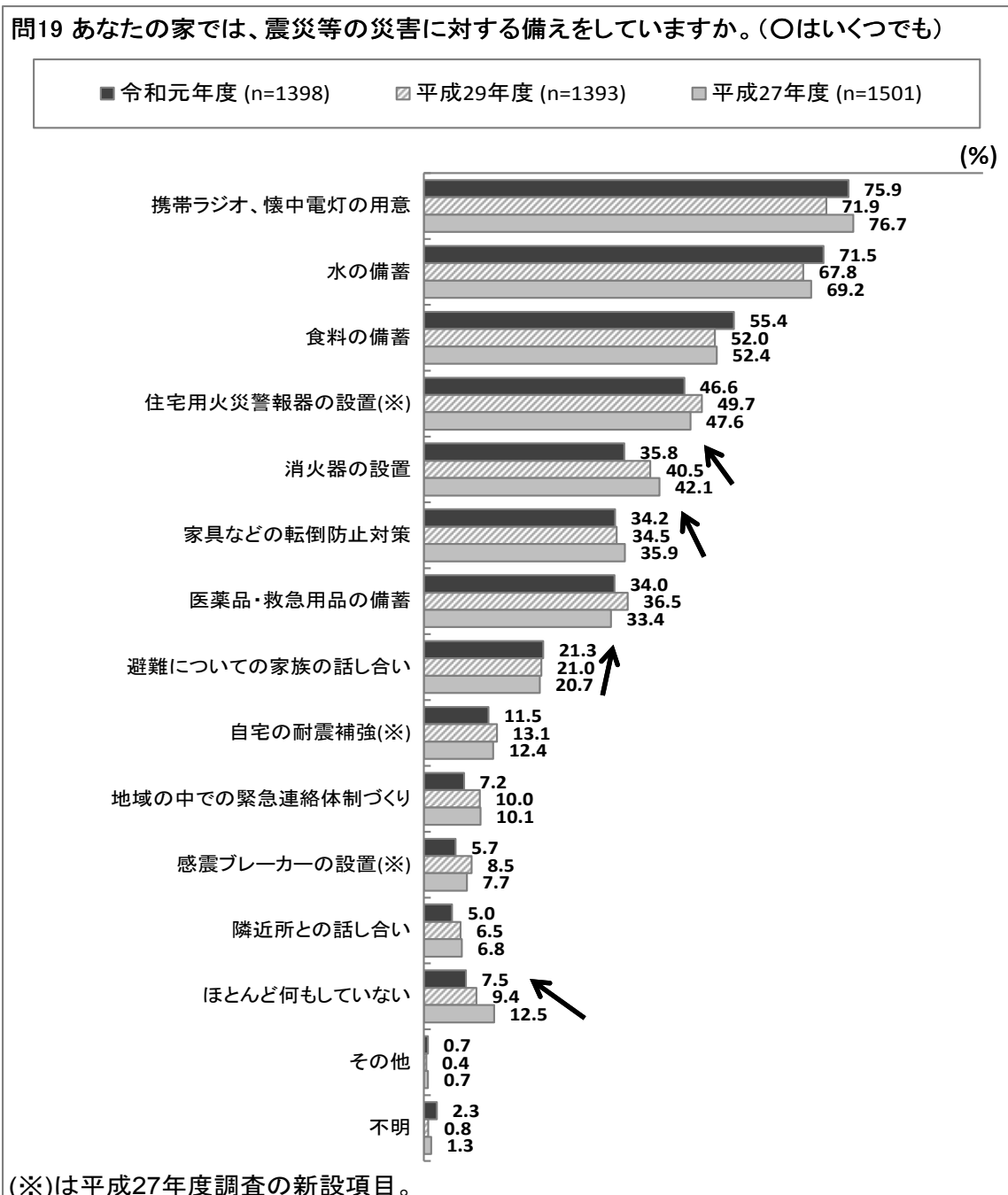
問18 災害時、開設する医療機関は、のぼり旗を掲出することを知っていますか。



7. 防災について

【災害に対する備え：全体・時系列】

- ・ 「携帯ラジオ、懐中電灯の準備」が最も高く、75.9%に達する。「水の備蓄」(71.5%)、「食料の備蓄」(55.4%)が続いて高い。
- ・ 平成29年度と比べて、5ポイントを超える大きな変化は見られないが、「携帯ラジオ、懐中電灯の用意」、「水の備蓄」、「食料の備蓄」は、3ポイント以上多い。
- ・ 平成27年度以降、「ほとんど何もしていない」は、減少傾向が見られる中、「避難についての家族の話し合い」は微増傾向、「消火器の設置」、「家具などの転倒防止対策」は微減傾向が見られる。

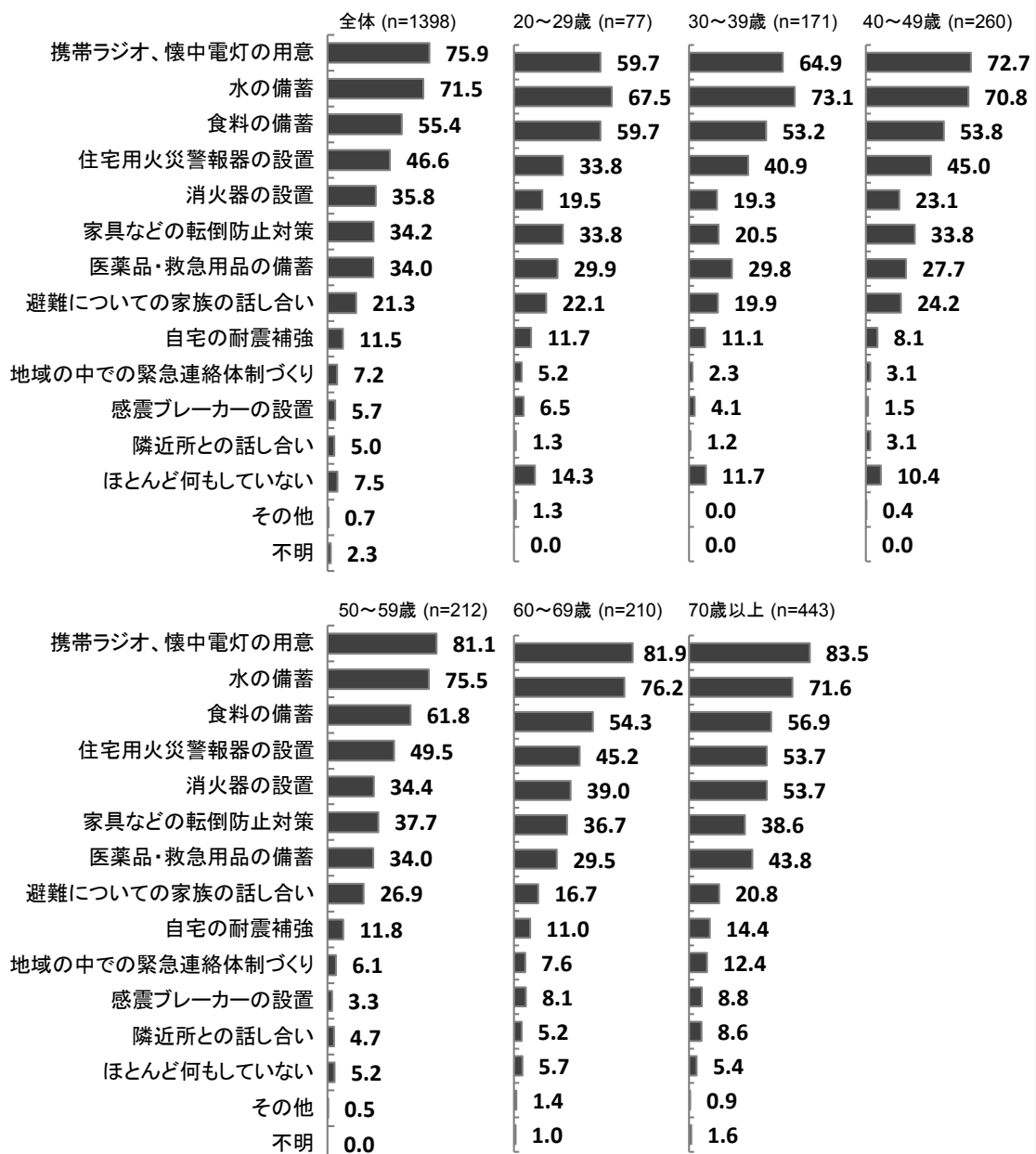


7. 防災について

【災害に対する備え：年齢別】

- 「20～29歳」、「30～39歳」は全体的に低く、「20～29歳」では特に「消火器の設置」、「携帯ラジオ、懐中電灯の用意」、「30～39歳」では「消火器の設置」は全体より15ポイント以上少ない。加えて、「20～29歳」では「住宅用火災警報器の設置」、「30～39歳」では「携帯ラジオ、懐中電灯の用意」、「家具などの転倒防止対策」、「40～49歳」では「消火器の設置」が全体より10ポイント以上少ない。
- 「70歳以上」では、「消火器の設置」が全体より15ポイント以上多い。

問19 あなたの家では、震災等の災害に対する備えをしていますか。(○はいくつでも) (%)

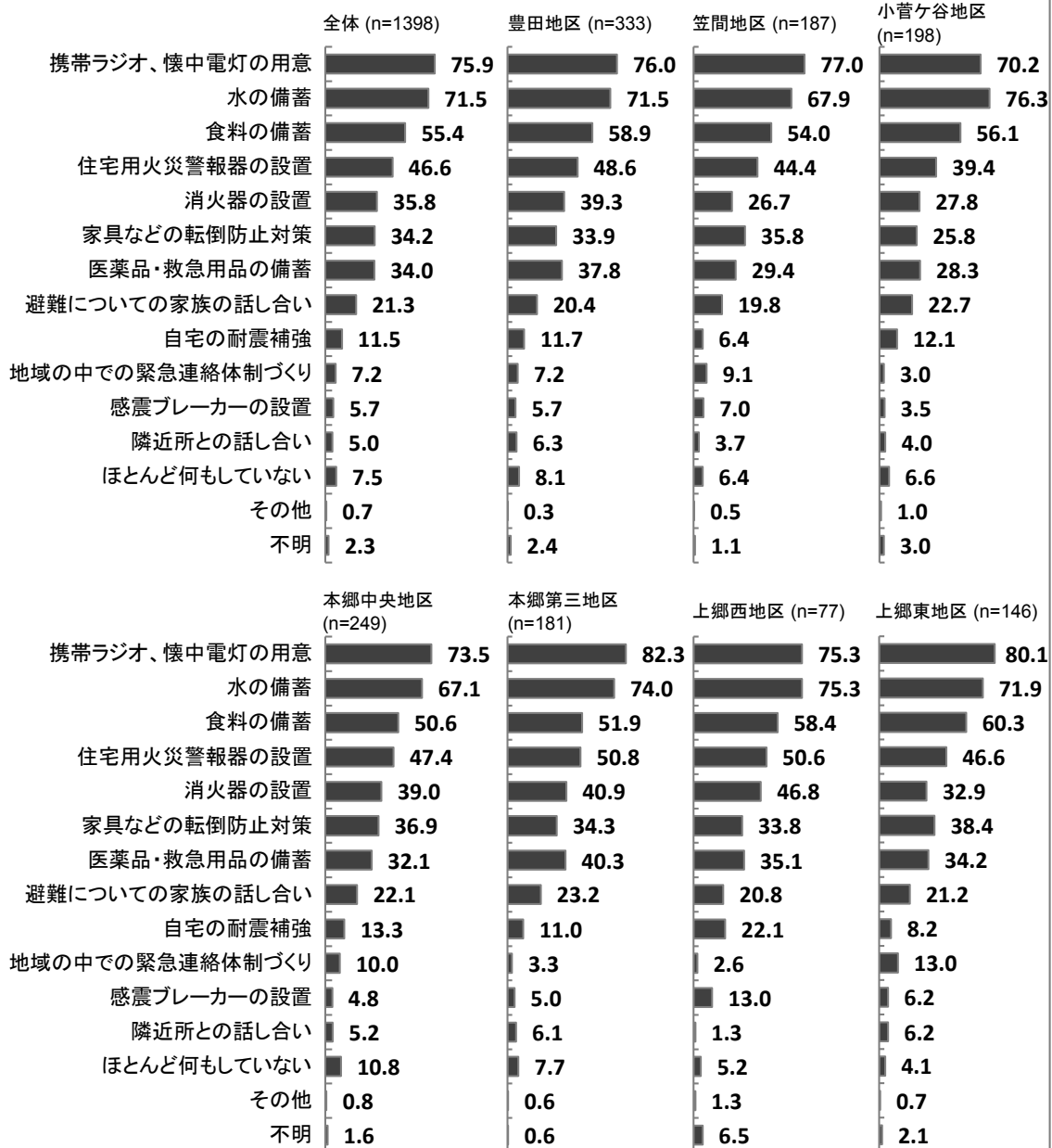


7. 防災について

【災害に対する備え：居住地区別】

- ・ 「上郷西地区」の「消火器の設置」、「自宅の耐震補強」は全体より10ポイント以上、「感震ブレイカーの設置」は5ポイント以上多い。
- ・ 「本郷台三地区」の「医薬品・救急用品の備蓄」、「携帯ラジオ、懐中電灯の用意」、「消火器の設置」、「上郷東地区」の「地域の中での緊急連絡体制づくり」は全体より5ポイント以上多い。

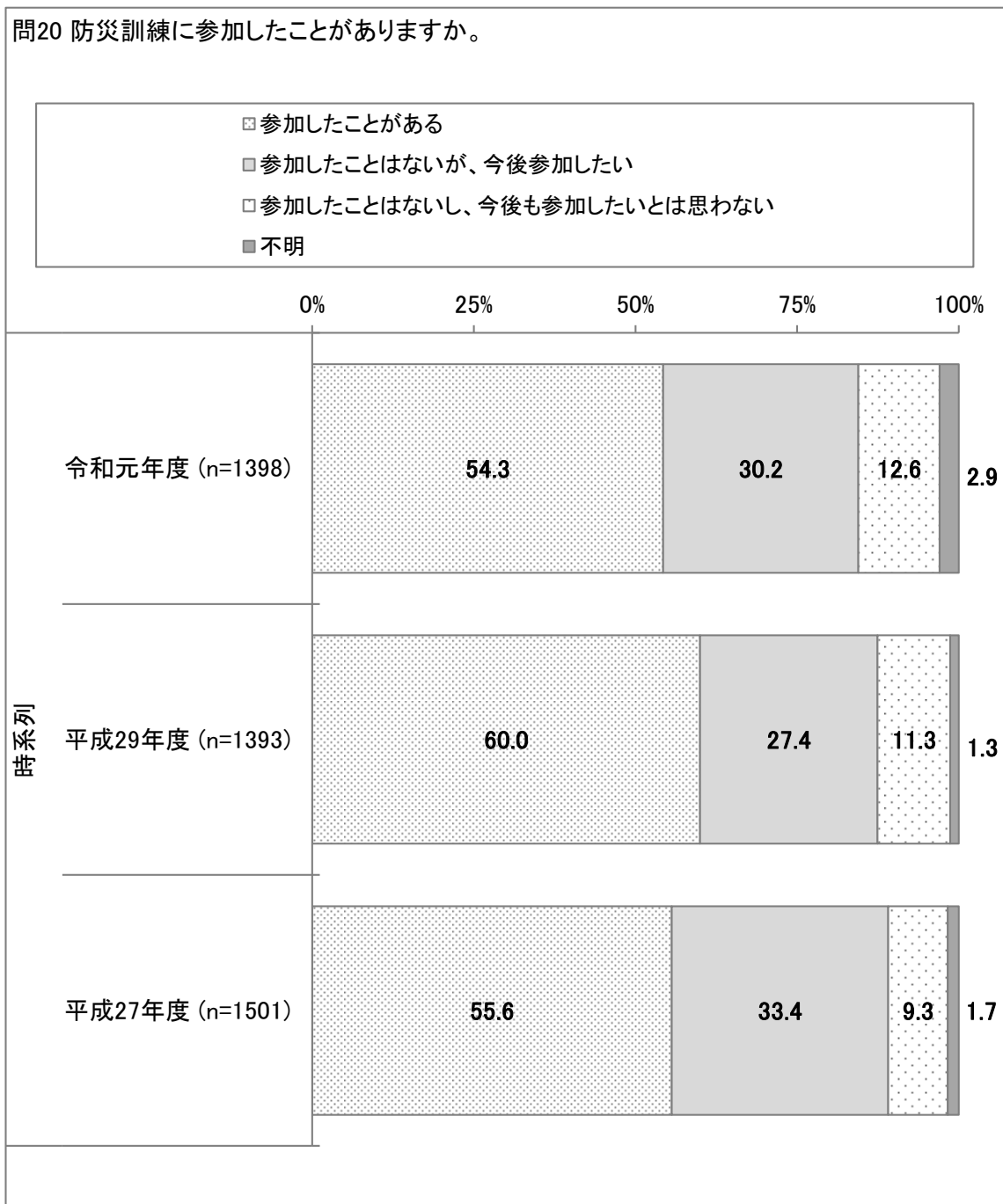
問19 あなたの家では、震災等の災害に対する備えをしていますか。(〇はいくつでも) (%)



7. 防災について

【防災訓練：全体・時系列】

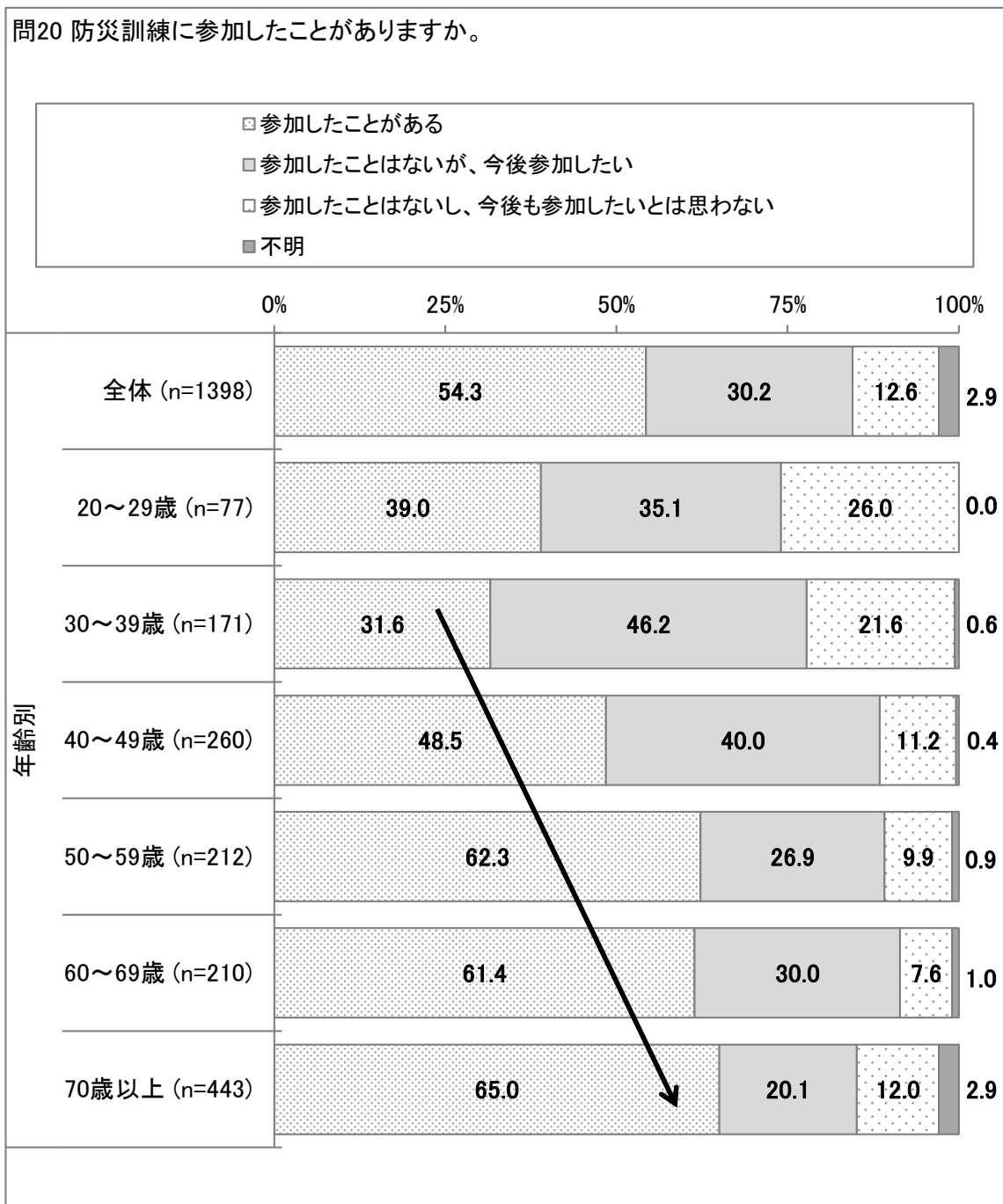
- ・ 「参加したことがある」は54.3%で、「参加したことはないが、今後参加したい」は30.2%である。一方で「参加したことはないし、今後も参加したいとは思わない」は12.6%である。
- ・ 平成27年度、平成29年度と比較すると、「参加したことがある」は、平成29年度に4.4ポイント増加したにもかかわらず、令和元年度では、5.7ポイント減少している。



7. 防災について

【防災訓練：年齢別】

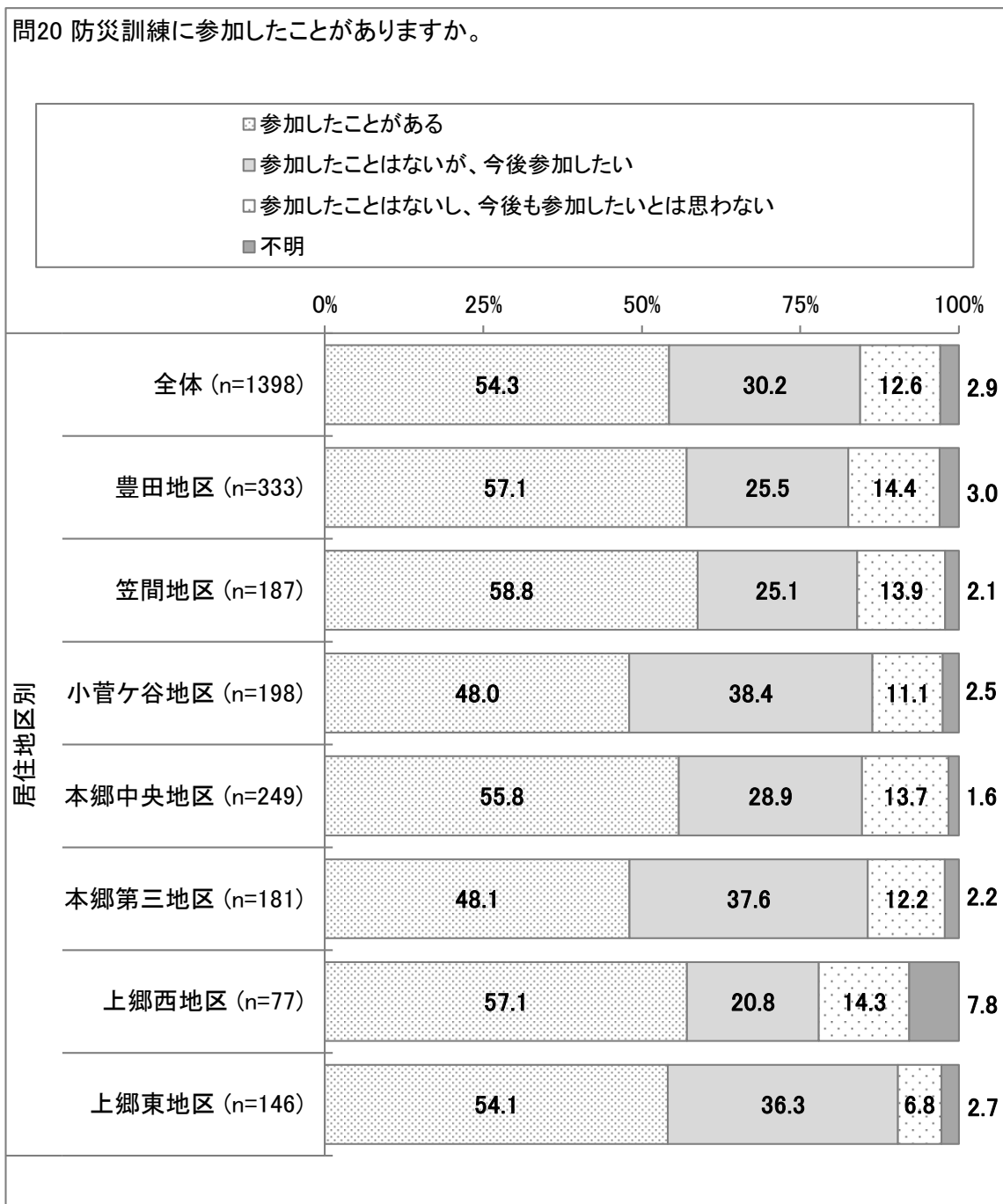
- 「20～29歳」を除き、年齢が高くなるほど「参加したことがある」割合は増加傾向が見られ、「70歳以上」は「参加したことがある」が65.0%で最も多い。
- 「30～39歳」は「参加したことがある」が31.6%で最も少ないが、「参加したことはないが、今後参加したい」が46.2%で最も多い。
- 「20～29歳」は「参加したことがある」が39.0%で少なく、「参加したことはないし、今後も参加したいとは思わない」も26.0%で最も多い。



7. 防災について

【防災訓練： 居住地域別】

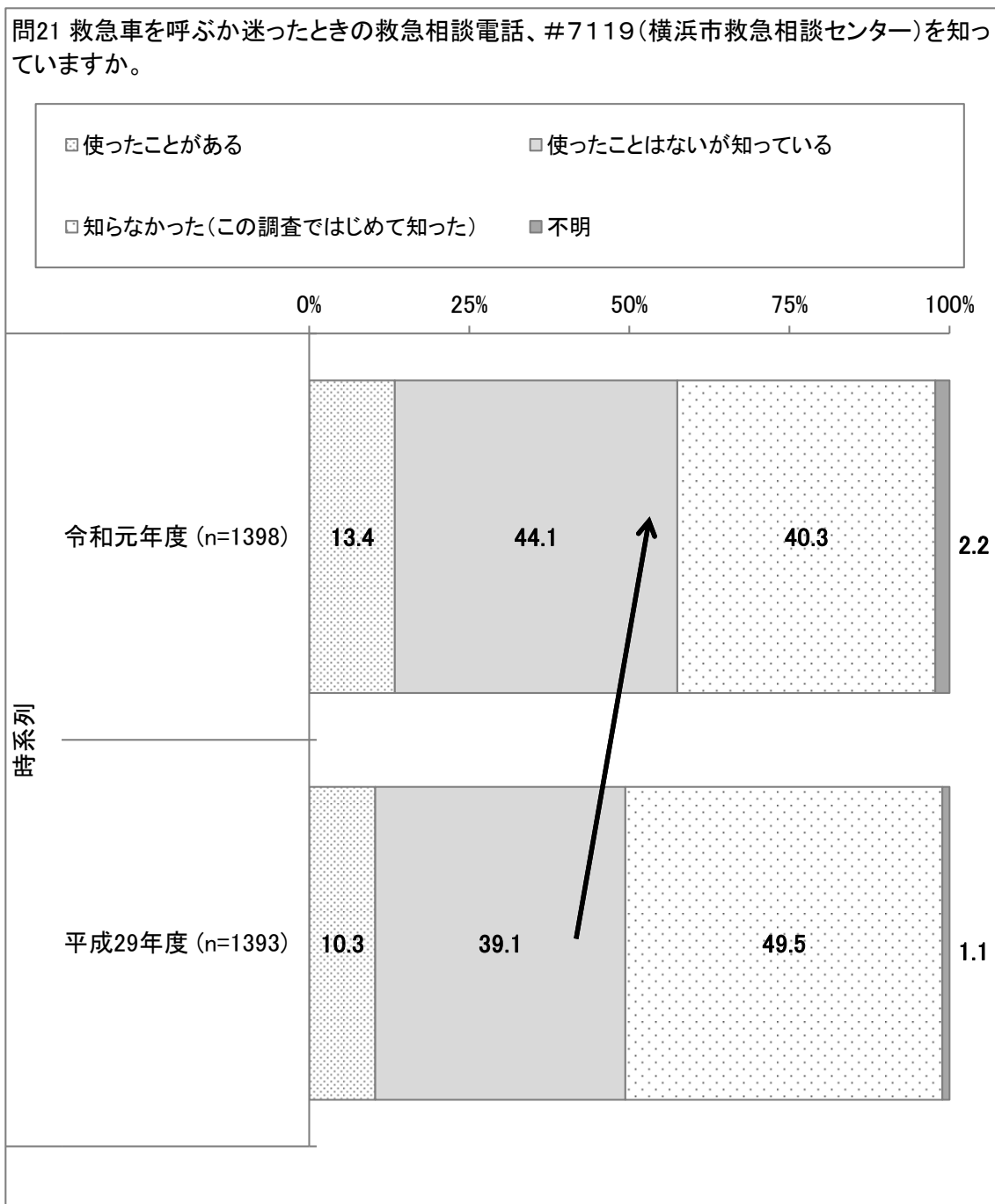
- ・ 「小菅ヶ谷地区」、「本郷第三地区」の「参加したことがある」は全体より5ポイント以上少ない。
- ・ 「小菅ヶ谷地区」、「本郷第三地区」、「上郷東地区」の「参加したことはないが、今後参加したい」は全体より5ポイント以上多い。



7. 防災について

【横浜市救急相談センター認知：全体・時系列】

- ・ 「使ったことがある」は13.4%で、「使ったことはないが知っている」は44.1%である。一方で「知らなかった(この調査ではじめて知った)」は40.3%である。
- ・ 平成29年度と比較すると、「使ったことがある」は、3.1ポイント増加、「使ったことはないが知っている」も5.0ポイント増加している。

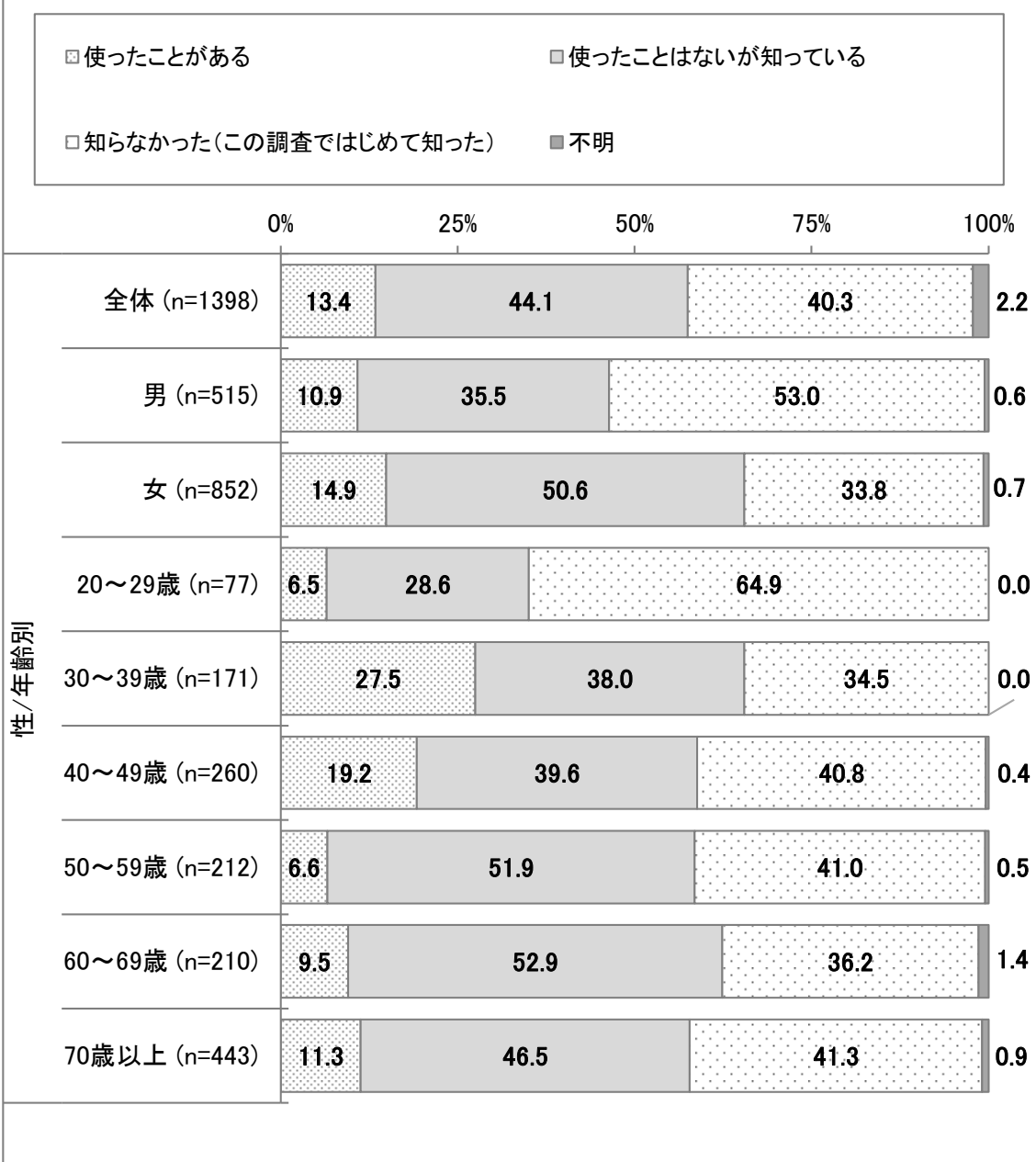


8. 救急について

【横浜市救急相談センター認知：性・年齢別】

- 男女別では、「男性」は「女性」より「知らなかった(この調査ではじめて知った)」が19.2ポイント多く、「女性」は「男性」より「使ったことはないが知っている」が15.1ポイント多くなっている。
- 年齢別では、「30～39歳」の「使ったことがある」は27.5%で、全体より10ポイント以上多い。
- 「20～29歳」の「知らなかった」は64.9%で最も多い。

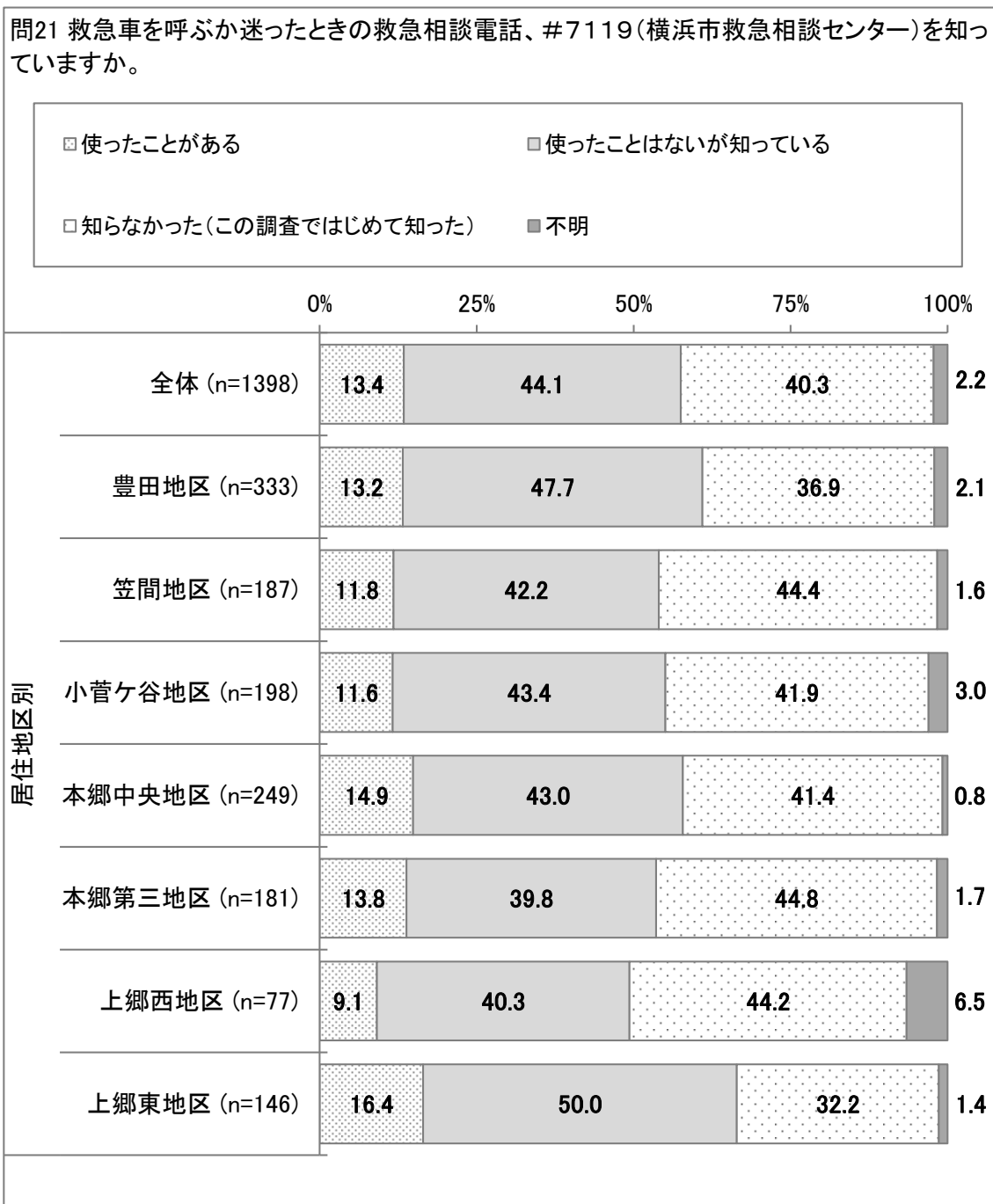
問21 救急車を呼ぶか迷ったときの救急相談電話、#7119(横浜市救急相談センター)を知っていますか。



8. 救急について

【横浜市救急相談センター認知：居住地区別】

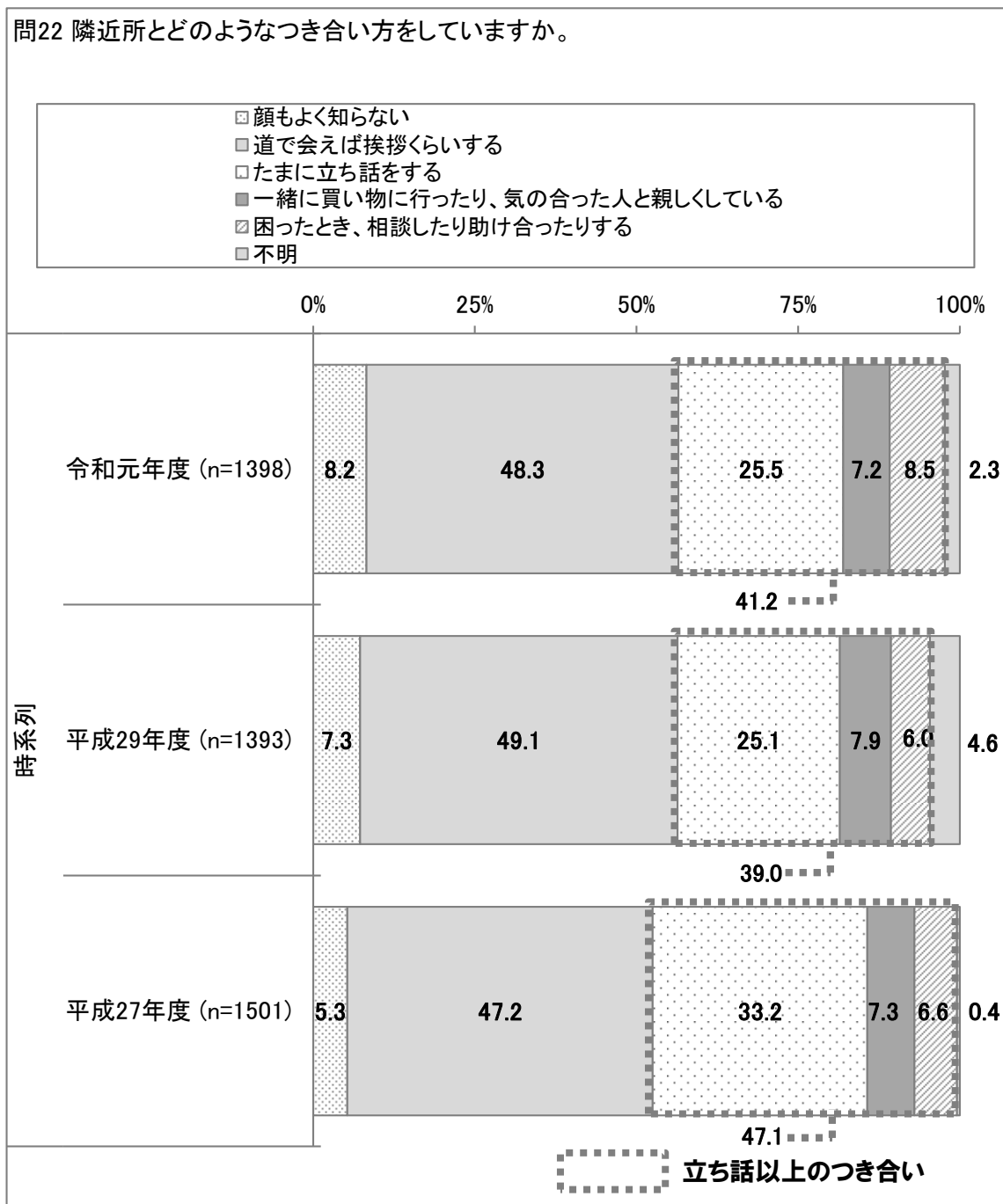
- 居住地区別では、「上郷東地区」の「使ったことがある」の割合が16.4%と最も高く、「使ったことはないが知っている」も全体より5ポイント以上多い。



9. 地域のつながりについて

【隣近所とのつき合い方：全体・時系列】

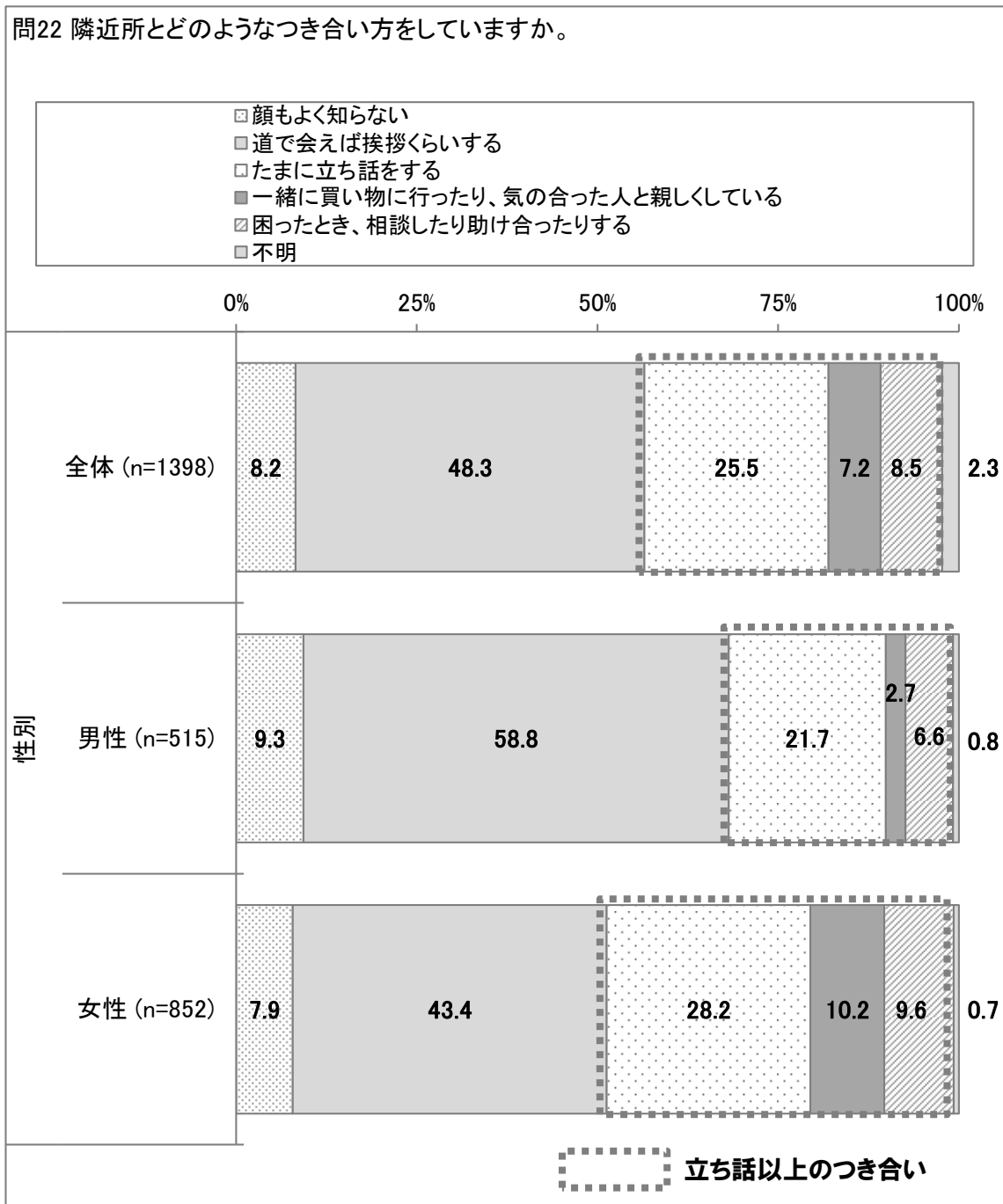
- 「道で会えば挨拶くらいする」は48.3%、「たまに立ち話をする」は25.5%である。『立ち話以上のつき合い』は41.2%である。一方、「顔もよく知らない」は8.2%となっている。
 - 平成27年度、平成29年度と比較すると、「顔も知らない」の割合が増加傾向にあり、『立ち話以上のつき合い』の割合は、平成29年度に8.1ポイント減少したものの、令和元年度は2.2ポイント増加している。
- ※『立ち話以上のつき合い』:「たまに立ち話をする」、「一緒に買い物に行ったり、気の合った人と親しくしている」、「困ったとき、相談したり助け合ったりする」の合計



9. 地域のつながりについて

【隣近所とのつき合い方：全体・性別】

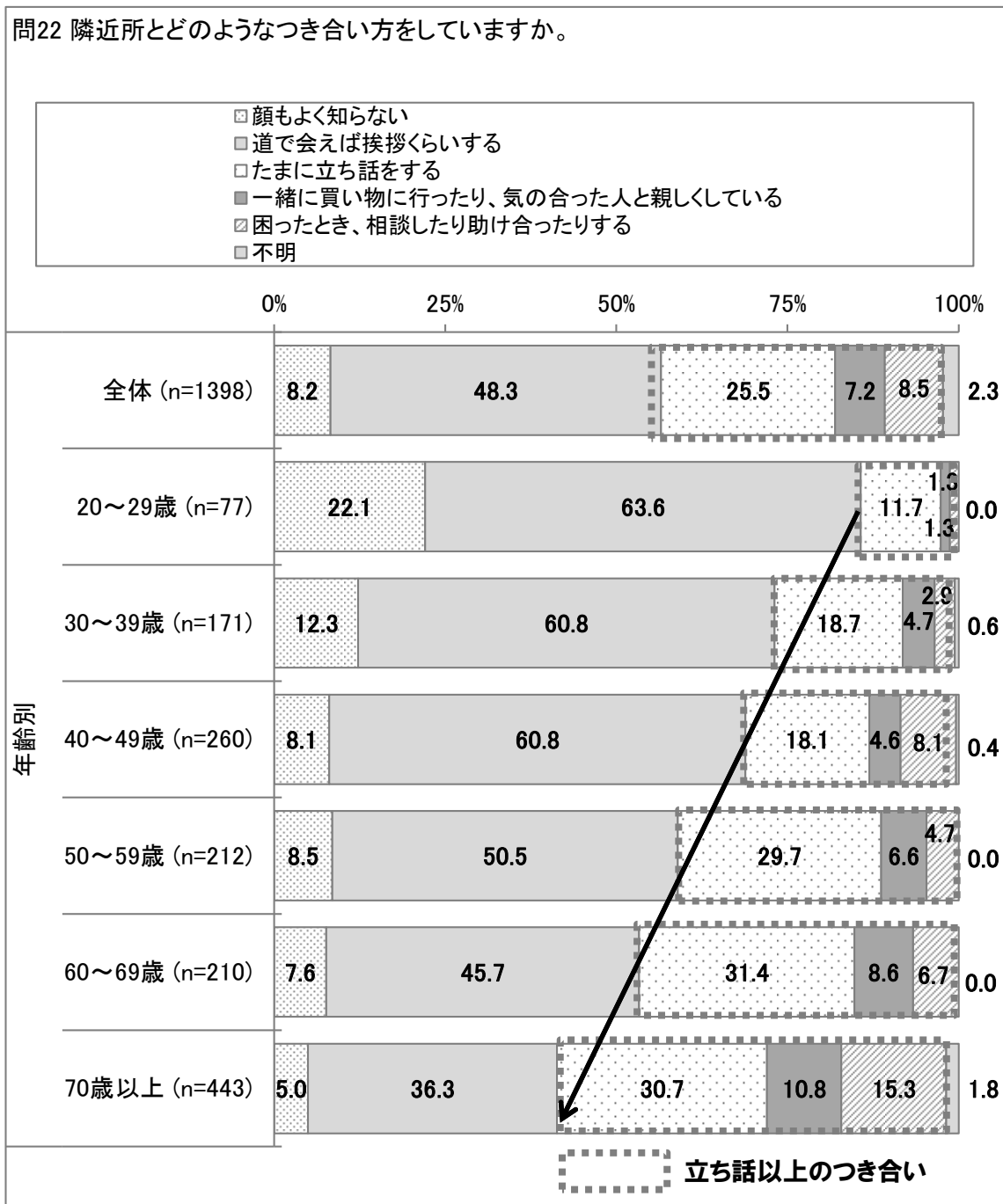
- ・ 「男性」の「道で会えば挨拶くらいする」は58.8%で全体より10ポイント以上多い。
- ・ 「女性」の「道で会えば挨拶くらいする」は43.4%で全体より4.9ポイント少なく、『立ち話以上のつき合い』が「男性」に比べて16.9ポイント多い。



9. 地域のつながりについて

【隣近所とのつき合い方：年齢別】

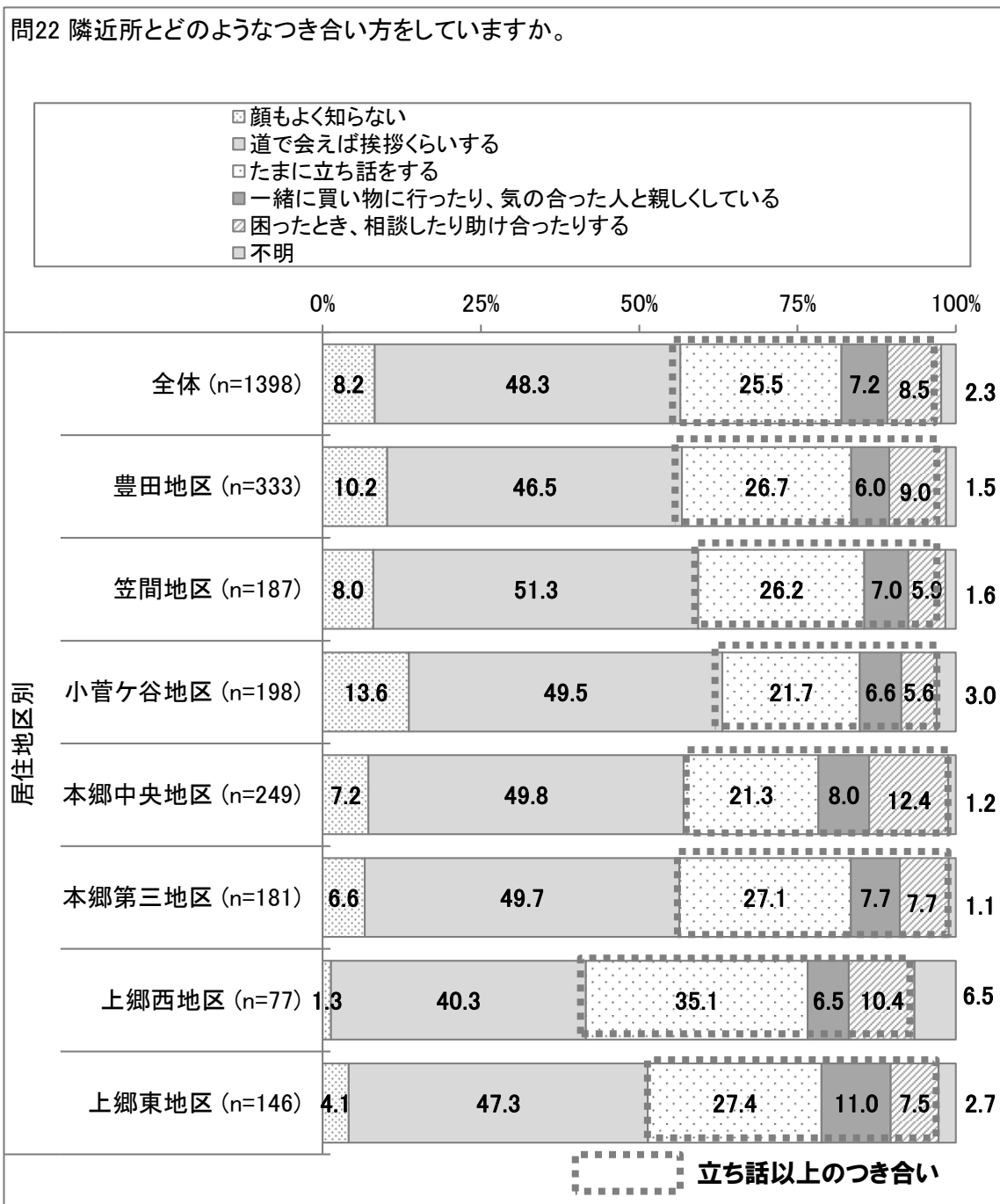
- 「20～29歳」では「顔もよく知らない」が22.1%、「道で会えば挨拶くらいする」が63.6%で全体より10ポイント以上多い。
- 『立ち話以上のつき合い』は年齢が高くなるほど増える傾向が見られる。「70歳以上」で『立ち話以上のつき合い』の割合は56.9%である。



9. 地域のつながりについて

【隣近所とのつき合い方：居住地区別】

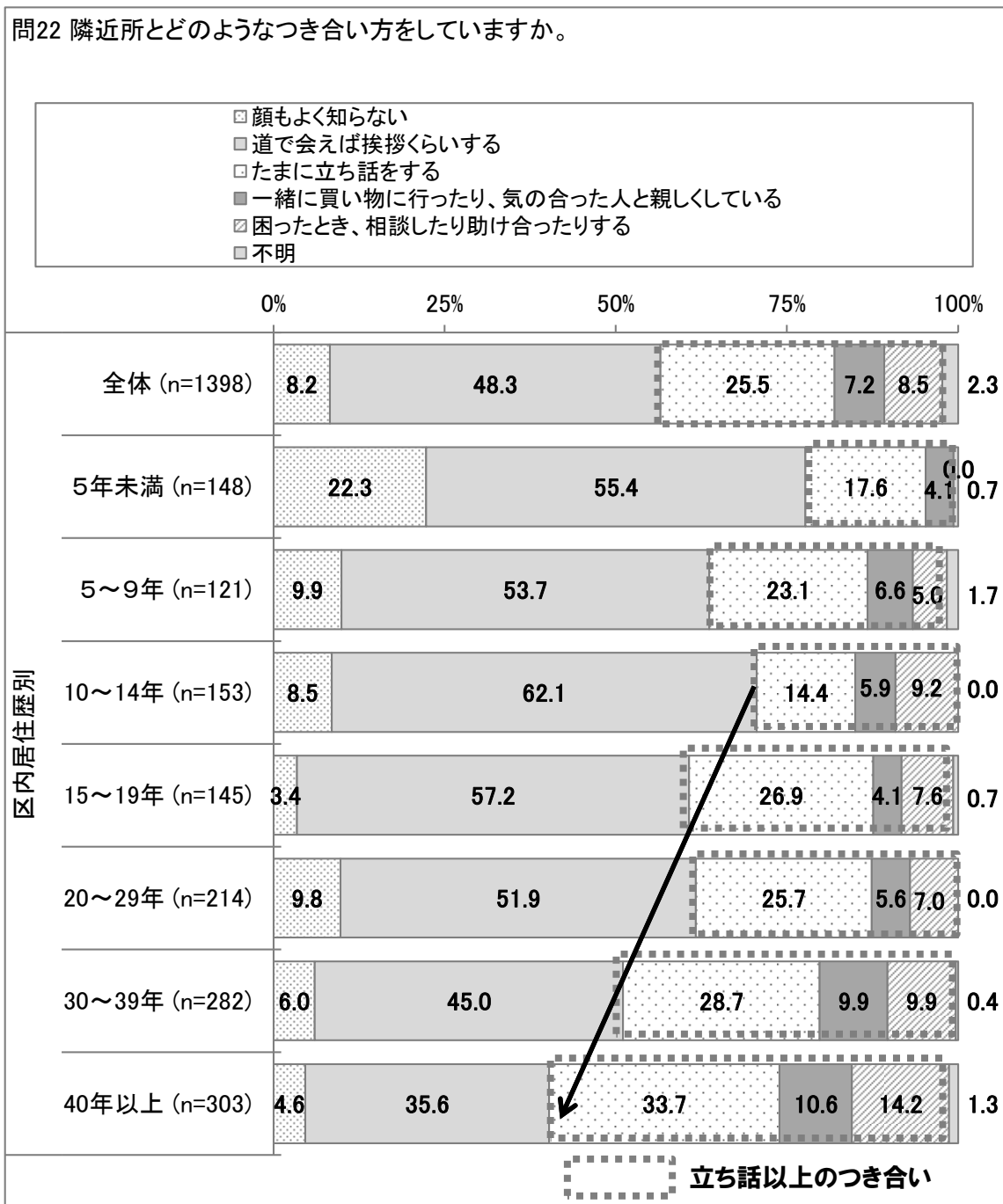
- ・ 「上郷西地区」では、『立ち話以上のつき合い』が51.9%と最も高く、全体より10ポイント以上多い。
- ・ 「小菅ヶ谷地区」は、「顔もよく知らない」が13.6%で全体より5ポイント以上多く「上郷西地区」は1.3%で全体より5ポイント以上少ない。



9. 地域のつながりについて

【隣近所とのつき合い方：区内居住歴別】

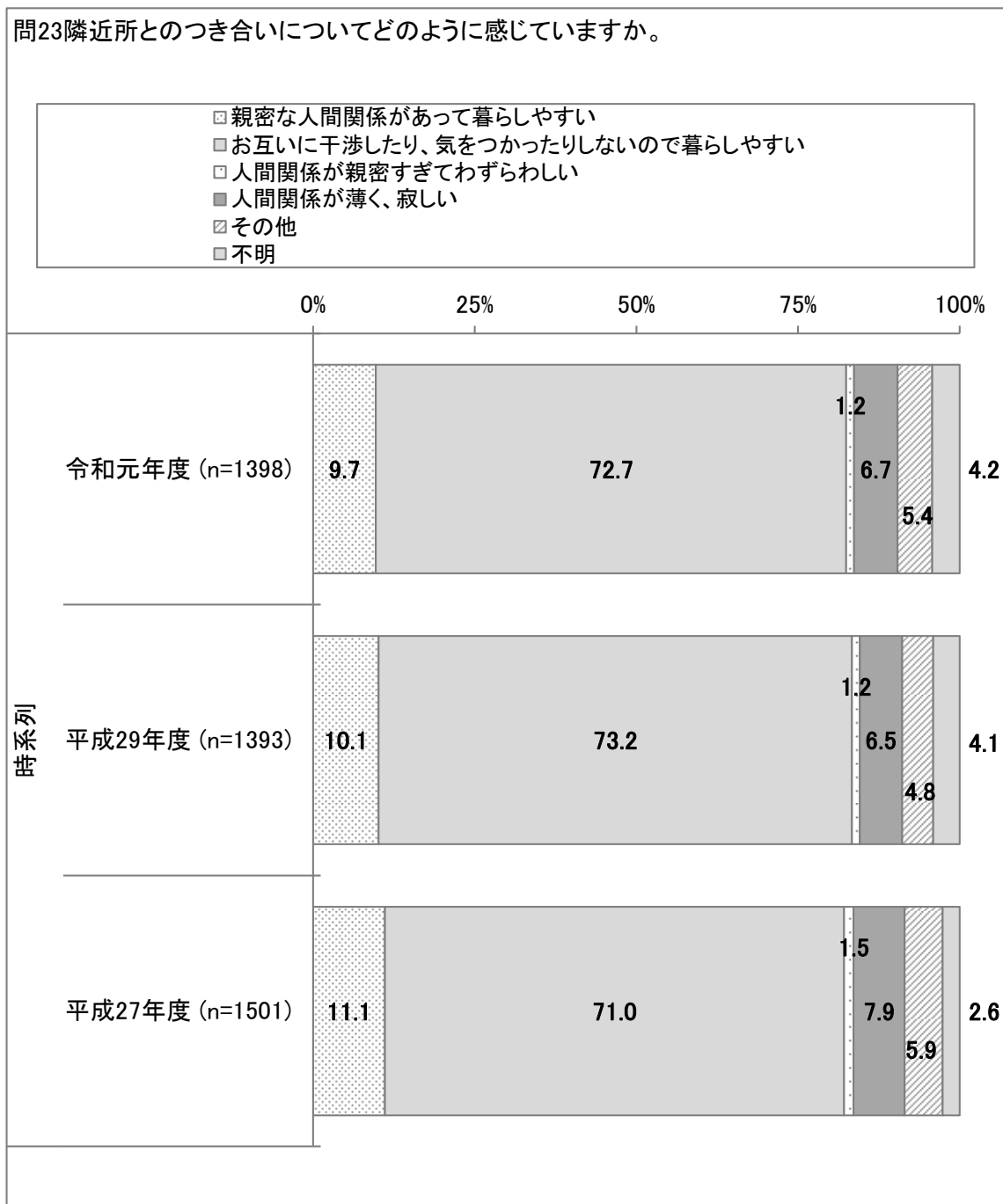
- 居住期間が長くなるほど、『立ち話以上のつき合い』が増える様子が窺われる。
「40年以上」では『立ち話以上のつき合い』が58.4%に達する。



9. 地域のつながりについて

【隣近所とのつき合いについて感じる事：全体・時系列】

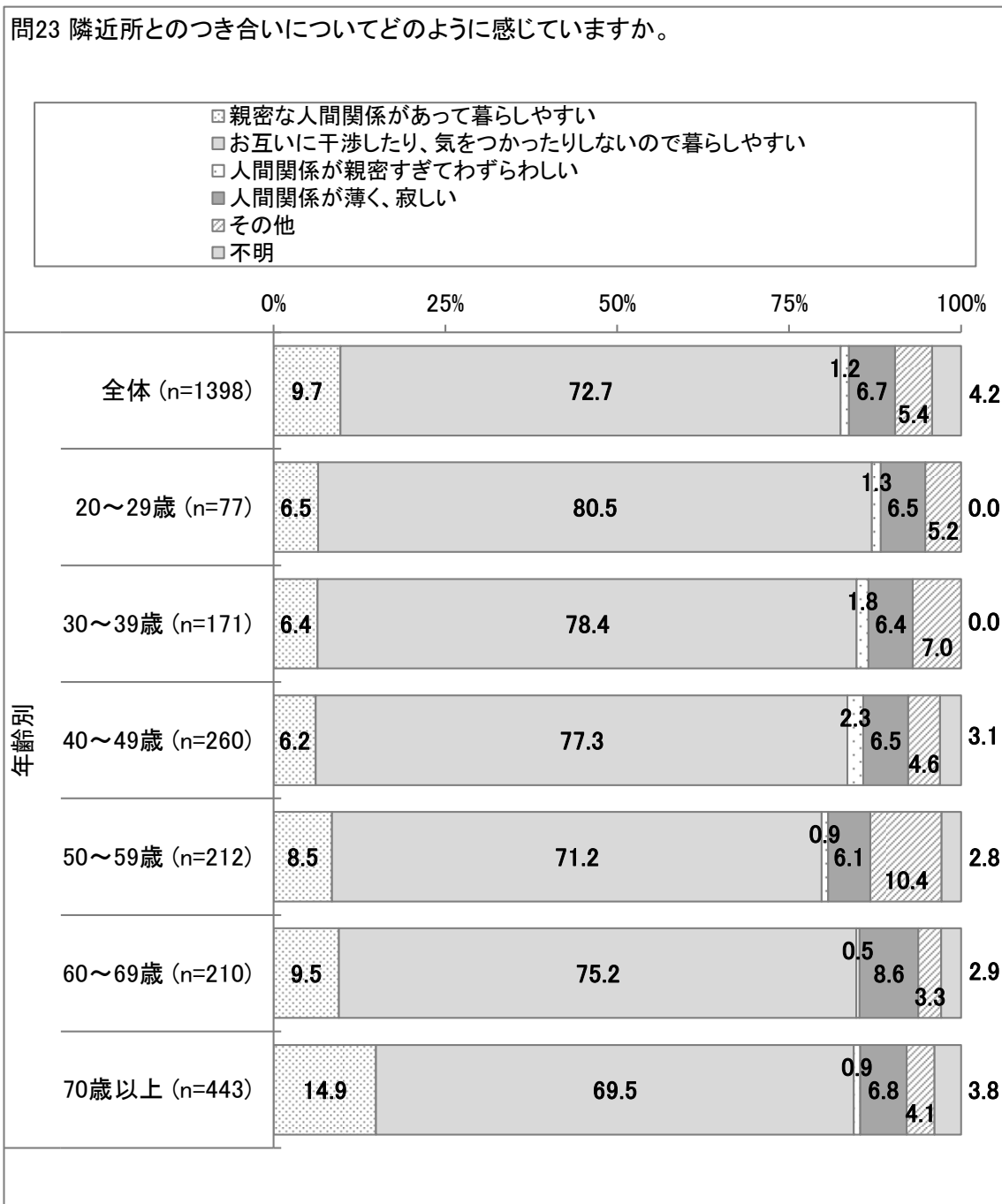
- 「お互いに干渉したり、気をつかったりしないので暮らしやすい」と感じている割合が72.7%で最も高い。「親密な人間関係があって暮らしやすい」は9.7%である。「人間関係が薄く、寂しい」と感じている人も6.7%いる。
- 平成27年度、平成29年度と比較すると、「親密な人間関係があって暮らしやすい」は微減傾向にある。



9. 地域のつながりについて

【隣近所とのつき合いについて感じる事：年齢別】

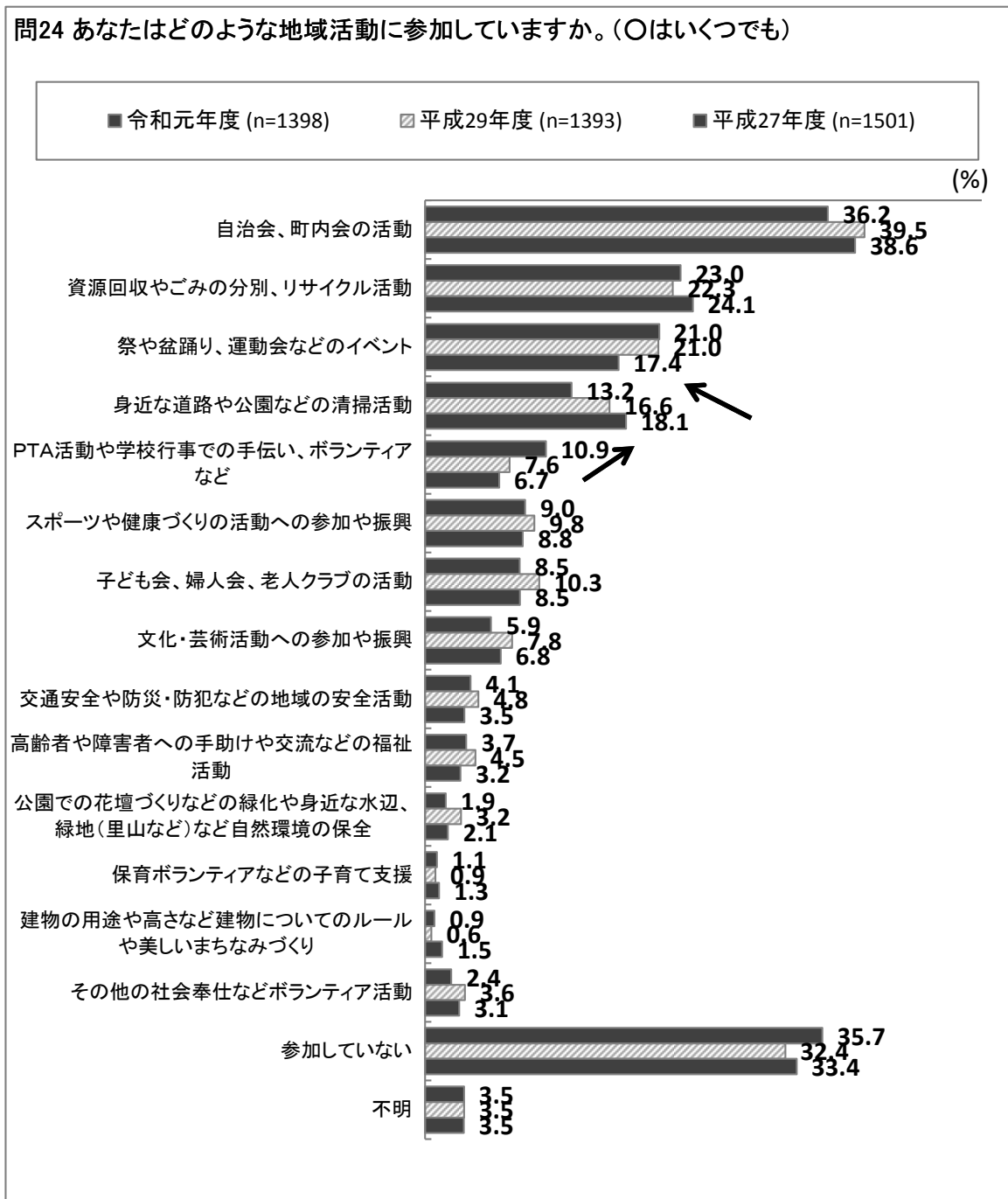
- 年齢別では、「20～29歳」、「30～39歳」で、「お互いに干渉したり、気をつかったりしないので暮らしやすい」が全体より5ポイント以上多い。
- また、「70歳以上」で、「親密な人間関係があって暮らしやすい」が全体より5ポイント以上多い。



9. 地域のつながりについて

【地域活動への参加：全体・時系列】

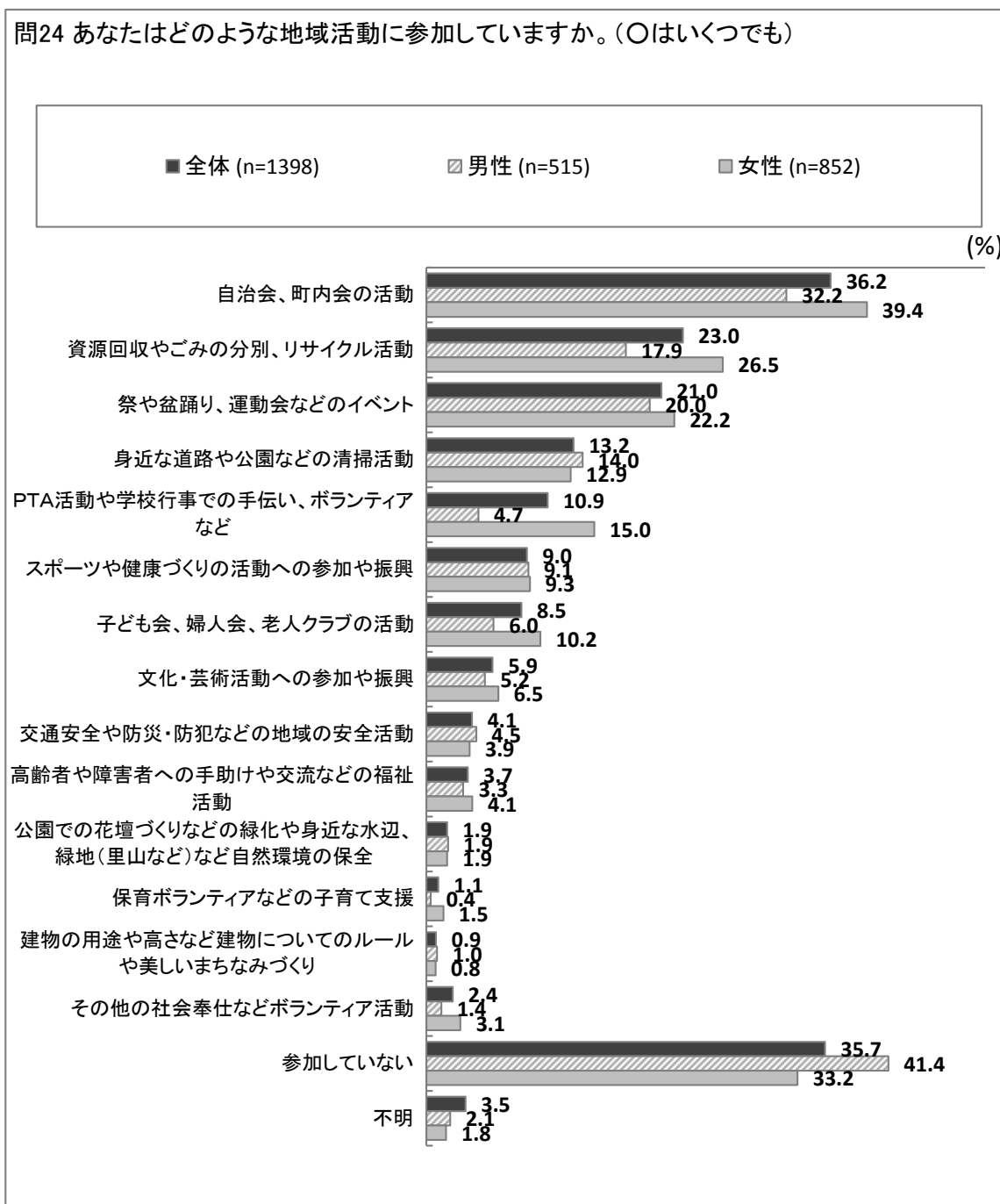
- ・ 「自治会、町内会の活動」が36.2%で最も多い。「資源回収やごみの分別、リサイクル活動」(23.0%)、「祭や盆踊り、運動会などのイベント」(21.0%)が続く。
- ・ 平成27年度、平成29年度と比較すると、「身近な道路や公園などの清掃活動」は減少傾向、「PTA活動や学校行事での手伝い、ボランティアなど」は増加傾向が見られる。



9. 地域のつながりについて

【地域活動への参加：性別】

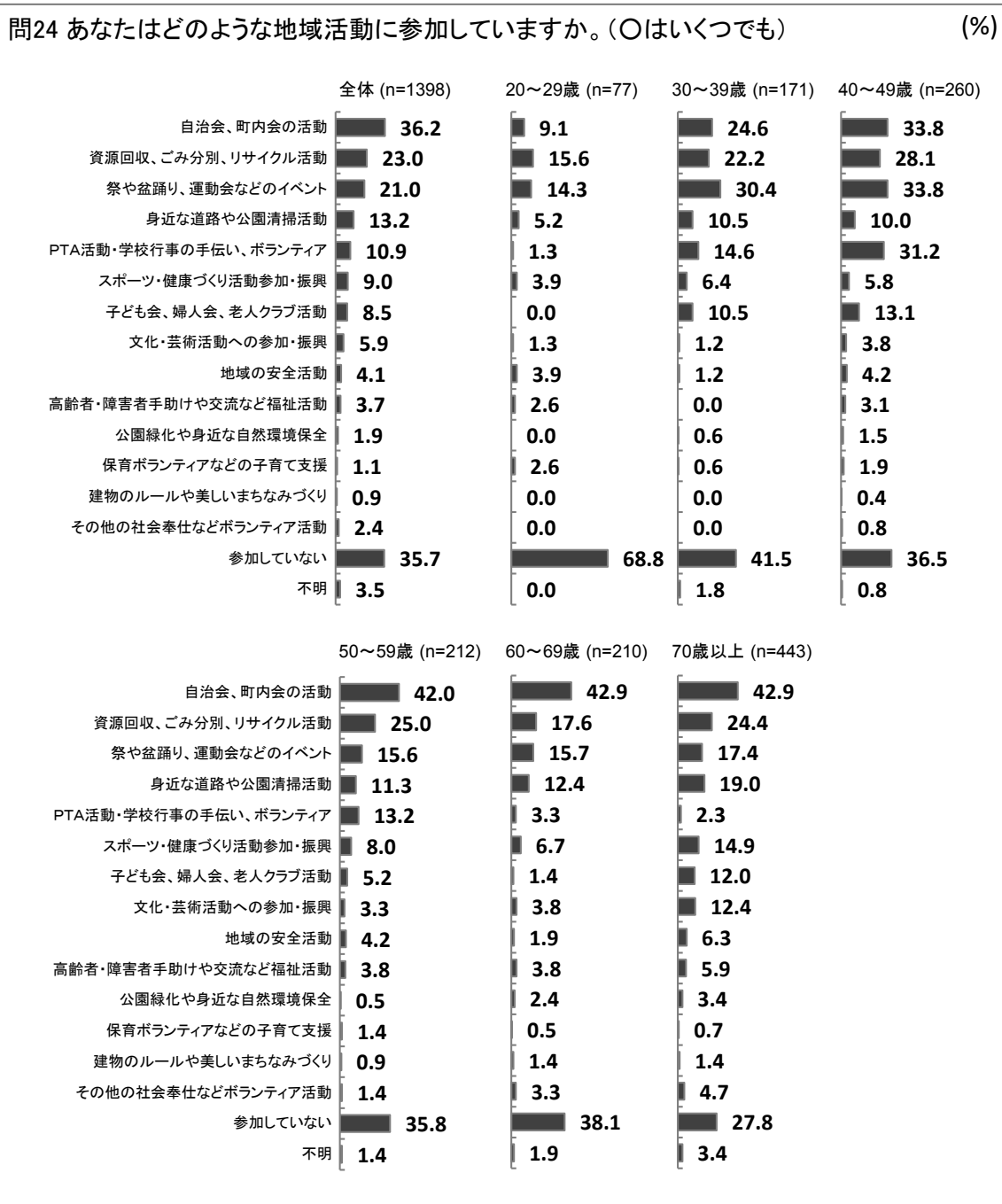
- ・ 「PTA活動や学校行事での手伝い、ボランティアなど」で、「女性」が「男性」より10ポイント以上多く、「資源回収やごみの分別、リサイクル活動」、「自治会、町内会の活動」で5ポイント以上多い。
- ・ 「参加していない」は、「男性」が「女性」より8.1ポイント多い。



9. 地域のつながりについて

【地域活動への参加：年齢別】

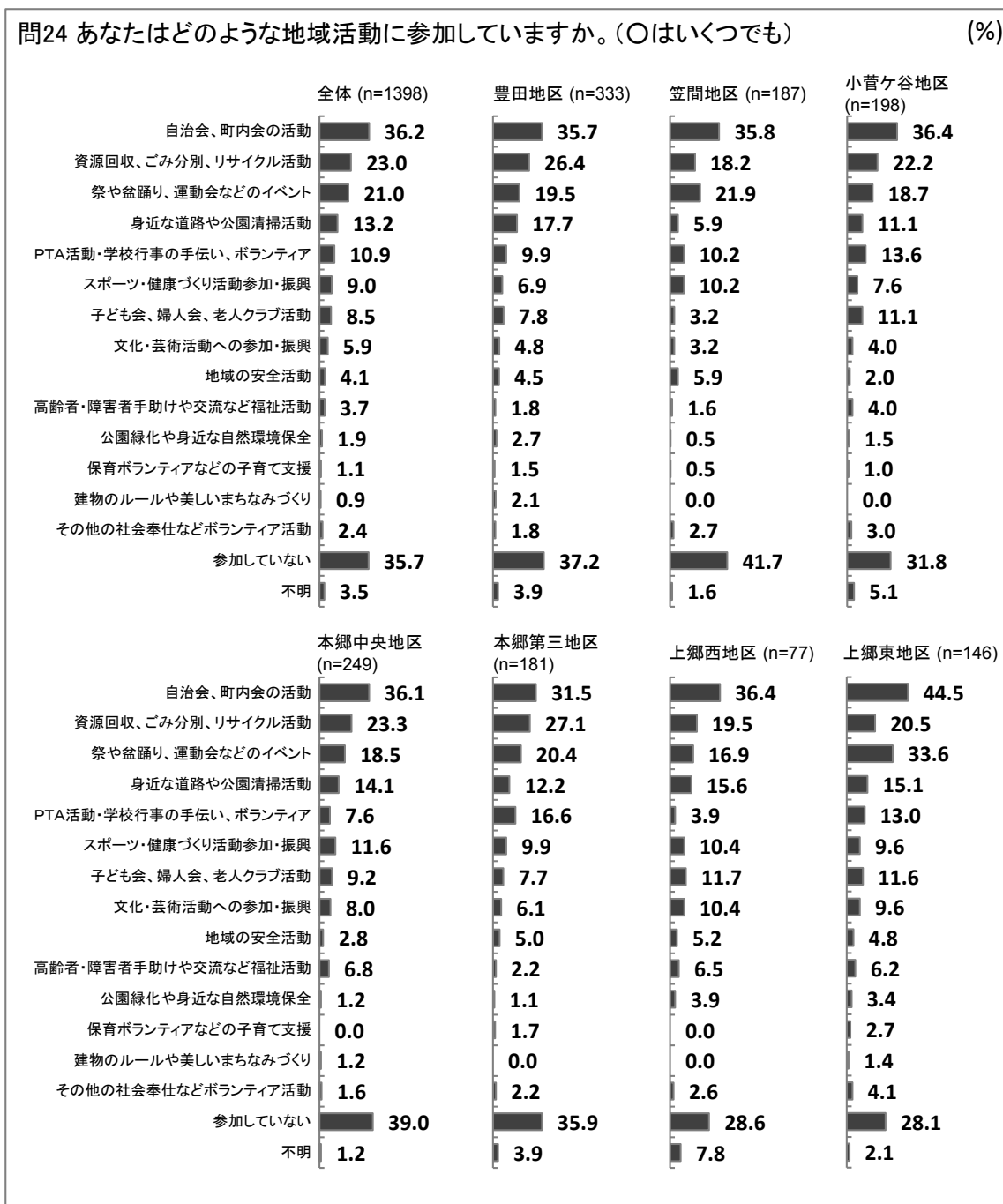
- ・ 「20～29歳」では、「参加していない」が7割弱で非常に多い。
- ・ 「30～39歳」では、「祭や盆踊り、運動会などのイベント」が全体より5ポイント多い。一方、「参加していない」も全体より5ポイント以上多い。
- ・ 「40～49歳」では、「PTA活動や学校行事での手伝い、ボランティアなど」、「祭や盆踊り、運動会などのイベント」が全体より10ポイント以上、「資源回収やごみの分別、リサイクル活動」で5ポイント以上多くなっている。
- ・ 「70歳以上」では、「身近な道路や公園などの清掃活動」、「文化・芸術活動への参加や振興」、「スポーツや健康づくりの活動への参加や振興」で5ポイント以上多くなっている。
- ・ 「自治会、町内会の活動」は年齢が上がるにつれて参加率が高くなる傾向が見られ、30歳代以下では、全体より10ポイント以上低く、50歳代以上では、全体より5ポイント以上多い。



9. 地域のつながりについて

【地域活動への参加：居住地区別】

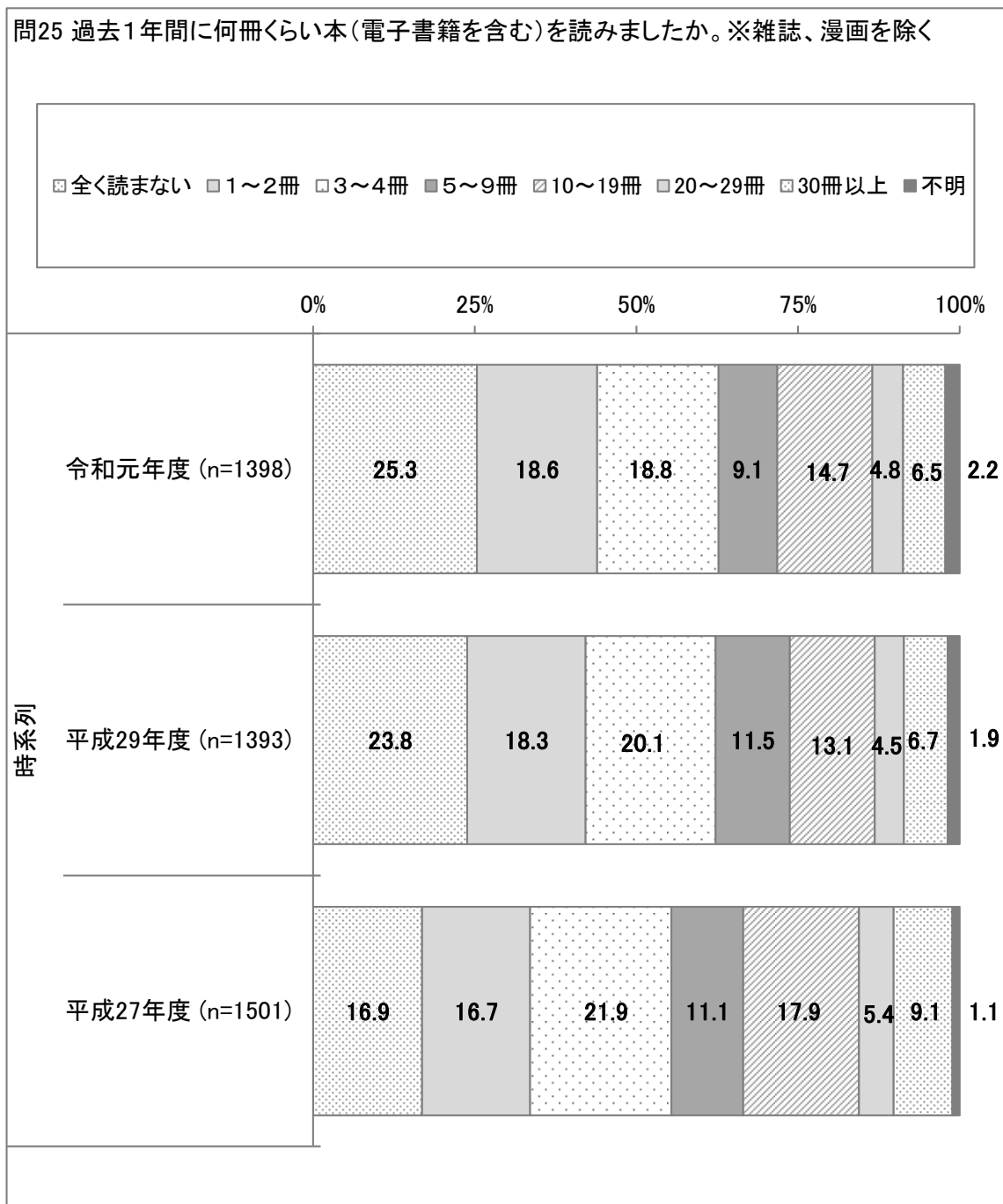
- ・ 「本郷第三地区」では、「PTA活動や学校行事での手伝い、ボランティアなど」が全体より5ポイント以上多い。
- ・ 「上郷東地区」では、「祭や盆踊り、運動会などのイベント」が全体より10ポイント以上、「自治会、町内会の活動」が全体より5ポイント以上多い。
- ・ 「笠間地区」では、「参加していない」が41.7%で、全体より5ポイント以上多くなっている。



10. 読書について

【過去1年間に読んだ本の冊数：全体・時系列】

- 全体では、「全く読まない」が25.3%である。「3～4冊」が18.8%、「1～2冊」が18.6%で続く。
- 平成27年度、平成29年度と比較すると、「全く読まない」に増加傾向が見られる。「3～4冊」は微減傾向にある。また、「1～2冊」が微増傾向で、「30冊以上」が微減傾向となっている。

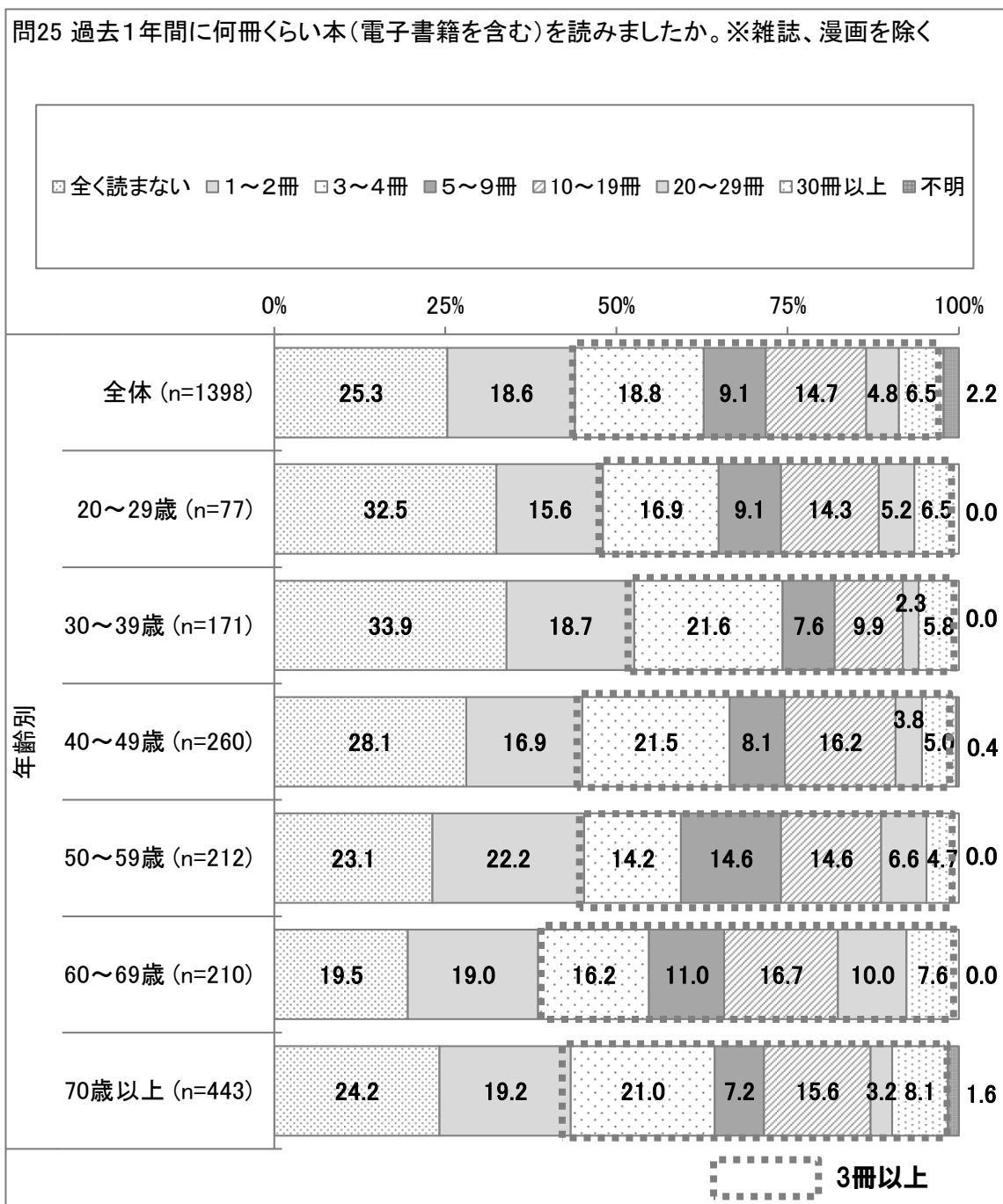


10. 読書について

【過去1年間に読んだ本の冊数：全体・年齢別】

- 年齢別では、「20～29歳」、「30～39歳」で「全く読まない」が全体より5ポイント以上多い。
- 「60～69歳」で『3冊以上』が全体より5ポイント以上多い。

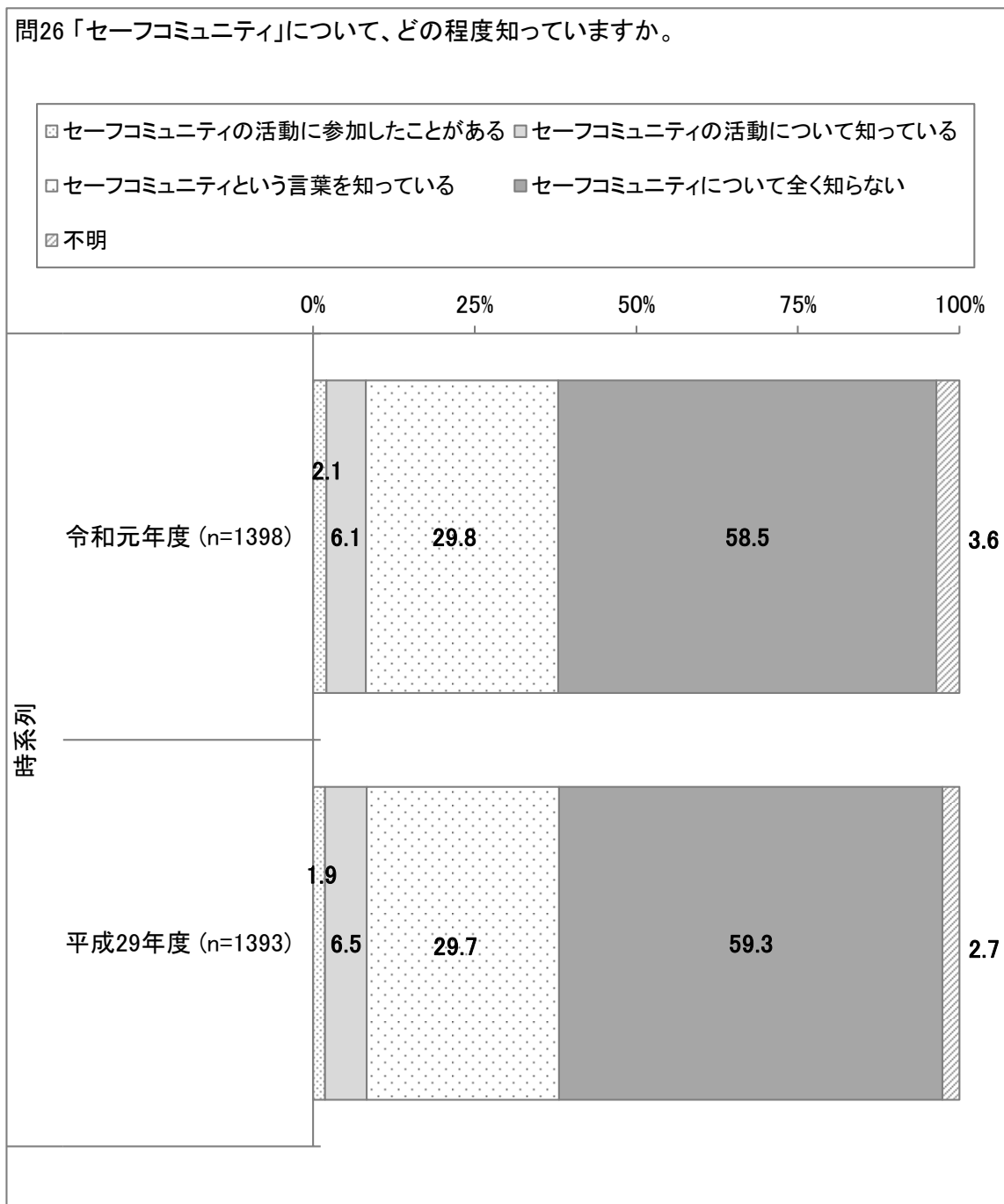
※『3冊以上』:「3～4冊」、「5～9冊」、「10～19冊」、「20～29冊」、「30冊以上」の合計



11. セーフコミュニティについて

【セーフコミュニティの認知度：全体・時系列】

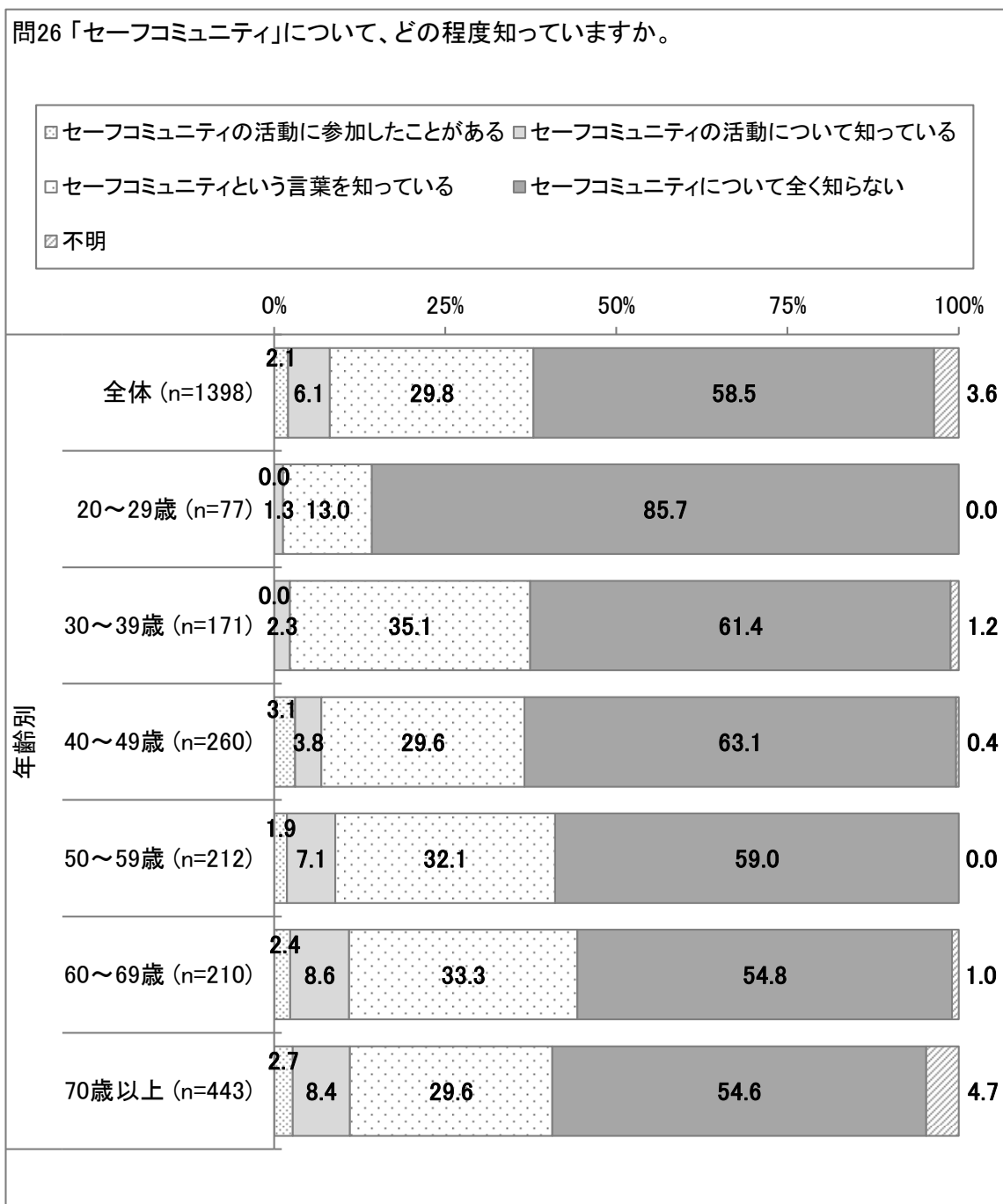
- 全体では、「全く知らない」が58.5%を占めている。「言葉を知っている」は29.8%である。「参加したことがある」は2.1%に留まる。
- 平成29年度と比較すると、「全く知らない」が微減している。



11. セーフコミュニティについて

【セーフコミュニティの認知度：全体・年齢別】

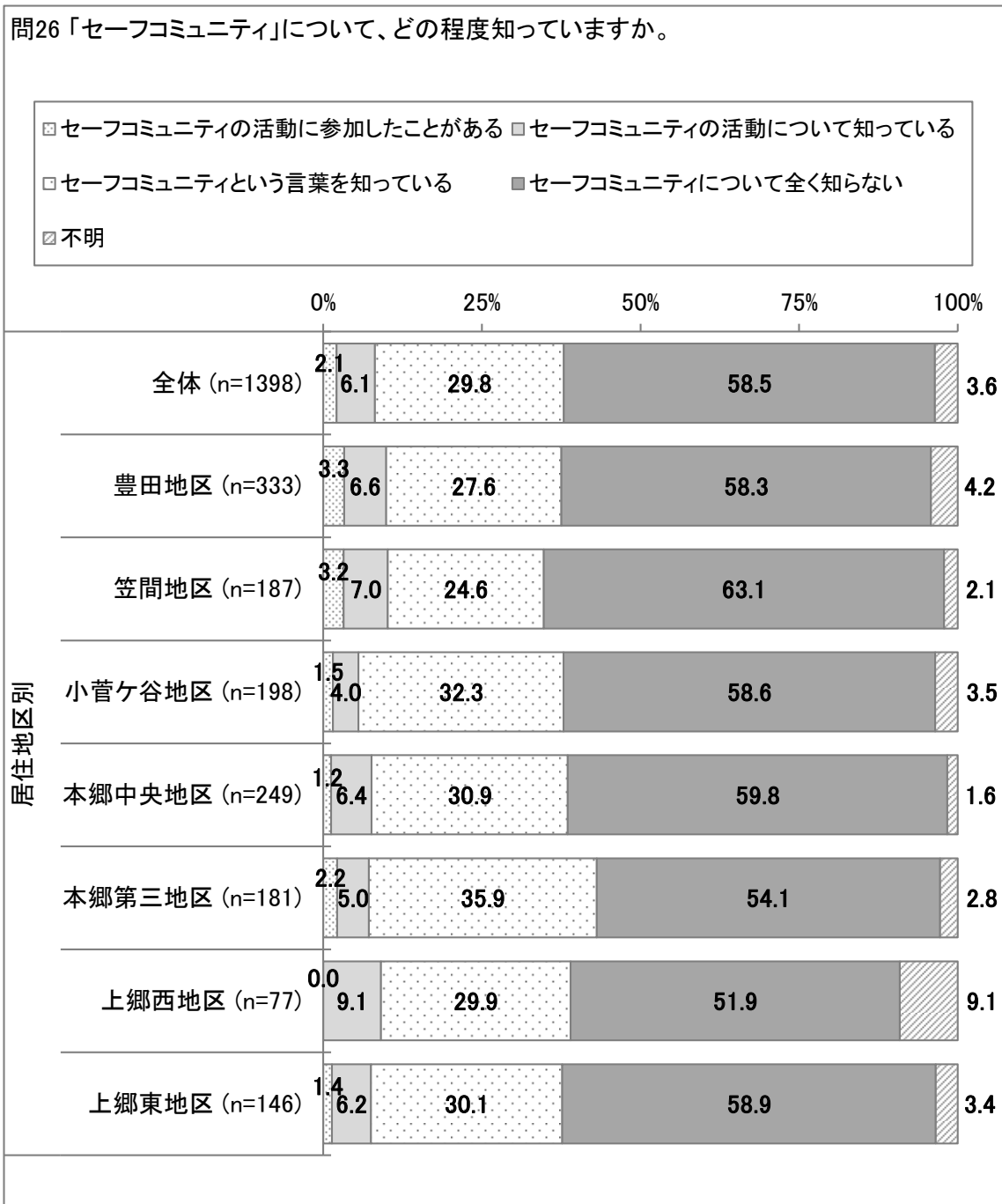
- 年齢別では、「20～29歳」では「全く知らない」が85.7%で、全体より25ポイント以上多い。
- 年齢があがるほど「参加したことがある」割合は高くなる傾向がみられる。



11. セーフコミュニティについて

【居住地区別】

- 「上郷西地区」では、「全く知らない」が全体より5ポイント以上少ない。



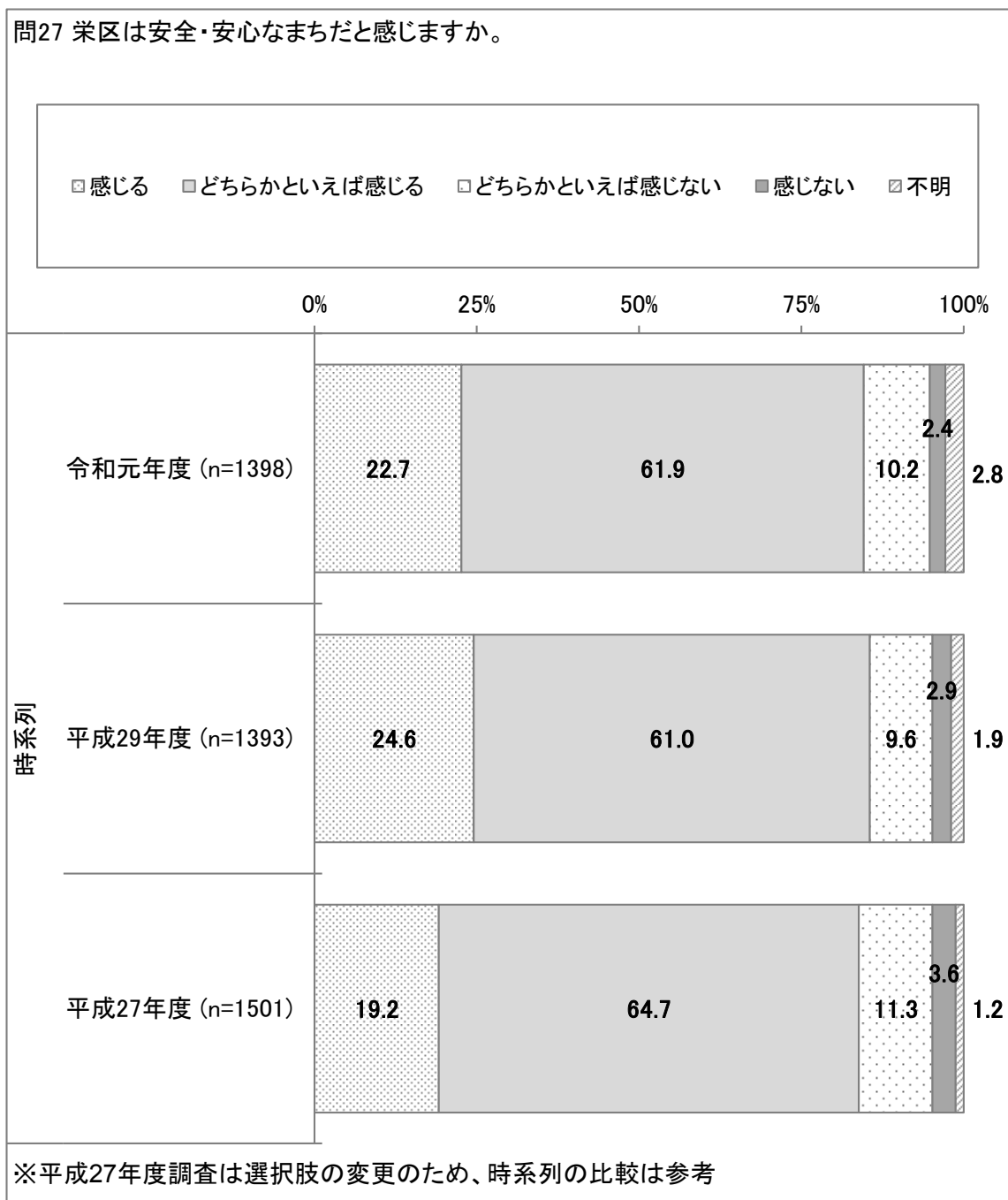
11. セーフコミュニティについて

【安全なまちとを感じるか：全体・時系列】

- 安全なまちだと「感じる」割合は22.7%で、「どちらかといえば感じる」を合わせると84.6%が安全だと感じている。
- 平成29年度と比較して、大きな差は見られない。

※平成29年度調査では、選択肢が変更

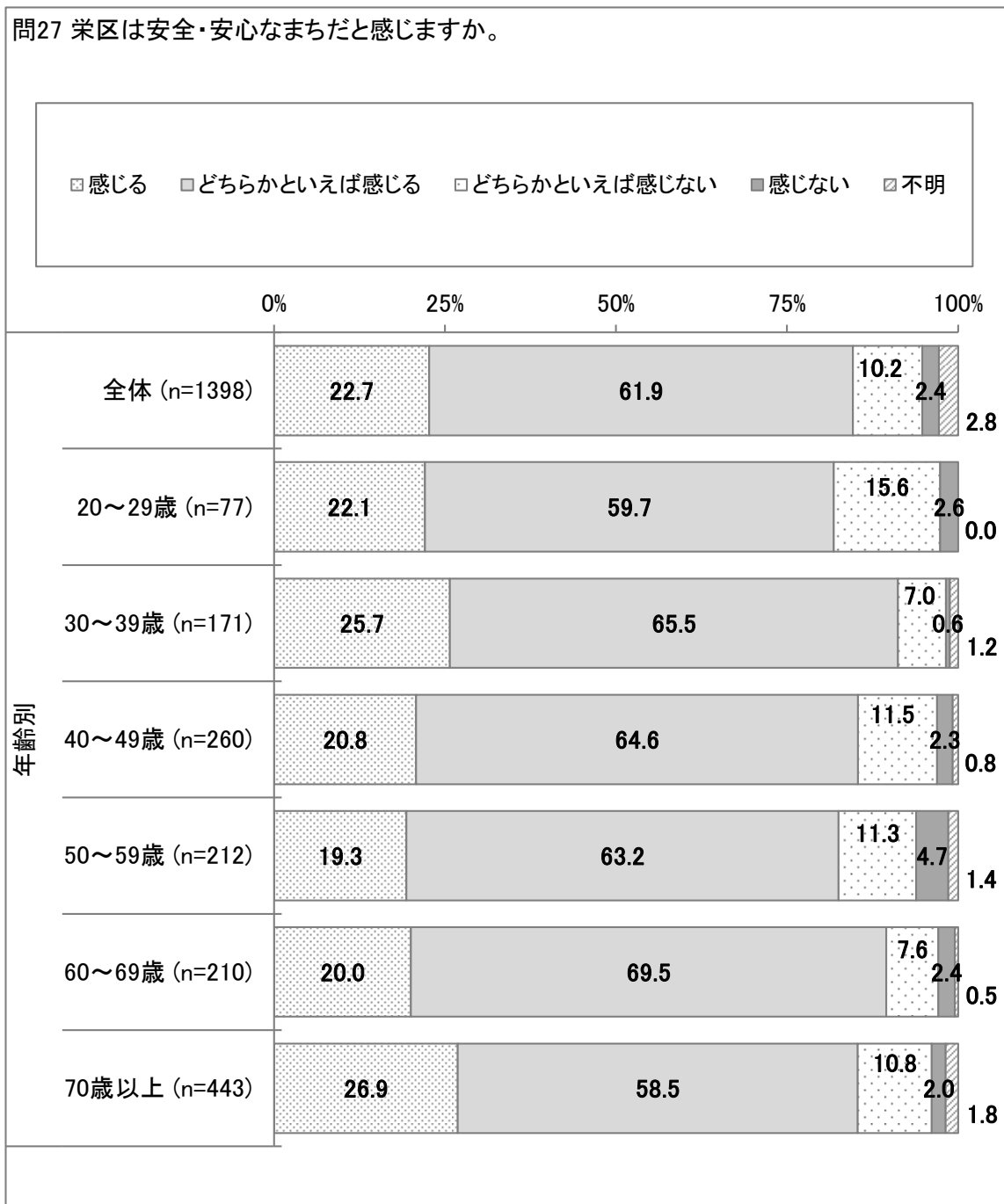
(「そう感じる」→「感じる」)されているため平成27年度の時系列比較は参考。



11. セーフコミュニティについて

【安全なまちとを感じるか：年齢別】

- 「感じる」、「どちらかといえば感じる」の合計『感じる』では、「30～39歳」で5ポイント以上多い。



4. 參考資料 (調查票)

令和元年度栄区民意調査にご協力ください

栄区にお住まいの皆様に、栄区で生活するうえでの満足や不安、生活スタイルなどに対するご意見をお伺いします。この調査の集計結果は、今後の区政を進める基礎資料とし、「栄区に住んでいて本当によかった、これからも栄区に住み続けたい」と思えるまちづくりを、皆様と実現していきたいと考えております。

この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和元年 11 月

栄区長 星崎 雅代



過去の調査を栄区ではこの様に活用しています

取り組むべき課題に「**防犯対策**」を選んだ方の割合

<平成 27 年度> <平成 29 年度>

31.2% → 39.0%
+7.8%



平成 30 年度

栄区でも大きな被害が出ている
振り込め詐欺の予防対策として
電話に取り付けるポップアップ
シールを配付



①調査票を記入



②同封の返信用封筒(切手不要)
に入れる



③ポストにご投函



令和元年 12 月 6 日(金)までにポストに投函してください

◆ ◆ ◆ 調査票のご記入にあたって ◆ ◆ ◆

本調査は2年に一度、住民基本台帳から無作為抽出した区内在住の20歳以上の方3,000名を対象にご協力をお願いするものです。

調査結果につきましては、個人情報保護の趣旨に基づき統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。

※ご返送の際も住所、氏名の記入は必要ありません。

※本調査に関してご不明な点がございましたら、下記担当までお問い合わせください。

【担当】 栄区役所区政推進課企画調整係 高木、三根山

電話：894-8161 Fax：894-9127

E-Mail：sa-kikaku@city.yokohama.jp

【1 満足度】

問1 あなたは、栄区での生活に満足していますか。(○は1つ)

1 概ね満足している	4 やや不満がある
2 やや満足している	5 不満がある
3 どちらともいえない	

問2 あなたは、横浜市や栄区、周辺地域に対して、愛着や誇りを感じていますか。(○はそれぞれ1つ)

	感じている	やや感じている	どちらとも いえな	あまり感じて いな	まったく感じて いな
1 横浜市に対して	ア	イ	ウ	エ	オ
2 栄区に対して	ア	イ	ウ	エ	オ
3 お住まいの周辺の地域に対して	ア	イ	ウ	エ	オ

【2 定住意向】

問3 あなたは、現在お住まいの地域に住み続けたいですか。(○は1つ)

1 住み続けたい	2 住み続けたくない
----------	------------

(問3で「2」と答えた方にお聞きします)

問3-1 現在お住まいの地域に住み続けたいと思うようになるには、どのようなことが必要とお考えになりますか。(○は3つまで)

1 教育・文化環境が良くなる 2 交通の便が良くなる 3 都市基盤(道路、公園等)が整備される 4 スーパーや商店が増え、買い物が便利になる 5 通勤に便利なところに転勤(就職・転職)になる 6 近所づき合いが親密になる 7 その他(具体的に)

【3 生活意識】

問4 あなたは、現在の生活環境について、どの程度満足していますか。(項目ごとに○は1つずつ)

生活環境の満足度	満足度				
	ア	イ	ウ	エ	オ
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	わからない
1 買い物環境	ア	イ	ウ	エ	オ
2 公園	ア	イ	ウ	エ	オ
3 緑地と水辺環境	ア	イ	ウ	エ	オ
4 河川改修	ア	イ	ウ	エ	オ
5 バスの利便性	ア	イ	ウ	エ	オ
6 幹線道路の整備	ア	イ	ウ	エ	オ
7 ごみの収集、リサイクル活動	ア	イ	ウ	エ	オ
8 ごみの不法投棄対策や街の美化	ア	イ	ウ	エ	オ
9 子育て環境	ア	イ	ウ	エ	オ
10 教育	ア	イ	ウ	エ	オ
11 青少年の健全育成	ア	イ	ウ	エ	オ
12 文化・芸術活動のための環境	ア	イ	ウ	エ	オ
13 スポーツ活動のための環境	ア	イ	ウ	エ	オ
14 病院や救急医療、地域の保健・病気予防対策	ア	イ	ウ	エ	オ
15 高齢者への福祉	ア	イ	ウ	エ	オ
16 障害者への福祉	ア	イ	ウ	エ	オ
17 区民向け講座などの生涯学習の充実	ア	イ	ウ	エ	オ
18 区民ボランティア活動に対する支援	ア	イ	ウ	エ	オ
19 祭や盆踊りなどの地域交流イベント	ア	イ	ウ	エ	オ
20 地域における助け合い、見守り	ア	イ	ウ	エ	オ
21 地区センターなどの地域施設の整備	ア	イ	ウ	エ	オ
22 防災対策	ア	イ	ウ	エ	オ
23 防犯対策	ア	イ	ウ	エ	オ

問5 あなたは、近頃、ご自身やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。(○は3つまで)

1 自分の病気や老後のこと	8 環境問題
2 家族の健康や生活上の問題	9 事故や災害のこと
3 失業・倒産や収入が減ること	10 犯罪や防犯のこと
4 仕事や職場のこと	11 住宅のこと
5 景気や生活費のこと	12 その他(具体的に)
6 子どもの保育や教育のこと	13 心配ごとや困っていることはない
7 近隣からの悪臭・騒音	

問6 栄区では、住民による様々な地域活動が進められています。あなたのお住まいの地域で、取り組むべき課題にはどのようなものがあると思いますか。(〇はいくつでも)

- | |
|-----------------------------------|
| 1 住民同士の交流や助け合いの促進 |
| 2 高齢者や障害者などへの手助けや見守り、介護をしている人への支援 |
| 3 子どもの見守りや子育て中の人への支援 |
| 4 青少年の居場所づくりや健全育成 |
| 5 文化・芸術などを楽しむ場やイベントの開催など |
| 6 スポーツや健康づくりなどを楽しむ場やイベントの開催など |
| 7 交通安全 |
| 8 防犯 |
| 9 防災・減災や災害時への備え |
| 10 身近な道路や公園の清掃などの美化 |
| 11 花壇づくりなどの緑化や身近な自然環境の保全 |
| 12 まちなみや景観の創出や維持 |
| 13 その他 (具体的に) |
| 14 特にない |

【4 道路・交通】

問7 あなたがお住まいの地域の道路・交通環境や利便性はいかがですか。(〇は1つ)

- | | | |
|---------|--------|------|
| 1 とても便利 | 3 普通 | 5 不便 |
| 2 やや便利 | 4 やや不便 | |

【5 健康・福祉】

問8 あなたは、現在のご自身の健康状態について、どのように思いますか。(〇は1つ)

- | | | | |
|------|--------|------------|---------|
| 1 健康 | 2 まあ健康 | 3 あまり健康でない | 4 健康でない |
|------|--------|------------|---------|

問9 あなたは、どのくらいの頻度でスポーツをしていますか。(〇は1つ)

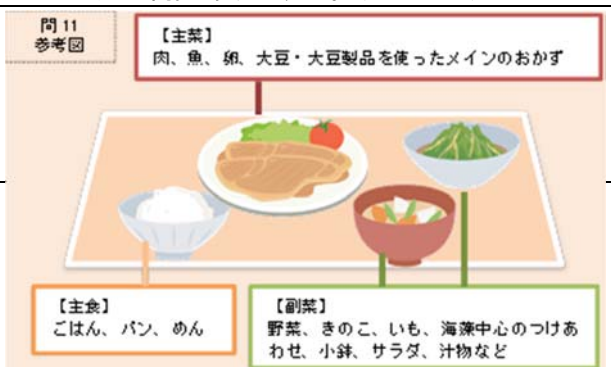
- | | | | |
|---------|------------|---------|-------------|
| 1 週1回以上 | 2 月に1～3回程度 | 3 月1回未満 | 4 ほとんどしていない |
|---------|------------|---------|-------------|

問10 栄区では、「ウォーキングで健康づくり」の取組を進めています。あなたは、日常の外出以外で、健康のためにどのくらいウォーキングをしていますか。(〇は1つ)

- | | |
|---------|-------------|
| 1 ほぼ毎日 | 3 月1～3日 |
| 2 週1～3日 | 4 ほとんどしていない |

問11 あなたは、1日2回以上、主食・主菜・副菜すべてを食べるのは週に何回ありますか。(〇は1つ)

- | |
|---------------|
| 1 ほぼ毎日食べている |
| 2 週に4～6日食べている |
| 3 週に2～3日食べている |
| 4 ほとんど食べていない |



問12 あなたは、朝食を週にどのくらい食べていますか。(〇は1つ)

※飲み物やサプリメント等だけをとった場合は、「食べる」に含みません。

- | |
|---------------|
| 1 ほぼ毎日食べている |
| 2 週に4～6日食べている |
| 3 週に2～3日食べている |
| 4 ほとんど食べていない |

問13 あなたは、がん検診を受けていますか。(○は1つ)

1	定期的(1~2年に1回)に受けている 受診部位(○はいくつでも)⇒ 胃・肺・大腸・乳・子宮・その他(具体的に)
2	過去に受けたことはあるが、ここ数年は受けていない 理由()
3	これまで全く受けたことがない 理由()

問14 あなたは、もしご自身やご家族が病気や障害で介護が必要な状況だったとしたら、どんなことが不安だと思いますか。(○はいくつでも)

1	日々の生活の介助	5	必要な介護サービスを受けられるか
2	経済的負担	6	その他(具体的に)
3	外出の難しさ	7	不安はない
4	周囲の理解のなさ		

問15 栄区では、寒い時期に脱衣所から熱い湯船に入ることによって脳出血や脳梗塞、心筋梗塞等を起こしてしまう「ヒートショック」の対策に取り組んでいます。あなたは、「ヒートショック」の対策をしていますか。(○はいくつでも)

1	お風呂のお湯を41℃以下にする	5	体調が悪い時や飲酒后・食事直後はお風呂に入らない
2	脱衣所に暖房器具を置いている	6	その他(具体的に)
3	シャワーで浴室を温めてから浴室に入る	7	特にしていない
4	湯船には10分以上連続で入らない		

【6 子育て】

問16 あなたは、子育てについて、課題や不安となることは何だと思いますか。(○はいくつでも)

1	自分が親になることへの漠然とした不安
2	自分の身体的・精神的な健康
3	子育て費用
4	不安や悩みを気軽に相談できる相手がいない
5	子育ての協力者がいない、周囲の支え(育児の手伝い)がない
6	子育てに関する情報不足
7	子育てと仕事の両立
8	子どものしつけ
9	障害がある子どもへの支援
10	保育施設が少ない
11	買い物やリフレッシュのためなどに利用できる一時保育が少ない
12	いじめなど子ども同士の関係への不安
13	学校での教育環境への不安
14	放課後児童の居場所が少ない
15	SNS等を通して子どもが犯罪等に巻き込まれる不安
16	その他(具体的に)

【7 防災】

問17 あなたは、ご自身の住む地区の避難所がどこかを知っていますか。(○は1つ)

1	知っている	2	知らない
---	-------	---	------

問18 災害時、開設する医療機関は、のぼり旗(イエローフラッグ)を掲出することを知っていますか。

1	のぼり旗を見たことがあり、知っている	3	知らなかった
2	のぼり旗をみたことはないが、知っている		(この調査ではじめて知った)



問19 あなたの家では、震災等の災害に対する備えをしていますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1 水の備蓄 | 8 自宅の耐震補強 |
| 2 食料の備蓄 | 9 感震ブレーカーの設置 |
| 3 医薬品・救急用品の備蓄 | 10 避難についての家族の話し合い |
| 4 携帯ラジオ、懐中電灯の用意 | 11 隣近所との話し合い |
| 5 消火器の設置 | 12 地域の中での緊急連絡体制づくり |
| 6 住宅用火災警報器の設置 | 13 ほとんど何もしていない |
| 7 家具などの転倒防止対策 | 14 その他(具体的に) |

問20 あなたは、防災訓練に参加したことがありますか。(〇は1つ)

- | |
|----------------------------------|
| 1 参加したことがある |
| 2 参加したことはないが、今後参加したい |
| 3 参加したことはないし、今後も参加したいとは思わない(理由) |

【8 救急】

問21 あなたは、救急車を呼ぶか迷ったときの救急相談電話、#7119(横浜市救急相談センター)を知っていますか。(〇は1つ)

- | |
|------------------------|
| 1 使ったことがある |
| 2 使ったことはないが知っている |
| 3 知らなかった(この調査ではじめて知った) |

【9 地域のつながり】

問22 あなたは、隣近所とどのようなつき合い方をしていますか。(〇は1つ)

- | | |
|----------------|------------------------------|
| 1 顔もよく知らない | 4 一緒に買い物に行ったり、気の合った人と親しくしている |
| 2 道で会えば挨拶くらいする | 5 困ったとき、相談したり助け合ったりする |
| 3 たまに立ち話をする | |

問23 あなたは、隣近所とのつき合いについてどのように感じていますか。(〇は1つ)

- | |
|--------------------------------|
| 1 親密な人間関係があつて暮らしやすい |
| 2 お互いに干渉したり、気をつかったりしないので暮らしやすい |
| 3 人間関係が親密すぎてわずらわしい |
| 4 人間関係が薄く、寂しい |
| 5 その他(具体的に) |

問24 地域では様々な活動を行っていますが、あなたはどのような活動に参加していますか。(〇はいくつでも)

- | |
|--|
| 1 自治会、町内会の活動 |
| 2 子ども会、婦人会、老人クラブの活動 |
| 3 高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動 |
| 4 身近な道路や公園などの清掃活動 |
| 5 文化・芸術活動への参加や振興 |
| 6 スポーツや健康づくりの活動への参加や振興 |
| 7 祭や盆踊り、運動会などのイベント |
| 8 資源回収やごみの分別、リサイクル活動 |
| 9 公園での花壇づくりなどの緑化や身近な水辺、緑地(里山など)など自然環境の保全 |
| 10 PTA活動や学校行事での手伝い、ボランティアなど |
| 11 保育ボランティアなどの子育て支援 |
| 12 交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動 |
| 13 建物の用途や高さなど建物についてのルールや美しいまちなみづくり |
| 14 その他の社会奉仕などボランティア活動(具体的に) |
| 15 参加していない |

【10 読書】

問 25 あなたは、過去1年間に何冊くらい本（電子書籍を含む）を読みましたか。※雑誌、漫画を除く（○は1つ）

1 全く読まない	3 3～4冊	5 10～19冊	7 30冊以上
2 1～2冊	4 5～9冊	6 20～29冊	

【11 セーフコミュニティ】

問 26 栄区は、地域が主体となって取り組む安全・安心のまちづくり「セーフコミュニティ」の国際認証を平成25年に取得し、平成30年には継続的な取組が認められ、再認証を取得しました。

あなたは、「セーフコミュニティ」について、どの程度知っていますか。（○は1つ）

1 セーフコミュニティの活動に参加したことがある
2 セーフコミュニティの活動について知っている
3 セーフコミュニティという言葉を知っている
4 セーフコミュニティについて全く知らない

問 27 栄区は安全・安心なまちだと感じますか。

1 感じる	3 どちらかといえば感じない
2 どちらかといえば感じる	4 感じない

【12 フェイスシート】

最後に、あなた自身のことについてお尋ねします。ご回答いただいた内容については、すべて統計的に処理され、個人が特定されることはありませんので、ご協力をお願いします。

F 1 性別（○は1つ） ※生活意識の実態調査ですので、日常生活における性別をご回答ください。

1 男性	2 女性
------	------

F 2 年齢（○は1つ）

1 20～24歳	6 45～49歳	11 70～74歳
2 25～29歳	7 50～54歳	12 75～79歳
3 30～34歳	8 55～59歳	13 80歳以上
4 35～39歳	9 60～64歳	
5 40～44歳	10 65～69歳	

F 3 栄区にお住まいの期間（○は1つ） ※栄区内で転居した場合は通算してください。

1 5年未満	4 15～19年	7 40年以上
2 5～9年	5 20～29年	
3 10～14年	6 30～39年	

F 4 現在のお住まいの世帯の家族形態（○は1つ）

1 ひとり暮らし	4 親と子と孫（3世代）
2 夫婦2人	5 その他（具体的に)
3 親と子（2世代）	

F 5 現在お住まいの地区 (○は1つ)

1 飯島町	15 桂台西一丁目	29 小菅ケ谷三丁目	43 野七里一丁目
2 犬山町	16 桂台西二丁目	30 小菅ケ谷四丁目	44 野七里二丁目
3 尾月	17 桂台東	31 小山台一丁目	45 柏陽
4 笠間町	18 桂台南一丁目	32 小山台二丁目	46 東上郷町
5 笠間一丁目	19 桂台南二丁目	33 庄戸一丁目	47 本郷台一丁目
6 笠間二丁目	20 桂町	34 庄戸二丁目	48 本郷台二丁目
7 笠間三丁目	21 金井町	35 庄戸三丁目	49 本郷台三丁目
8 笠間四丁目	22 上郷町	36 庄戸四丁目	50 本郷台四丁目
9 笠間五丁目	23 上之町	37 庄戸五丁目	51 本郷台五丁目
10 鍛冶ケ谷町	24 亀井町	38 田谷町	52 元大橋一丁目
11 鍛冶ケ谷一丁目	25 公田町	39 長尾台町	53 元大橋二丁目
12 鍛冶ケ谷二丁目	26 小菅ケ谷町	40 長倉町	54 若竹町
13 桂台北	27 小菅ケ谷一丁目	41 長沼町	
14 桂台中	28 小菅ケ谷二丁目	42 中野町	

F 6 現在のお住まい (○は1つ)

1 持家 (一戸建て)	5 借家 (都市再生機構[旧公団]・公社の共同住宅)
2 持家 (マンション・共同住宅)	6 社宅、公務員住宅
3 借家 (一戸建て)	7 民間アパート、民間賃貸マンション
4 借家 (県営・市営の共同住宅)	8 その他 (具体的に)

F 7 通勤・通学先はどちらですか。(○は1つ) ※複数ある場合は、主な通勤・通学先をお答えください。

1 栄区内	5 東京都内
2 横浜市内他区	6 その他 (具体的に)
3 鎌倉市内	7 通勤・通学していない
4 神奈川県内 (横浜市、鎌倉市を除く)	

(以下については、F 7で「1」～「6」と答えた方にお聞きします)

F 7-1 通勤・通学に利用する駅はどこですか。(○は1つ)

1 本郷台駅	5 金沢八景駅
2 大船駅	6 上大岡駅
3 港南台駅	7 その他 (具体的に)
4 戸塚駅	

F 7-2 通勤・通学に利用する駅までの主な交通手段をお答えください。(○は1つ)

1 バス	4 自転車
2 自家用車 (家族の送迎も含む)	5 徒歩
3 原付・バイク	6 その他 (具体的に)

F 7-3 通勤・通学時間 (片道) はどのくらいですか。複数ある場合は、主な通勤・通学先までの所要時間をお答えください。(○は1つ)

1 30分未満	3 1時間から1時間30分未満	5 2時間以上
2 30分から1時間未満	4 1時間30分から2時間未満	

※ ご協力ありがとうございました。

調査票は同封の返信用封筒に入れて、令和元年12月6日(金)までにポストへ投函してください。(切手は不要です)

令和2年度事業計画及び再々認証取得までのスケジュールについて

1 令和2年度のセーフコミュニティの進め方（案）

(1) 各対策分科会の取組

例年実施している分科会活動の他、再々認証取得のための審査を視野に以下の点に取り組みます。

ア 分科会同士の連携検討

平成30年度現地審査での審査員からの指摘による

イ 指標の見直し検討

一部の分科会について、より現状を適切に反映できるよう指標の見直しを検討します。

(2) プロモーション

ア 区民意識調査の検証によるターゲット抽出

イ PR動画の制作

ウ セーフコミュニティフォーラムの開催（10月）

エ 広報よこはま（コラム：隔月、特集1回）等

(3) セーフコミュニティアンケートの実施

ア 対象者：栄区在住の20歳以上の男女1,500人（住民基本台帳から無作為抽出）

イ 実施時期：11月

2 令和2年度の傷害サーベイランス分科会の進め方（案）

各分科会による指標の見直しを中心に、活動のブラッシュアップへの助言をいただきます。

また、次年度も傷害サーベイランス分科会委員の担当制を継続します。

<担当（敬称略）>

委員名	担当分科会	委員名	所属分科会
田高 悦子 （座長）	こども安全対策 児童虐待予防対策	金子 寛平★	高齢者安全対策分科会委員 自殺予防対策分科会委員
大原 一興	交通安全対策	近藤 秀政★	交通安全対策分科会委員
小田原 俊成	自殺予防対策	平間 健一★	交通安全対策分科会委員
豊田 宗裕	高齢者安全対策	小川 健司★	自殺予防対策分科会委員 防犯対策分科会委員
垣内 康宏	防犯対策	★印の委員は、引き続き所属の分科会にて活動 へのアドバイスを提供	
青木 匡史	スポーツ安全対策 災害安全対策		

3 再々認証取得までのスケジュールについて(案)

再々認証のための現地審査（令和5年度）に向け、概ね以下のように進めていきます。

	全 体	サーベイランス分科会
令和2年度	指標及び活動内容の見直し 分科会同士の連携した取組の開始	指標等を見直す分科会や連携への助言
令和3年度	事前指導準備（資料作成等）	審査に向けた指導等
令和4年度	事前指導、申請書作成	現地審査資料への助言
令和5年度	現地審査	